

太宰府・佐野地区遺跡群13

佐野土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
殿城戸遺跡第7次調査

2002

太宰府市教育委員会

『太宰府・佐野地区遺跡群 13』

殿城戸 7 次正誤表

頁	誤	正
17 (一番下行)	上面かなりの	上面はかなりの
33 (上から 11 行目)	無く	なく
44-5、45-35、46-10、52-5、56-最下行 58-2、59-12・16、60-26・27、68-2 72-18	打ち搔く	打ち欠く
45 (下から 8 行目)	立ち上がるり、	立ち上がる。
58 (下から 12 行目)	内湾しながらに伸び、	内湾しながら伸び、
69 図中	暗茶灰土 6	暗茶灰土 7
69 図中	暗茶灰土 7	暗茶灰土 6
図版 28-68	7SI185 茶灰色土	7SI180 茶灰色土

太宰府・佐野地区遺跡群13

佐野土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
殿城戸遺跡第7次調査

2002

太宰府市教育委員会



殿城戸7次調査区全景（北東より）



7SD100（方形区画溝）と7SB210（掘立柱建物）（北より）



7SD100南辺溝 遺物出土状況



同遺構出土土器

序

本書は、太宰府市の大字大佐野・向佐野地区で行われている佐野土地
区画整理事業に伴う発掘調査のうち、平成12年度に実施いたしました殿
城戸遺跡の第7次調査についてまとめたものです。主に弥生時代から古墳
時代の集落跡が見つかっており、周辺の調査と合わせて考えますと当時
の生活の様子が明らかになってきております。なかでも直線的に方形に
区画された古墳時代の溝は太宰府市で初めて確認され、土地利用の在り
方に貴重な資料を与える結果となりました。

発掘調査は記録的な酷暑が続く中で行われましたが、多くの作業員の
皆さんや関係各位の協力のもと無事に終了することができました。厚く
御礼申し上げます。

本報告が、学術研究ひいては文化財の保護、啓発活動の一助になれば
幸いに存じます。

平成14年3月

太宰府市教育委員会

教育長 關 敏治

例言

- 1、本書は、太宰府市教育委員会が平成13年度に佐野土地区画整理事業に伴って実施した殿城戸遺跡第7次調査の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2、遺構の実測には国土調査法第Ⅱ座標系を利用した。したがって本書に示される方位は特に注記のない限りG.N. (座標北)を示し、本文中に記される遺構の角度及び距離等もこれを基準としたものである。
- 3、遺構実測及び写真撮影は、調査担当者他、井上信正・坂本雄介・島純子・中村陽子・長直信(福岡大学学生)が行った。また、全体図の作成にあたっては(株)アジア航測による航空写真測量(1/50)を用いた作図を行っている。調査区全景の空中写真は(有)空中写真企画が行った。
- 4、遺物の実測は担当者のほか長直信・松隈里恵子・森部順子・境一美が行った。
- 5、図版の浄書は担当者のほか坂本雄介・深江暁子・松本理栄子・酒井三保子が行った。
- 6、遺物の写真撮影はフォトハウスおか(代表岡紀久夫)が行った。
- 7、出土した金属製品の保存処理は、下川可容子、安芸朋江が担当した。
- 8、本書に掲載される遺構番号は、以下の要領で理解される。なお遺構の性格を表記する記号については、SB掘立柱建物跡、SA柵列跡、SI住居跡、SK土坑、ST墳墓、SD溝、SXその他の遺構などであり詳細は『佐野地区遺跡群I』に記載している。



- 9、本書の執筆及び編集については山村信榮の助言を得て佐藤道文が行った。
- 10、出土遺物および図面、写真等の記録は太宰府市教育委員会が保管している。
- 11、本書で用いる分類は以下の文献に記載されている。

弥生後期土器

太宰府市教育委員会『大宰府・佐野地区遺跡群XI』(2001) p80

土師器・須恵器

太宰府市教育委員会『大宰府条坊跡Ⅱ』(1983)

太宰府市教育委員会『宮ノ本遺跡I-窯跡篇一』(1992)

陶磁器

太宰府市教育委員会『大宰府条坊跡XV』(2000)

12、参考文献

柳田康雄「三・四世紀の土器と鏡」『森貞次郎博士古稀記念論集』(1982)

久住猛雄「北部九州における庄内式併行期の土器様相」『庄内式土器研究XIX』(1999)

『古墳時代の研究6』(1991)

13、本書に用いる古式土師器の時代区分

布留式古相・・・柳田編年のⅡa、b期 久住編年のⅡA～ⅡB期

布留式中相・・・柳田編年のⅡc期 久住編年のⅡC期に該当する。

目次

第1章

1 はじめに	1
2 調査の概要	11
3 層位など	11

第2章 遺構

1 掘立柱建物跡	13
2 住居跡	17
3 井戸	23
4 溝状遺構	25
5 方形区画溝	29
6 土坑	29
7 焼土坑	37
8 墳墓	39
9 その他の遺構	39

第3章 遺物

1 掘立柱建物出土遺物	41
2 住居跡出土遺物	42
3 井戸出土遺物	49
4 溝状遺構出土遺物	51
5 方形区画溝出土遺物	51
6 土坑出土遺物	56
7 焼土坑出土遺物	62
8 墳墓出土遺物	63
9 その他の遺構出土遺物	63
10 表土出土遺物	67
11 褐色土出土遺物	67
12 暗灰茶色土出土遺物	68

第4章

1 殿城戸遺跡7次調査の小結	72
2 方形区画溝7SD100について	74

第1章

1. はじめに

殿城戸遺跡第7次調査区は、天拝山から北に向かって派生する丘陵裾部、東西方向の谷状平地を挟み宮ノ本丘陵に対置する位置にあり、標高は約40mである。本調査区周辺は殿城戸遺跡、脇道遺跡として過去数次にわたる調査が行われている。古墳時代初頭の集落跡が確認されたものとして殿城戸遺跡2・3次調査、脇道遺跡3次調査、そして、本調査区の北側に広がる沖積平野に位置する尾崎遺跡でも同時期と考えられる集落跡が見つかっている。調査区北側の丘陵地には宮ノ本古墳群が、東側には天拝山から派生する低丘陵先端に古剣塚古墳群が築造されており、ともに古墳時代初頭の所産とされる。今回の調査で確認された同時期の集落跡は、現地地形上最も西南端部に位置している。

殿城戸遺跡第7次調査は、太宰府市が昭和63年度からおこなっている佐野地区の区画整理事業に伴って行われたものである。調査地点は福岡県太宰府市大字大佐野183番地、184番地の1である。字は「殿城戸」（「とのきど」または「とののきど」）と称され、地元ではこの水田地について「ヨコマクラ」という名称が使用されている。現地での調査は平成12年4月3日から10月9日まで実施し、9月30日には近隣住民に対して現地説明会を行った。

調査組織は以下の通りである。

（平成12／2000年度）調査

総括	教育長	長野治己（～12月24日） 關 敏治（12月25日～）
庶務	教育部長	白石純一
	文化財課長	津田秀司（～3月31日） 木村和美（4月1日～）
	文化財保護係長	和田敏信
	文化財調査係長	山本信夫（～10月23日） 神原 稔（11月1日～）
	事務主査	藤井泰人
	主任主事	野寄美希
	嘱 託	鈴木弘江
調査	技術主査	城戸康利
	主任技師	山村信榮（調査担当） 中島恒次郎 井上信正 高橋 学 宮崎亮一
	技師（嘱託）	下川可容子 森田レイ子 佐藤道文（調査担当）



Fig1 調査区周辺古地形図 (S=1/15000)

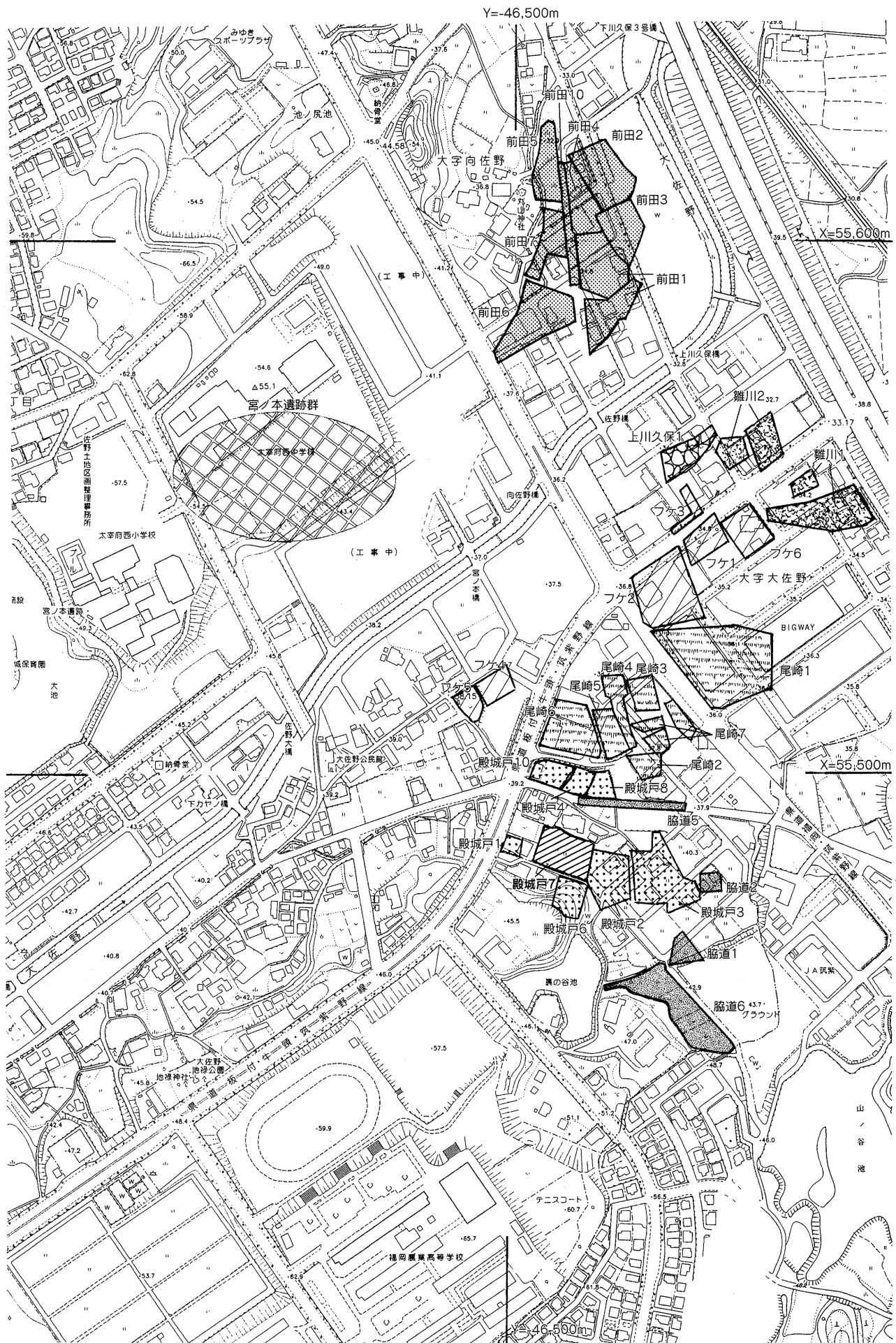


Fig2 調査地周辺の既調査地 (S=1/5000)

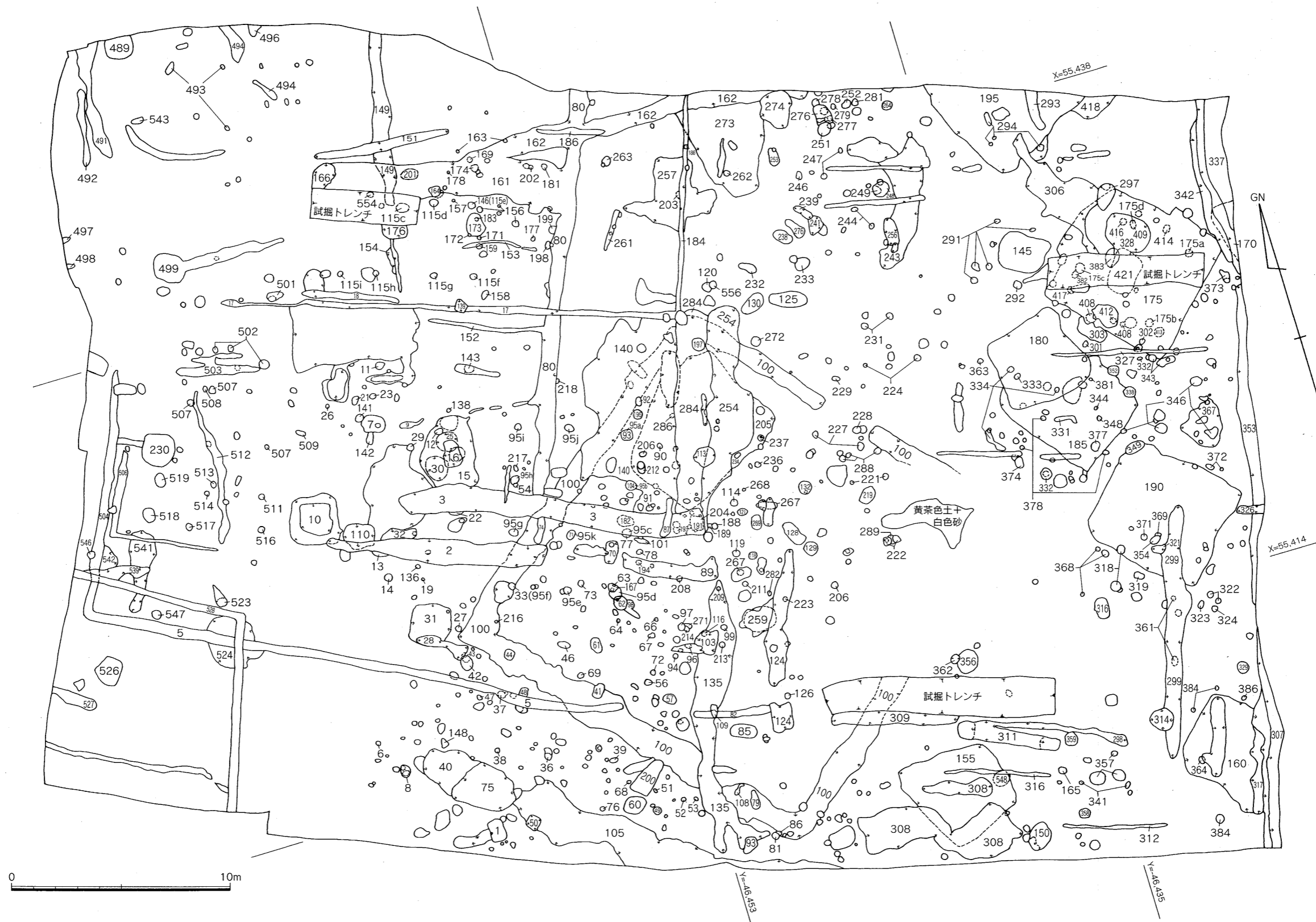


Fig3 遺構略測図1面目 (S=1/200)



Fig4 遺構全体図1面目 (S=1/300)



Fig5 遺構略測図2面目 (S=1/200)



Fig6 遺構全体図2面目 (S=1/300)

(平成13/2001年度) 整理・報告

総括	教育長	關 敏治
庶務	教育部長	白石純一
	文化財課長	木村和美
	文化財保護係長	和田敏信
	文化財調査係長	神原 稔
	事務主査	藤井泰人
	主任主事	大石敬介
	主任主査	城戸康利
	主任技師	山村信榮 (整理担当)
		中島恒次郎
		井上信正
		高橋 学
		宮崎亮一
	技師 (囑託)	下川可容子 (保存処理担当)
		森田レイ子
		佐藤道文 (整理担当)

2. 調査の概要

検出遺構

今回の調査では、中世（南北朝期以降）の掘立柱建物跡、井戸跡、溝状遺構、平安時代の墳墓、古墳時代初頭の方形区画溝跡、住居跡、土坑、古墳時代中期の住居跡、弥生時代から古墳時代初頭の掘立柱建物跡などが主な遺構として確認された。特に古墳時代の方形区画溝、住居、土坑はその配置される状況から有機的関係が窺える。

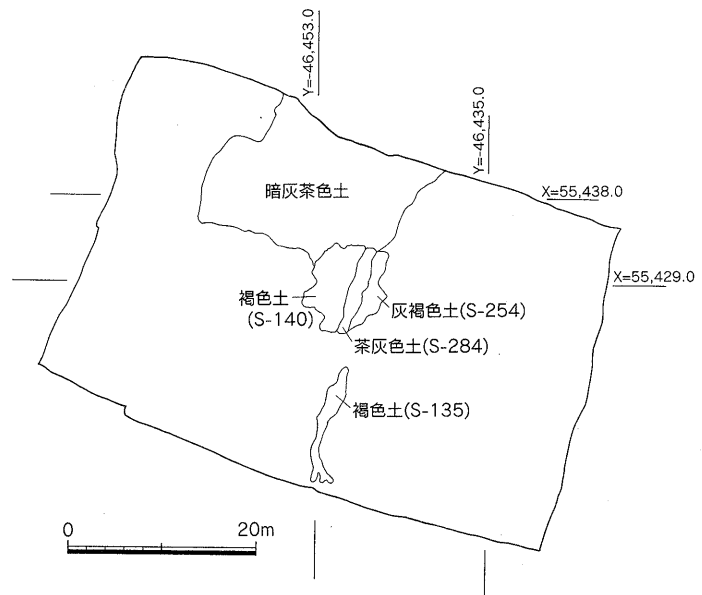
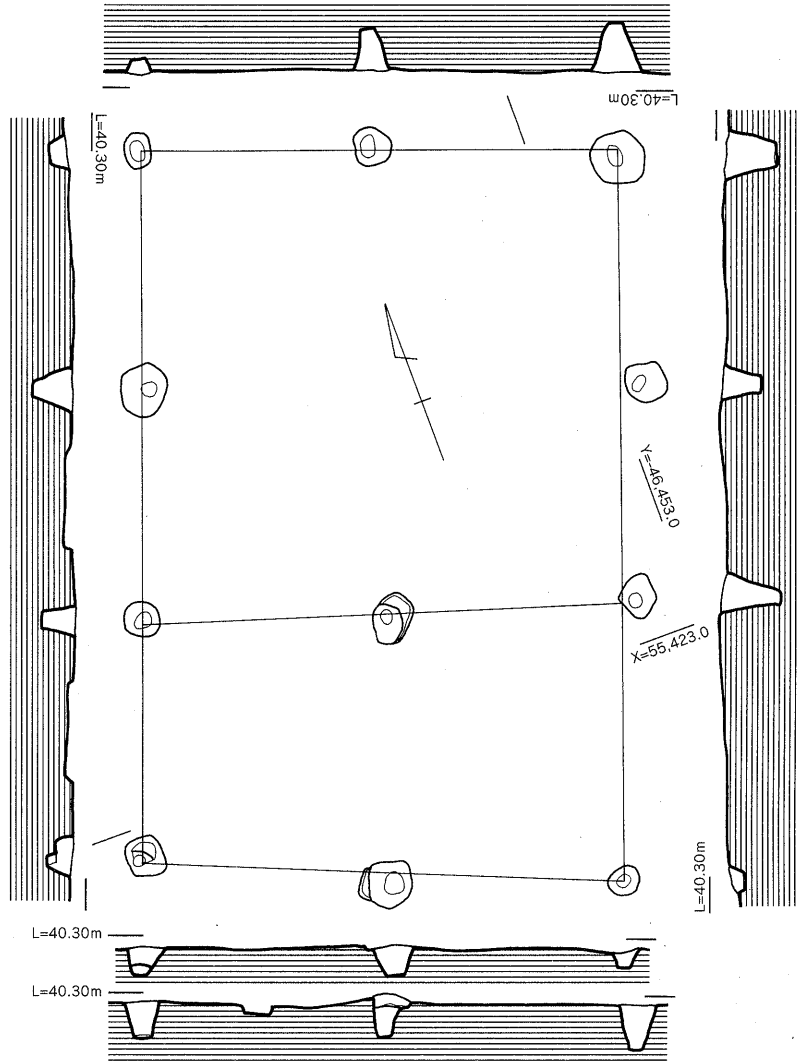


Fig7 土層分布図 (S=1/800)

3. 層位など

調査前状況が水田であり、表層には近代から現代にわたっての耕作土層がみられる。これら水田層を除去すると褐色土、暗灰茶色土の遺物包含層が確認された。この遺物包含層は主に調査区の中央部分に堆積している。褐色土（第1面）は出土遺物から13世紀後半までに堆積したものと判断され、中世の掘立柱建物跡、溝群はこの遺物包含層を掘り込む形で検出されることから、それ以後に構築されたと推定できる。暗灰茶色土からの出土遺物は6世紀中頃から後半のものが多いが、その中に8世紀中頃から後半の須恵器が少量だが看取され、このことから判断すると6世紀後半から8世紀中頃から後半にかけて堆積したものと考えられる。これら遺物包含層を除去すると、橙色を呈す粘質土、花崗岩風化土を主体とした層が確認され、この層の上面で弥生中期後半から古墳時代初頭の遺構が検出された（第2面）。

7SB095



7SB115

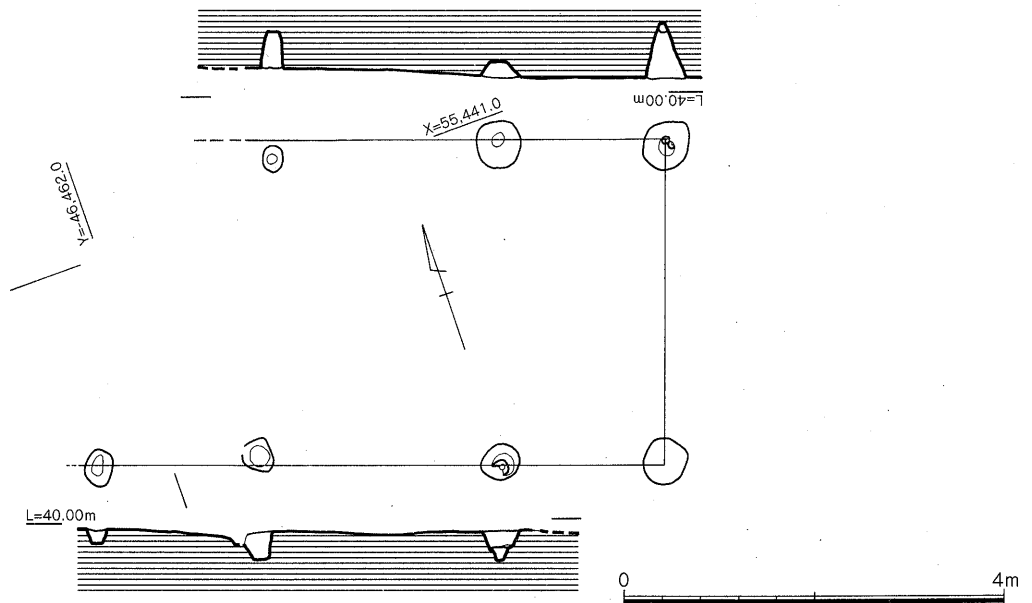


Fig8 7SB095 · 115実測図 (S=1/80)

第2章 遺構

1 掘立柱建物跡

7SB095 (Fig8、写真図版3-6) 調査区の中央部分で検出され、遺物包含層の褐色土層から掘り込まれている。梁行3間(7.4m)、桁行2間(5.0m)の掘立柱建物であり、ほぼ中央部分に間仕切りと思われる柱穴が存在する。柱穴径は約0.15~0.4m、深さは約0.15~0.4mを測る。柱掘り方は全体的に小振りである。土層観察から径約0.1mの柱が推測される。時期は褐色土層との切り合い関係から13世紀後半以降のものと考えられる。

7SB115 (Fig8) 調査区の北西部分で検出した。遺物包含層の暗灰茶色土を掘り込んで構築される。梁行3間+ α (6.0+m)、桁行1間(3.5m)の掘立柱建物である。一部柱穴が試掘時のトレンチによる削平で確認できず全体規模は不明である。柱穴径は0.2m~0.5mで、深さは0.2m~0.6mを測る。時期は不明であるが、埋土が表層の耕作土壌の色に近い灰色土を主体とすることから近世以降の可能性が考えられる。

7SB210 (Fig9、写真図版4-7) 遺物包含層の褐色土層除去後に、調査区南側で検出した。方形区画溝7SD100の内部に構築され、陸橋部から中心軸をずらして南東隅部分に築かれている。梁行2間、桁行

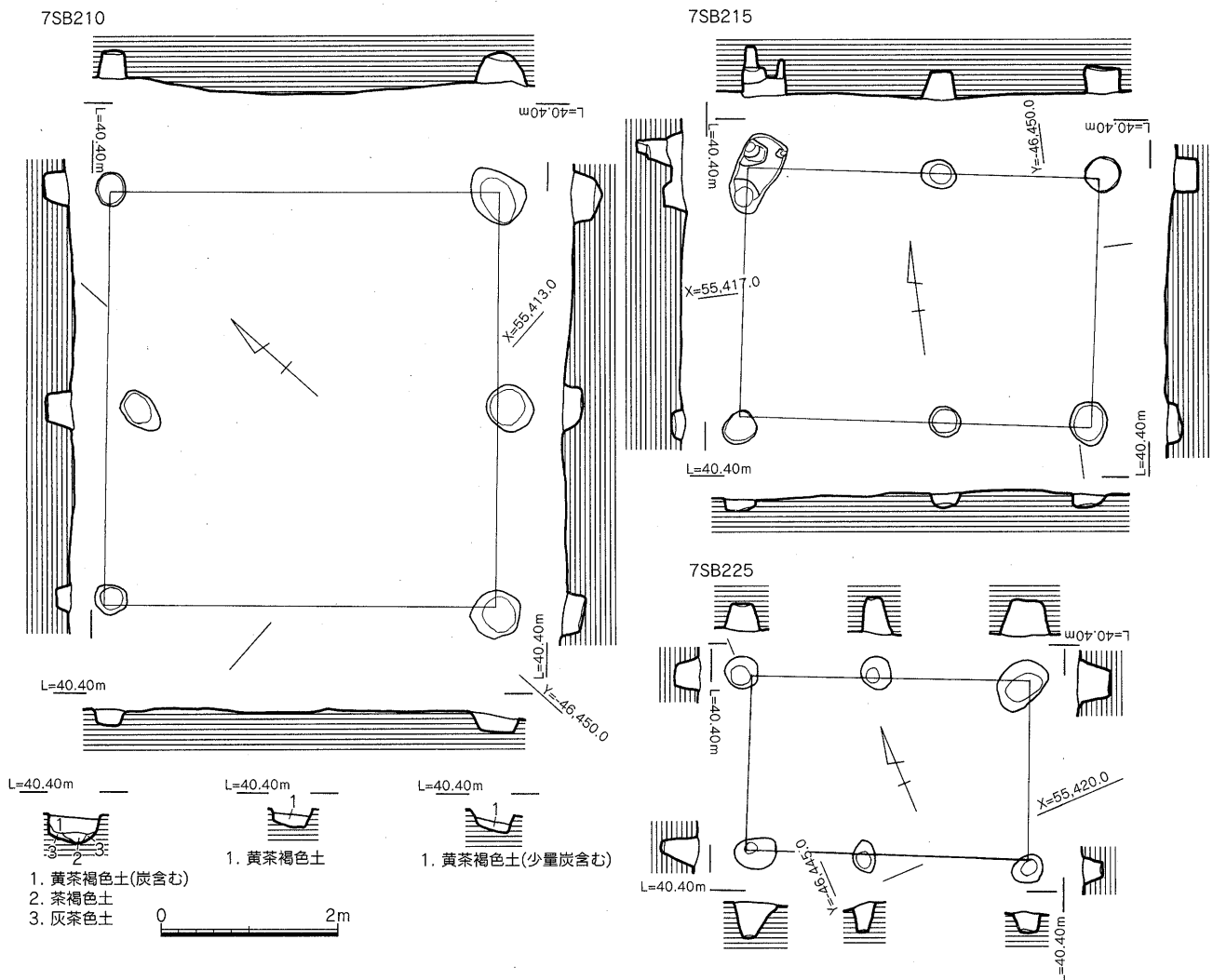
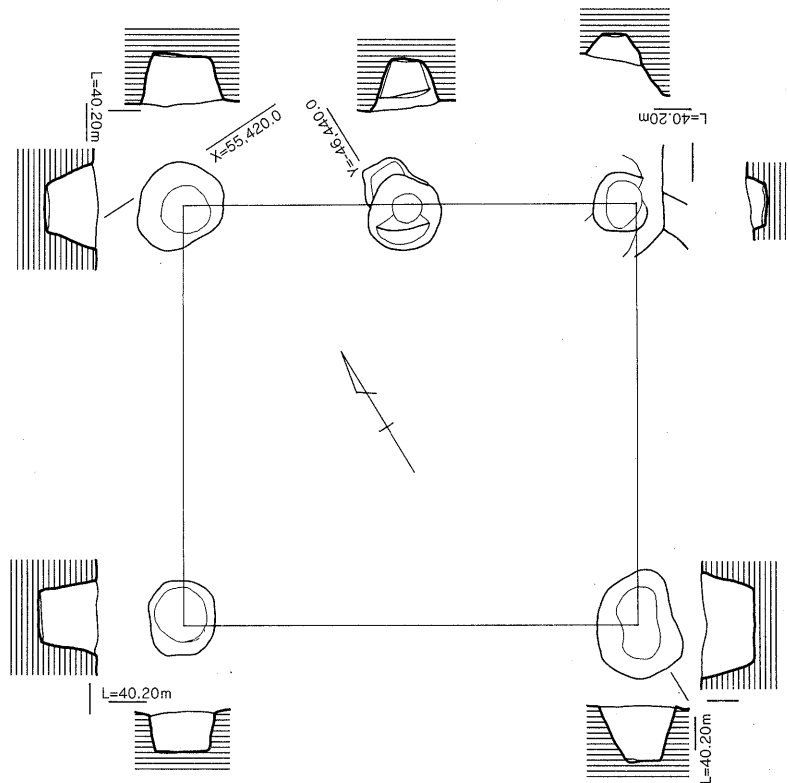


Fig9 7SB210・215・225実測図 (S=1/80)

1間で各柱間は南北2.4m×2.1m、東西4.4mで、主軸は東に48° 56′ 振れる。柱穴径は0.35~0.6mを測り、土層観察から柱痕を抜き取った痕跡が確認される。主軸の方向から7SD100の付属施設と判断している。遺物は古式土師器の坏が出土している。

7SB215 (Fig9) 遺物包含層である褐色土層除去後に確認されたもので、調査区の南側部分で検出した。梁行2間 (4m)、桁行1間 (3.1m) を呈し、柱穴径0.3m~0.4m、深さ0.1m~0.5mを測る。遺物

7SB240



7SB245

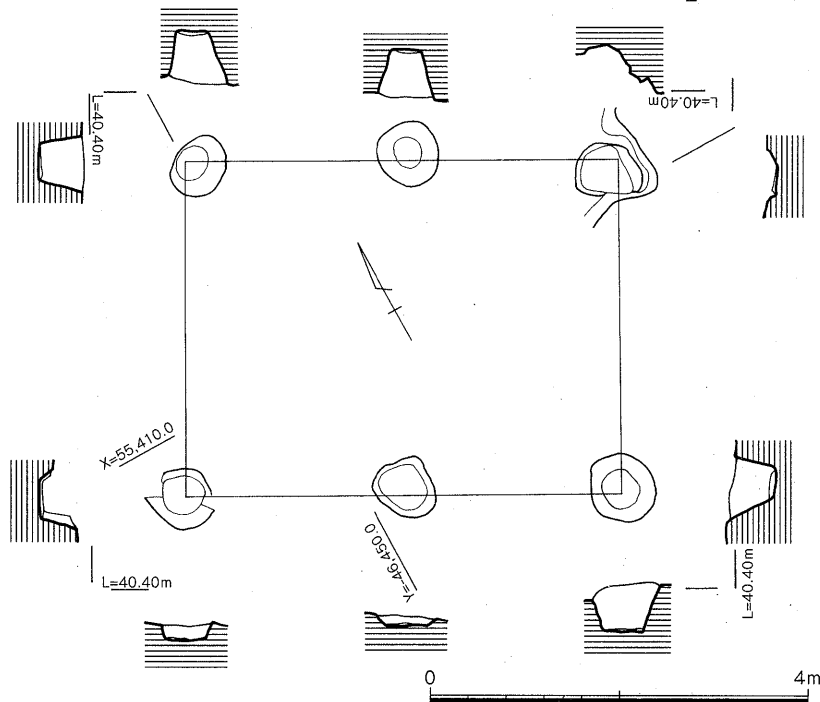
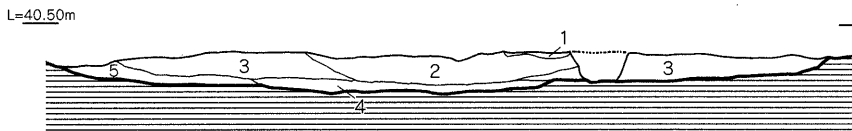
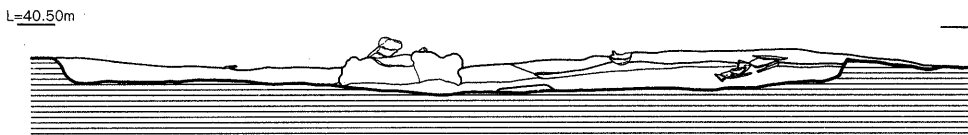
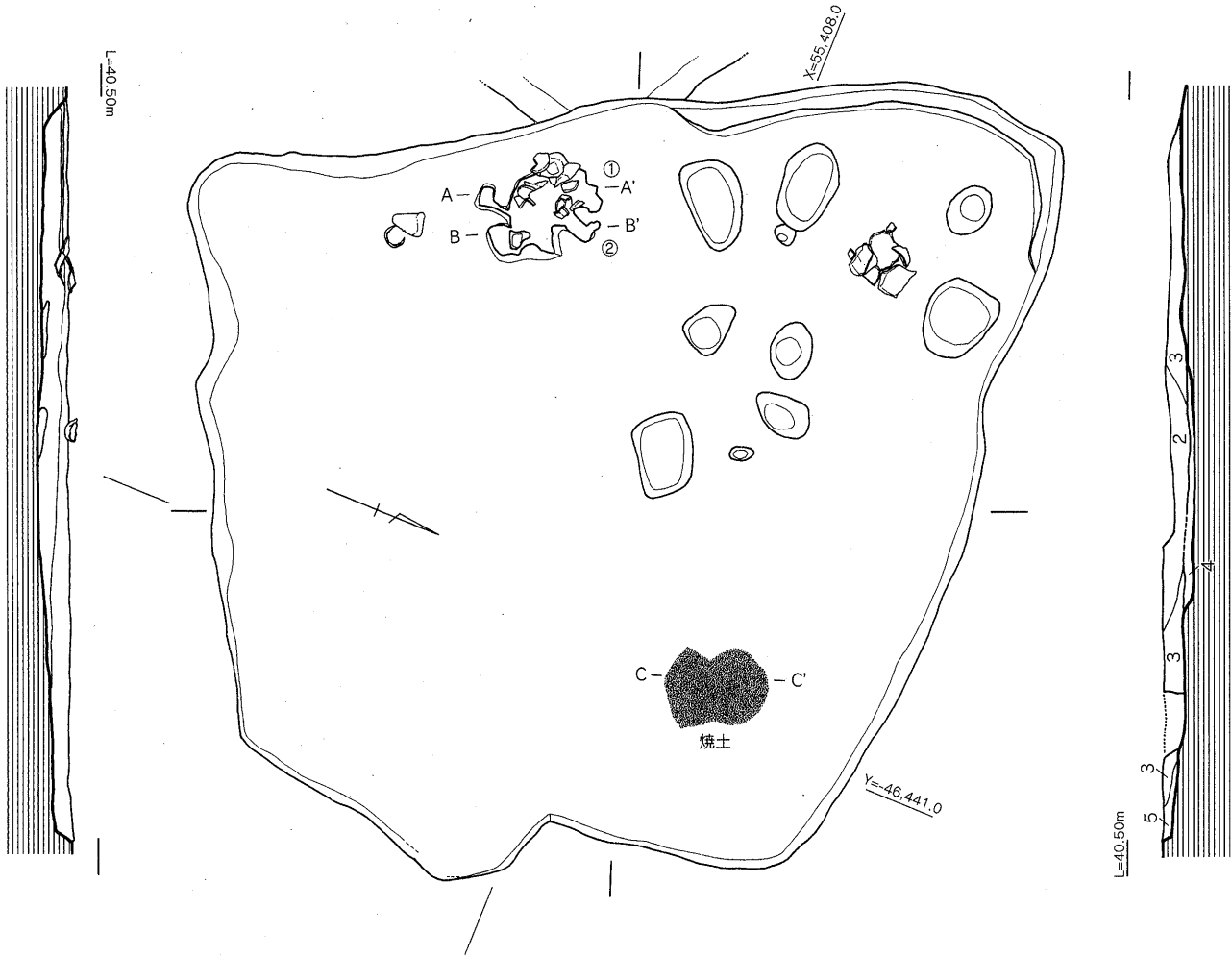
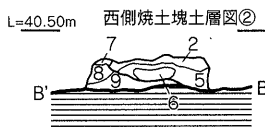
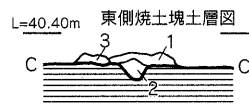
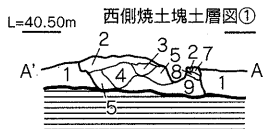


Fig10 7SB240・245実測図 (S=1/80)

7SI155



- 1. 褐色土
- 2. 暗茶色土(炭化物含む)
- 3. 茶褐色土
- 4. 茶灰色ブロック土
- 5. 黄茶色土



- 1. 赤褐色土(土器 uptake 「赤褐色土」)
- 2. 赤灰色土(「//」)
- 3. 暗茶灰色土(炭混じる)(「//」)
- 4. 暗茶褐色土(「//」)
- 5. 茶灰色土(「//」)
- 6. 赤褐色土(焼土)(「//」)
- 7. 淡黄茶色土
- 8. 淡灰茶色土
- 9. 淡茶灰色砂質土
- 1. 暗茶灰色土(焼土ブロック含む)
- 2. 淡灰黄色土
- 3. 淡黄茶色土



Fig11 7SI155実測図・土層図 (S=1/40)

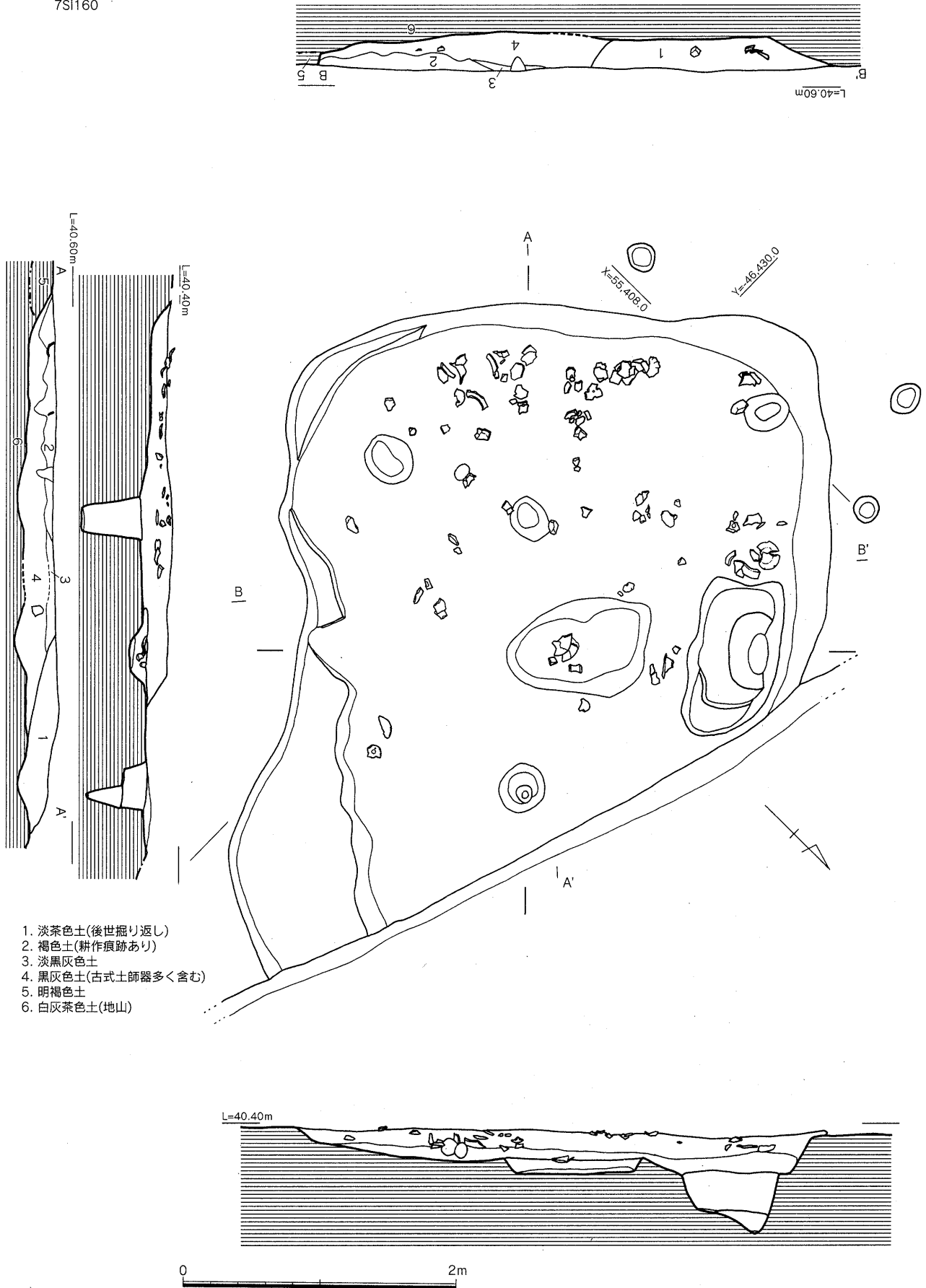


Fig12 7SI160実測図・土層図 (S=1/40)

の出土が無いため時期は不明であるが、弥生中期末～後期初頭に比定される7SI235より切り合い上新しいことから、弥生後期の範疇と考えられる。

7SB225 (Fig9) 遺物包含層である褐色土層除去後に確認され、調査区の中央部分で検出した。梁行2間(3.3m)、桁行1間(2.1m)を呈し、柱穴径0.3m～0.6m、深さ0.2m～0.4mを測る。やや小規模な建物である。主軸の方向は7SB240、7SB245とほぼ同じで、同時期の可能性が高い。

7SB240 (Fig10) 遺物包含層除去後に確認されたもので、梁行2間(4.8m)、桁行1間(4.4m)を呈す。しっかりと掘り方を有し、柱穴径0.5m～1.1m、深さ0.2m～0.5mを測る。土層観察から柱痕跡がみられ、0.3mの柱材が使用されていたことが窺える。時期は、切り合い上7SD100より古く、遺物の中に布留式系、山陰系の土器を含むことから布留式古相段階と考えられる。

7SB245 (Fig10) 遺物包含層除去後に検出。梁行2間(4.6m)、桁行1間(3.5m)を呈し、柱穴径0.7m、深さ0.1m～0.6mを測る。7SB240同様しっかりと掘り方を有し、主軸もほぼ同じ方向に向いていること、また布留式系土器の破片が認められることから布留式古相段階のものと考えられる。

2 住居跡

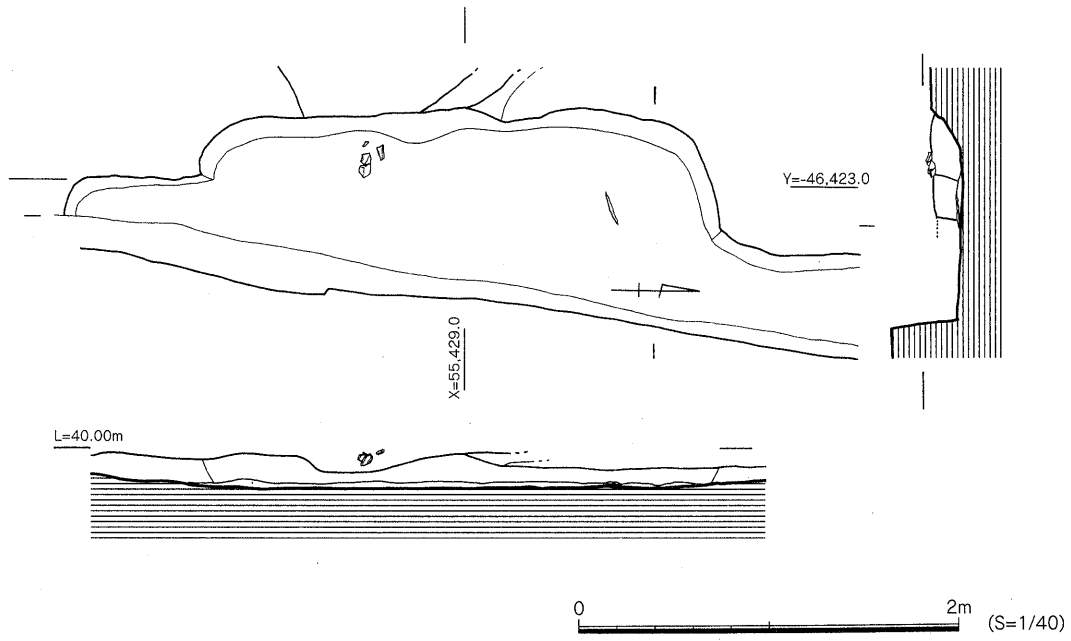
7SI155 (Fig11、写真図版4-8・9) 調査区の南東隅部分で検出された約5m×約3mを測る、不整形な方形プランを呈すものである。北西隅にピット群があるが、本遺構に帰属するものか不明である。西側、北東部分には炭化物を含む焼土塊が確認される。西側の焼土塊から出土した遺物は赤褐色土で取り上げている。西側の焼土塊は当初カマドを想定していたが、土層の堆積状況、平面観察から炉の可能性が高いと思われる。この焼土塊は白色粘土ブロック・焼土が散乱した状況で、所々に石が据えられていた。この石は支脚として機能していたと考えられるが、被熱痕が確認されないことから明確ではない。また、南側には丸底壺が置かれており、住居使用時の痕跡が窺える。住居掘方の埋土は大きく暗茶色土、茶褐色土、茶灰色ブロック土の3層に分かれ、遺物の多くは茶褐色土より出土している。また、焼土塊検出状況から貼床(茶灰色ブロック土)が行われていた可能性が高く、調査段階では気付かずに掘り下げている。茶褐色土から須恵器破片出土していること、甕や甑の形態などから5世紀後半頃のものと考えられる。

7SI160 (Fig12、写真図版5) 調査区の南東隅部分で確認され、規模は長軸は4m+ α 、短軸3.8mの平面長方形を呈す。中央部分に炉跡がみられ、北東部にはいわゆる「屋内貯蔵穴」が存在する。現状から支柱穴2本で構成されていると考えられる。土層の堆積状況は黒灰色土単一層で、一部には後世の掘り返し、耕作痕跡がみられる。遺物は、布留式系の甕、高坏片、ほぼ完形の布留式系の長頸壺などが出土している。これらの土器は、住居が埋没していく段階で窪地を土器廃棄の場として利用していたことによるものと考えられる。時期は布留式中相段階と判断され、同時期に機能していた7SD100と何らかの関係があると思われる。

7SI170 (Fig13、写真図版6-12) 調査区北東隅部分で確認され、7SD337の下位から検出された。調査区外へと延びるため全体規模は不明だが、南北2.55m、東西0.9m+ α で、方形プランを有すものと考えられる。当初、竪穴住居と認識せずに掘り下げたため土層の記録は残していない。須恵器坏蓋が床面より浮いた状態で出土しており埋没過程で廃棄された可能性が高い。刀子は床面直上から出土しており住居が機能していた時期に近いと判断される。以上のことから、5世紀後半頃には埋没していたと考えられる。

7SI175 (Fig13、写真図版6-13) 本調査区内で最も大きく、約6.2m×約7mを測り、北東部分で確認された。不整形な方形プランを有し、西側で一部やや張り出している。上面かなりの削平を受けており、

7S1170



7S1175

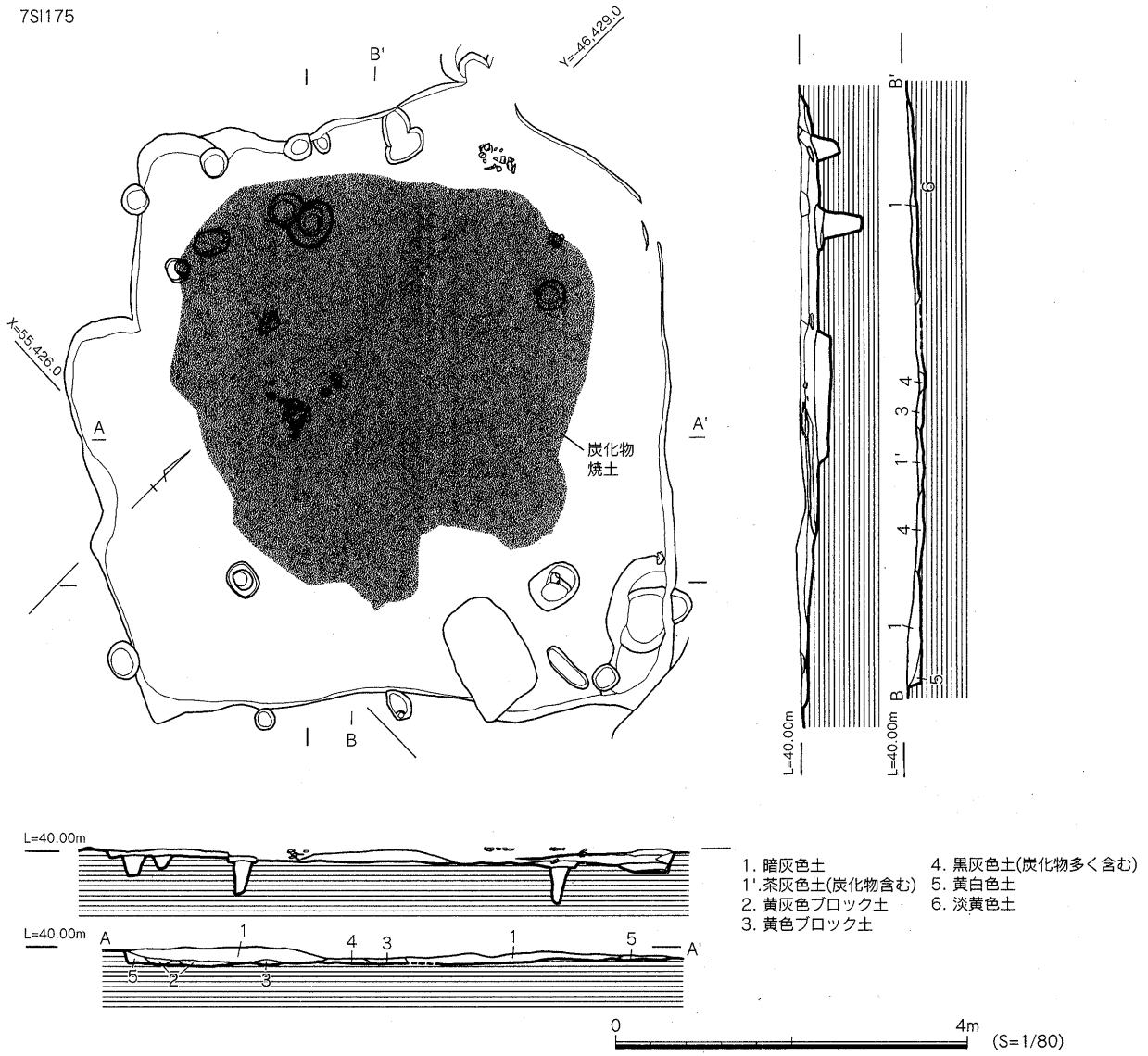
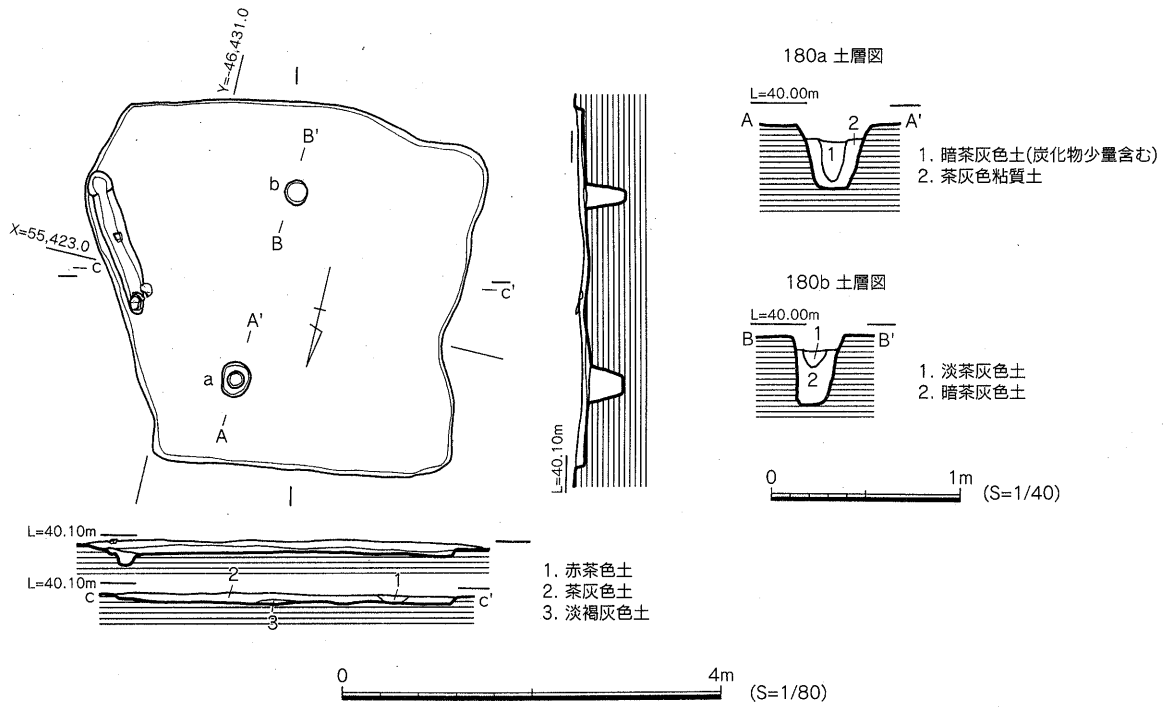


Fig13 7S1170 (S=1/40) ・ 175実測図・土層図 (S=1/80)

7SI180



7SI185

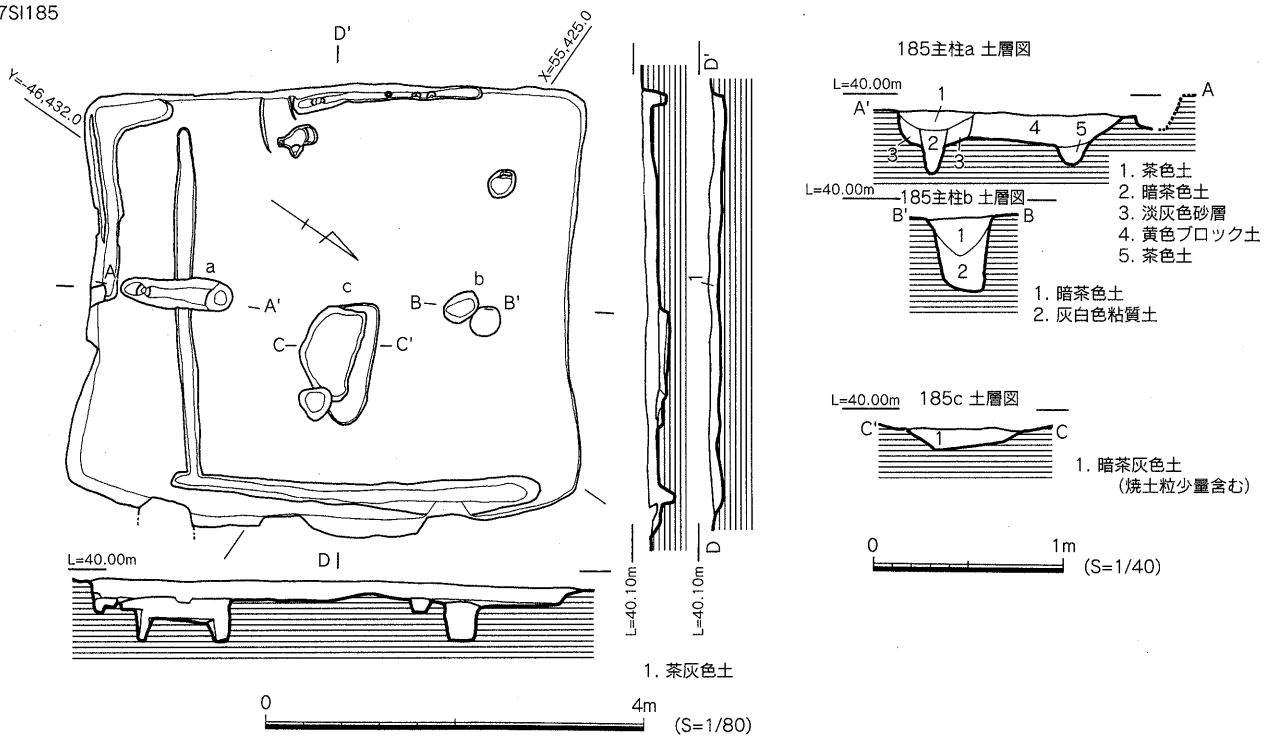


Fig14 7SI180・185実測図・土層図 (S=1/80、各付帯施設土層図はS=1/40)

深さ約0.05m～0.15mである。支柱穴4本で構成され、その周囲には約1.2m～2mの空間地が見られる。ベット状遺構等の付帯施設があったと思われる。床面からは約2.2m×約1.8mの土坑（7S K421）が検出され、炭化物、焼土ブロックなどを含むことから炉の可能性はある。

各土層の出土遺物を見ると、5世紀以降のタイプの土器と弥生後期の土器のものが混在しており、埋没過程でかなりの時間幅があったと思われる。不整形な平面形態と合わせて考えると、異なる時期の遺構が切り合っていたと考えられる。

7SI180 (Fig14、写真図版7-14) 調査区の東側で検出され、約3.9m×約3.5mを測り、平面不整形な方形プランを呈す。支柱穴2本で構成される。埋土はほぼ茶灰色土層の単一層で、この茶灰色土上面より焼成痕跡が確認されたが本遺構に伴うものかは不明である。内部施設として東側に短い壁溝が存在し、この壁溝上面から土師器の甕底部が出土しており、5世紀以降に埋没したものと考えられる。

7SI185 (Fig14、写真図版7-15) 7SI180に切られる形で検出された。約5m×約4.6mの平面方形プランを有す。埋土は茶灰色土単一層である。床面からは壁溝、間仕切り溝、炉跡等の付属施設が確認される。炉は浅く窪みのような状態で、土層、床面の状況から使用頻度は少ないと思われる。間仕切り溝はL字状を呈す。東側では約0.6m～1.2mの空間地があり、その空間を2分割するように短い溝が掘られている。住居内を内区と外区に区分し、外区をまた溝で仕切って利用していたと考えられる。出土遺物には布留式系甕などが見られることから7SD100と同時期の古墳時代初頭の所産と判断される。

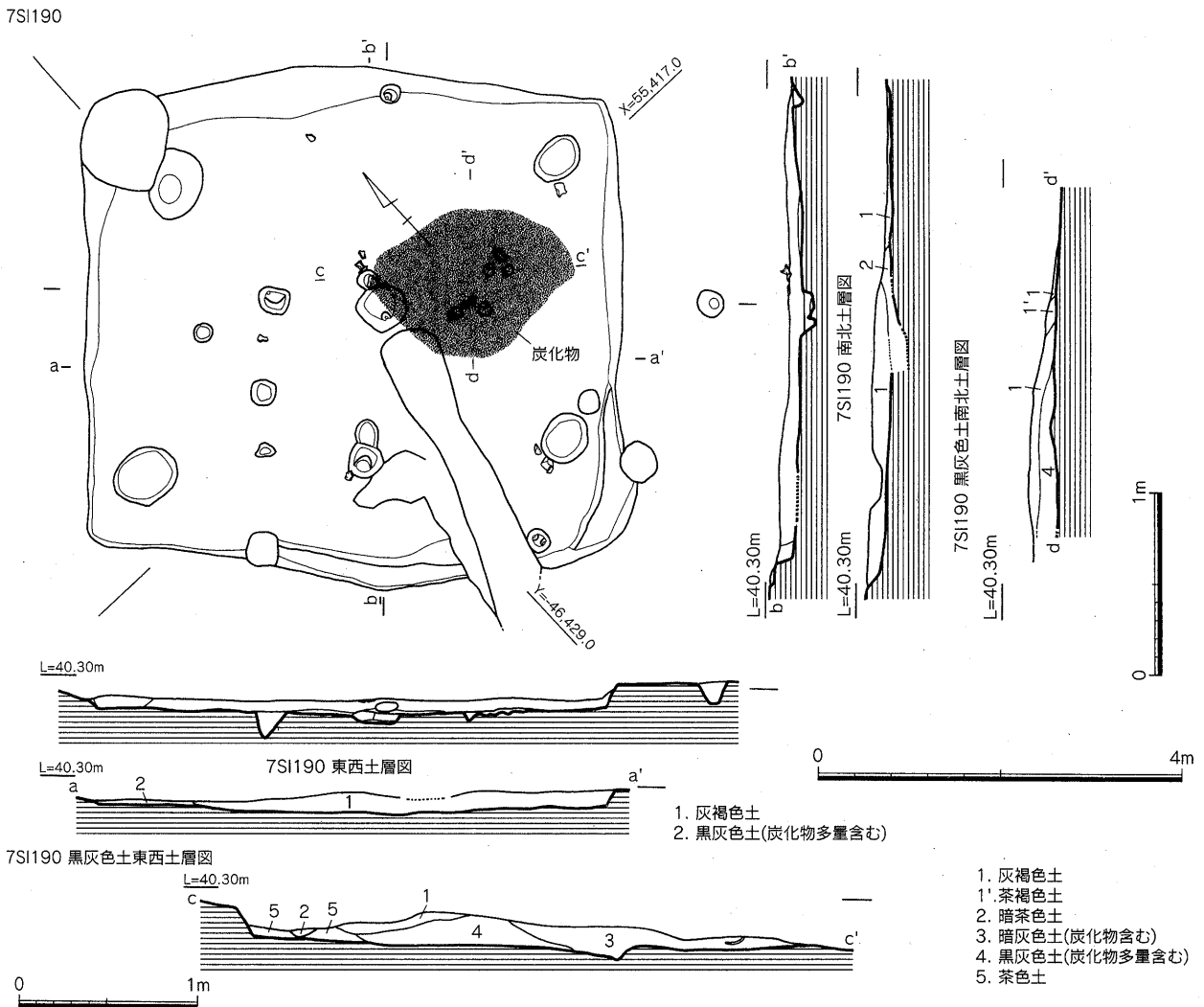
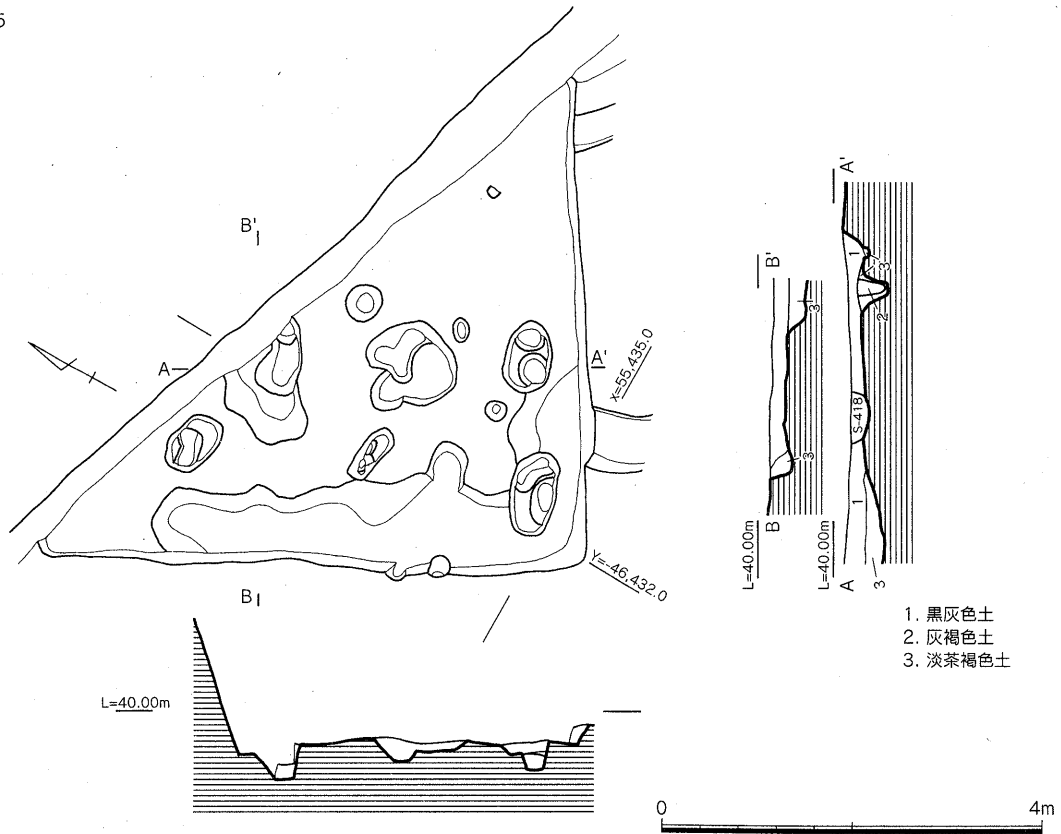


Fig15 7SI190実測図・土層図 (S=1/80)・黒灰色土土層図 (S=1/40)

7SI195



7SI205

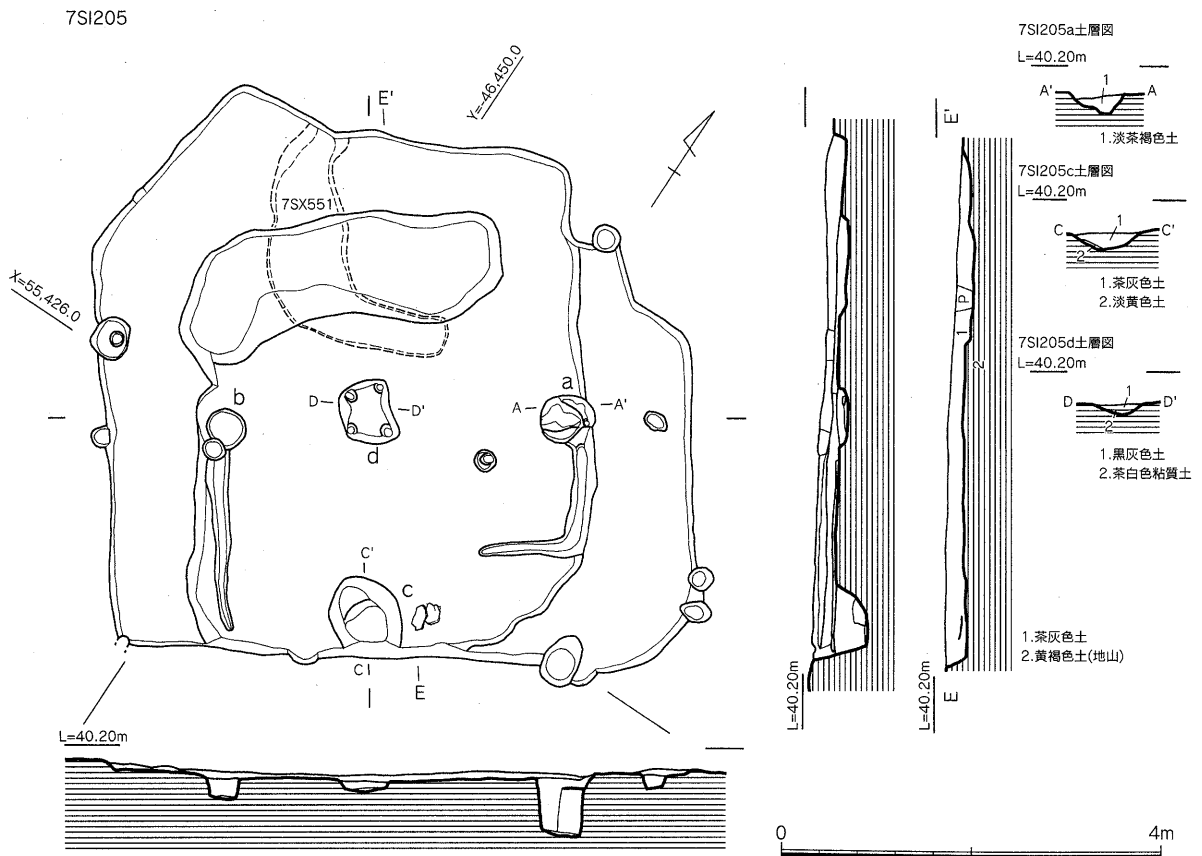


Fig16 7SI195・205実測図・土層図 (S=1/80)

7SI235

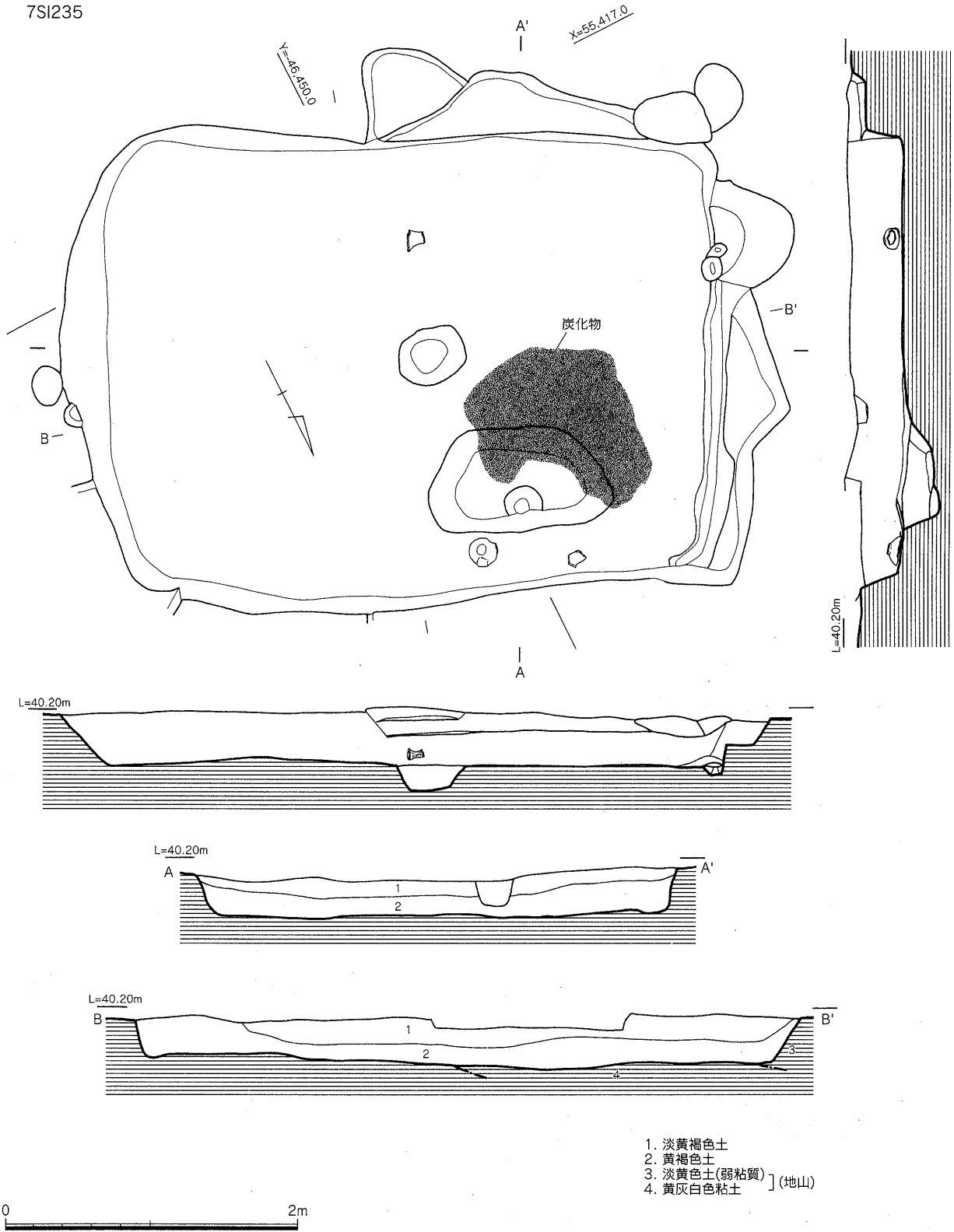


Fig17 7SI235遺構図・土層図 (S=1/40)

7SI190 (Fig15、写真図版8-16) 調査区東側中央で検出され、約5.5m×約5.5mのほぼ正方形プランを有す。貼床は行われておらず、付属施設としては、中央部分に円形の浅い窪みがあり、炭化物を含むことから炉と考えられる。支柱穴と判断されるピットは確認できなかった。

また、炭化物が集中する箇所があり、その部分には棒状のもので突いた痕跡が認められ、床面は被熱で変色している。土層観察から炭化物が確認できるのは一部のみで他の部分では見られない。このことから焼失家屋とは考え難く、住居が廃絶された後の場の利用として注目される。

出土遺物には小型特殊器台、小型丸底壺などが見られ、7SI185同様、7SD100と同時期の古墳時代初頭の所産と考えられる。

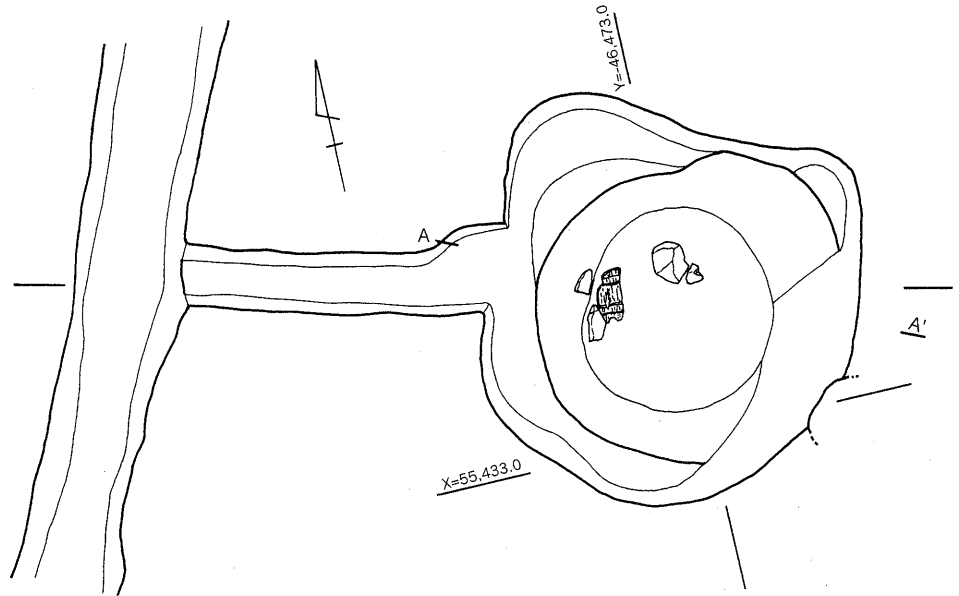
7SI195 (Fig16、写真図版8-17) 調査区の北側、7SI175に隣接した状況で検出され、調査区外へと続く。現状約6m×約5m+ α の方形プランを有す。支柱穴と思われるピットが2基確認でき、恐らく4本柱で構築されたと考えられる。南壁沿いに幅約0.8m程の浅い溝のようなものが見られるが住居に付属するものかは不明である。黒灰色土より手持ちヘラケズリを施された土師器坏、甕などが出土しており6世紀代には埋没していたと考えられる。

7SI205 (Fig16、写真図版9-18) 褐色土、暗灰茶色土などの包含層を除去後、調査区のほぼ中央付近で検出された。規模は約6.1m×約5.5mを測り、一部削平を受けているがほぼ方形プランを呈す。長軸方向に2本の支柱穴を有し、その中間部分に浅いすり鉢状の掘り方をもつ土坑があり、内部四隅には杭痕のようなものが確認された。埋土に炭化物を含むことから炉と考えられる。杭痕の存在から囲炉裏の様な縁があったことも想定される。床面は地山をそのまま利用している。北側と東側、西側にベット状遺構と思われる高まりが存在するが、積み土は行われておらず地山を削りだして構築している。また、ベット状遺構に沿って短い溝が掘られているが、内部に杭や板などの痕跡は確認されなかった。中央北側には幅の広い溝状の窪み(7SX551)が住居床面から検出された。この部分から出土する遺物は弥生後期ものが出土し、住居に先行する遺構の可能性はある。

7SI235 (Fig17、写真図版9-19) 褐色土、暗灰茶色土などの包含層を除去後、調査区中央で検出された。長軸約5m、短軸約3.2mの長方形プランを有する。中央部分に支柱穴と思われるピットが確認される。ピット北西側には1.2m×0.6mの床面から掘り込まれた土坑がある。プラン中央やや北寄りに口縁部から胴部を半分に分かれた壺が底を上にした状態で出土した。一部炭化物が集中する部分がみられ、この厚さ2~3cmの炭化物は住居床面から連続して土坑床面にまで達している。この付近の土壌は褐色化していたが、被熱で変化したか否かは判別できなかった。時期は出土した土器が須玖Ⅱ式に相当することから判断すると弥生中期末から後期初頭の段階に埋没したのと考えられる。

3 井戸

7SE010 (Fig18、写真図版10) 調査区西側で検出された。プランは北辺部がやや膨らみ不整形な方形を呈し、長軸約2.4m、短軸約2.2m、深さ約1.35mを測る。土層堆積状況から水溜め機能があったと考えられる。埋土は大きく砂質土層→ブロック土層→有機質土層→粘質土層→砂質土層の5層に分かれる。12層から6層は自然堆積層であり、5層と6層の境目の不整合面は掘り返しによるものと考えられる。平面プランの北辺の乱れはこの状況に対応する現象とも考えられる。また、15層と12~14層の部分の不整合は、15層が裏込め土層と考えられることから井戸枠は後時的に抜き取られた可能性がある。埋土中より出土する木片にはいずれも加工痕は認められないが土層の状況から内部に施設があったと推測できる。遺物の多くは有機質土層(8~12層)から出土しており、土師器小皿b、瓦質土器播鉢、漆器破片などが見られる。小皿bが出土していることから、13世紀後半から14世紀前半の段階に7SE010の埋没



7SE010

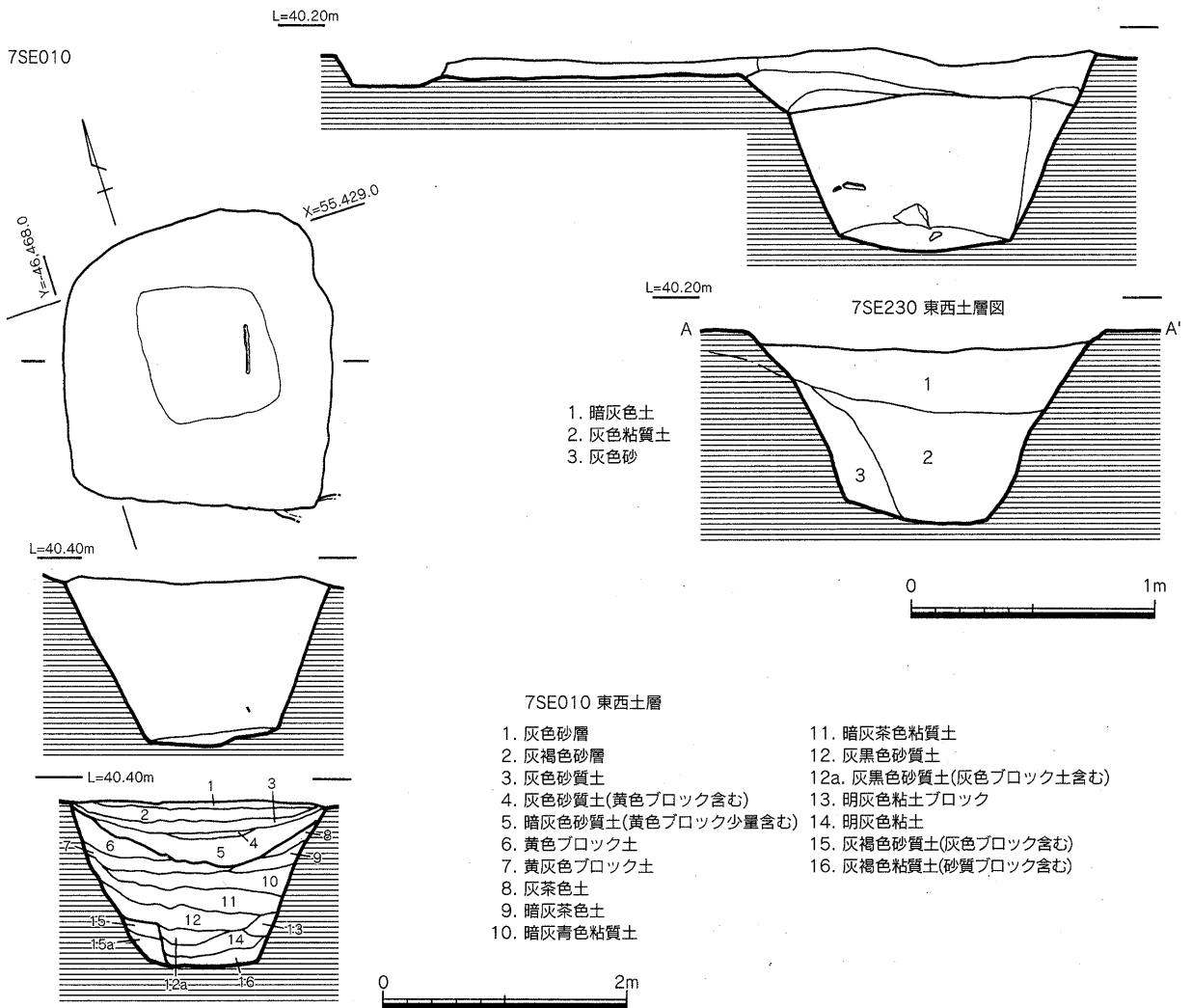


Fig18 7SE010 (S=1/60) · 230 (S=1/30) 実測図・土層図

が始まったと考えられる。

7SE230 (Fig18、写真図版11-22) 調査区の西側で検出され、約1.5m×約1.5mの隅丸方形を有し、深さ約0.8mを測る。埋土は砂質土層、粘質土層、砂層に分けられる。遺物は粘質土層から下駄が出土している。7SE230は7SD005と連結しており、その構造から、7SD005から流れる水を7SE230に溜めていたと考えられ、7SE230は農業用水用の溜め井の機能を果たしていたと思われる。

灰色粘質土から上田分類の龍泉窯系青磁碗D類が出土しており15世紀代には埋没していたと判断される。

4 溝状遺構

7SD002 (Fig4) 調査区中央で確認され、長さ約10m、幅約0.5～1.1m、深さ約5～10cmを測る。埋土はほぼ灰色土単一層である。近世、近代の遺物を含む7SD003と埋土が類似することから近世以降の所産と考えられる。

7SD003 (Fig4) 調査区中央、7SD002に平行して検出される。長さ約14.4m、幅約1.2～1.5m、深さ約5～10cmを測る。埋土は7SD002同様、灰色土単一層である。肥前系磁器の端反碗が出土しており近世末以降の所産と考えられる。

7SD005 (Fig4, 20) 調査区中央から西側にかけて検出され、L字状を呈す。深さは約5cm～20cm程しか無く、上面は削平を受けている。埋土は大きく灰色砂、黒灰色砂質土、シルト質土に分けられ、堆積状況から水の流れがあったことが窺える。土地の区割りを目的としたものと思われるが、調査区の西側で7SE230と連結していることから排水等の機能も有していたと考えられる。出土遺物中に土師質の播り鉢が見られることから中世の段階のものと思われる。

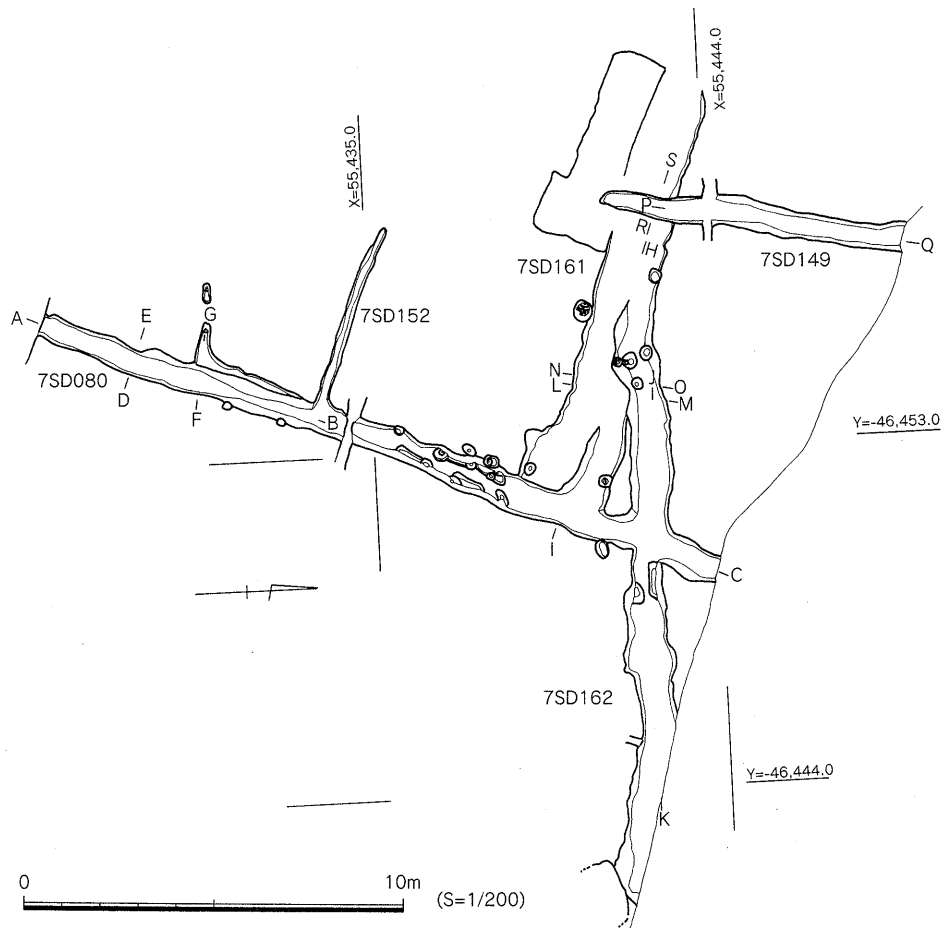
7SD080 (Fig19、写真図版11-23) 調査区ほぼ中央を南から北へと縦断する溝である。途中7SD161、162と合流する。幅約0.7m、深さ約0.1～0.4mを測る。埋土は、褐色土、暗灰色土、淡灰色土からなる自然堆積層であるが、一部5層から9層にかけて不整合な堆積を示す。溝底面が所々バウンドしており、また、抉れたような痕跡が確認できることから水流があったと考えられる。南から北に向かって床面レベルは低くなっていることから水流の方向も南から北へと流れていたと推測される。16世紀代に比定される7SD161、162と類似した埋土を呈すことから同時期と考えられる。

7SD105 (Fig21) 7SD100南側で確認され、隣接する6次調査区へと続いていく。幅約2m、深さ約0.1～0.4mを測る。埋土は南から北への流れ込みの状況を示し、北側では立ち上がりが不明瞭となる。水流の痕跡は無く、土地区画的な機能を有していたと考えられる。7SK045、075との関係から古墳時代初頭以前には埋没している。

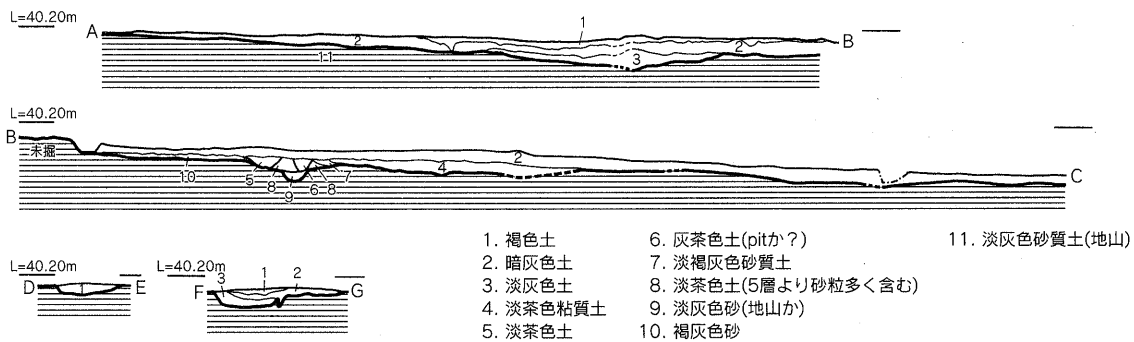
7SD149 (Fig19) 調査区北側の7SD161の下位で検出される幅約0.5～0.7m、深さ約0.1mの溝である。7SD161との切り合い関係から16世紀代には埋没していたと考えられる。

7SD152 (Fig19) 7SD080から分岐するような状況で検出された幅約0.2m、深さ約0.15mの溝である。

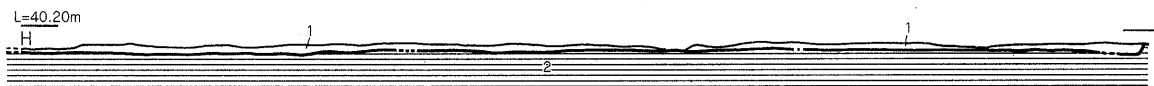
7SD161・162 (Fig19、写真図版12) 調査区の北西部分で確認した。検出状況より7SD162は7SD161から分岐したものであり、また、7SD080とも平面での土層観察上差異が認められないことからこれらの溝群は一連のものと考えられる。7SD162の溝底面には7SD080と同じような水流の痕跡を確認できる。7SD161は他の溝に比べ深さが浅く、幅も広い。埋土や溝底面から水流の痕跡なども見られない。これらの溝群は水田耕作に伴う水利施設の可能性が高く、7SD080、162は取水、排水機能を有し、7SD161は水流の速度、温度を調節するための一種の水溜場のようなものとも考えられる。7SD162暗灰茶色土中より白磁皿(森田E群)が出土しており、16世紀代には埋没していたと推測される。



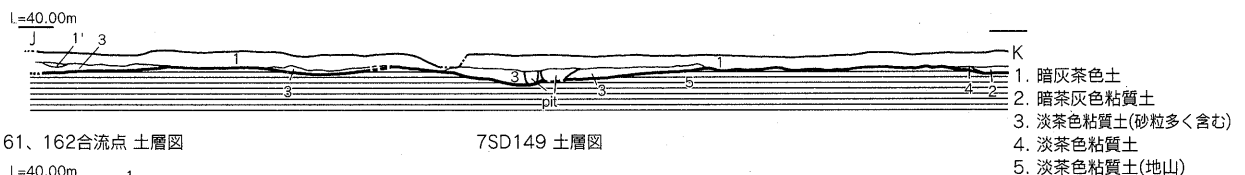
7SD080 土層図



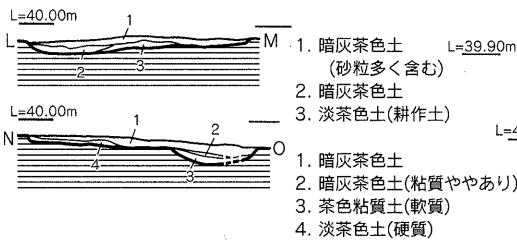
7SD161 土層図



7SD162 土層図



7SD161、162合流点 土層図



7SD149 土層図

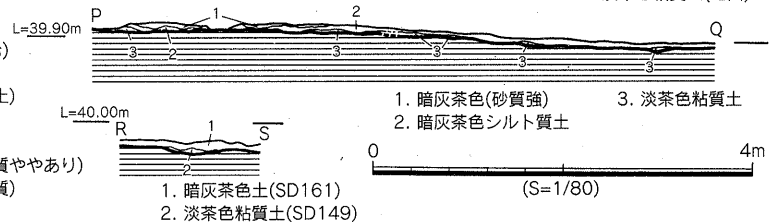


Fig19 7SD080・149・152・161・162実測図 (S=1/200) ・土層図 (S=1/80)

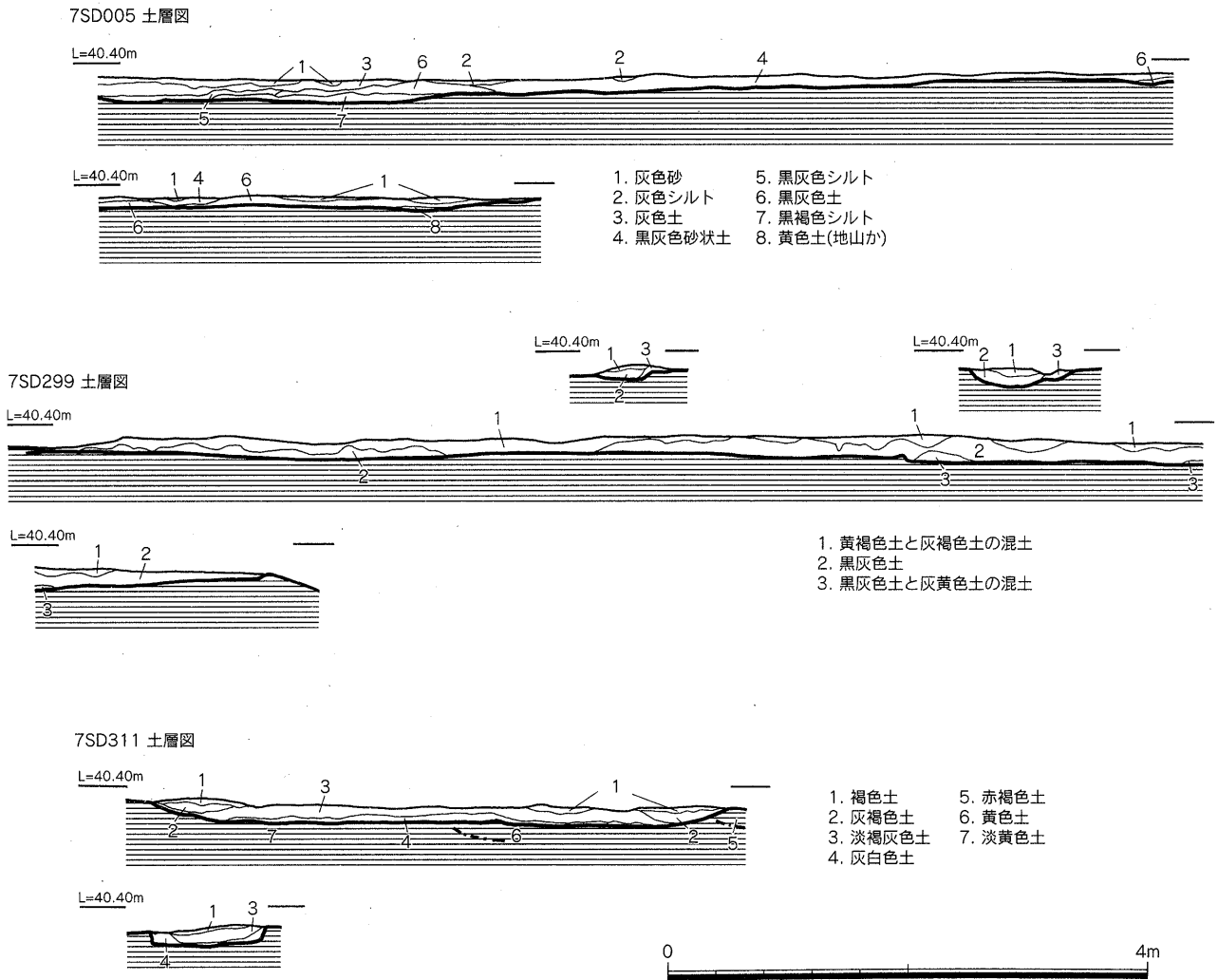


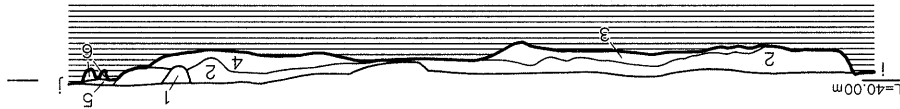
Fig20 7SD005・299・311土層図 (S=1/60)

7SD299 (Fig4, 20) 調査区東側で検出した南北溝で、長さ約12.4m、幅約1~1.2m、深さ0.1~0.2mを測る。埋土は3層からなり、最上層の黄褐色土には耕作痕が確認される。水の流れを示す痕跡は観察されなかった。褐色土より土師器小皿bが出土しており13世紀後半には埋没していたと考えられる。

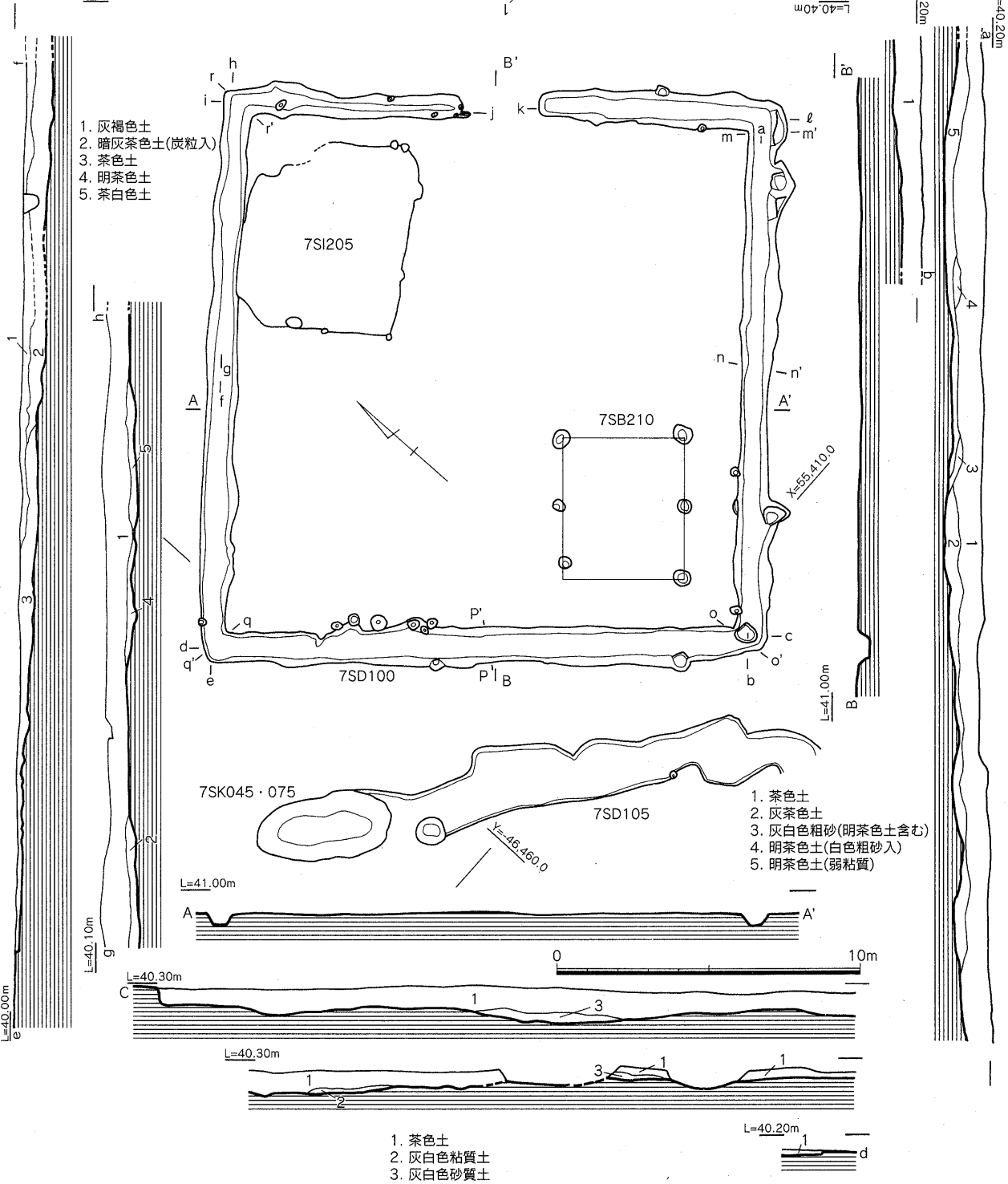
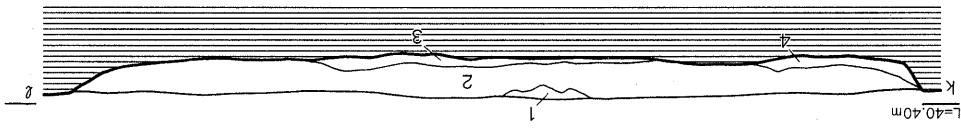
7SD309 (Fig4, 20) 調査区南側で検出された長さ約6m、幅約0.8+ α を測る東西溝である。埋土の状況は7SD311と酷似しており、配置状況からも同一遺構の可能性が高い。出土遺物は微量だが、中に須恵器蓋破片が含まれる。

7SD311 (Fig4, 20) 長さ約5m、幅約1m、深さ約0.1~0.2mを測る東西溝で、調査区の南側で検出された。溝の両際に有機質土壌が認められ、浅く自然堆積の様相を示している。別遺構等の可能性もあるが、上面がかなりの削平を受けていることから不明である。土層からは水流の痕跡は確認できなかった。

- 1. 暗灰色土(Pit)
- 2. 茶色土
- 3. 灰茶色土
- 4. 明茶色土
- 5. 黄褐色土
- 6. 灰褐色土



- 1. 茶灰色土
- 2. 茶色土
- 3. 淡茶色土(砂粒状含む)
- 4. 明茶色土



- 1. 灰褐色土
- 2. 暗灰茶色土(炭粒入)
- 3. 茶色土
- 4. 明茶色土
- 5. 茶白色土

- 1. 茶色土
- 2. 灰茶色土
- 3. 灰白色粗砂(明茶色土含む)
- 4. 明茶色土(白色粗砂入)
- 5. 明茶色土(弱粘質)

※遺構図はS=1/200、土層図はS=1/80

Fig21 7SD100・105実測図 (S=1/200) 土層図 (S=1/80)

た。灰白色土より土師器坏dが出土しており8世紀後半頃に構築された可能性が高い。

5 方形区画溝

7SD100 (Fig21~23、写真図版13~15) 調査区のほぼ中央に位置し、調査初期の段階で一部は認識されていたが、古代、中世の遺構面の暗灰茶色土、褐色土を除去後に検出した結果、平面方形を呈す溝状遺構であることが判明した。1辺の長さは南北18m、東西18.5mと近似値を示し規格性が強く、溝幅は1~1.5m、深さは0.5~0.6mを測り、断面U字形ないし逆台形を呈している。検出面から溝床面までの深さは南から北へと低くなっている。南辺溝は他の部分より深さが浅く、丘陵地という地形の制約を受けたと思われる。北辺のほぼ中央部に出入口と考えられる地山を掘り残したままの陸橋部が存在し、西溝の先端には一部細い溝が突出しており、内部には杭跡のような小ピットが確認された。何らかの出入に係わる施設が想定されるが対となるものが認められないため不明である。溝周辺には柵列、塀など周囲との隔絶性を示す遺構は検出されなかった。区画溝内部の南東隅には、主軸をほぼ同じにとる2間×1間の掘立柱建物跡(7SB210)が1棟確認されている。溝埋土は大きく茶色土、明茶色土の2層の自然堆積層からなり、掘り返しなどの不整合面は認められない。土器の多くは上層の茶色土層から出土している。このことは、土器の廃棄は区画溝が埋没する過程で行われたことを示している。傾向として東辺溝からは高坏、小型丸底壺等の精製器種、西辺溝からは甕等の雑器類が主として出土している。南辺溝部分では甕2個体、大型二重口縁壺1個体、高坏1個体がまとまって出土している。甕2個体は布留系のものでほぼ完形に近く、口縁部を斜上方に向け横方向に寝かせたような状態で、その上には大型の二重口縁壺が半裁されたように横向きに潰れていた。この付近の埋土には炭化物が多く含まれており、床面に近い部分は炭が堆積している状況であった。出土した土器にも熱を受けた痕跡がみられることから、火を使用した何らかの行為が行われたものと考えられる。この出土状況からこれら土器群の一括性が指摘される。

埋土(茶色土層)から出土する土器の器種には、甕、高坏、坏、小型丸底壺がみられ、特に高坏、坏、小型丸底壺に関しては胎土、焼成ともに良好で、ミガキ調整、暗文が施されているものも存在し、丁寧な作りである。時期は布留式中相段階と考えられる。土器の廃棄についてはこの溝自体は後述の7SK045や7SK075、7SK403、7SK404の様な一括多量投棄の場とは量的なまとまりを持たない点で異なっている。

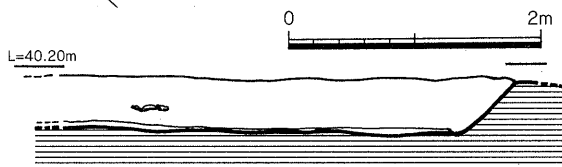
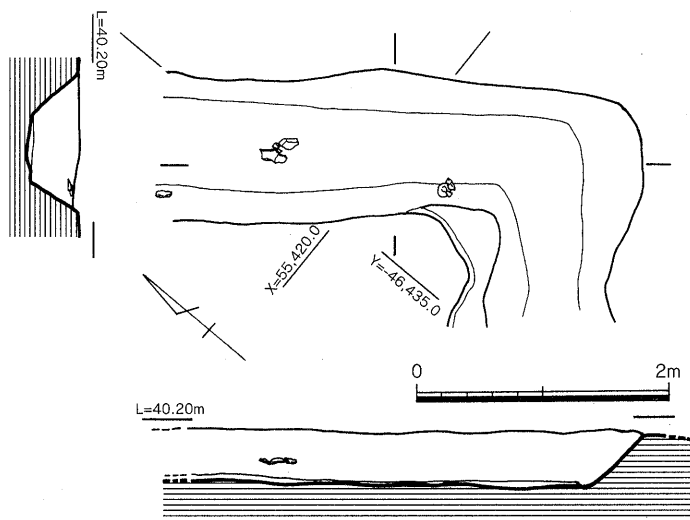
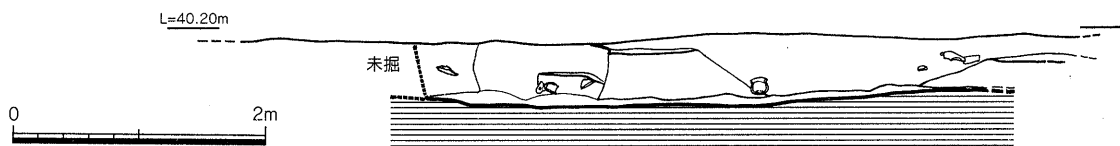
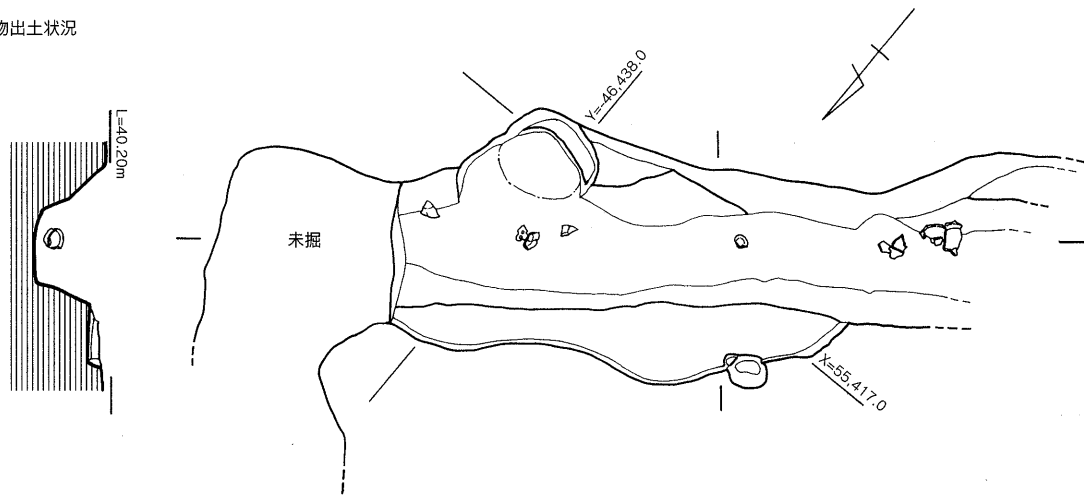
6 土坑

7SK001 (Fig25) 7SK045・075の南側で検出。長辺約1.2m、短辺約0.7m、深さ約0.3mを測り、平面形は整った長方形を呈す。壁は直線的に立ち上がり、床面もフラットである。埋土は8層からなり、南からの流れ込み堆積の状況を示す。遺物は下位の暗茶色粘土層より土師器の小皿(糸切り)が出土しており12世紀中頃以降の所産か。

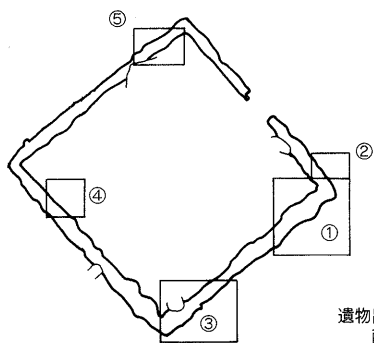
7SK007 (Fig25) 調査区の中央、西寄り部分で検出。長辺約1.2m、短辺約1m、深さ約0.4mを測り、平面楕円形を呈す。幅約0.3mのテラス部分を残して段掘りを行っている。埋土は3層からなり、炭化物を含む柱痕のような掘り込みが確認される。弥生土器と思われる土器破片が出土しているが時期は不明である。

7SK020 (Fig25) 調査区の中央西寄り、7SK007の北側で検出。長軸約1.5m、短軸約1.3m、深さ約0.6mを測り、平面形はほぼ円形を呈す。土層観察から柱痕跡(1層)が確認されるが、柱痕とすると一旦地山まで掘り、そこから土を入れ(2~4層)、柱を据えたこととなる。また2~4層からは人為的痕跡

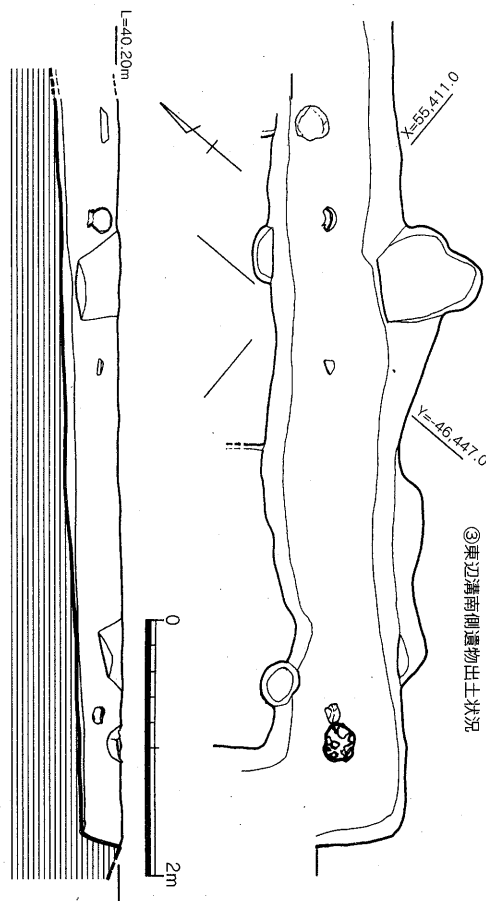
①東辺溝遺物出土状況



②北辺溝北東コーナー部遺物出土状況



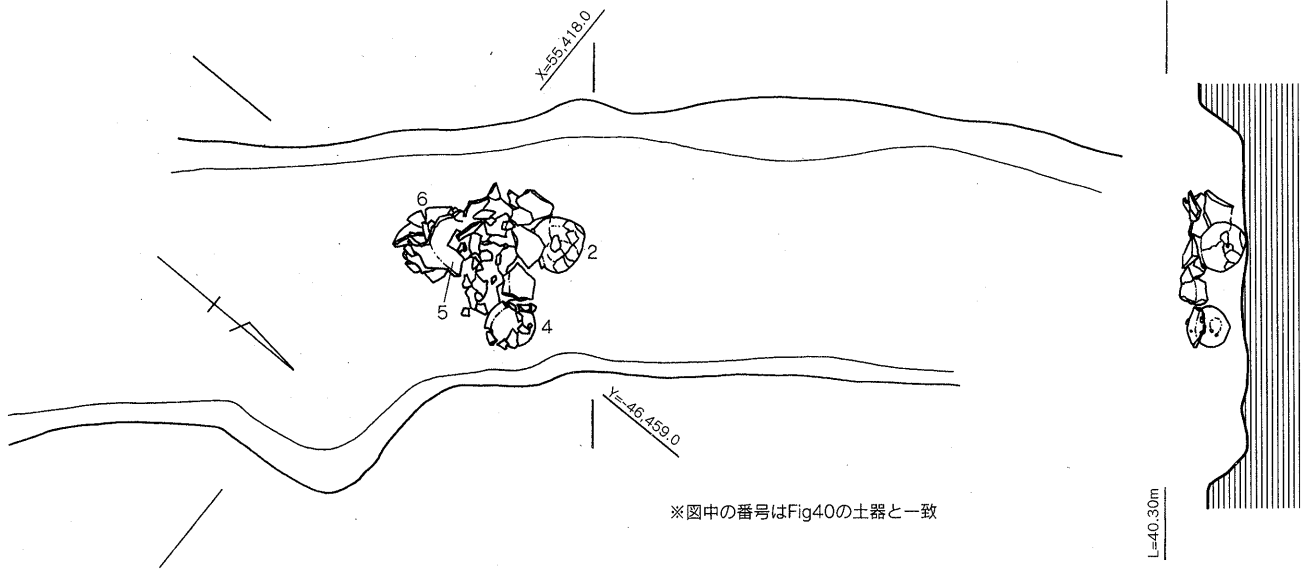
遺物出土状況図
配置図



③東辺溝南側遺物出土状況

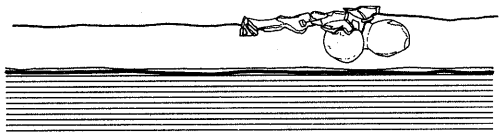
Fig22 7SD100遺物出土状況実測図 (S=1/60)

④南辺溝遺物出土状況

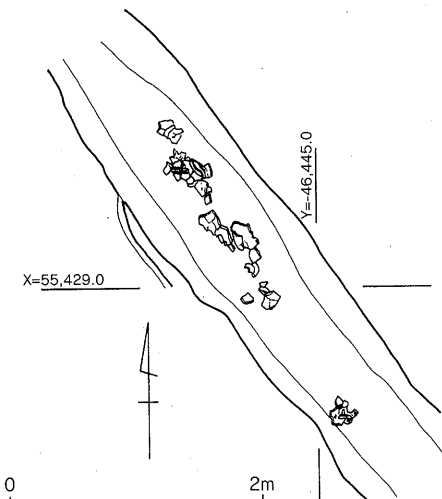


※図中の番号はFig40の土器と一致

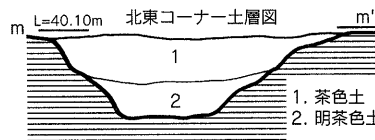
L=40.30m



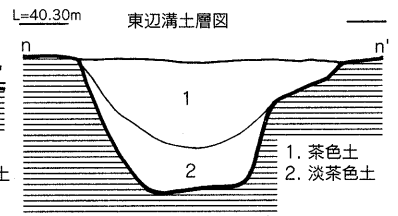
0 1m (S=1/30)



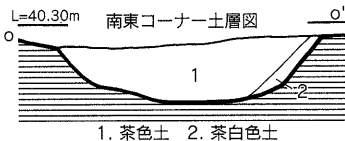
⑤西辺溝遺物出土状況 (S=1/60)



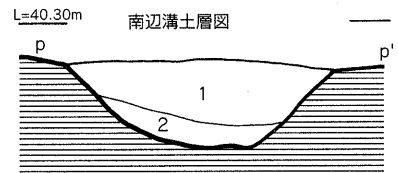
1. 茶色土
2. 明茶色土



1. 茶色土
2. 淡茶色土



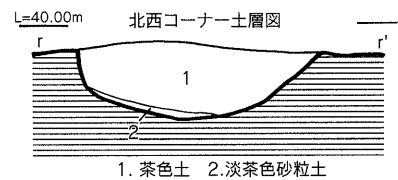
1. 茶色土 2. 茶白色土



1. 茶色土 2. 灰茶色土



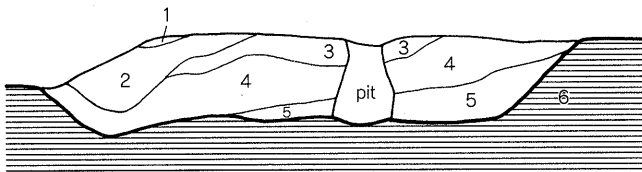
1. 茶色土 2. 灰白色砂質土(硬質)



1. 茶色土 2. 淡茶色砂粒土

L=40.60m

7SD105土層図

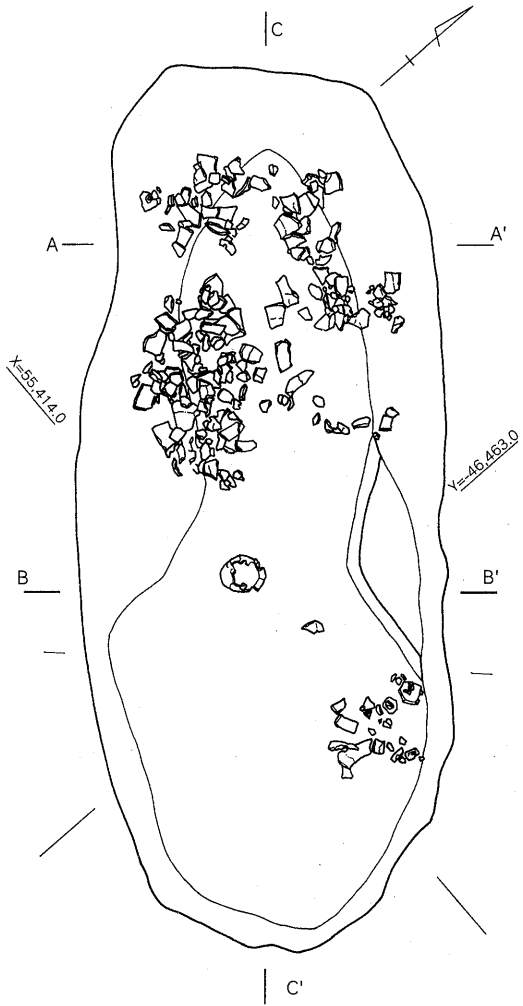
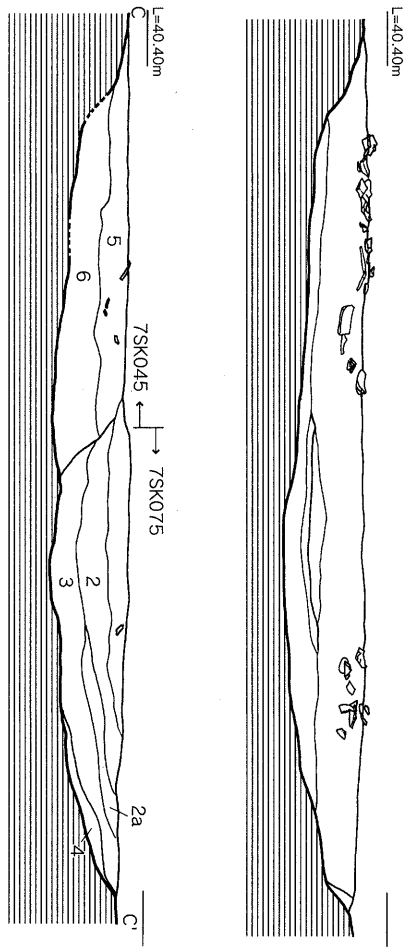


1. 灰色砂質土 2. 明茶色土 3. 茶色土 4. 暗茶色土 5. 黄色土(粘質あり) 6. 黄色土 } 地山

0 1m (S=1/30)

Fig23 7SD100遺物出土状況実測図・土層図 (⑤はS=1/60、他は1/30)

7SK045・075



- 1. 淡灰褐色砂質土 [S-75]
- 2. 暗茶灰色土 「〃」
- 2a. 淡茶灰色土 「〃」
- 3. 黄灰色土 「〃」
- 4. 暗黄色土(地山) 「〃」
- 5. 暗茶灰色土 [S-45]
- 6. 黄灰色土(炭化物少量含む) 「〃」

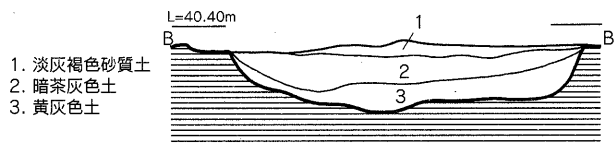
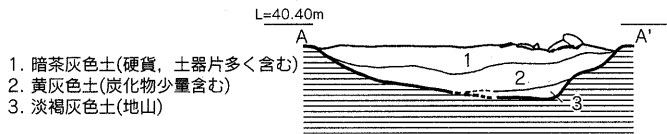
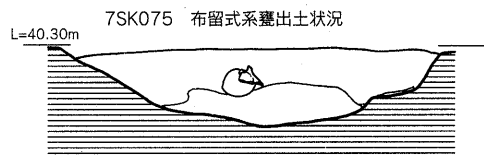


Fig24 7SK045・075実測図・土層図 (S=1/40)

は看取されず、自然堆積層と考えられる。これらのことから1層は別遺構の可能性が高い。褐灰色土より中世後半期の播り鉢が出土している。

7SK044 (Fig25) 7SD100を掘り込む状況で調査区の中央南寄り付近で検出した。径約0.4mの円形プランを有し、深さ約0.2mを測る。

7SK045・075 (Fig24、写真図版16) 7SD100の南西部分に並行するような形で構築されている。長辺4.55m、短辺1mの細長い楕円形を呈すもので、深さは検出面から約0.4mを測る。土層の堆積状況は7SK045、075ともに自然堆積の様相を呈しており、7SK075は7SK045の掘り返しと考えられる。調査当初は一つの遺構として掘り下げたが土層観察の時点で新旧関係が判明し、それ以降の確実な遺物のみ7SK045として取り上げた。遺物の多くは暗茶灰色土層からすべて破片で出土し、特に甕等の日常雑器類が多い。床面や最初に堆積した黄灰色土層からの遺物の出土は皆無に等しく、このことは、7SK045、075が一義的に土器の廃棄を目的として築かれたのでは無く、埋没していく過程で土器片が混じたことを示す。目的は不明であるが、7SD100とほぼ同じ時期に埋没していることや、位置や形状から両者間に有機的関係が存在すると思われる。

7SK085 (Fig25) 調査区の中央、南寄りで検出。長辺約1.2m、短辺約0.6mの長方形プランを有し、深さは約0.3mを測る。東側に幅約0.1m程の平坦部が見られる。

7SK110 (Fig25) 7SE010の東側で検出。長辺約1.4m、短辺約1.2mの方形を呈し、深さは約0.3mを測る。上面は削平されており、壁面は緩やかな直線を描く。埋土(第3層)には人為的に埋めたような状況が見られる。地盤は粘質土で保水性が高いことから7SE010同様溜め井の機能があったと考えられる。埋土中より須恵器坏cと思われる破片が出土しており8世紀以降の所産と考えられる。

7SK128 (Fig25) 調査区中央で検出。平面長方形で、長辺約1.2m、短辺0.5m、深さ約0.15mを測る。

7SK145 (Fig25、写真図版17) 7SI175の西側で検出。長軸約2.2m、短軸約1.8mの平面隅丸方形を呈し、深さは約0.3mを測る。壁面は緩やかに立ち上がり、床面はフラットである。埋土は3層からなり、最上層からは土師器の小皿aが出土しており12世紀中頃には埋没していたと考えられる。また、出土遺物中には鉾滓が1点含まれている。

7SK150 (Fig26、写真図版18) 調査区の南端、7SI155の南側で検出。長辺約1.4m、短辺約1mの楕円形を呈し、深さは約0.5mを測る。土層観察から掘り返し痕が認められ、その中から脚部が意図的に打ち割られた高坏脚、庄内式系甕胴部が投げ込まれたような状況で出土した。布留式古相段階のものか。

7SK173 (Fig25) 調査区中央北側部分で検出。暗灰茶色土から掘り込まれており、長辺約1.2m、短辺約0.8mの楕円形を呈す。深さは約0.2mを測る。床面からピットが確認されたが7SK173に伴うものは不明である。遺物には6世紀代の須恵器が含まれるが、埋土の特徴が7SD161、162と類似しており、埋没時期は中世後半期まで下る可能性がある。

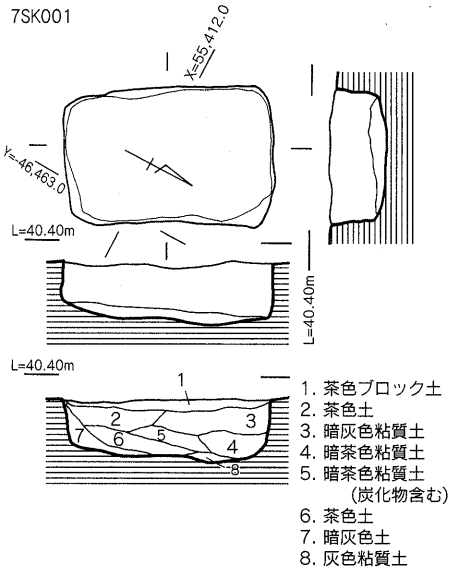
7SK219 (Fig25) 調査区の中央部分で検出。長辺約1m、短辺約0.5mの楕円形を呈す。深さは約0.2mを測り、西側に幅約0.2mの平坦部を有す。

7SK256 (Fig26) 調査区中央北側部分で検出。長辺約1.6m、短辺約1mの楕円形を呈す。深さは約0.1mと上面はかなり削平されている。床面からは小ピットが確認された。埋土より須恵器の坏蓋4が出土していることから奈良時代後半以降の所産と考えられる。

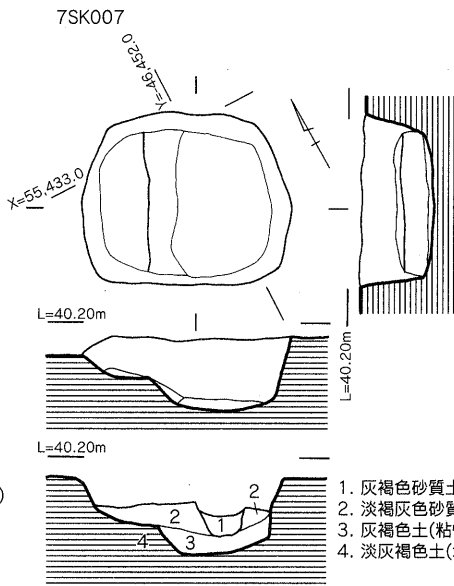
7SK274 (Fig26) 調査区中央北端部分で7SD162を切った状況で検出した。長辺約2m、短辺約1.4mの楕円形を有し、深さ約0.4mを測る。断面は播り鉢状を呈す。埋土は多量のブロックを含むことから人為的に埋め戻したと考えられる。遺物には国産陶器が見られることから近世以降のものと思われる。

7SK367 (Fig26) 調査区東側中央部分で、住居群に囲まれるような状況で検出。埋土は住居群と類

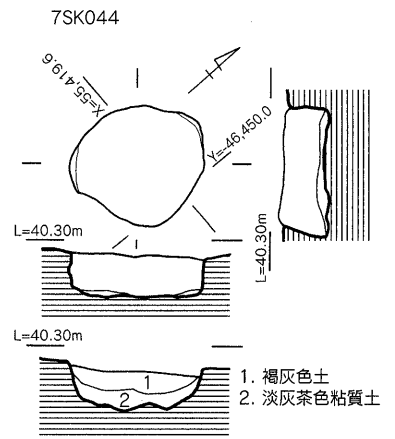
7SK001



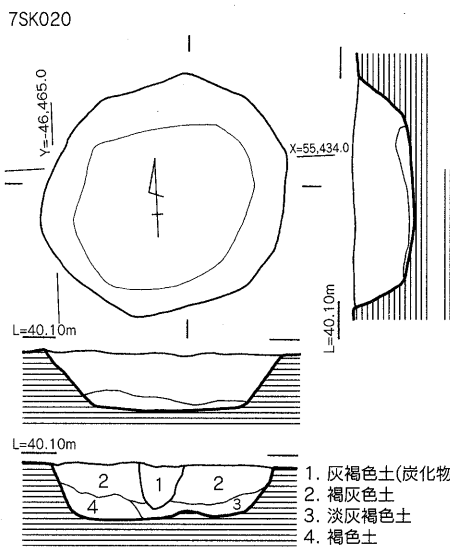
7SK007



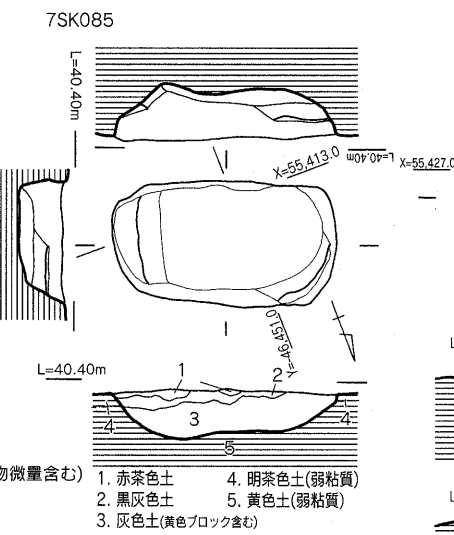
7SK044



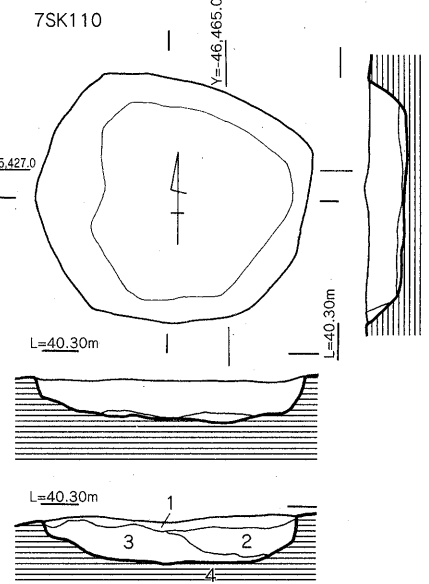
7SK020



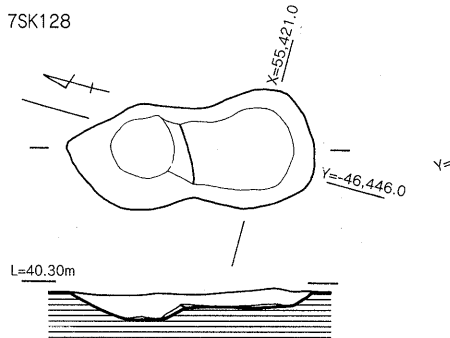
7SK085



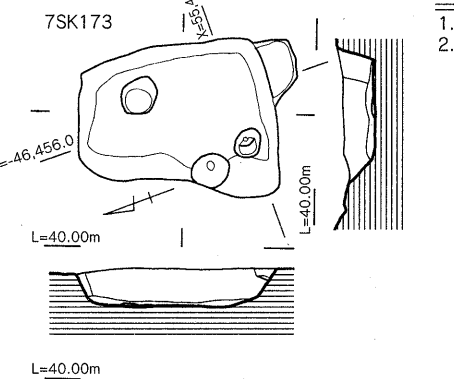
7SK110



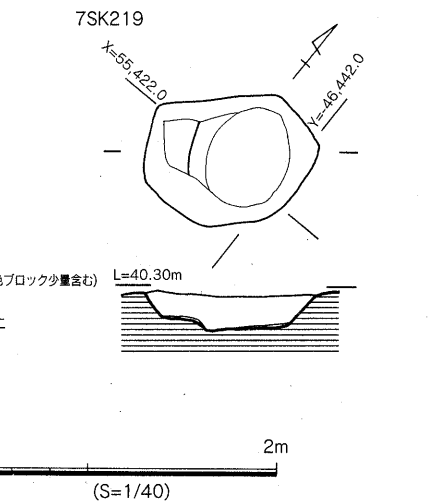
7SK128



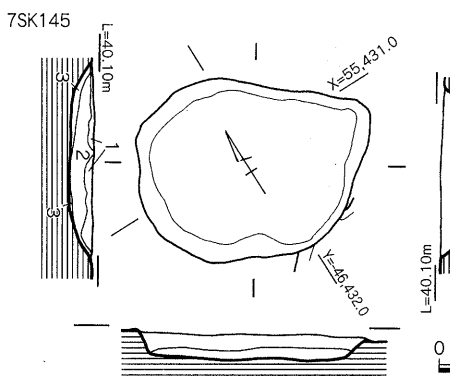
7SK173



7SK219



7SK145



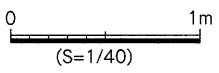
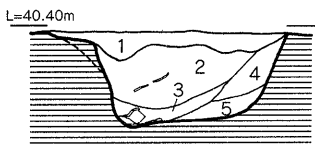
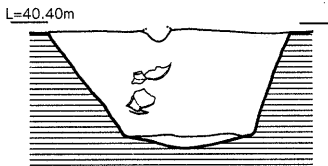
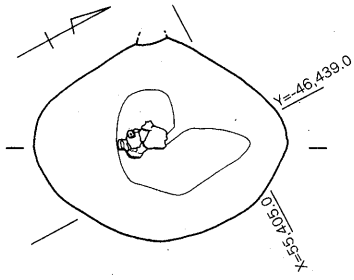
0 2m (S=1/80)

0 2m (S=1/40)

7SK145のみS=1/80, 他はS=1/40

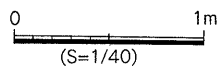
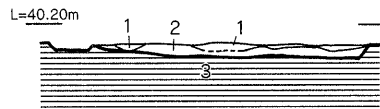
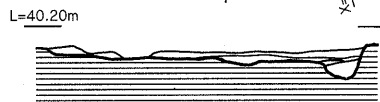
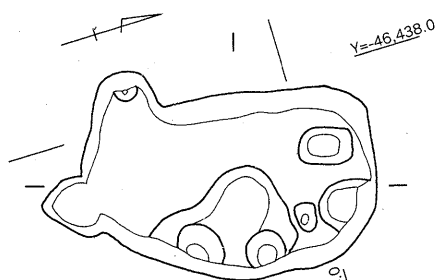
Fig25 7SK001・007・020・044・085・110・128・145・173・219実測図・土層図 (S=1/40・145は1/80)

7SK150



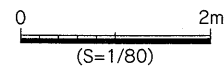
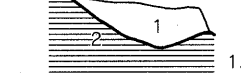
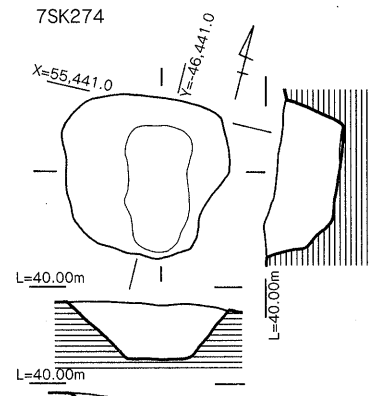
1. 灰褐色土
2. 茶色土
3. 淡茶色土
4. 褐灰色土
5. 褐灰色砂層

7SK256



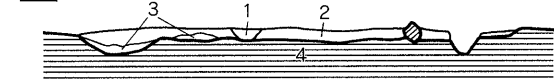
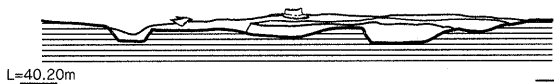
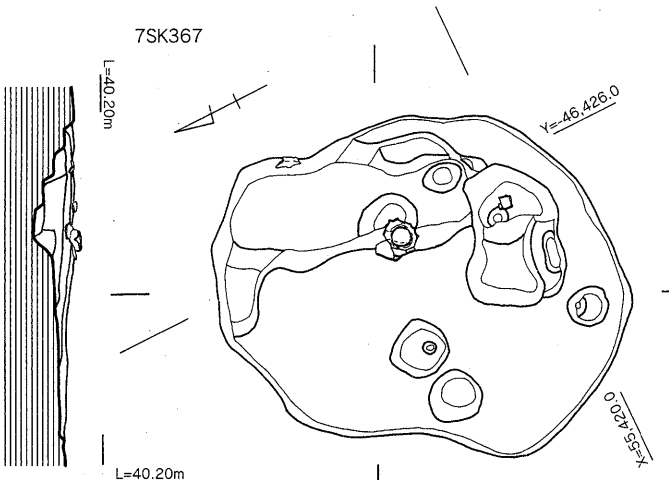
1. 褐色土
2. 灰色砂質土
3. 淡茶色土(地山)

7SK274



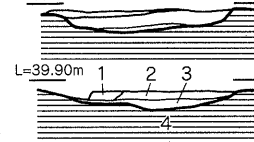
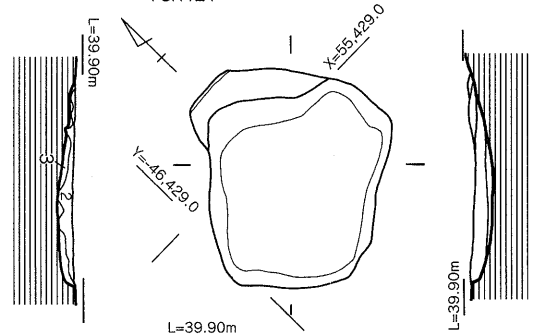
1. 灰色ブロック土
2. 茶色土

7SK367



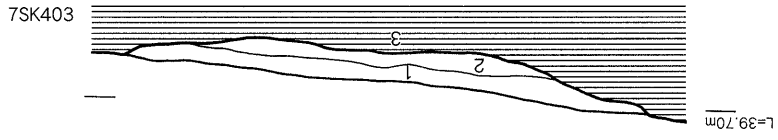
1. 黄色ブロック土
2. 淡茶色土
3. 黄灰色土
4. 黄色土(地山)

7SK421

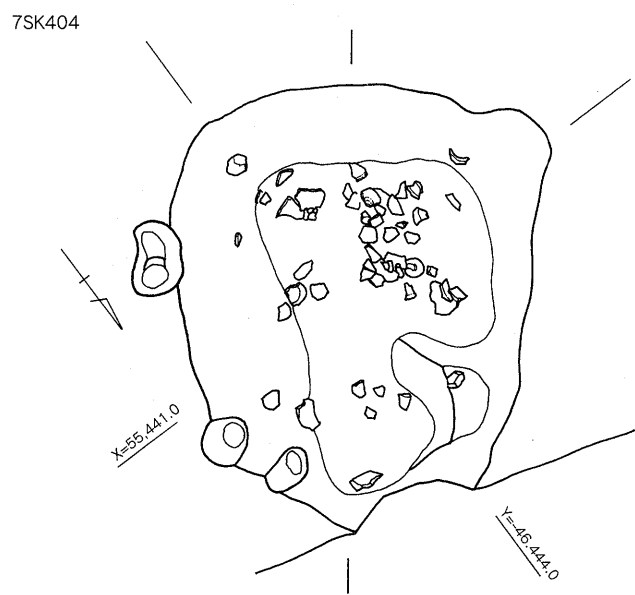
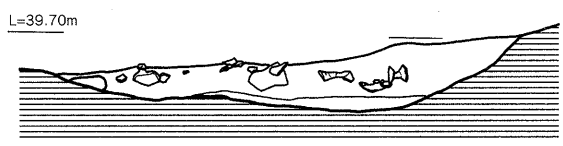
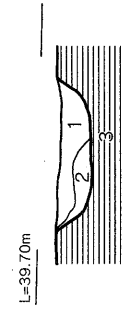
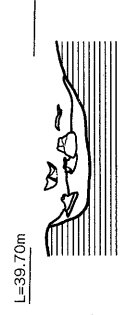
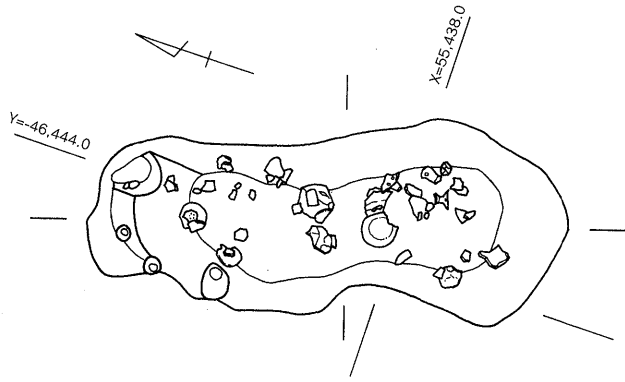


1. 暗茶灰色土(焼土ブロック, 炭化物含む)
2. 黒灰色土(炭化物含む)
3. 淡茶色土
4. 淡茶色土(地山)

Fig26 7SK150・256・274・367・421実測図・土層図 (S=1/40・274、421は1/80)



- 1. 黒褐色土
- 2. 淡黒褐色土
- 3. 赤褐色粘土(地山)



- 1. 茶黑色土
- 2. 黒褐色土
- 3. 淡黒褐色土
- 4. 赤褐色粘土(地山)

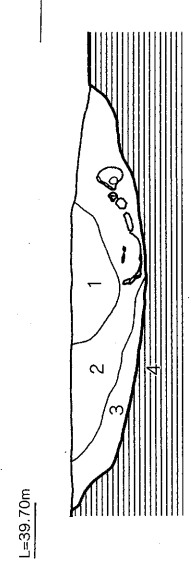
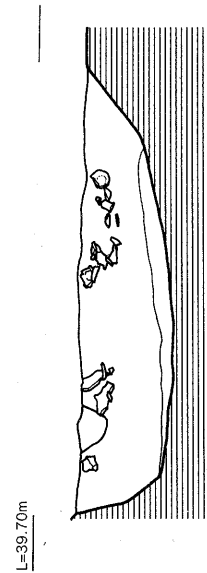


Fig27 7SK403・404実測図・土層図 (S=1/40)

似していた。長辺約2.2m、短辺約2mの楕円形を呈す。上面はかなりの削平を受けており、深さは約0.05～0.1m程である。中央部分で庄内式系の二重口縁壺が頸部を上に向けた状態で出土した。時期や配置の状況から住居群（7SI185、7SI190）に付随する施設と考えられる。

7SK403 (Fig27、写真図版19) 暗灰茶色土層を除去した後、調査区北側中央部分で検出された。長辺約2.55m、短辺約0.9mの細い楕円形を呈すもので、検出面からの深さは0.3～0.4mを測る。埋土は2層に分層でき、遺物の多くは黒褐色土より破片の状態で出土した。遺物はすべて床面から浮いた状態で、レンズ状に出土しており、埋没していく過程で土器の廃棄を行っていると考えられる。出土遺物には、布留式系の甕片、山陰系の二重口縁壺片、器台片、高坏片などがみられ、その中で、高坏の破片が多く出土していることが特徴的である。

7SK404 (Fig27、写真図版19) 7SK403同様に暗灰茶色土層を除去した後、7SK403の北側に隣接した位置で検出した。長軸約2.2m、短軸約1.9mの隅丸方形を呈すもので、深さは検出面より0.4mを測る。土層の堆積状況は、レンズ状で自然堆積の様相を呈し、土器も床面より浮いた状態で堆積土と同じようにレンズ状に出土している。出土遺物には布留式系甕片、庄内式系甕片、器台片、小型丸底壺、高坏など多彩である。

7SK421 (Fig26) 7SI175の埋土を除去後に検出。長軸約1.2m、短軸約1mの長方形を有す。深さは約0.1mを測り、断面は浅いレンズ状を呈す。埋土中に焼土、炭化物が含まれており7SI175の付属施設(炉跡など)の可能性もある。

7 焼土坑

検出された焼土坑すべてに共通することとして、壁面が酸化、還元化している、床面に小ピット群が確認できる、炭化物が堆積しているなどが挙げられる。7SK125、7SK238に関しては炭化物が多量に出土したことから埋土をすべて採集し洗浄後、磁石を使って鍛造剥片など鉄生産に関する遺物を探したが確認されなかった。このことから鉄生産遺構の可能性は低いと思われる。また埋土中からは骨片なども見られないことから火葬墓とする根拠も薄くその目的は不明である。出土遺物に須恵器甕の破片がみられるが周辺に須恵器甕破片を多く含む暗灰茶色土が堆積していることから、埋没過程での流入と考えられる。包含層との切り合いも無いことから時期は不明である。

7SK060 (Fig29) 調査区中央南側で検出。径0.8mの円形を呈し、深さは約0.1m程で、上面かなりの削平を受けており西側壁面の立ち上がりは不明瞭である。埋土は炭化物を多く含んでいるが焼土は見られない。遺物はすべて細片のため時期は不明である。

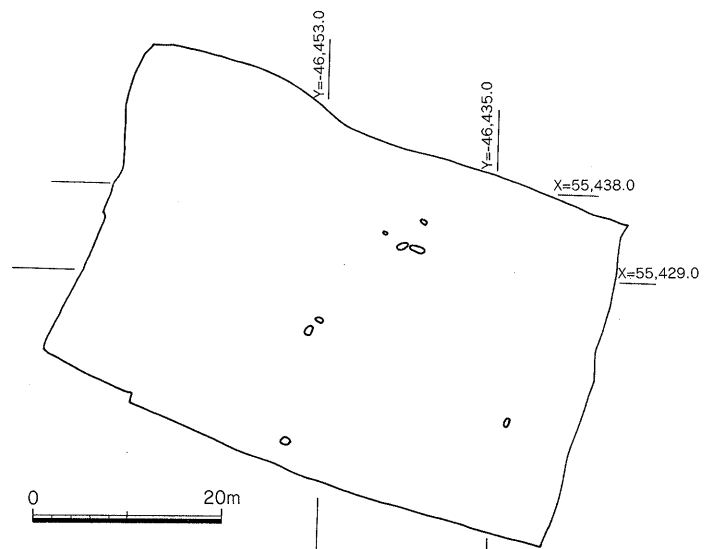
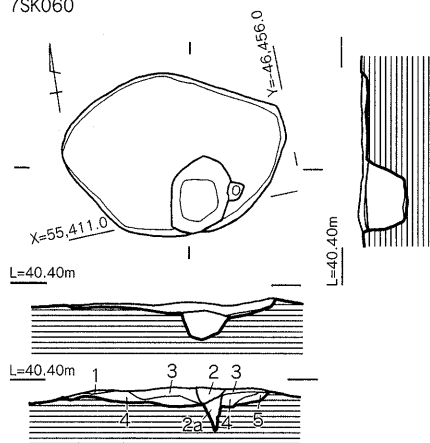


Fig28 焼土坑分布図 (S=1/800)

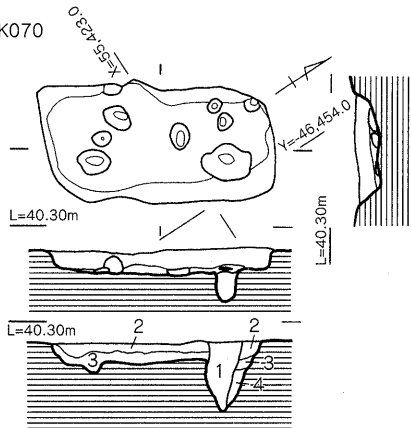
7SK070 (Fig29) 調査区中央、7SB095の中で検出された。長辺約1m、短辺約0.6mの長方形を呈し、深さは約0.15mを測る。埋土は炭化物を多く含む2層からなる。床面はフラットで、また棒で突いたよ

7SK060



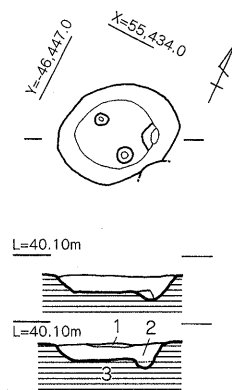
- 1. 淡灰色砂質土
- 2. 灰茶色土
- 2a. 灰茶色土(2層より軟質)
- 3. 炭化物層
- 4. 暗黄色土(炭化物少量含む)
- 5. 黄色土

7SK070



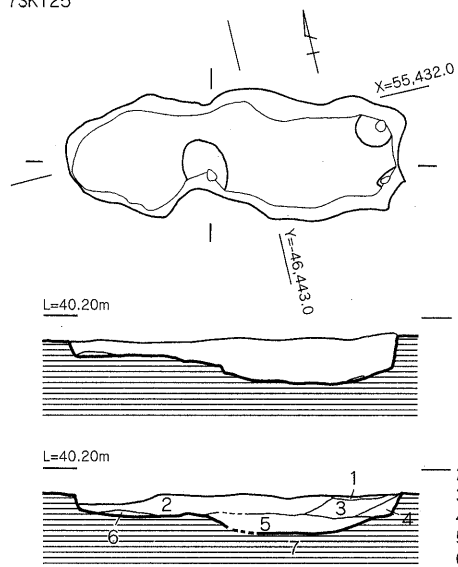
- 1. 茶灰色(pit)
- 2. 暗灰色土(炭化物多く含む)
- 3. 淡黄灰色土
- 4. 淡褐灰色土(地山)

7SK120



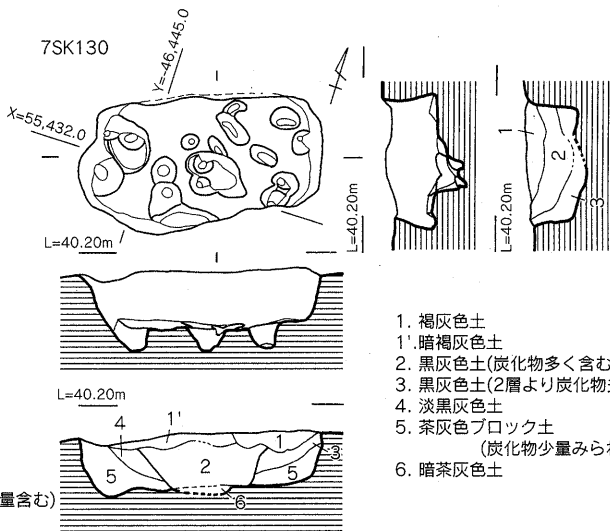
- 1. 褐灰色土
- 2. 暗灰色土(炭化物少量含む)
- 3. 淡黄色土

7SK125



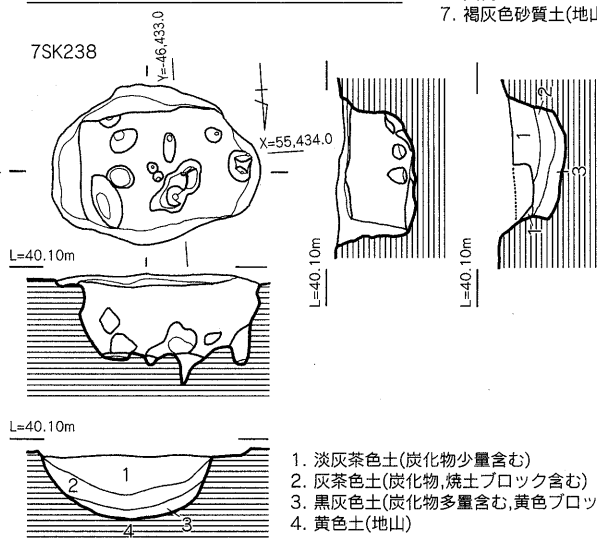
- 1. 暗灰色土(炭化物微量含む)
- 2. 暗灰色土
- 3. 灰色砂質土
- 4. 灰褐色土
- 5. 茶灰色土(やや粘性あり)
- 6. 黄褐色土
- 7. 褐灰色砂質土(地山)

7SK130



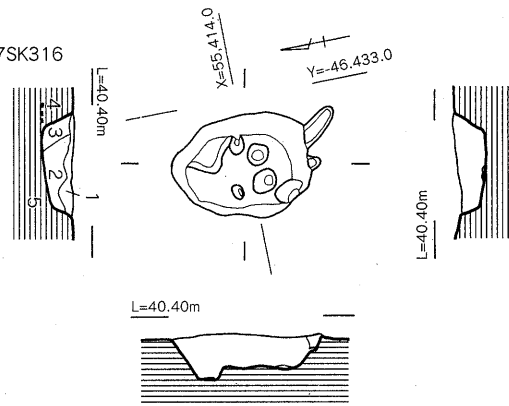
- 1. 褐灰色土
- 1'. 暗褐灰色土
- 2. 黒灰色土(炭化物多く含む)
- 3. 黒灰色土(2層より炭化物多い)
- 4. 淡黒灰色土
- 5. 茶灰色ブロック土(炭化物少量みられる)
- 6. 暗茶灰色土

7SK238



- 1. 淡灰茶色土(炭化物少量含む)
- 2. 灰茶色土(炭化物, 焼土ブロック含む)
- 3. 黒灰色土(炭化物多重含む, 黄色ブロック少量含む)
- 4. 黄色土(地山)

7SK316



- 1. 灰褐色土
- 2. 黒灰色土(炭化物多く含む)
- 3. 暗灰色土(炭化物少量含む, 黄色ブロック土含む)
- 4. 灰褐色土
- 5. 黄灰色土



Fig29 7SK060・070・120・125・130・238・316実測図・土層図 (S=1/40)

うな小ピットが認められる。壁面、床面には焼けたような痕跡は確認されなかった。

7SK120 (Fig29) 調査区中央やや北側部分で検出。径0.7mの円形で、深さは約0.1mを測る。壁面には焼土が付着していた。埋土は炭化物を少量含む程度であった。

7SK125 (Fig29) 調査区中央北側部分で検出。長辺約1.8m、短辺約0.8mの細長い楕円形を呈し、深さは約0.2mを測る。西側には幅約0.6m程の平坦面があり、東に向かってレンズ状に窪む。埋土は5層からなり、東側からの流れ込み堆積を示す。炭化物は余り認められない。

7SK130 (Fig29、写真図版20) 7SK125の西側で検出。長辺約1.2m、短辺約0.8mの隅丸長方形を呈し、深さは約0.35mを測る。床面から壁面にかけてすぼまるように立ち上がり、断面袋状を呈す。埋土は炭化物を含む6層からなり、特に2層には炭が集中しており、堆積状況からも2層は掘り返したような痕が認められる。焼成で堆積した炭を掻き出し、再度焼成が行われた状況を示していると思われる。壁面は熱で焼土化していた。床面も被熱で黄色化しており、また小ピットも多数確認された。

7SK238 (Fig29、写真図版21) 7SK130の北側で検出。長辺約1.2m、短辺約0.9m、深さ約0.4mを測り、平面隅丸方形を有す。埋土は炭化物を含む3層からなるレンズ状堆積を呈し、壁面は直線的に立ち上がる。壁面は被熱で酸化で焼土となっており、また一部は還元化していた。床面からは多数の小ピットが確認された。

7SK316 (Fig29) 調査区の中央東より、7SI190の南側で検出。長辺約1.1m、短辺約0.7m、深さ約0.2～0.3mを測り、平面楕円形をしている。壁面は直線的に立ち上がり、床面はほぼフラットである。埋土には多くの炭化物を含んでいるが、壁面、床面には被熱の痕跡は明確には認められない。他の焼土坑同様に床面で複数の小ピットが確認される。

8 墳墓

7ST200 (Fig30、写真図版22) 調査区の中央南端付近で検出。長軸約2.08m、短軸約0.9mの長方形プランを有す。上面は削平されており、残存する深さは約0.1m程である。土層観察からは木棺痕跡は認められないが、出土する釘の分布範囲から木棺の規模は長さ約1.8m、幅約0.5mと推測される。棺内には鉄製刀子1点と鉄鏃1点が副葬されていた。鉄鏃は2本（別の物かは不明）を繊維状のもので結びつけている状況であった。これらの遺物は床面から約5cm程浮いており、それは板材の厚さを示すものと考えられる。土器の出土は無いが、鉄鏃は前田遺跡4次調査において、7世紀末から8世紀初頭に比定されるSK109から同じ形態をしたものが見つかっている。隣接する殿城戸遺跡6次調査では、9世紀前半に比定される火葬墓が見つかり、調査地の存する丘陵地一帯は古代の墓域として利用されていたと考えられる。本遺構については、釘を使用した木棺墓という点で平安時代の所産に位置付けられる。

9 その他の遺構

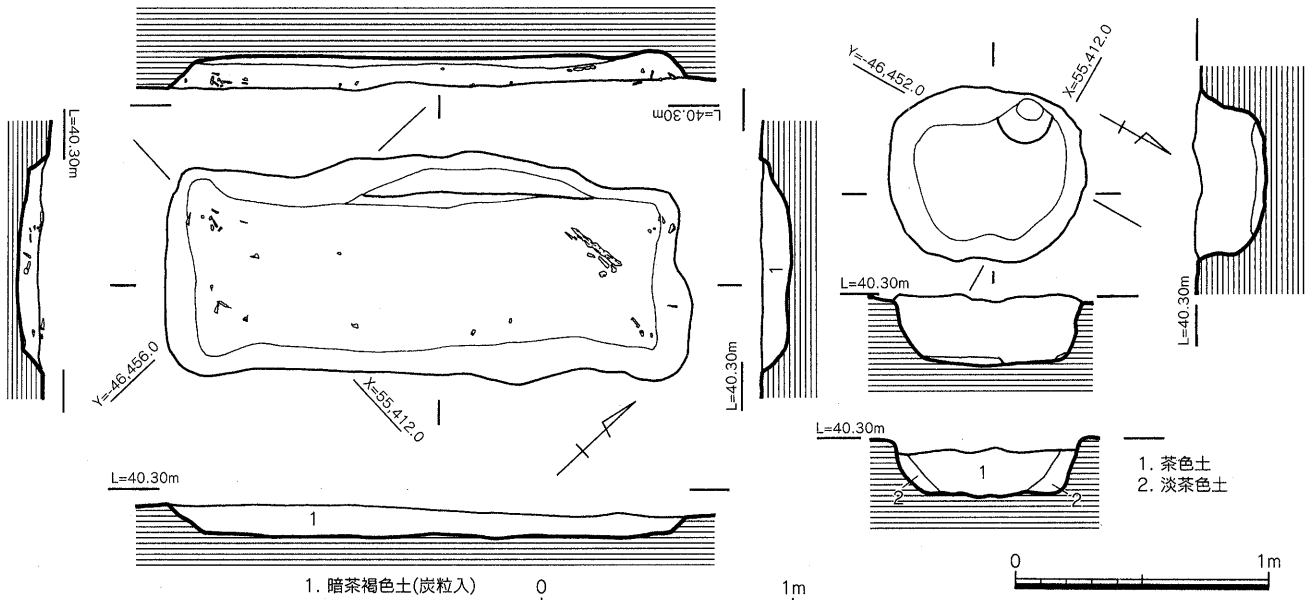
7SX050 (Fig30) 7SK001の東側で検出。径約0.6m、深さ約0.2mを測り、円形プランを呈す。床面に柱痕跡と思われる0.1m程の窪みが見られる。

7SX140 (Fig30) 調査区中央に堆積する溜まり状の遺物包含層である。薄い褐色土から成り、埋土中から13世紀後半頃の土師器杯 a が出土している。

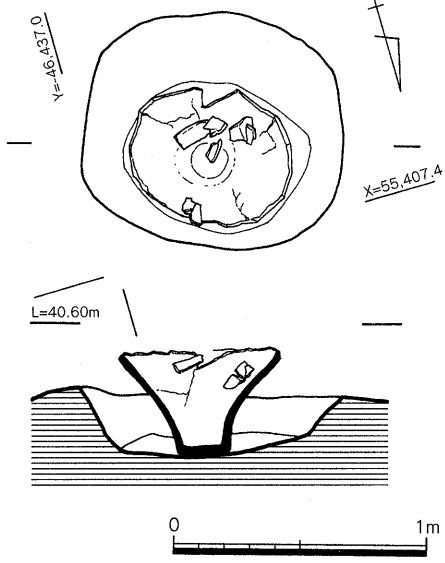
7SX165 (Fig30、写真図版23) 7SI155の東側で検出。長軸約0.5m、短軸約0.4mの円形を呈すもので、掘り方上面は削平されており土器が露呈していた。土壌内には弥生土器の甕が垂直に埋置され、胴部下半から底部にかけて残存する。土器内の堆積土中には混入物は認められなかった。口縁部、底部の形態から弥生中期後半～後期初頭段階のものと考えられ、住居7SI175、235とほぼ同時期であることから関

7ST200

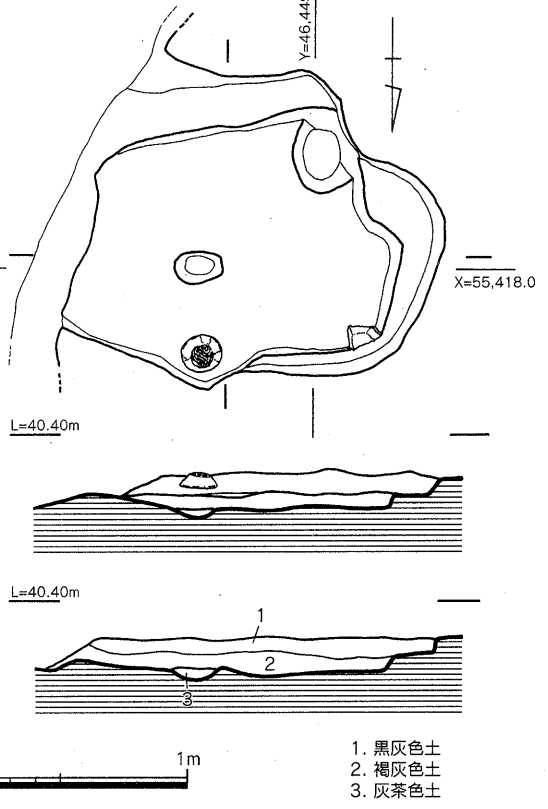
7SX050



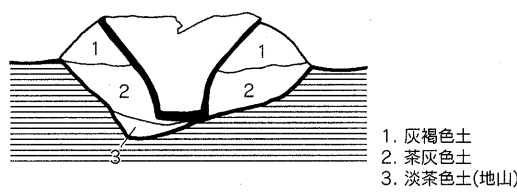
7SX165



7SX259



L=40.60m



7SX140,254,284 土层图

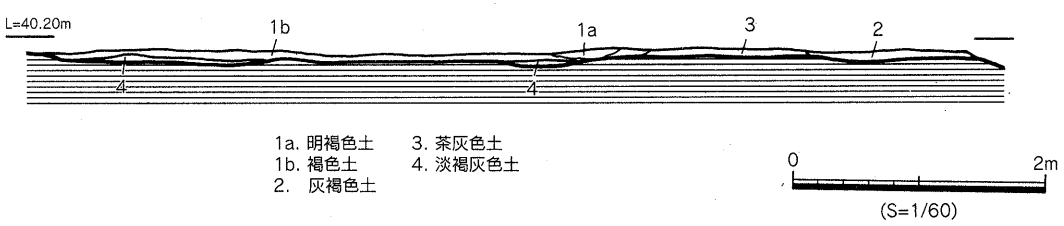


Fig30 7ST200 · 7SX050 · 165 · 259 (S=1/30)、7SX140 · 254 · 284土层图 (S=1/60)

係性が窺える。

7SX259 (Fig30、写真図版24) 調査区中央で検出。7SD124に切られ全体規模は不明だが、長軸約1.65m+ α 、短軸約1.2mの隅丸長方形を有すもので、深さは約0.15mと残存状況は悪い。掘り方は段掘り状を呈し、床面はフラットである。埋土は2層の自然堆積層からなり、黒灰色土層から土師器の坏が裏返った状態で出土した。遺構形状、遺物の出土状況から墓墳の可能性が高く、時期は13世紀後半以降と考えられる。

第3章 遺物

1 掘立柱建物出土遺物

7SB095 (Fig31 写真図版25-52)

須恵器

坏 (1) 高台付の坏cで、高台は体部と底部の境目よりやや内側に接合される。8世紀中頃から後半にかけてのものである。

7SB210 (Fig32 写真図版25-52)

古式土師器

坏 (1) 精製土を使用し、薄手である。色調は赤味をもった橙色を呈しており、最終処理には内、外面とも横方向のミガキが行われている。

布留式併行段階と考えられる。

7SB240 (Fig32 写真図版25-52、53)

弥生土器

壺 (1) 弥生後期の壺の胴部と考えられるが、外面に鋭いものでひっかいたような痕跡がみられ、同様な例が前田遺跡の住居跡（前1SI510）や雛川遺跡で確認されている。柱掘り方bより出土。

底1 (2) 甕または壺の平たい底部である。柱掘り方bより出土。

古式土師器

高坏 (1、2) 1は高坏の坏部破片である。内面は横方向のミガキを施した後放射状に再度ミガキが行われる。精製土を使用した丁寧な作りである。4は高坏脚部の破片で外面に放射状のミガキがみられる。柱掘り方eより出土。

弥生土器

底1 (3) 甕または壺の底の平たい底部である。柱掘り方eより出土。

古式土師器



Fig31 7SB095出土遺物 (S=1/3)

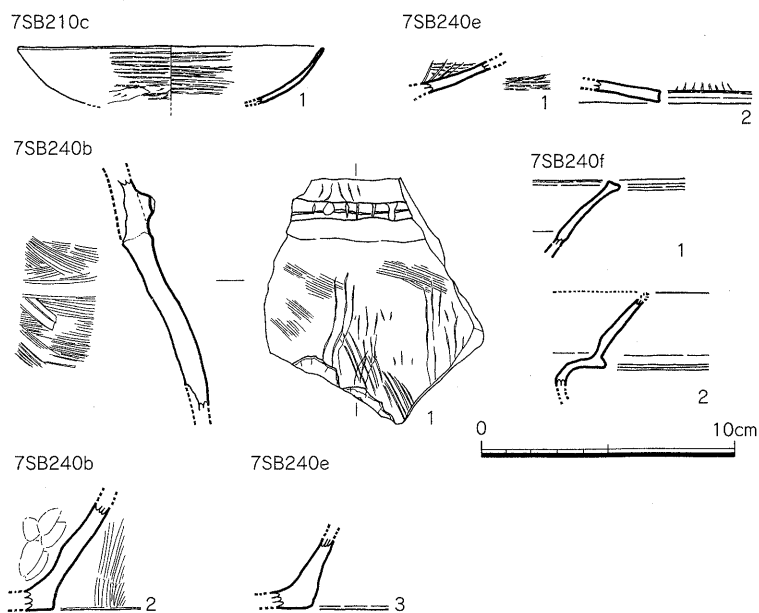


Fig 32 7SB210・240出土遺物 (S=1/3)

甕 (1) 布留式系甕の口縁部破片で端部は外側につまみ出ており、上面は凹んでいる。布留式併行段階と考えられる。柱掘り方fより出土。

壺 (2) 山陰系の二重口縁壺の口縁部である。柱掘り方fより出土。

2 住居跡出土遺物

7SI155

7SI155はやや小規模な住居でありながらも、古墳時代後期の土器がセットで出土している。須恵器が1点出土しているが小破片で図示できなかった。時期は坏や甕の特徴から5世紀後半以降と考えられる。

7SI155茶褐色土出土遺物 (Fig33 写真図版25-54)

土師器

甕 (1) 長い頸部を持ち、なで肩気味の長胴タイプの胴部を有すものと考えられる。

丸底壺 (2) 当初カマドと想定していた焼土塊の横に置いた状態で出土した。短く外反する口縁部に球形の胴部をするものである。胎土にはあまり混入物は含まれない。器面のケズリ調整は粗雑である。

坏 (3) 丸い体部に外側に開く口縁部を有すもので、器面は磨滅して調整不明瞭だが、体部下半は手持ちヘラケズリが施される。

甗 (4) 器高は24.6cm、底部径8.6cmを測り、2箇所には把手が付き、周辺には撫でつけた痕跡が確認される。調整は内面が口縁部は横方向の粗いハケ、体部から底部にかけてはヘラケズリ、外面は口縁部から胴部にかけては縦方向のハケ、底部はヘラケズリが行われる。胴部下半から底部にかけて煤が付着している。単孔式である。

石製品 (Fig47 写真図版46-125)

砥石 (1) 天草砥石の原石である。触ると繊維状に崩れやすい。

7SI155赤褐色土出土遺物 (Fig33 写真図版25-54)

土師器

丸底壺 (1) 焼土塊の中から土圧でつぶれたような状態で出土した。色調は赤味がかった橙色を呈し、胎土には混入物を殆ど含まない。調整は胴部内外面にはヘラケズリが施され、口縁部は工具によるナデが行われる。器面の調整は全体的に粗く、器壁も厚い。

7SI160

出土遺物は、土層観察から住居が埋没する過程で廃棄されたもので、直接的に住居の時期とは結びつかない。出土する土器の大半が布留式系など外来的な影響を受けている。時期は布留式中相段階と考えられる。

7SI160出土遺物 (Fig33 写真図版25-55～27-64)

古式土師器

甕 (1～3) いずれも布留式系甕で、1、2は頸部がすぼまり、口縁部が内湾しながら立ち上がり、端部はやや外側へつまみ出るタイプで、2は端部上面が凹状に凹んでいる。3は口縁部は内湾して立ち上がり、端部は肥厚している。外面は縦方向ハケ後横方向ハケが施される。

長頸壺 (4) 布留式系のもので、直線的な薄い口縁部を呈し、端部はやや内湾している。頸部は強いナデのためやや沈み気味である。体部は球形をしており、外面には細かいハケが施された後ヘラケズリが行われる。

二重口縁壺 (5) 山陰系の影響を受けた大型の二重口縁壺の頸部で、7SD100黒灰色土出土のものと同一体の可能性がある。外面はナデ仕上げで、内面には横方向のハケが施される。

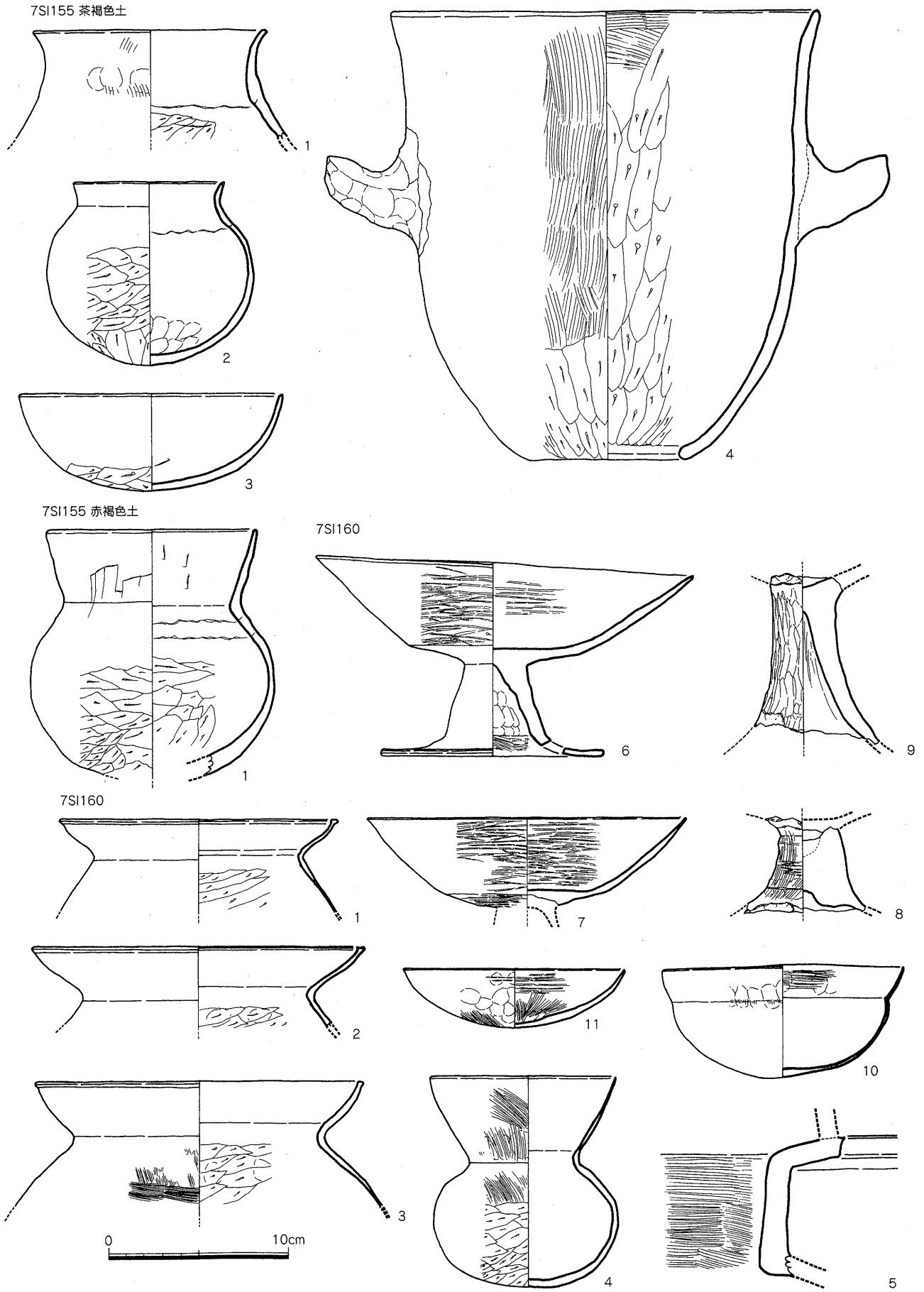


Fig33 7SI155・160出土遺物 (S=1/3)

高坏 (6~9) 6、7はともに布留式系の影響を受けている。6は内外面に粗雑なミガキが施され、坏部下半の稜は明確である。柱状部はやや中膨らみの形状を呈し、脚裾部は低平で、穿孔は柱状部と脚裾部の境目にみられる。胎土、形態から在地のものと考えられる。7は高坏の坏部のみである。内外面に横方向のミガキが施されるが粗雑である。坏部下半の稜は不明瞭である。8、9は高坏の柱状部坏部との接合部、脚裾部に打ち搔き痕が確認される。8は外面のハケ調整が粗雑で、柱状部は短く中実タイプ、9は長い柱状部で、縦方向の粗いミガキが行われる。粘土が乾燥した段階で磨いたためかケズリのような軌跡が残る。ともに在地のものである。

小型丸底壺 (10) 薄手もので、内面の稜は明瞭である。調整は底部に砂粒の動きからヘラケズリが行われていると思われるが表面が風化しているため不明瞭である。外面の口縁部と体部の境には細かいハケが施される。

坏 (11) 丸底の小型の坏で、指押さえにより整形され、その後内外面に細かいハケ→ミガキの順で調整が行われる。やや丁寧な作りである。布留式併行段階のものである。

7SI160黒灰色土出土遺物 (Fig34 写真図版26、27)

甕 (1) 布留式系甕の口縁部で、直線的に立ち上がり端部は内側につまみ出している。表面が黒灰色を呈している。

二重口縁壺 (2~3) 2は庄内式系のものと考えられ、口縁部は外方に開き、端部は内側につまみ上げる。色調は茶白色で胎土芯部分は黒灰色をしている。全体ナデ仕上げである。3は産地不明 (山陰系か) の二重口縁壺口縁部である。

壺 (4) 4はV様式系の壺の頸部破片で、色調は淡黒灰色を呈し、内外面に細かいハケが施される。

高坏 (5、6) 5は高坏脚裾部で、低平に開くタイプである。6は高坏の坏部または小型特殊器台の受部と考えられる。復原径は18.4cmを測り、小型特殊器台とすると大型なタイプである。色調は黒灰色と茶白色に分かれる。端部は外方に開き気味で、器壁は厚く丸味を帯び、内外にミガキが施されるが単位も大きく粗雑である

小型丸底壺 (7~9) 7は直線的な口縁部を有す。8は厚手で、全体的に丸味を帯びている。口縁部は厚手で、内面にはヘラケズリが行われ他の同器種のものとは若干異なる。色調は白色を呈し精製土を使用している。9は頸部から胴部の破片で、布留式系甕同様黒灰色をしている。内面の口縁部と体部の境の稜は鋭く、工具によるナデの痕跡が観察できる。ミガキなどの調整は丁寧で、焼成良好、精製土を使用している。

高台付鉢 (底8か) (10) ハの字状に広がる高台を有し、内面は工具で丁寧にナデ仕上げされている。

7SI160淡茶褐色土出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

鉄製品

釘 (1) 縦2.2cm、横0.7cm、厚さ0.6cmの断面正方形を呈す。

7SI170出土遺物 (Fig34 写真図版28-65)

須恵器

坏蓋 (1) 器高が高く、やや深めの器形を呈し、天井部は丁寧な回転ヘラケズリで処理され、口縁部と体部の境、口縁端部には明瞭な段が見られる。焼成も良好であり、これらの特徴から小田Ⅱ~Ⅲ期に該当すると思われる。

鉄製品 (写真図版45-121)

刀子 (2) 中子から刃部にかけてほぼ完全に残っており、長さ13.4cm、最大幅1.5cm、最大厚0.4cmを測り、刃部の断面は三角形を、中子部分は長方形を呈す。

7SI175茶色土 (=暗灰色土) 出土遺物 (Fig34)

須恵器

坏 (1) 坏口縁部破片で、やや外反気味に立ち上がる。

土師器

甕 (2) 短い口縁部で外方へくの字に屈曲する。外面には粗いハケが施される。

7SI175暗灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版28-66)

土師器

坏 (1) 口縁部は短く外反し、体部外面の調整は手持ちヘラケズリ後ナデ、内面は丁寧なナデが行われる。器高が高く、やや深めの器形を呈す。器壁は薄い。

管玉 (Fig47、写真図版46-124) 緑色片岩で作られる。表面は丁寧に磨かれ滑らかである。

7SI175黄灰色ブロック土出土遺物 (Fig34、写真図版28-67)

弥生土器

鉢 (1) 素口縁の小型の鉢で、体部中位部分に最大径がくる。外面最終処理として細かなミガキが施され、その後丹塗りが行われている。7SI235より同様の胎土、色調を有した壺、高坏が出土しており須玖Ⅱ式段階に比定されることから、この素口縁の鉢も同時期のものと考えられる。

7SI175 d 出土遺物 (Fig34 写真図版28-67)

底1 (1) 甕または壺の底部で完全な平底を呈す。内面指押さえて整形される。

以上の出土遺物から考えると、弥生中期末段階と古墳時代後期の二つに大別され、この2時期の遺構を同時に掘り下げた可能性が考えられる。また、掘り下げ途中に広域にわたって炭化物、焼土粒が検出された。住居が自然埋没する過程で生じる窪地で火を利用した何らかの行為が行われた可能性がある。

7SI180茶灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版28-68)

須恵器

坏蓋 (1) 口縁部破片で、端部内側に段が確認される。小田須恵器編年Ⅱ～ⅢA期のものと思われる。

土師器

甕 (2) 甕の底部破片で、丸底を呈し、内面はヘラケズリ、外面には粗いハケが施される。

坏 (3) 内湾しながら立ち上がる坏の口縁部である。5世紀以降のものと考えられる。

出土遺物は極めて少量で、全て破片資料である。1、3などから5世紀後半頃には埋没していたと思われる。

7SI185茶灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版28-68)

古式土師器

甕 (1) 布留式系甕の口縁部で、内湾気味に立ち上がり、端部は丸く仕上げられている。布留式中相段階ものである。

小型丸底壺 (2) やや湾曲して立ち上がるり、薄手である。長い口縁部を有すタイプか。

土製品

加工土器片 (3) 壺または甕の底部破片の数カ所を意図的に打ち搔いている。用途は不明である。

7SI185 h 出土遺物 (Fig34、写真図版28-68)

古式土師器

小型丸底壺 (1) 胴部破片である。外面には細かいハケが施される。

遺物の出土は少量で、殆どが破片であるため時期を決め難いが、1、2などから布留式中相段階と考えられ、方形区画溝7SD100と同時期のものと考えられる。

7SI190暗茶色土出土遺物 (Fig34 写真図版29-72)

古式土師器

高坏 (1) 坏部破片で、大型の坏部が想定される。外面の体部と体部下半の境部分に沈線のようなものが認められ、最終調整として内外ともに乱雑なミガキが施される。

小型丸底壺 (2) 精製土を使用しており、橙色を基調とした色調を呈す。口縁部はやや内湾しながら立ち上がり、端部で細く直線的になる。

7SI190出土遺物 (Fig34、写真図版28、29)

古式土師器

二重口縁壺 (1) 山陰系の二重口縁壺の口縁部である。

高坏 (2) 高坏柱状部で打ち掻き痕が認められる。外面は細かいミガキが施され、脚裾部内面はカキメ状のハケをラセン状に連続して行っている。色調は暗橙色を呈し、精製土を使用している。肉厚なタイプで、全体的に作りは丁寧である。

小型丸底壺 (3) 精製土を使用し、丁寧な作りである。胎土中には金雲母を含んでいる。外面は粗いミガキが幾重にも行われ、内面は細かなハケを施したのち細いミガキで処理される。

小型特殊器台 (4) 全体に2次的に焼けたような状態である。口縁端部はゆるやかに外反し、脚部は直線的に開く。脚部内面には連続した指押さえで整形した後ハケが施される。胎土中に金雲母を含み精製土を使用している。

坏 (5) 厚手のタイプだが、端部は薄く仕上げている。精製土を使用している。内外面ともに複雑な不定方向のミガキが施され、体部下半にタタキのような条痕が確認される。胎土に金雲母を含む。

灰褐色土出土遺物

石鏃 (Fig47、写真図版46-123) 安山岩製で、淡灰色。調整は片刃のみ細かい加工を行っている。

7SI190から出土する遺物は、精製土で作られ、色調は橙色を呈すものが多い。3、4など小型3器種の出土が目立ち、他の住居跡と比べやや様相が異なる。遺物量が少ないため時期比定は困難だが、4の形態から布留式中相段階と考えられる。また、出土遺物の傾向も含めて7SD100と関連性が窺える。

7SI195黒灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版29-73、74)

須恵器

坏蓋 (1) 7SI170の1と同じタイプの蓋で、こちらの方がやや器高が低い。体部の屈曲部が突出する小田須恵器編年Ⅱ～ⅢA期のものと思われる。

土師器

坏 (2) 歪んだ器形で、丸い体部に内湾する口縁部を有す。底部外面は手持ちヘラケズリの後、連続した工具によるナデが施される。内面は指押さえで整形後工具によるナデが行われる。調整は非常に粗雑である。5世紀後半以降のタイプと考えられる。

小坏 (3) 小型なタイプで、手捏ねにより成形され球形を呈し、指押さえ後ナデで仕上げている。

甕 (4) 口縁部はやや外反気味に立ち上がる。長胴タイプと考えられる。

小坏 (5) 底部ヘラ切り後ナデで処理される。口縁部はやや湾曲しながら立ち上がる。

切り合いの新しい遺構を気付かずに掘った可能性があり、5は混入したと思われる。1、2、4から5世紀後半段階には埋没していたと考えられる。

7SI205茶灰色土出土遺物 (Fig35、写真図版29-75)

古式土師器

壺 (1) V様式系の壺で、住居床面で潰れたように横たわった状態で出土した。丸い球形の体部を

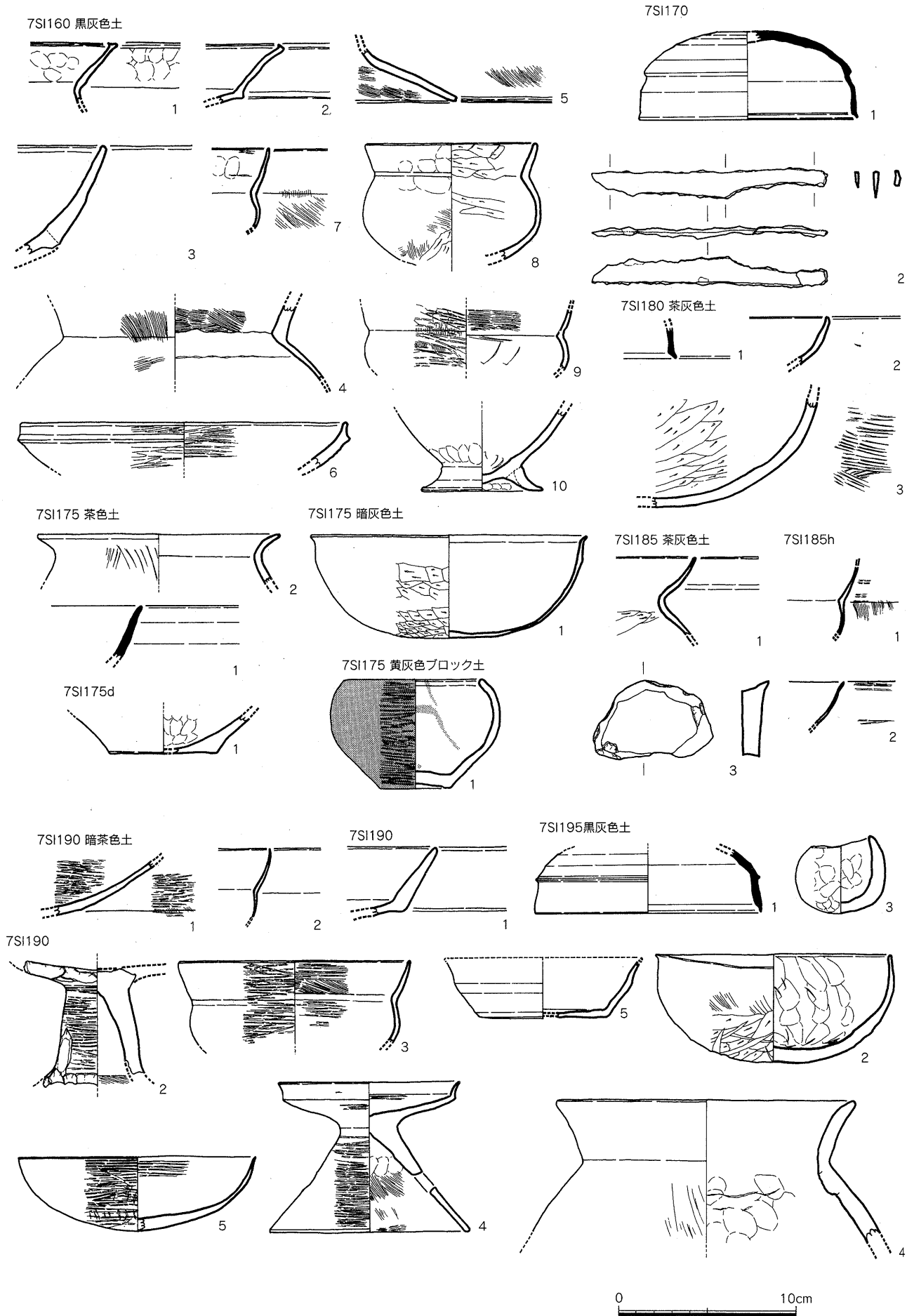


Fig34 7SI160・170・175・180・185・190・195出土遺物 (S=1/3)

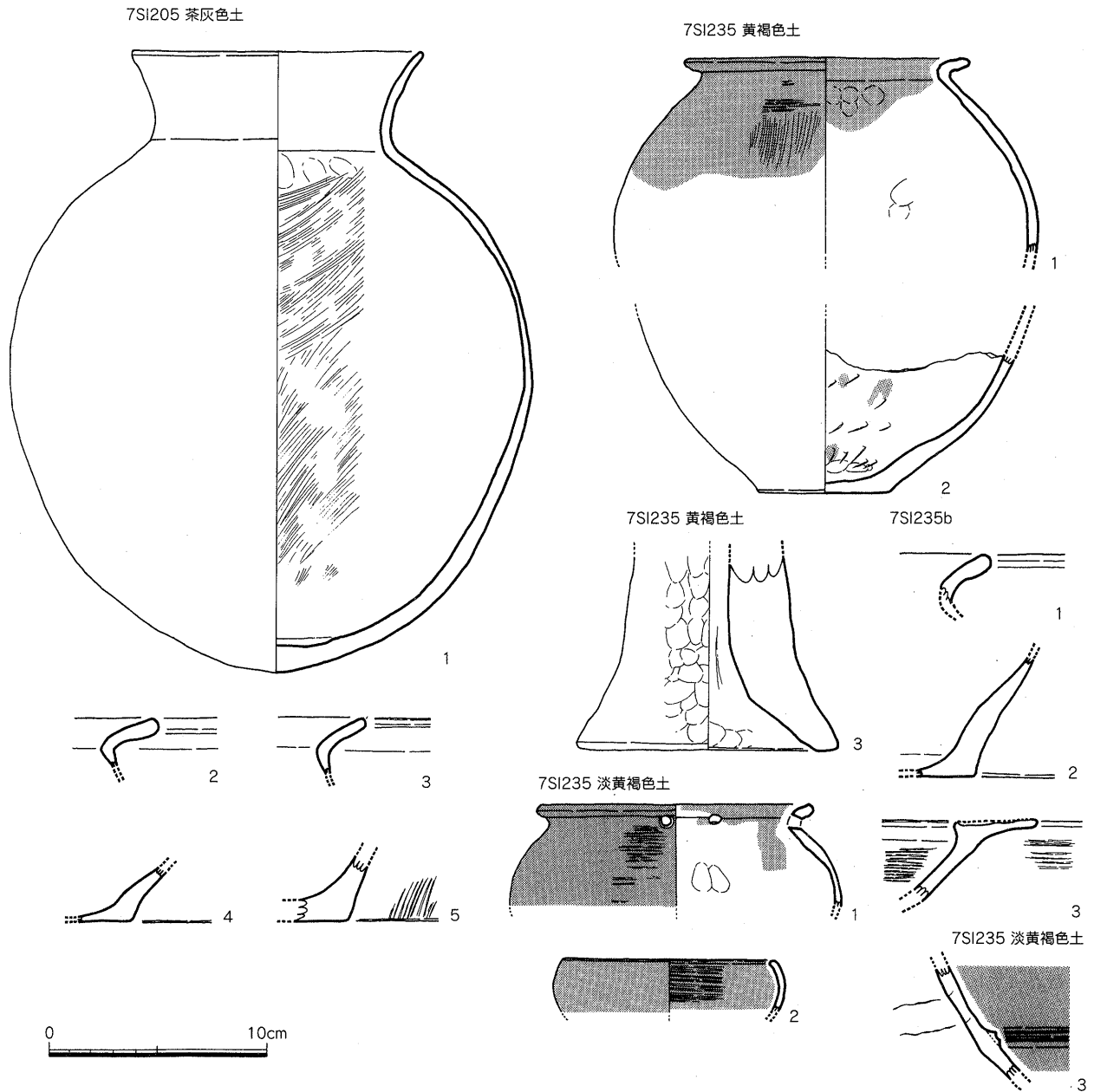


Fig35 7SI205・235出土遺物 (S=1/3)

有す。底部はやや尖り気味で、中から押し出されたような状態を呈す。内面は頸部には指押さえの痕が観察でき、その後全体に斜方向のハケが施される。布留式併行段階と考えられる。

弥生土器

甕 (2~3) 弥生後期の甕口縁部で、くの字に屈曲する。

底1 (4~5) 4は薄手、5は厚手のタイプである。

7SI205は、7SD100を切った状態で検出された。1より7SD100が埋没した後、あまり間を開けず本遺構が構築されたと考えられる。

7SI235淡黄褐色土出土遺物 (Fig35、写真図版30)

弥生土器

壺 (1~3) 1は短頸壺で短く屈曲する口縁部を有し、穿孔が施される。外面ミガキ調整を行われ、赤色顔料が塗られている。口縁端部外面には、内側にやや窪む部分がみられ鋤先口縁からくの字口縁へ

と移行する過渡期のタイプであり、弥生中期末から後期初頭頃のものと考えられる。2は袋状口縁壺の口縁部で長い頸部をもつタイプのものである。外面に赤色顔料が塗られる。3は、2と同一個体の可能性がある。外面にM字突帯を有す。

石製品 (Fig47、写真図版46-124)

石鋏 (1) 打製石鋏の破片で、緑色片岩を使用している。側面に加工痕あり。

7SI235黄褐色土出土遺物 (Fig35、写真図版30)

壺 (1~2) 1は短頸壺で口縁部は短く外反する。淡黄褐色出土のものと同様の口縁部を呈している。外面に赤色顔料が施され、内面にも顔料が付着している。2は壺の胴部から底部にかけてのもので、底部をひっくり返した状態で床面から出土した。内面指押さえで整形後、工具によるナデが施される。1と同一個体の可能性が高い。1、2ともに弥生中期末から後期初頭頃のものと考えられる。

器台 (3) 器台の脚部で肉厚である。全体的に白色を呈す。石英など混入物を多く含んでいる。

7SI235 b 出土遺物 (Fig35)

弥生土器

甕 (1) 口縁部がくの字に屈曲するタイプの甕である。

底1 (2) 完全な平底で外面に縦方向のハケが施される。

高坏 (3) 鋤先口縁をもつ高坏で、横に水平に突出している。赤色顔料が施される。

3 井戸出土遺物

7SE010暗灰青粘質土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

土師器

小皿 b (1) 底部糸切り処理され、全体ナデ仕上げされる。口径7.4cm、器高1.7cm、底径5.0cm。口径、底径は復原径である。

坏 (2) 口縁部破片でナデ仕上げされる。

7SE010灰黒色砂質土出土遺物 (Fig36、写真図版31、32)

瓦質土器

火鉢 (1) 体部破片で全体形状不明である。外面スタンプ文有り。内面は指押さえ後横方向のハケで処理される。

木製品

漆器椀×皿 (2~4) 2、3は口縁部、体部破片で外面黒漆、内面朱漆が塗布され、その上から外面に朱書きで鶴のような文様が描かれる。4は高台部分で高台は欠損している。

7SE010灰褐色粘質土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

土師器

小皿 b (1、2) 1は口径6.8cm、器高1.8cm、底径4.7cm、2は口径7.4cm、器高1.7cm、底径4.9cmを測る。いずれも口径、底径は復原値である。底部糸切りで全体ナデ仕上げされる。

7SE010明灰色粘土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

土師器

坏 a (1) 底部破片で、底部糸切りで、板状圧痕残る。

太宰府では、中世の漆器は観世音寺やその周辺、また金光寺跡など寺院や居館から出土する傾向がみられ、破片ではあるが本調査区から出土したことは注目される。各土層からの出土遺物から13世紀後半には埋没が始まっていたと考えられる。

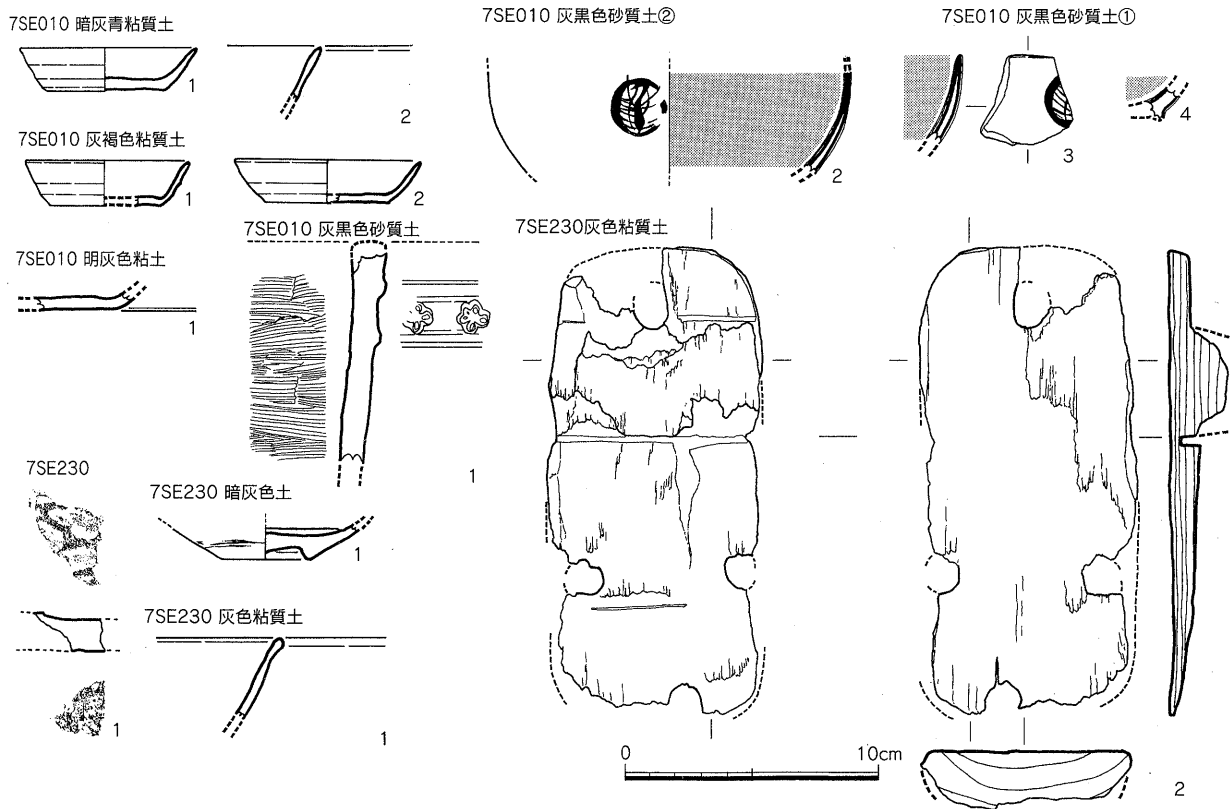


Fig36 7SE010・230出土遺物 (S=1/3)

7SE230出土遺物 (Fig36、写真図版31、32)

瓦 (1) 小破片で外面格子叩き、内面に布目痕を残す。

7SE230暗灰色土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

国産陶器

皿×碗 (1) 基筒底を呈し、粗めの乳白色の胎土で、鉄釉で圏線を描いたのち化粧土を塗られ、白釉をかける。近世後半以降と考えられる。

石製品 (Fig47、写真図版46-124)

不明円形製品 (8) 安山岩製で、円形に加工されている。器種は不明である。

7SE230灰色粘質土出土遺物 (Fig36、写真図版31、32)

青磁

碗 (1) 釉調はやや青味があつた淡緑色をしており、胎土は粒子の入った乳灰色で、器形は口縁端部が玉縁状に丸く仕上げられている。上田分類碗D類と思われる。15世紀代のものである。

木製品

下駄 (2) 全体に残りが悪く不明な部分が多い。鼻緒穴は3箇所確認できる。歯は現状片刃であるが、かかと部分に切れ込みのような痕跡がみられることから両刃の可能性も考えられる。表面の木目から板目取りの板材から作られたと判断される。

連結する7SD005との関係、1点だが上田分類D類の青磁がみられることから15世紀代には埋没しており、近世の国産陶器を含む暗灰色土は他の埋土と土質が異なること、出土遺物の時期に開きがあることから掘り返しの可能性が考えられる。

4 溝状遺構出土遺物

7SD003淡灰色土出土遺物 (Fig47、写真図版45-121)

鉄製品 (1) 板状の製品で、断面は三角形をする。

7SD005出土遺物 (Fig37、写真図版32-82)

土師質土器

播り鉢 (1) 外面は指圧痕が明瞭である。内面には5本を単位とする播り目が入る。中世後半期のものか。

7SD311灰白色土出土遺物 (Fig37)

土師器

坏 (2) 坏dの底部で外面ヘラ切り後ナデが行われる。

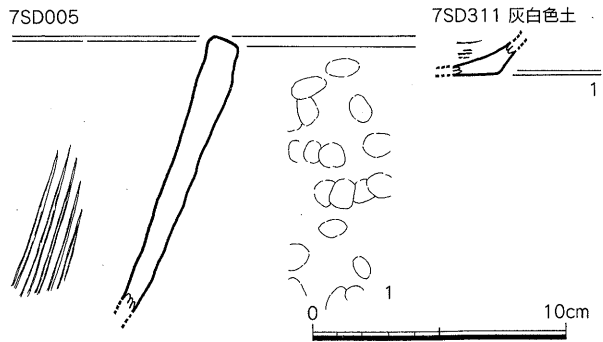


Fig37 7SD005・311出土遺物 (S=1/3)

5 方形区画溝出土遺物

7SD100 (Fig38~40、写真図版33-37)

傾向として、高坏、小型特殊器台、小型丸底壺などの小型3器種は精製土を使用し、色調も橙色をしており、甕、壺の雑器類については茶白色を呈し、粗い胎土を有している。

7SD100茶色土出土遺物 (Fig38、39、写真図版33~37)

古式土師器

甕 (1~16) 1は庄内式系の甕で、外面叩きは右上がりである。下地に縦方向の刷毛が施される。口縁部はやや屈曲を持ちながら立ち上がり、端部は上方へとつまみ上げている。肩部はナデのためやや窪んでいる。色調は橙色を呈し、胎土中の混入物は少量である。2~16は布留式系甕である。2は口縁部が内湾しながら立ち上がり、端部は上方へとつまみ出される。外面は口縁部と頸部の境が強いナデのため窪み、なで肩気味の胴部へと続き、胴部中央付近に最大径をもつ倒卵形を呈すものと思われる。3~5は肩部に丸みを有し、球形の体部を有すものであろう。3、5は口縁部が直線的に立ち上がり、端部はナデにより水平に処理される。4は口縁部が外反気味に開き端部は内側につまみ出される。器壁は薄く鋭い感じである。内面頸部に指圧痕があり、上から斜方向のケズリが行われる。6は器壁が厚く、端部は丸く短く内につまみ出す。内面頸部の稜はきつい。口縁部内面には横方向の刷毛が施される。7、8は直線的に立ち上がり端部は内につまみ出す。9、12、14は口縁部が内湾気味に立ち上がり、端部はやや外側につまみ出る。頸部はナデにより丸く仕上げられる。10、13は端部上面が沈線状に凹んでいる。15は胴部破片で、現状で5条の波状文が確認される。

壺 (17~20) 17は山陰系の二重口縁壺の胴部で球形の体部を呈し、胴部中央付近に最大径がくる。肩部に1条沈線が入り、内面の調整は斜方向のヘラケズリ後、部分的にナデを行っている。外面は磨滅で不明瞭だが細かい刷毛が横→縦の順で施される。形態的には三雲遺跡八龍地区大溝出土資料に類似している。18は山陰系の二重口縁壺の口縁部で、内面の複合部に指圧痕が確認される。器壁は薄い。19、20は直口壺で、口縁部は直線的に伸び、19は端部が内側に、20は外側へとつまみ出される。外面には縦方向の刷毛が施される。精製土を使用している。口縁部の特徴から布留式系のものと考えられる。

高坏 (23~28) 22は丸い碗型の坏部を持ち、短い柱状部に低平な脚裾部を有す。外面の坏部下半から柱状部にかけてヘラケズリを行い、その上から器体全体に横方向のミガキが施される。山陰系の影響

を受けたものか。24は深めの坏部で、口縁部は外方向に開き気味に伸びる。口縁部と坏底部の内面には横方向の掻き目状の刷毛を下地に施し、その上から連続した放射状のミガキが行われる。体部の陵は明瞭である。25～27は脚部で、25は薄手で中膨らみのエンタシス状を呈し、外面には縦方向の刷毛を行う。精製土を使用している。布留式系のものと考えられる。26も同様のタイプか。27は砂粒を多く含む粗い胎土をしており、器壁も厚く在地系のものと思われる。また、脚裾部と坏部接合部には打ち掻き痕が確認できる。28は有段式の高坏で庄内式系の影響を受けたものか。外面縦方向にケズリ風のミガキが施される。

小型丸底壺 (29～38) ほぼ共通することとして、胴部と口縁部の境に細かい刷毛が、内外面には精粗の差はあるものの横方向のミガキが行われる。29は口径が胴部最大径より小さく、口縁は直線的に短く立ち上がる。30は口径と胴部の径がほぼ同じで、口縁部はやや内湾して立ち上がり、端部は外へ開く。口縁部下半は強いナデのため窪んでいる。31～34は口径が胴部径より大きく、口縁部は短く内湾して伸びるタイプである。32、34の底部付近にはヘラケズリが行われる。34は内面体部と口縁部の境目に横方向の刷毛がみられる。35～38は器形が他と異なり、35は口縁部が胴部から直行して立ち上がり、外面だけみると胴部と口縁部の境が無く一体化したような感じである。厚手で、外面下半にヘラケズリが行われる。36は薄手で、坏形の胴部に外方に直線的に開く口縁部が付く。外面の胴部と口縁部の境はナデで窪む。内面は丁寧なナデで処理され、稜は明瞭である。精製土を使用している。37はやや大型のタイプで、浅い胴部に長く直線的な口縁部を有す。端部付近は内湾傾向を示し布留式系の影響が考えられる。厚手で、内面には横方向の掻き目風の刷毛が施される。また、工具状のナデ痕が確認できる。38は37を小型にしたような器形で、内面に横方向のミガキが施され、精製土を使用している。口縁端部は内湾気味に立つ。35、37、38は佐野地区では見られないタイプで、他地域からの搬入などの可能性がある。

小型壺 (39) 球形の胴部を持ち、先端部に口縁部との接合痕が確認される。広口壺を小型にしたようなものと思われ、内面に工具ナデの痕跡がみられる。

小型特殊器台 (40～42) 40、41は口縁端部の屈曲は緩く、40は口縁部が外方へと開き、41は上方に直線的に立ち上がる。40の脚部は内湾気味に開き、内面には連続した刷毛調整が行われる。42は端部の屈曲がきつく、外面の稜は鋭い。内面には掻き目風の刷毛を施した後横方向のミガキを行う。精製土を使用しており丁寧な作りである。

坏 (43) 薄手で浅く、内面は丁寧なナデで処理される。

弥生土器

甕 (21) く字に屈曲するタイプのものである。

底1 (22) 完全な平底である。

石製品 (Fig48、写真図版46-124)

砥石 (11、12) 表面滑らかで、線条痕が確認される。1は縁片部の表面も滑らかになっており使用していた可能性が考えられる。また金属のようなもので開けられた穴が側面部に確認できる。ともに砂岩製のものである。

7SD100暗灰茶色土出土遺物 (Fig39、写真図版35-88)

古式土師器

二重口縁壺 (1) 口縁はゆるやかに外反し、屈曲部分外面は突帯状に突き出る。内面はケズリ後ナデで処理される。鼓型器台の可能性も考えられる。

7SD100灰茶色土出土遺物 (Fig39)

古式土師器

7SD100 茶色土

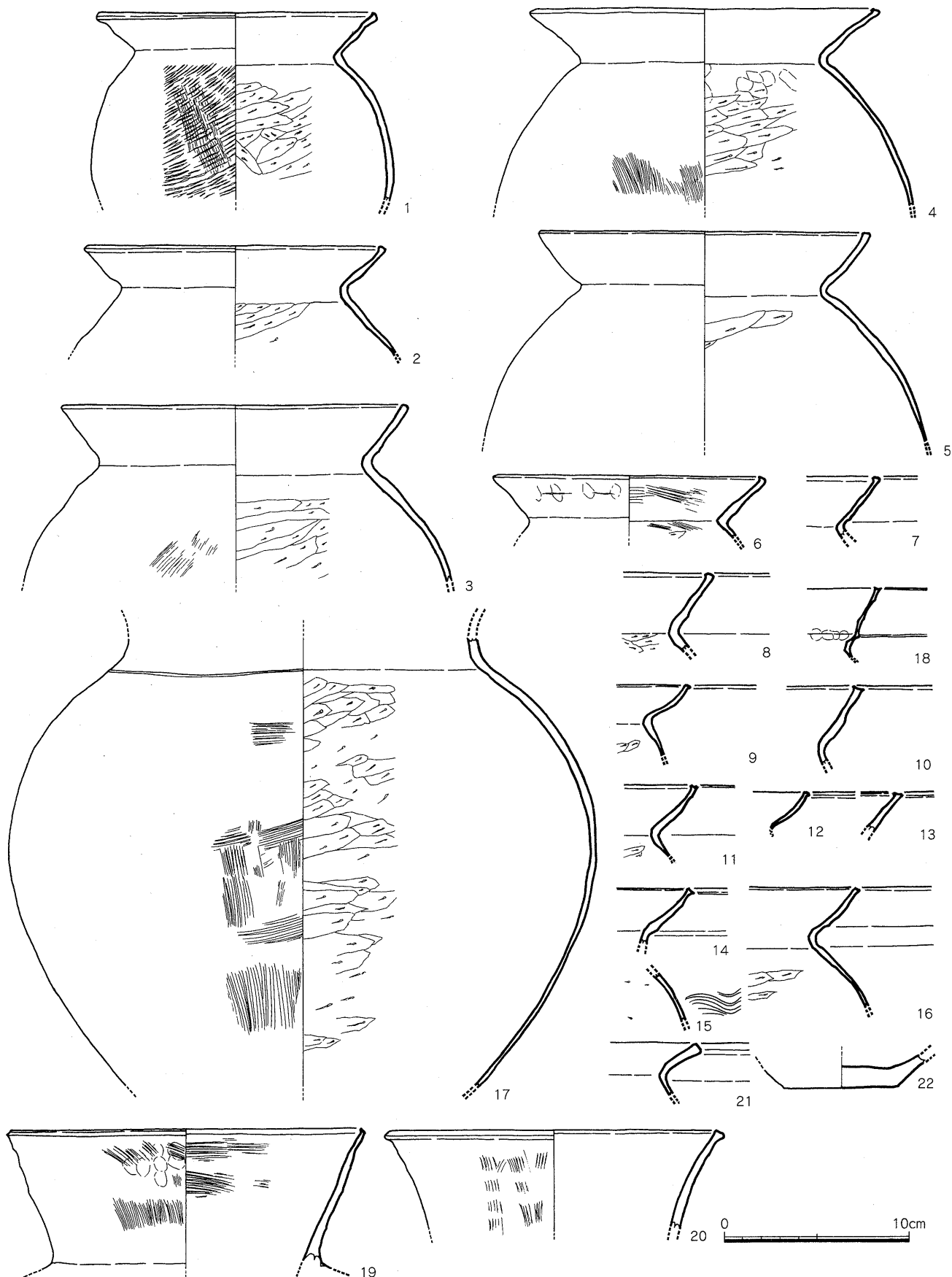


Fig38 7SD100茶色土出土遺物 (S=1/3)

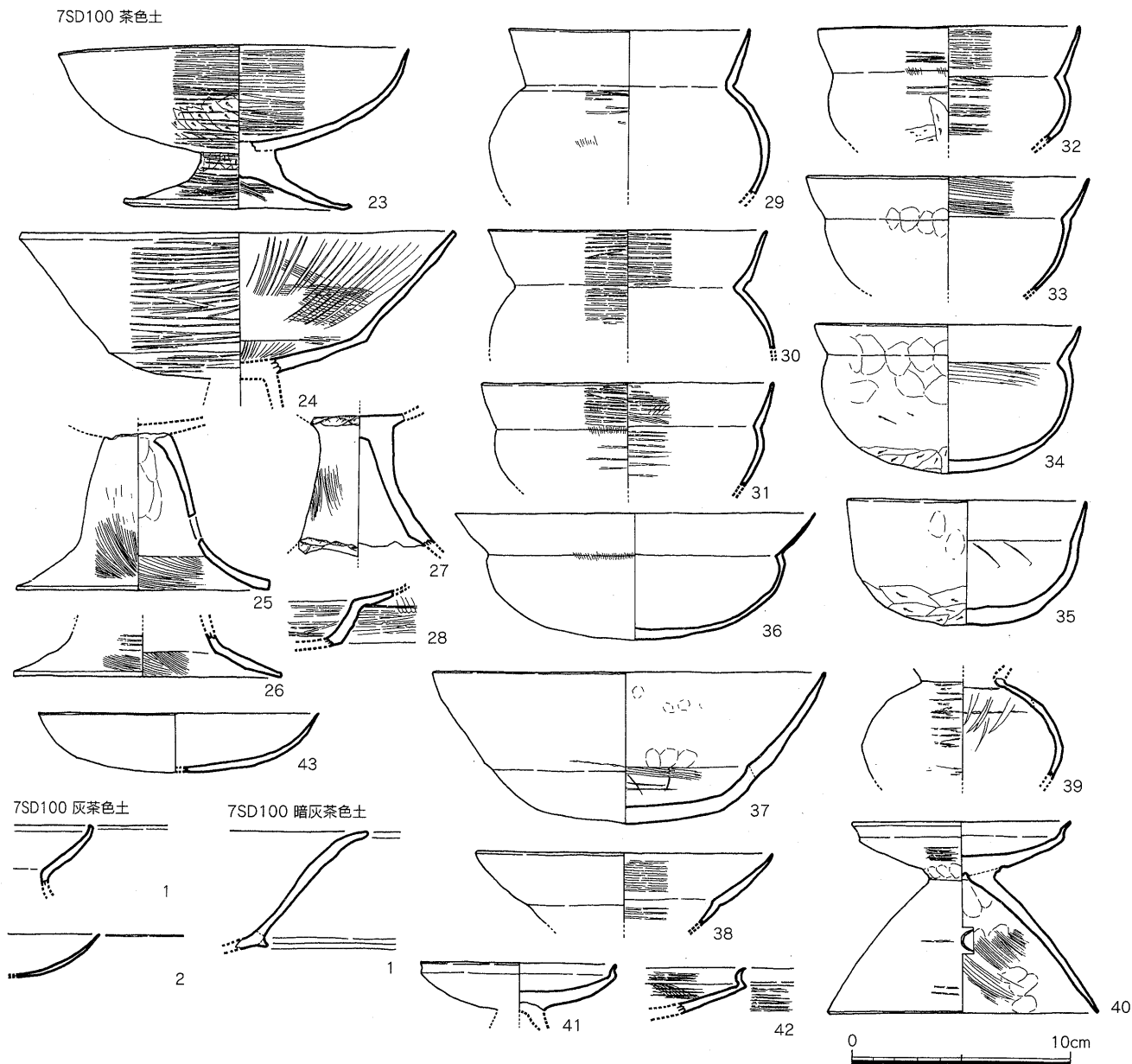


Fig39 7SD100茶色土、灰茶色土、暗灰茶色土出土遺物 (S=1/3)

甕 (1) 布留式系甕の口縁部で内湾しながら立ち上がり、端部は上方につまみ上げられる。

坏 (2) 薄手のタイプで、直線的に伸びる。

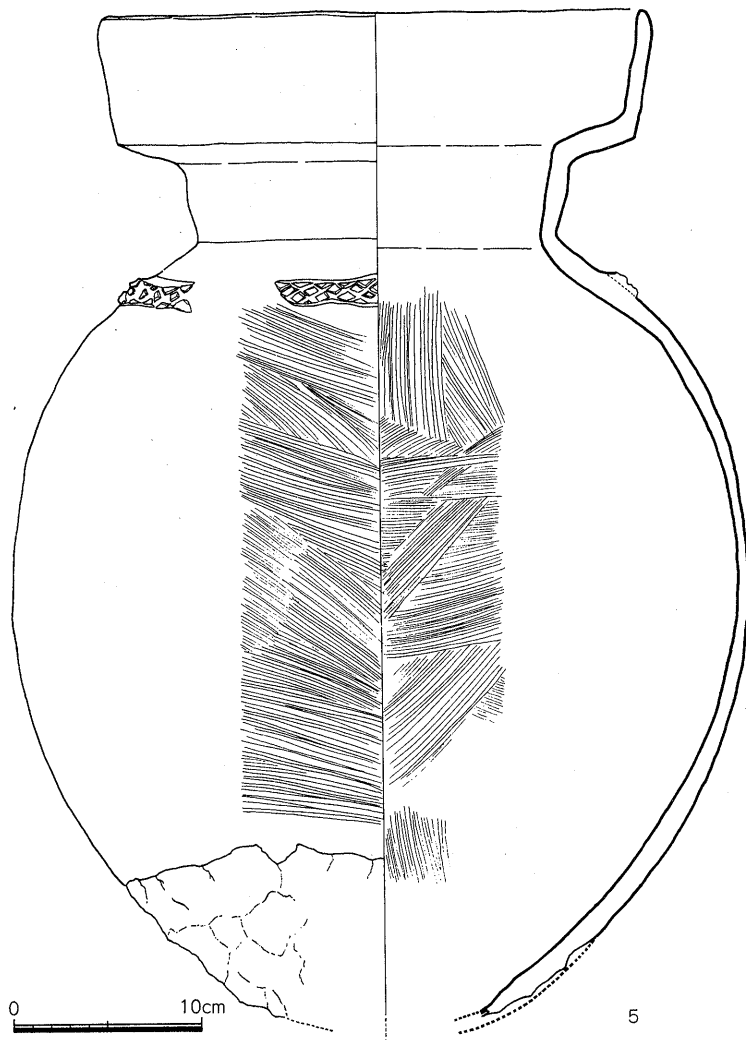
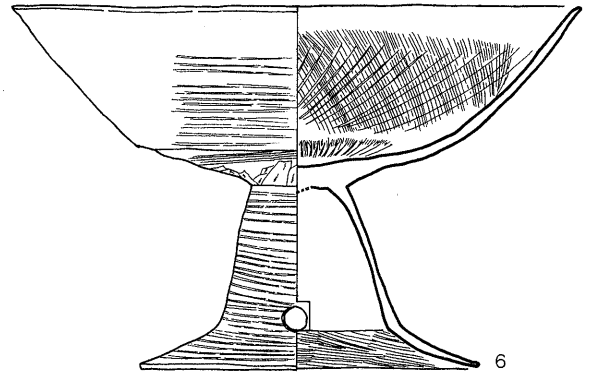
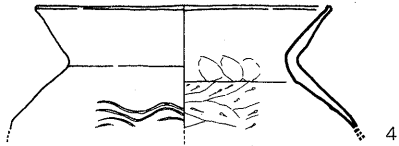
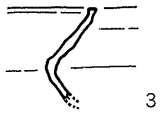
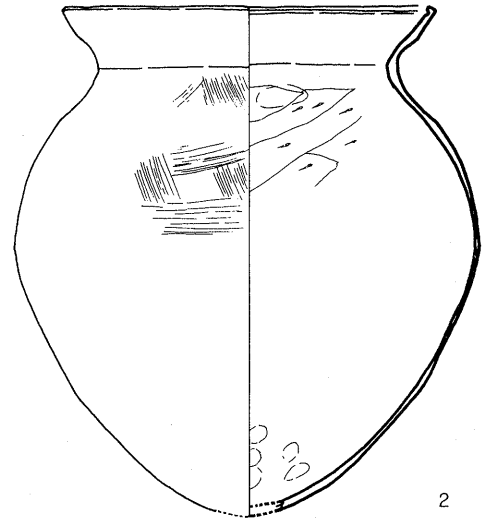
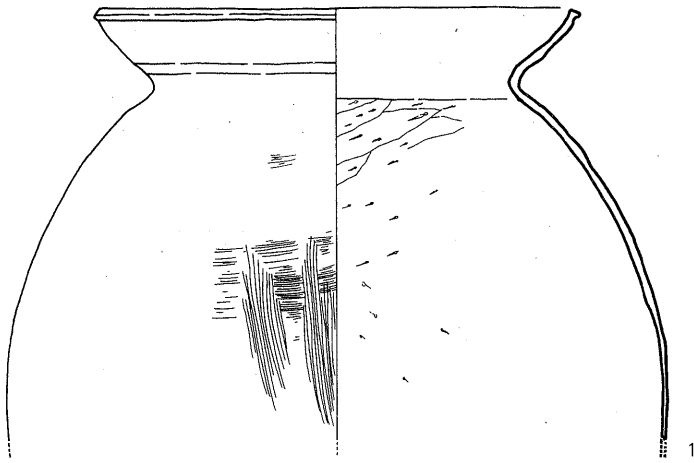
7SD100黒灰色土出土遺物 (Fig40、写真図版34~37)

古式土師器

甕 (1~4) いずれも布留式系の甕で1は口縁部が内湾して立ち上がり端部は外方向へつまみ出す。なで肩の下膨れのタイプと思われる。内面は斜方向のヘラミガキ、外面は横方向の刷毛後縦方向刷毛が行われる。2は跳ね上げ状の口縁端部を有し、口縁下半から肩部にかけて強いナデのために窪み、短い直線部を有す。胴部中央付近に最大径がくる倒卵形を呈す。内面は粗い削りが施され、底部には指圧痕が確認される。3は口縁部の破片で端部を内につまみ出す。4は厚手で直線的な口縁部を有し、端部を内につまみ出す。内面には頸部に指圧痕を残す。外面には現状4条の波状文が描かれる。

壺 (5) 口縁部は山陰系の、胴部は第V様式系の要素が窺われる在地の二重口縁壺である。口縁部

7SD100 黒灰色土



7SD100 明茶色土

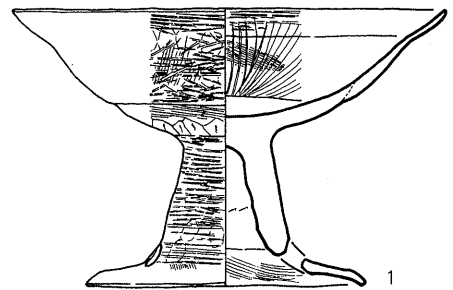


Fig40 7SD100黒灰色土、明茶色土出土遺物 (S=1/3、黒灰色土5はS=1/4)

はほぼ垂直に立ち上がり、胴部中央付近に最大径がみられ、全体的に卵状の器形をする。底部付近は2次の被熱のため一定な高さより下が表面剥離する。内外面は細かい刷毛で調整される。

高坏 (6) 深めの坏部をもち、内面に細かな単位の刷毛で放射状に調整を行った後、その方向とは逆向きに放射状のミガキが施されている。外面は坏部、柱部の接合部付近に掻き目状の刷毛目が見られ、全体的に横方向の連続した磨きを施している。布留式系ものと思われる。

坏 (7) 口径の小さい薄手のタイプで、端部はやや内に折れ曲がる。内外面には横方向のミガキが行われる。

7SD100明茶色土出土遺物 (Fig40、写真図版37-96)

古式土師器

高坏 (1) 精製土を使用し、色調は明橙色をしている。全体に丸味を持った器形で、鉢型の坏部を有し、口縁部は緩やかな屈曲を描きながら立ち上がる。内面は横方向の掻き目状の刷毛を下地に、暗文風に連続した放射状のミガキを施す。外面は指押さえで整形した後、坏部下半はヘラケズリのち横方向の刷毛、中央は縦方向の刷毛で調整したのち不定方向のミガキが行われる。柱状部は厚手で、脚裾部はハの字状に内湾している。穿孔部も低い位置にみられ、他の高坏と様相を異にする。ミガキなどの調整は不規則でやや粗いため在地の様相を持つ。

全体的に破片資料が多いが、甕の端部処理や茶色土15、17、23、24、黒灰色土4、6などから布留式古相から中相段階のものと考えられる。

6 土坑出土遺物

7SK020褐灰色土出土遺物 (Fig41)

瓦質土器

播り鉢 (1) 外面は指押さえで整形した後ナデを行っている。内面の播り目は現状4本である。

7SK045

出土遺物は布留式系土器を中心としたものである。時期は7SD100のものと同時期と思われ有機的関係が窺える。土器の器種、出土状態の傾向として

- ・破片資料が多い
 - ・甕、壺などの雑器類が多い
 - ・土器表面、胎土は荒れた状態のもの、煤けたようなものが多い (埋没環境などの違いか?)
- などが挙げられ、精製器種を多く出土する7SD100とは様相を異にする。

古式土師器

7SK045暗茶灰色土出土遺物 (Fig41、写真図版37、38)

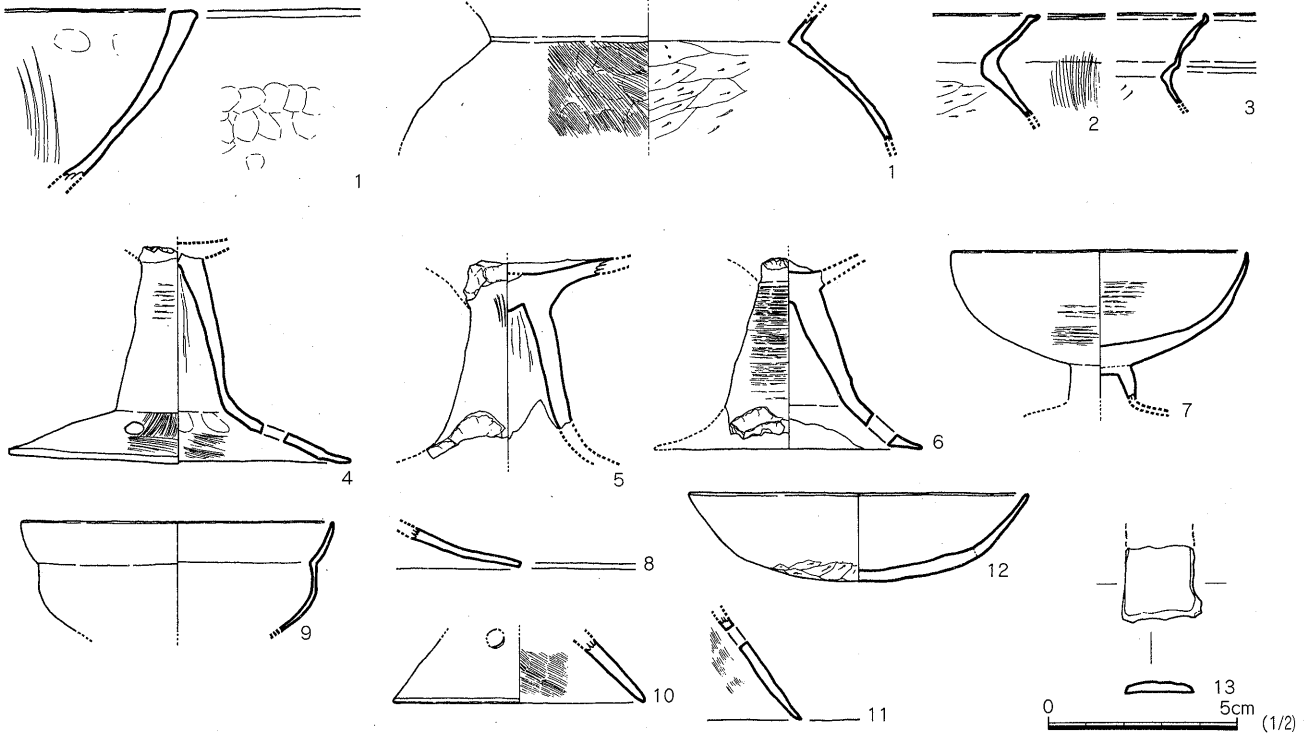
甕 (1、2) いずれも布留式系甕で、1は頸部から胴部の破片である。頸部内面の稜は鋭角で、直線的に伸びる口縁部を有すと考えられる。外面は、3段構成からなる指圧痕が顕著で、そのため器面には凹凸が残る。指圧痕の上から庄内式系の叩きを意識しているような刷毛が施される。2は口縁部破片で端部が沈線状に窪んでいる。頸部内面は厚手で直線的である。

二重口縁壺 (3) 山陰系のもので端部が上方につまみだされる。複合部の稜はゆるやかである。薄手である。

高坏 (4~8) 4は布留式系のもと思われる、細い柱状部をしている。脚裾部はやや長めでハの字に開く。穿孔部は裾部に存在する。精製土を使用している。5は胎土や調整から在地系のもと思われる。弥生土器のような広い坏部を有すものか。坏部接合部と脚裾部に打ち掻き痕が確認できる。6は在地系

7SK020 褐灰色土

7SK045 暗茶灰色土



7SK075 淡灰褐色砂質土

7SK075 暗茶灰色土

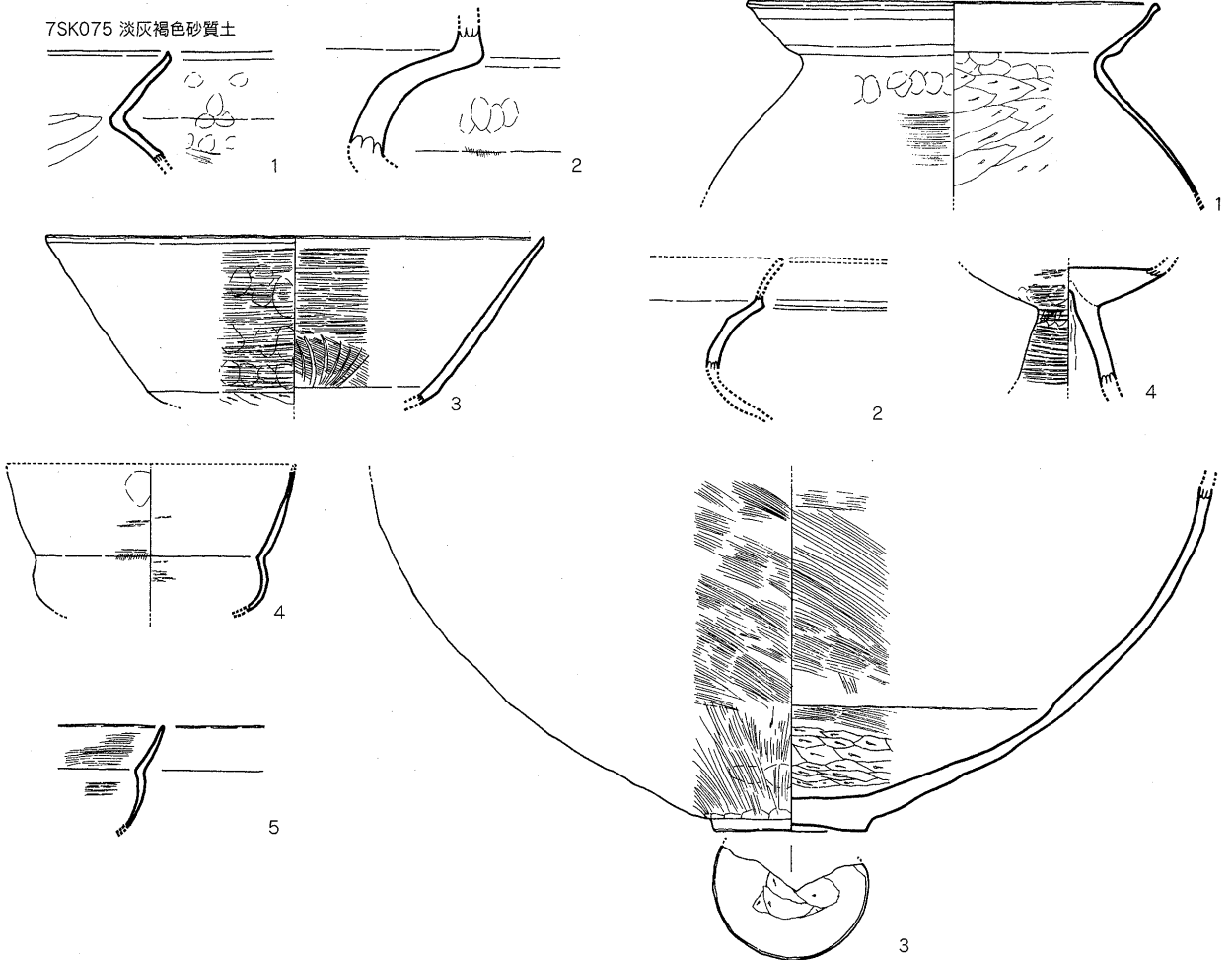


Fig41 7SK020・045・075出土遺物 (S=1/3、7SK045暗茶灰色土13はS=1/2)

のもので、外面に横方向のミガキが施される。胎土は石英粒を多く含み黒色をしている。脚裾部に打ち掻き痕がみられる。7は丸い碗型の坏部を有し、短い柱状部に低平な裾部が付くもので、庄内式系のものであると思われる。磨滅で不明瞭だが横方向のミガキが施される。8は脚裾部で低平で長いタイプのものであると思われる。

小型丸底壺 (9) 口径が胴部径より大きく、口縁部は短く内湾気味に伸びる。薄手である。

小型特殊器台 (10、11) ともに直線的に開き、内面には細かい刷毛が施される。

坏 (12) 全体に丸味を帯び、厚手のタイプである。口縁端部は丸く仕上げられる。表面は白茶色だが、胎土中心部分は黒灰色をしている。底部は手持ちヘラケズリが行われる。

鉄製品

板状鉄製品 (13、写真図版45-121) 用途は不明の板状の製品である。木目などの付着物はみられない。

7SK075 (Fig41、写真図版38、39)

出土状態や器種は7SK045と同様な傾向がみられる。時期は7SK045と大差が無く布留式古相から中相段階にかけてのものと考えられる。

古式土師器

7SK075淡灰褐色砂質土出土遺物 (Fig41、写真図版38-100)

甕 (1) 布留式系甕で口縁部はやや厚手で、直線的に立ち上がる。端部は上方につまみ出され、内面に段が付く。頸部は鋭角気味である。外面には指圧痕が残る。

二重口縁壺 (2) 大型の壺である。7SD100黒灰色土出土のものと同じようなタイプである。

高坏 (3) 布留式系の高坏で、深手の坏部を有し、外面には指圧痕が顕著にみられる。坏部下半はヘラケズリ調整が行われる。内面は下半部に斜方向の刷毛を施した後に小さく連続した放射状のミガキが行われる。また内外に横方向のミガキが施される。口縁部は直線的に伸び、端部は上方につまみ上げられる。

小型丸底壺 (4) 口径は胴部径より大きく、口縁部は丸味を持ち内湾しながら長く伸びる。外面は口縁部と胴部の接合部分で細かい刷毛が施され、その上から横方向のミガキが行われる。胎土中には金雲母が含まれ、精製土を使用している。

7SK075暗茶灰色土出土遺物 (Fig41、写真図版38、39)

古式土師器

甕 (1) 布留式系甕で、口縁部は内湾しながら伸び、端部付近はナデのため外反し、玉縁状を呈す。なで肩気味で倒卵形の胴部をもつものと思われる。内面には指圧痕がみられ、上からヘラケズリが行われる。

壺 (2、3) 2は二重口縁壺の破片である。倒卵形の胴部を有すものと思われる。3は畿内第V様式系の壺の底部と考えられる。下膨れタイプの胴部を持つと思われる、胴部下半に最大径がくる。やや突出した平底を有し、底部外面はケズリによって上げ底状を呈す。外面は底部付近は縦方向の刷毛、胴部は斜方向の刷毛を施す。内面は一部ヘラケズリ痕が確認される。色調は茶白色を呈すが、胎土中心部分は黒色をしている。

高坏 (4) 在地系の脚部で、坏部と柱状部の境にはヘラケズリが行われる。外面は連続した横方向のミガキが施される。

小型丸底壺 (5) 口径が胴部径より大きいタイプで、口縁部はやや内湾をしながら短く伸びる。外面の胴部と口縁部の境には細かい刷毛が施される。内面は横方向のミガキが行われる。胎土中には金雲

母を含み、精製土を使用している。

石製品 (Fig47、写真図版46-124)

砥石 (1) 泥岩製で、天草砥石か。表面に使用痕が観察される。

7SK150淡茶色土出土遺物 (Fig42、写真図版39)

古式土師器

甕 (1、2) 1、2ともに庄内式系の甕の胴部で球形を呈す。1は頸部から胴部の破片で外面に縦方向の刷毛で調整した後、左上がりの叩きを行っている。器壁は内面のヘラケズリにより薄く仕上げられている。頸部は短くやや丸味を帯びている。端部は欠損しているため不明である。胎土中の混入物には金雲母が微量に含まれる。色調は暗白色で、胎土中心部分は黒灰色をしている。2は叩きは右上がりである。金雲母を少量含み、淡茶白色をしている。外面には先の鋭いもので突いたような痕跡が確認される。この2つは形態、器壁の薄さなどから布留式古相段階のものと考えられる。

高坏 (3) 脚破片である。精製土を使用し、白色を呈す。また、裾部には打ち掻き痕有り。

7SK150茶色土出土遺物 (Fig42、写真図版39-104)

古式土師器

高坏 (1) 脚部破片である。淡茶色土3と同じようなタイプである。胎土中には角閃石を微量に含み、白茶色を呈す。裾部には打ち掻き痕が確認される。

7SK173灰茶色土出土遺物 (Fig42)

須恵器

坏 (1) 口縁端部は欠損している。坏IVか。

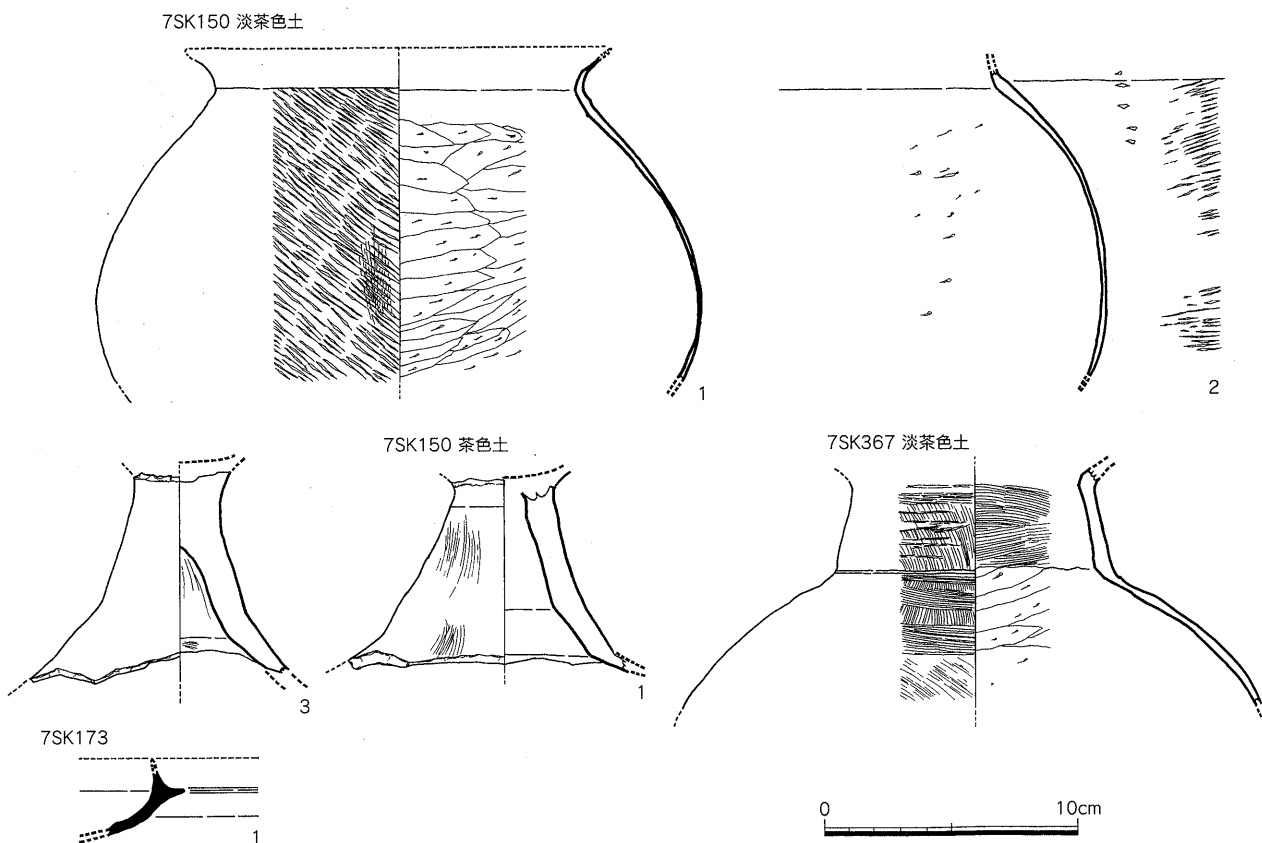


Fig42 7SK150・173・367出土遺物 (S=1/3)

7SK367淡茶色土出土遺物 (Fig42、写真図版39-106)

古式土師器

二重口縁壺 (1) 畿内第V様式系の二重口縁壺の頸部破片である。なで肩気味で球形、もしくは下膨れタイプの胴部を有すものと考えられる。頸部外面は縦方向に刷毛を行った後、横方向の粗いミガキが施される。内面は粗い横方向の刷毛で調整される。刷毛は強い力で押されているため単位が明確にわかる。胴部は縦方向刷毛のち横方向刷毛を行う。内面はヘラケズリで処理される。外面の胴部と頸部の境は沈線状に窪んでおり、ミガキも頸部のみしか施されていないため、頸部から口縁部を強調する意図が見受けられる。布留式古相段階のものか。

7SK403 (Fig43、写真図版40)

7SK403と後述する404からは主に布留式系土器が出土している。7SK045、075は雑器類が多いのに比べ、403、404は小型3器種が出土する割合が高かった。時期は7SD100と近く、布留式中相段階と考えられる。また、出土する土器から区画溝の前後で土坑を使用する目的が違うことが指摘される。

7SK403黒褐色土出土遺物 (Fig43、写真図版40)

甕 (1、2) ともに布留式系甕である。1は口縁部は内湾して立ち上がり、端部は丸く薄く仕上げられる。倒卵形のタイプを呈すものと思われ、器壁は全体的に薄い。2は薄く直線的に伸びる口縁部である。

壺 (3~5) 3は庄内系の二重口縁壺の口縁部で、端部は上方につまみ上げ気味である。複合部はやや突出しており、外面には細かい刷毛が行われる。4は広口壺の口縁部で、端部は外側に開く。5は山陰系の二重口縁壺の破片で、厚手で端部は肥厚する。

高坏 (6~11) 6は布留式系の高坏の坏部で深手である。口縁部は薄く直線的に伸び、端部付近は丸く内湾気味である。外面の稜は不明瞭で、全体的に丸味をもったような感じである。精製土を使用している。体部から口縁部にかけて煤が付着しており、内外面は被熱により表面が剥離している。7は小型の碗形の坏部を有すもので、台付鉢と考えられる。坏部下半はヘラケズリ、内面はナデで処理される。色調は赤味がかかった乳白色を呈す。山陰系の影響を受けたものか。8は柱状部は短く、低平な脚裾部をしており、7SD100茶色土23と同タイプと思われる。精製土を使用し、色調は橙色を呈す。9は在地系のもので、坏部との接合部、脚裾部に打ち掻き痕が確認される。10は布留式系の高坏の柱状部で、エンタシス状を呈し、器壁は薄い。脚裾部と接合部に打ち掻き痕がある。11はワイングラス形の高坏の坏部と思われる。外面に指圧痕が観察される。

小型特殊器台 (12) 口縁端部は欠損している。脚部は直線的に広く開く。脚部内面は指押さえて整形した後、ラセン状に刷毛を施す。受部との接合部にはヘラケズリを施す。

7SK403出土遺物 (Fig43)

古式土師器

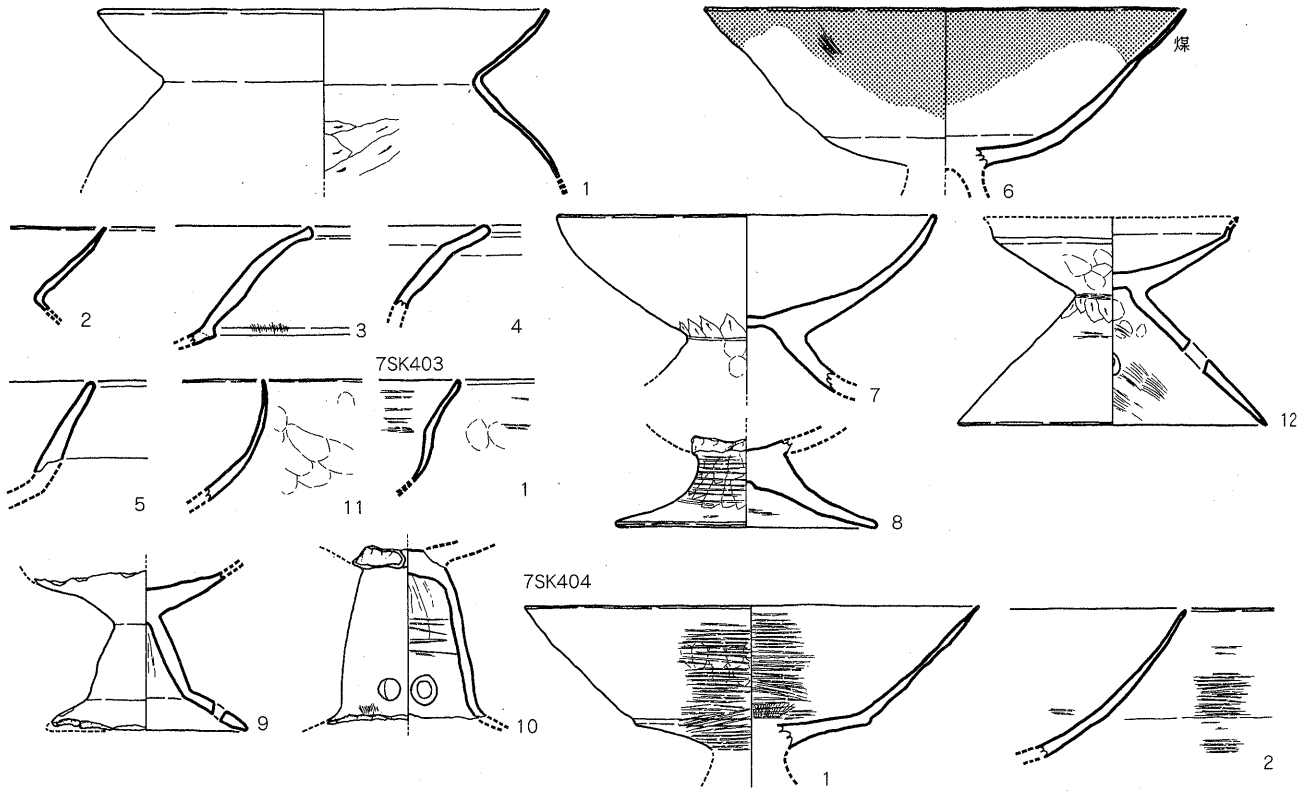
小型丸底壺 (1) やや厚手で、口径が胴部径より大きいタイプで、口縁部は直線的に短く立ち上がる。

7SK404黒褐色土出土遺物 (Fig43、写真図版40~42)

古式土師器

甕 (1~3) すべて布留式系甕である。1は口縁部は薄く、やや外反気味に直線的に伸びる。端部は内側と外側両面に突出し、上面は窪んでいる。胴部上位に最大径がくるタイプと思われる。2も端部は1とほぼ同じ形態をしている。口縁部は直線的に立ち上がる。頸部は丸味を持つ。内面に指圧痕有り。3は口縁端部を上方へつまみ出す。頸部内面の稜は鋭角で、薄手である。

7SK403 黑褐色土



7SK404 黑褐色土

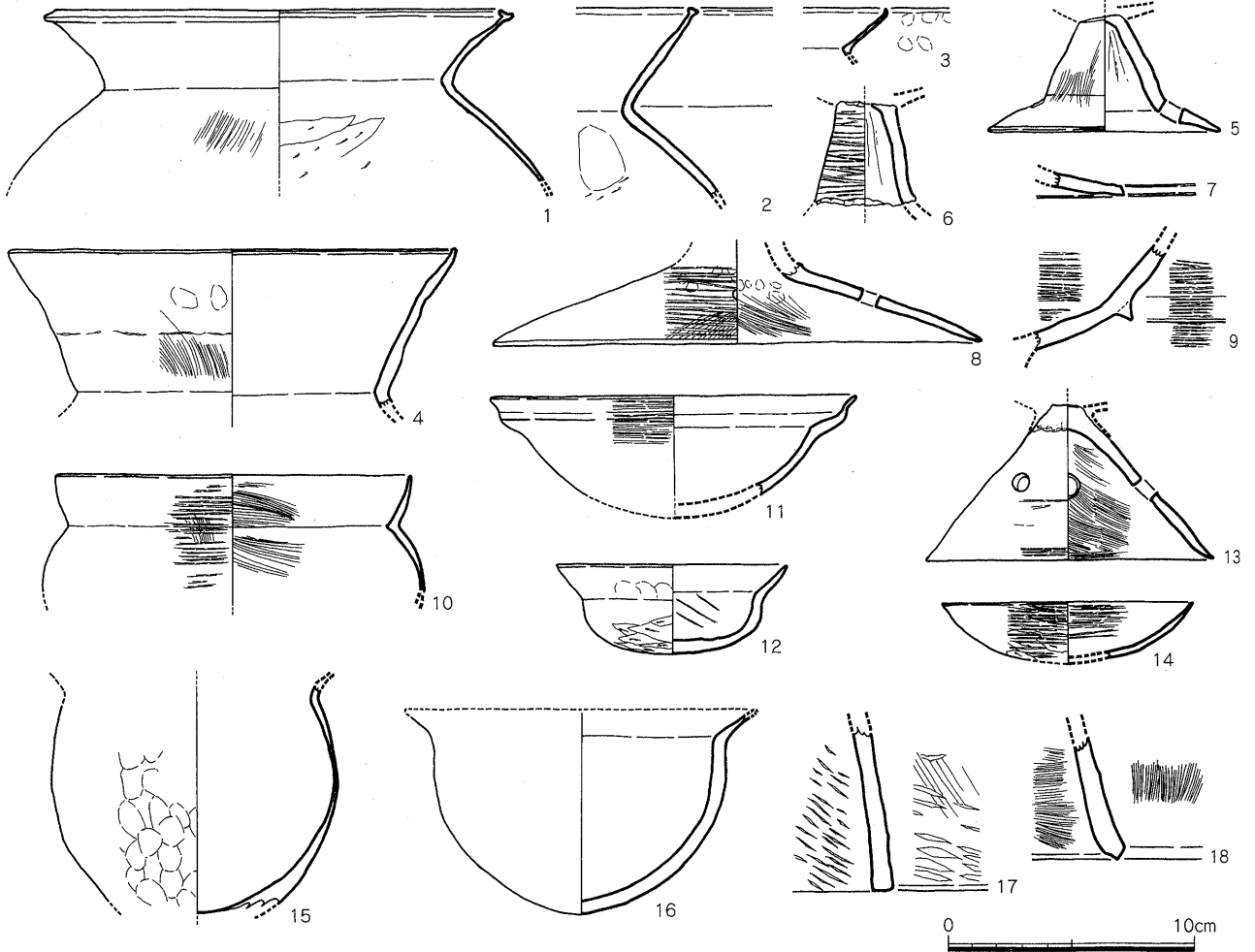


Fig43 7SK403・404出土遺物 (S=1/3)

広口壺(4) 口縁部は指押さえのため凹凸があるが、直線的に伸び、端部は丸く上方へとつまみ上げたような感じである。外面には縦方向の刷毛が施される。精製土を使用している。口縁部の形態から布留式系ものと思われ、7SD100に同タイプのもので出土している。

高坏(5~9) 5は在地系のもので、柱状部は短く厚手である。6は在地系で、黒灰色を呈す。胎土全体にわたって同じ色調をしているため、黒灰色を出すため意図的な焼成を行ったと考えられる。外面には細かな横方向のミガキが施される。7は脚裾部で低平なタイプと思われる。8は低平に直線的に長く開くもので、碗型の坏部を持つものと考えられる。外面は縦方向の刷毛を行った後、横方向の細かいミガキが施される。内面は連続した斜方向の刷毛が行われる。9は高坏の坏部と思われる。丸味を持った器形で、器面全体に横方向の連続した細かいミガキを施す。外面には断面三角形の突帯が付く。胎土には長石が少量含まれ、角閃石も微量に存在する。焼成良好で、硬質である。全体色調は暗茶白色を呈すが、胎土内面は黒色をしている。

小型丸底壺(10~12) 10は胴部径が口径より若干大きく、口縁部は短く内湾して伸びる。内面には斜方向の細かい刷毛が施され、外面には口縁部と胴部の境に細かい刷毛があり、その上から横方向のミガキを行う。11は屈曲口縁を有すタイプで、浅手の丸底の胴部に複合部が付き、端部は短く外反する。外面には横方向のミガキが施される。12は小振りのタイプで、器壁は厚く、胴部は直線的で、口縁部は外側に短く伸びる。外面底部付近はヘラケズリを行う。

小型特殊器台(13) 小型特殊器台の脚部で、直線的にハの字に伸びるが、端部はやや外反気味である。3ヶ所に穿孔があり、焼成前に行われている。内面にはラセン状の連続した刷毛が施される。外面は磨滅で不明瞭だがミガキの痕跡が観察できる。精製土を使用している。

坏(14) 薄手で、浅く、シャープな器形をしている。底部はヘラケズリをした後、横方向のミガキを行う。内面はナデ後横方向のミガキで、精製土を使用して作られており、色調は橙色をしている。

弥生土器

甕×壺(15) 口縁部、底部を欠損する。下膨れの胴部を有し、中央付近で最大径がくる。内面ナデ、外面は指圧痕が顕著で、その上からナデを施す。精製土を使用し、白茶色を呈す。7SK150出土の高坏と同様の色調をする。

鉢(16) 短く屈曲する口縁部を有し、やや尖り気味の底部をもつ。内外面はナデを施す。胎土は石英を多く含み、色調は淡茶白色を呈す。

器台(17, 18) ともに器台脚部で17は内外面に叩きが、18は内面横刷毛、外面縦刷毛が行われる。17の端部は水平、18は尖り気味である。弥生終末段階のものと思われる。

7SK404出土遺物 (Fig43、写真図版42-113)

古式土師器

高坏(1, 2) ともに布留式系の高坏で、1は坏部で、坏部下半と体部の境には段があり、体部から口縁部は直線的に薄く伸びる。体部中央部分には指圧痕が顕著でその部分は器壁が薄くなっている。調整は、内面は底部に放射状の刷毛があり、外面には斜方向の刷毛が行われる。その上から内外面とも横方向のミガキが行われる。2は坏部破片で深手で丸味を持つタイプである。外面には横方向のミガキが施される。

7 焼土坑出土遺物

焼土坑からは殆ど遺物が出土しておらず、時期決定できるような状態ではない。図示したものは掘削、もしくは埋没過程で周辺から流入したものと思われる。大まかな傾向を知るための資料として掲げる。

7SK130暗茶灰色土出土遺物 (Fig44)

須恵器

甕×壺 (1) 胴部の破片で、外面叩き、内面ナデを行い、同心円状のスタンプ痕を擦り消している。

7SK130黒灰色土出土遺物 (Fig44)

須恵器

甕×壺 (1、2) とともに胴部の小破片で、外面叩き、内面ナデで同心円状のスタンプ痕を擦り消している。

7SK130淡黒灰色土出土遺物 (Fig44)

坏蓋 (1) 蓋口縁部の破片で、端部には沈線状の段がみられ、体部との境は小さく突出している。丸く、深手のタイプで、小田須恵器編年Ⅰ～Ⅱ期に該当すると思われる。

7SK182黒灰色土出土遺物 (Fig44)

須恵器

甕 (1) 大甕の頸部で、外面に櫛描き波状文が施文される。内面下半から胴部に移行する部分にはヘラケズリを行い、その後全体をナデで仕上げている。ナデは一律でなく回転ナデ、縦方向のナデとやや入り組んでいる。色調は暗灰色を呈す。

7SK238灰茶色土出土遺物 (Fig44)

焼土塊 (1、2) とともに壁面に付着していたものが崩落したものである。スサなどの植物繊維の混入は無く、胎土中に石英を多く含んでいることから土坑の壁面が被熱により変化したものと考えられる。人為的に作られたものではない。表面は火に近い方から、暗赤茶色→淡黒灰色→暗黄褐色と色調が変化しており、中心(淡黒灰色)は還元した箇所と考えられる。

8 墳墓出土遺物

7ST200出土遺物 (Fig45、写真図版44)

鉄製品

鉄釘 (1～21) 完存しているものは無く、全て欠損している。1、10、18、21などの断面形態から角釘である。14は板状のものを転用し釘として使われた可能性がある。木目が付着しているものが多くみられ、そのうち15は繊維の方向が縦と横の2方向に分かれ棺の小口部分などの接合部に使われたと考えられる。

鉄 (22) 毛抜きの柄の部分で、Uの字状を呈す。

鉄鎌 (23) 鉄鎌を折り曲げるか、または別の鉄製品を繊維質のもので結びつけている。前田遺跡4次調査SK109(土坑)から同じ形態をする鉄鎌が出土しており、時期は7世紀末から8世紀初頭頃とされており、同時期の可能性が高い。

刀子 (24、25) 24は刀子の中子部分か。25は大型で、刃部は長さ5.6cm、厚さ0.5cm、柄の部分は長さ9cm、厚さ1cm前後を測る。断面形態は切先部は三角形、柄の部分は楕円形をしている。柄と思われる箇所には木目が付着している。また、刃部が細くなっていることから研ぎ減りしている可能性がある。

7ST200暗茶褐色土出土遺物 (Fig45、写真図版44-120)

鉄釘 (1) 鉄釘の破片で、木目が付着する。

9 その他の遺構出土遺物

7SX140褐色土出土遺物 (Fig44、写真図版42)

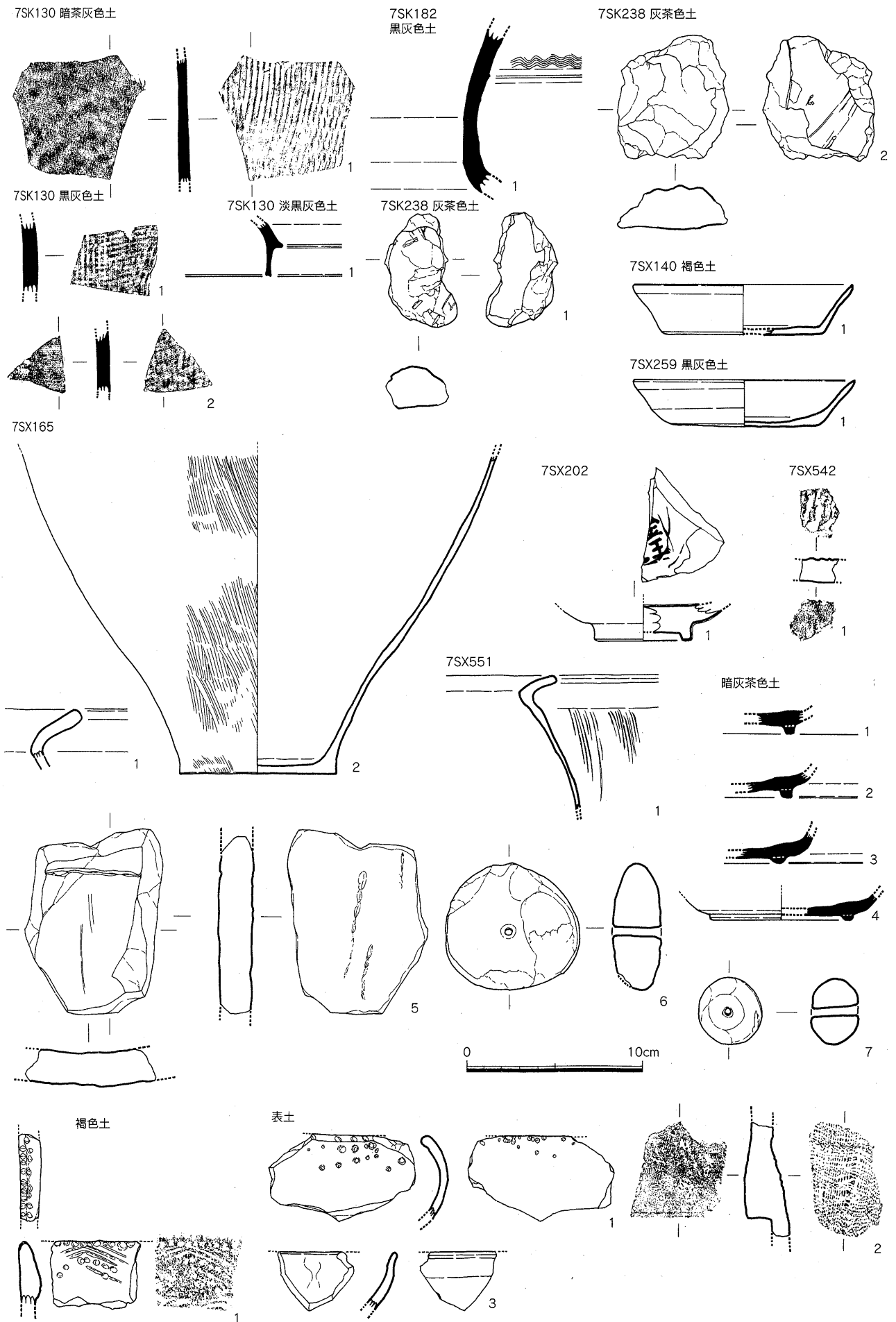
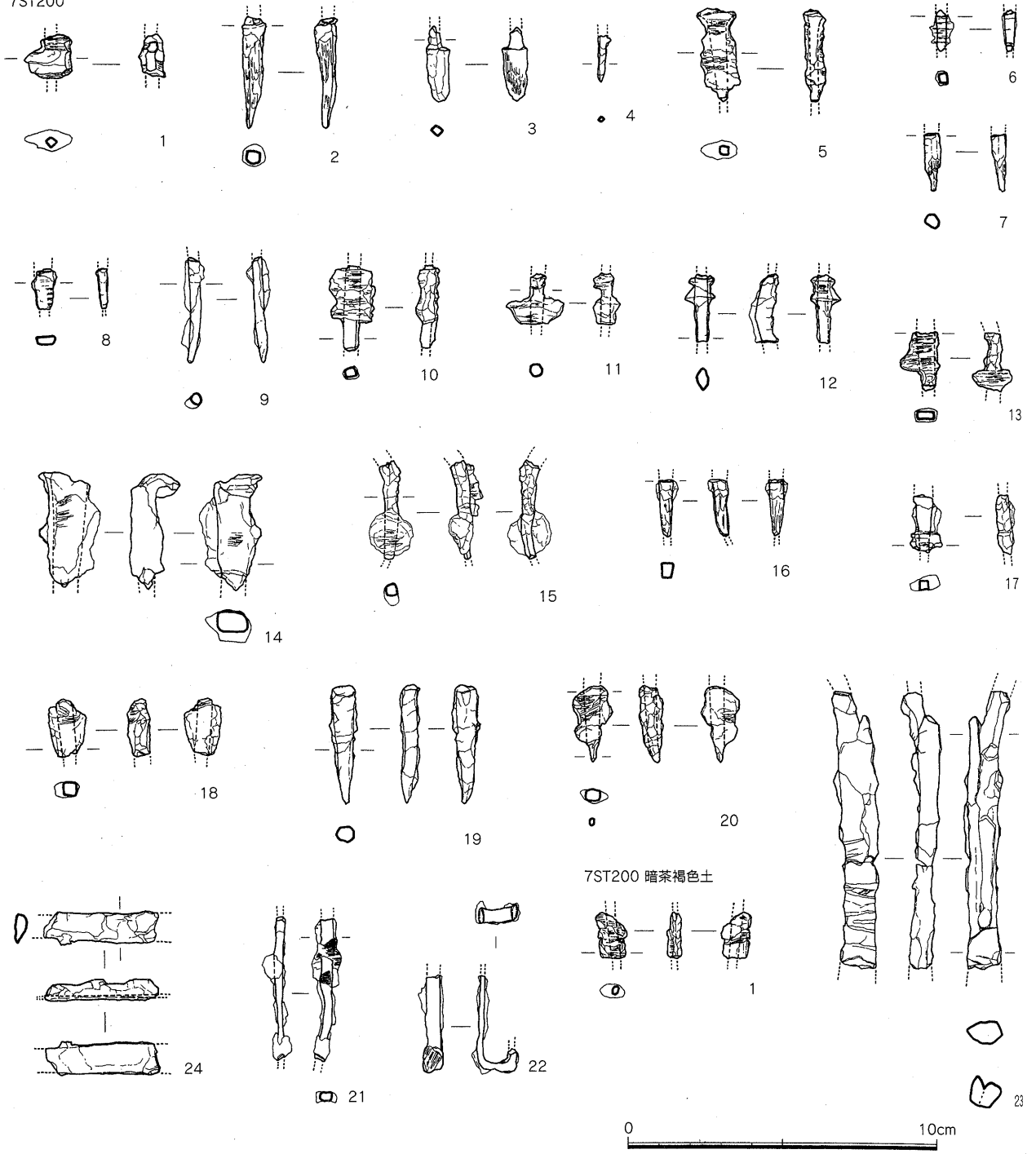


Fig44 7SK130 · 182 · 238 · 7SX140 · 165 · 202 · 259 · 542 · 551
暗灰茶色土 · 褐色土 · 表土出土遺物 (S=1/3)

7ST200



7ST200 暗茶褐色土

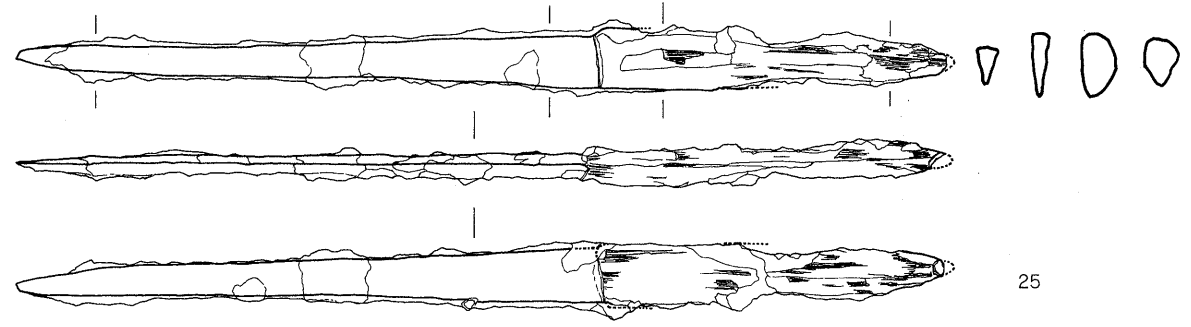


Fig45 7ST200出土遺物 (S=1/2)

土師器

坏 a (1) 体部中位から口縁部にかけて、やや内湾して伸びる。底部は糸切り。口径12.6cm、器高2.85cm、底径9.3cmを測る。13世紀後半以降のタイプと考えられる。

石製品 (Fig47、写真図版46-124) (1) 石庖丁で、石材は立岩産の輝緑凝灰岩を使用している。穿孔は回転によるもので、器面には線条痕が観察できる。

7SX142出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

鉄製品

鉄鏃 (1) 長さ5.2cm、幅1.5cm、厚さ0.4cmを測る。残存良好である。

7SX165出土遺物 (Fig44、写真図版43-115)

弥生土器

甕 (1、2) 1はくの字に屈曲する口縁部で、端部は肥厚している。2は1と同一個体で、底部は完全な平底で、角が鋭角である。胴部中位に最大径がくる。外面は縦方向の刷毛が施される。器壁は薄い。弥生後期前半ものと考えられる。

7SX202出土遺物 (Fig44、写真図版42-114)

龍泉窯系青磁

碗 (1) 碗 I 類の高台部で、見込み部分に「金玉満堂」の印が押される。胎土は淡乳灰色、釉調は深緑色を呈す。12世紀中頃から後半のものである。

7SX259黒灰色土遺物 (Fig44、写真図版43-116)

土師器

坏 a (1) 体部中位がやや窪み、やや外開きの器形をする。底部は糸切りの上に板状圧痕が付き、調整は底部内面が不定方向ナデ、その他は回転ナデを行う。口径12.6cm、器高2.7cm、底径8.45cmを測る。13世紀後半以降のものか。

7SX307出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

鉄製品 (1~8) 1~7は鉄釘の破片である。8は棒状の製品で湾曲する形をすと思われる。

7SX307灰色砂質土出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

鉄製品 (1) 棒状の製品で鉄鏃か。

石製品 (Fig47、写真図版46-123)

石鏃 (1) 挟りの浅い石鏃で、側面の加工は繁雑である。安山岩製。

7SX337出土遺物 (Fig47、写真図版46-124)

ガラス玉 (1) 暗青色をし、穿孔部には平坦面がある。表面には気泡が観察できる。

7SX406出土遺物 (Fig47、写真図版46-124)

石製品 (1) UF。腰岳産の黒曜石で細かい剥片に使用痕が観察される。

7SX496出土遺物 (Fig47、写真図版46-123)

石製品 (1) 安山岩製の石鏃で、全体を加工している。片側側面には微細剥離有り。

7SX506出土遺物 (Fig47、写真図版46-123)

石製品 (1) 腰岳産の黒曜石で作られる石鏃で、三角形を呈す。剥離面は大きく、粗い。

7SX513出土遺物 (Fig47、写真図版46-123)

石製品 (1) チャート製で、側面に微細な加工痕があるため石鏃の未製品と判断した。R F の可能性も考えられる。色調は暗茶色をする。

7SX542出土遺物 (Fig44)

瓦 (1) 瓦破片で外面格子叩き、内面に布目痕を残す。

7SX551出土遺物 (Fig44) 7SI205下層で検出した溜まり状の遺構で付帯施設か。

弥生土器

甕 (1) 口縁部が短く、くの字に屈曲する。外面は縦方向の刷毛を施す。弥生後期前半頃のものである。

10 表土出土遺物

土器・陶磁器 (Fig44、写真図版43-118、45-122)

弥生土器

壺口A1 (1) 弥生後期の複合口縁壺で、袋状を呈す。器面には、焼成前に工具で刺突した痕が観察される。貫通はされていない。

瓦製品

軒丸瓦 (2) 須恵質の胎土で、明青灰色を呈す。外面縄目叩、内面は布目痕を残す。

国産陶器

天目茶碗 (3) 黄色の軟らかい胎土で、茶色の釉がかけられる。瀬戸産の可能性有り。

金属製品 (Fig46、1~6)

1、2は鉄釘で1は釘の頭の部分で、丸く潰されている。2は破片。3は棒状の製品で平たい棒状を呈す。刀子の中子と考えられる。

4は不明で、断面を観察すると、薄い板状のものを上から別の鉄板が包んだ状態である。柄のようなものか。5は鉄鋸で先端は欠損しているが、装着部がわずかに残存している。6は不明銅製品。匙状を呈す。非常に薄く、最大厚で0.2cmである。断面は湾曲している。全体に細かい線条痕が確認できる。先端部は欠損している。

石製品 (Fig48、写真図版47-126)

石鋸1~8のうち1~3、5、7は黒曜石製、4、8、9は安山岩製、6はチャート製で、また5は未製品である。石鋸すべてに共通することは、側面の加工は片側を細かく剥離し、一方はやや大きな剥離を残している。9は削器で剥片の側縁にやや細かい連続的な調整を行って、刃部を形成している。10、11からは規則性は見受けられず、剥離の仕方も大きいため剥片採集のための石核と考えられる。10は針尾島産の黒曜石で、上面には細かい打痕が残る。11は安山岩製で3ヶ所に大きな剥離がみられ一部に自然面を残す。12は安山岩製の縦長剥片の側縁を1ヶ所連続的に加工している。15、16、17は砥石で器面に線条痕が観察できる。15はもろい泥岩で天草砥石と思われ、16は砂岩製で、線条痕の他に搔いたような痕が残る。17は砂岩製で表面があばた状に窪んでいる。14は立岩産の輝緑凝灰岩を使用した石庖丁で、刃部は刃こぼれのため欠けている。13は滑石製の石製紡錘車で、穿孔部に周辺に打痕が残る。

11 褐色土出土遺物

土器 (Fig44、写真図版43-118)

縄文土器 (1) 深鉢の口縁部である。晩期のものか。

鉄製品 (Fig46、1、2、写真図版45-122)

1は板状製品で、木目が付着しており、刀子などの中子の部分か。2は鉄釘の破片である。

石製品 (Fig48、写真図版47-125)

1は黒曜石製の石鋸で扱りの深いタイプで、片側側縁部は細かく調整を行う。2は緑色片岩を加工した

方形石製品だが用途は不明である。磨いた痕跡があり、表面は滑らかである。3は緑色片岩を用いた打製石斧で、側縁部を数カ所打ち搔いている。4は安山岩製の石匙で剥片の側辺を連続的に調整を行っている。5は緑色片岩製の扁平両刃石斧で、磨きにより側面の稜を丁寧な面取りし、全体に丸味を帯びた形態をしている。刃の部分は細かい線条痕がみられ、沈着物がある。縄文的様相を持つ。

12 暗灰茶色土出土遺物

土器、土製品 (Fig44、写真図版43-117)

1~4は須恵器坏cで、8世紀中頃以降のものである。5は軒平瓦で、調整は器表面磨滅で不明瞭である。6、7は円形、球形の土錘で、6には器面に細いキズが有り使用時の痕跡と考えられよう。

石製品 (Fiig48、写真図版47-125)

1、2は黒曜石製の石鏃で先端部と抉り部付近を欠損している。2は細に至る微調整などは行っていない。3は石庖丁で立岩産である。穿孔部は回転式で、刃部は刃こぼれしている。

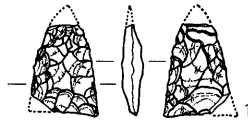
7SX013 淡灰色土



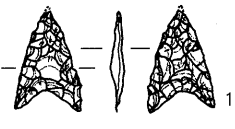
7SI190 灰褐色土



7SX307 灰色砂質土



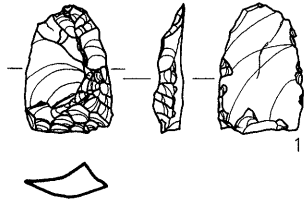
7SX496



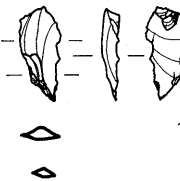
7SX506



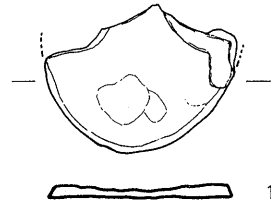
7SX513



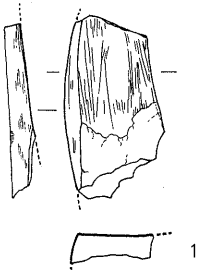
7SX406



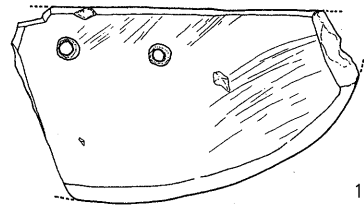
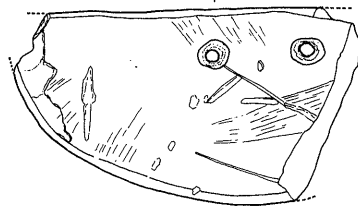
7SE230 暗灰色土



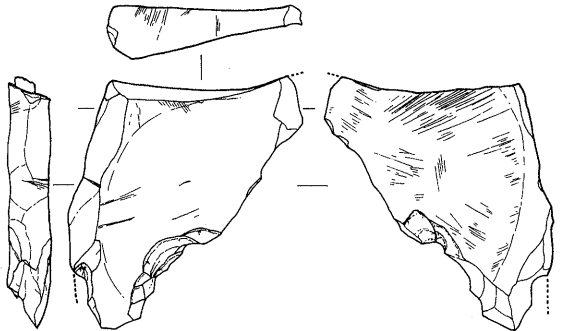
7SK075 暗茶灰色土



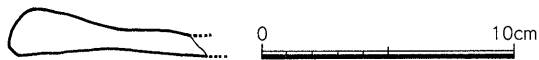
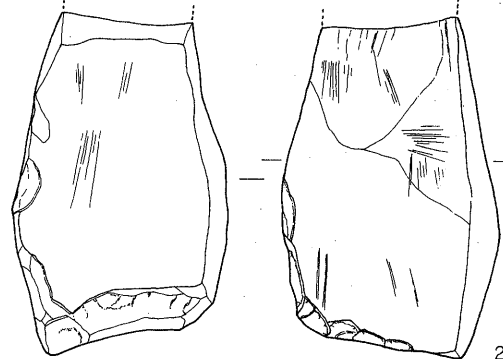
7SX140 褐色土



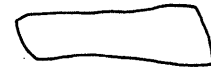
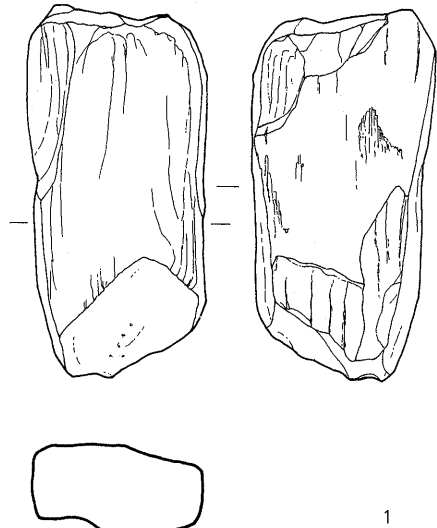
7SD100 茶色土



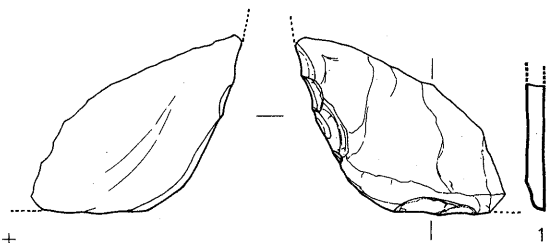
7SD100 茶色土



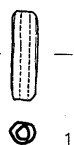
7SI155 茶褐色土



7SI235 淡黄褐色土



7SI175 暗灰色土

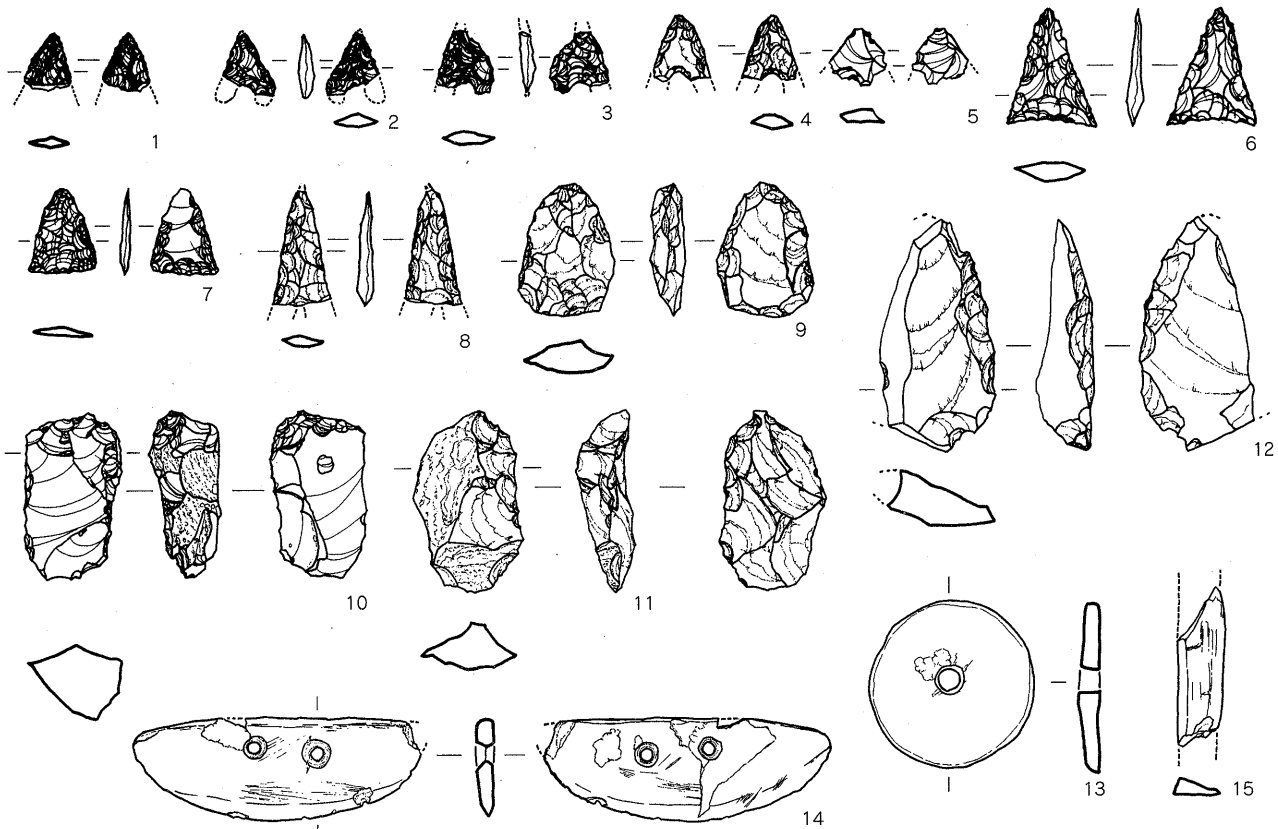


7SD337 灰色土

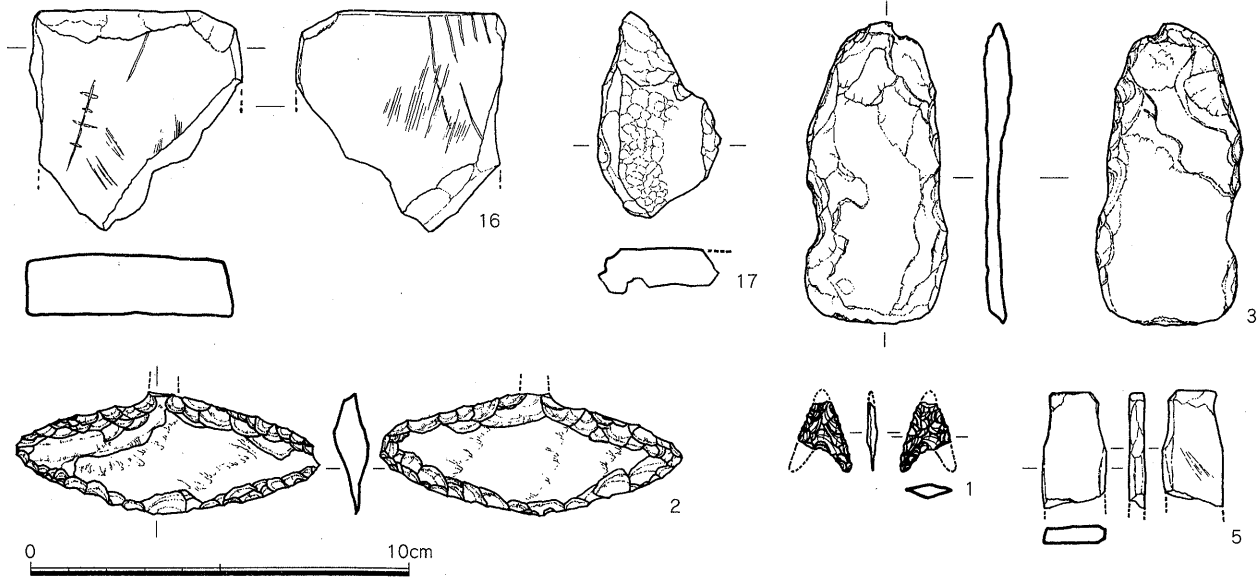


Fig47 7SI155 · 175 · 190 · 235 · 7SE230 · 7SD100 · 337 · 7SK075 · 7SX013 · 140 · 307 · 406 · 496 · 506 · 513 出土石製品 (S=1/2、7SD100茶色土1はS=1/3)

表土



褐色土



暗灰茶色土

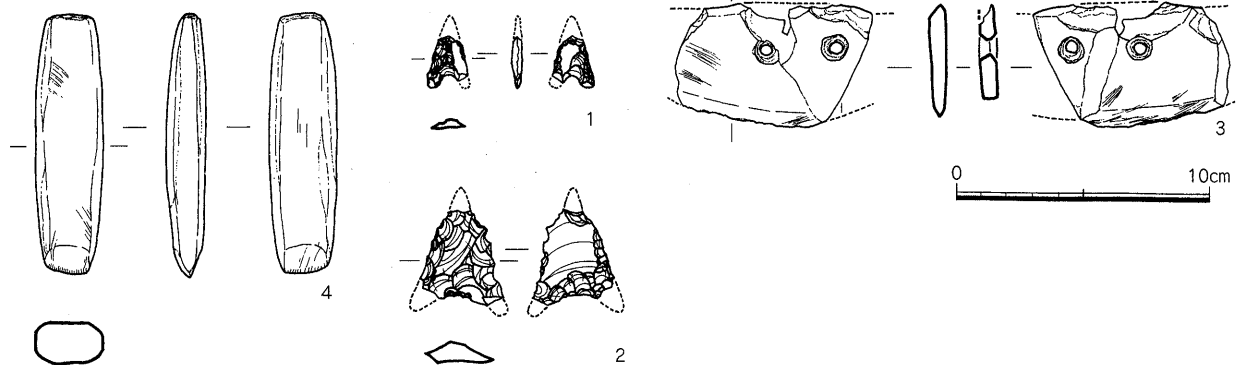


Fig48 表土・褐色土・暗灰茶色土出土石製品 (S=1/2、表土14、褐色土3、暗灰茶色土3はS=1/3)

第4章

1 殿城戸遺跡7次調査の小結

立地環境

殿城戸遺跡7次はFig1の調査区周辺の旧地形図を見ると、天拝山から派生する丘陵の裾部にあたり、平野部の最も奥部分に位置している。また、谷部から平野部へと展開する地形の変化するところでもある。北側には古墳時代初頭の宮ノ本遺跡、東側には古剣塚古墳群が存在する。

弥生時代中期

中期の遺構として7SI175、235が挙げられる。出土遺物から二つとも須玖Ⅱ式の段階（中期後半～後期初頭）に相当すると考えられる。佐野地区ではこの時期の遺構は少なく、隣接する殿城戸2次調査や脇道6次調査で円形住居が確認されている。

弥生時代後期から古墳時代初頭

この時期の遺構は掘立柱建物を中心にして展開する。7SB215、225、240、245、7SD105、7SK150、7SX165が挙げられる。7SB215、225は出土遺物が無いため明確には時期の決定をしにくい、布留式系土器が出土する7SB240、245と建物形態や軸方向が類似することから当該期のものと判断した。ただし建物の位置関係が近接することを考えると215、225と240、245の中でもやや時間差があるものと思われる。7SD105は本調査区から南側の殿城戸遺跡6次調査区へと延びてゆく。土器が出土していないため時期は不明だが、7SK045、075との切り合い関係から布留式土器が出現する以前のものである。7SK150は調査区の南端に1基単独で検出される。土層観察から一度掘り返しが認められ、この掘り返しの埋土中からは庄内式系甕破片と弥生的要素を含む高坏脚が出土している。高坏脚は脚裾部に打ち搔きの痕跡があり、祭祀行為を行ったのち廃棄されたと考えられる。7SX165は用途不明の埋甕遺構である。口縁部の形態から弥生後期前半頃のものと思われる。

古墳時代初頭

この時期の遺構には、7SB210、7SI160、185、190、205、7SD100、7SK045、075、367、403、404がある。方形区画溝7SD100を中心に掘立柱建物、住居、土坑が展開する。7SB210は立地する位置や主軸の方向から100の内部施設の可能性が高く、平面形状や柱掘り方から考えると小規模な建物であることが推測できる。住居の185、190は、100の東辺溝ラインを基準として構築したような配置の状況を示す。土坑は7SD100の周囲四隅を意識して構築されている。特に7SK045・075は区画溝と距離を置かず並行するように造られている。各土坑の出土土器を見ると、7SK045・075から出土する土器は甕、壺等の日常雑器が多く、7SK403・404は高坏、小型特殊器台、小型丸底壺など祭祀的要素をもった土器が多く出土している。このことから土坑の使い分けが行われていた可能性が考えられる。ただ、これら土坑群から出土する土器は、土層観察から土坑が埋没する過程で廃棄されたと考えられ、初期には土器廃棄がおこなわれておらず、土坑を構築する当初の目的については不明であり今後の課題である。

古墳時代後期

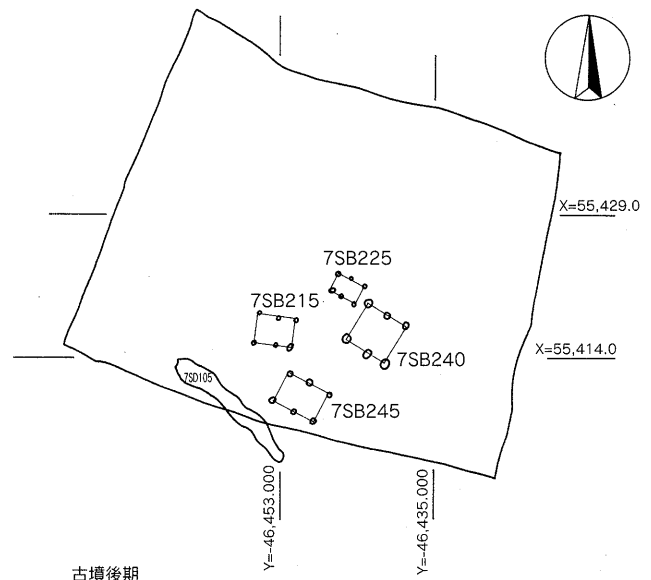
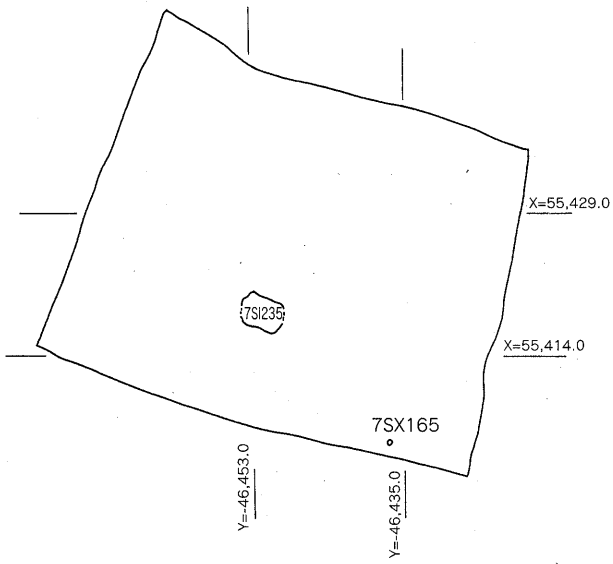
住居のみで構成される。7SI155、170、180、195は出土する土器よりすべて6世紀初頭前後には埋没しており、従って、住居として機能していたのは5世紀後半から6世紀初頭頃と考えられる。また、調査区北側に堆積する遺物包含層の暗灰茶色土からは、内面の当て具痕をナゲ消した須恵器の甕の破片が多く出土している。東側に隣接する殿城戸2次調査や脇道遺跡3次、6次調査でも5世紀代の住居が確認されており、本調査区周辺には当該期の集落が存在している可能性がある。

奈良、平安時代

検出した遺構は7ST200のみで、この遺構は平安時代に位置付けられる。南側に隣接する殿城戸6次調査では9世紀初頭の火葬墓が確認されており、この丘陵裾部が平安時代には墓域として認識されていたと考えられる。今回の調査で骨片は出土しなかったが、焼土坑が丘陵裾部にあることは火葬墓の存在と併せて考えれば示唆的であり、今後の問題となる。また、本丘陵で行われる造墓が大宰府レベルか在地レベルのものかも今後の課題である。

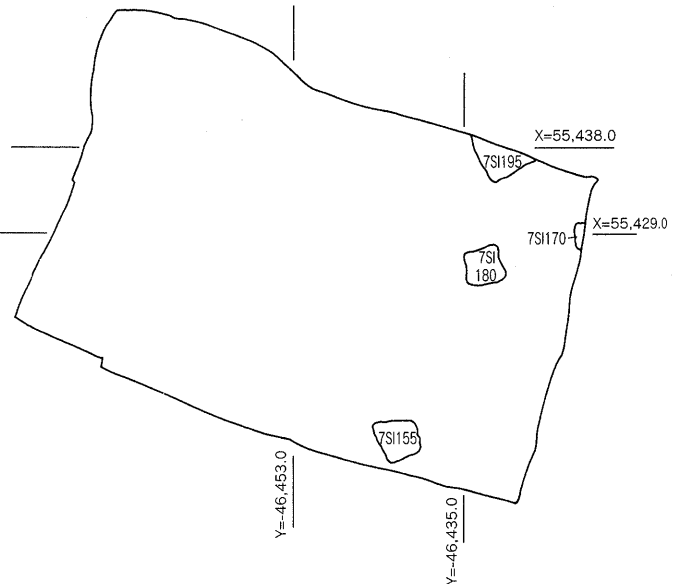
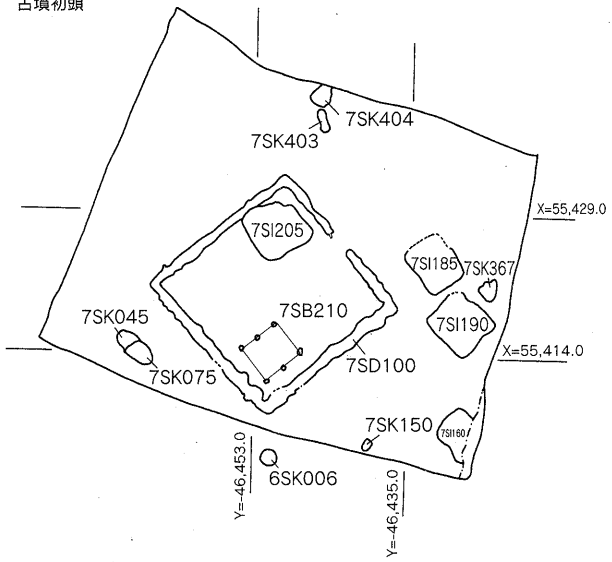
弥生中期末～後期

弥生終末～古墳初頭



古墳後期

古墳初頭



奈良時代、中世

調査前の水田区割

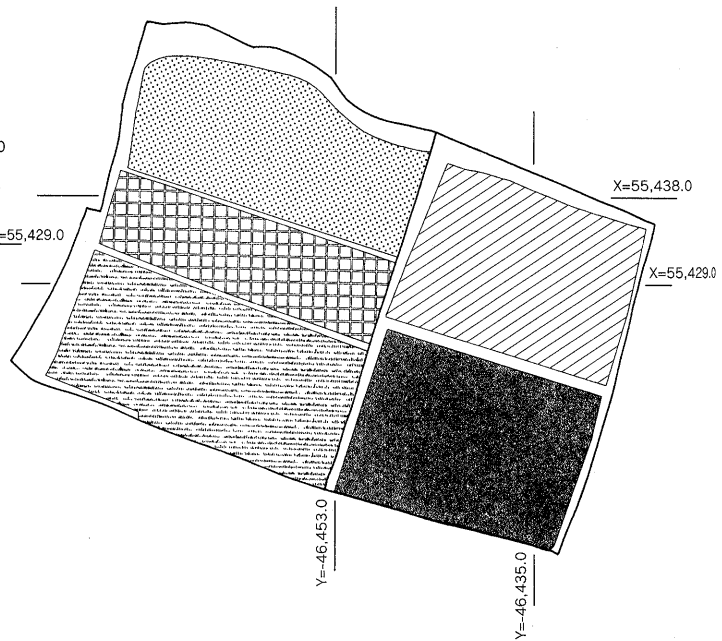
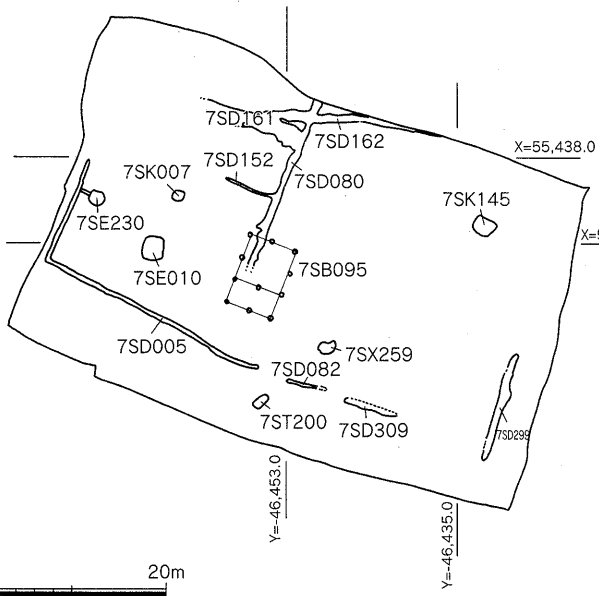


Fig49 殿城戸7次遺構変遷図 (S=1/800)

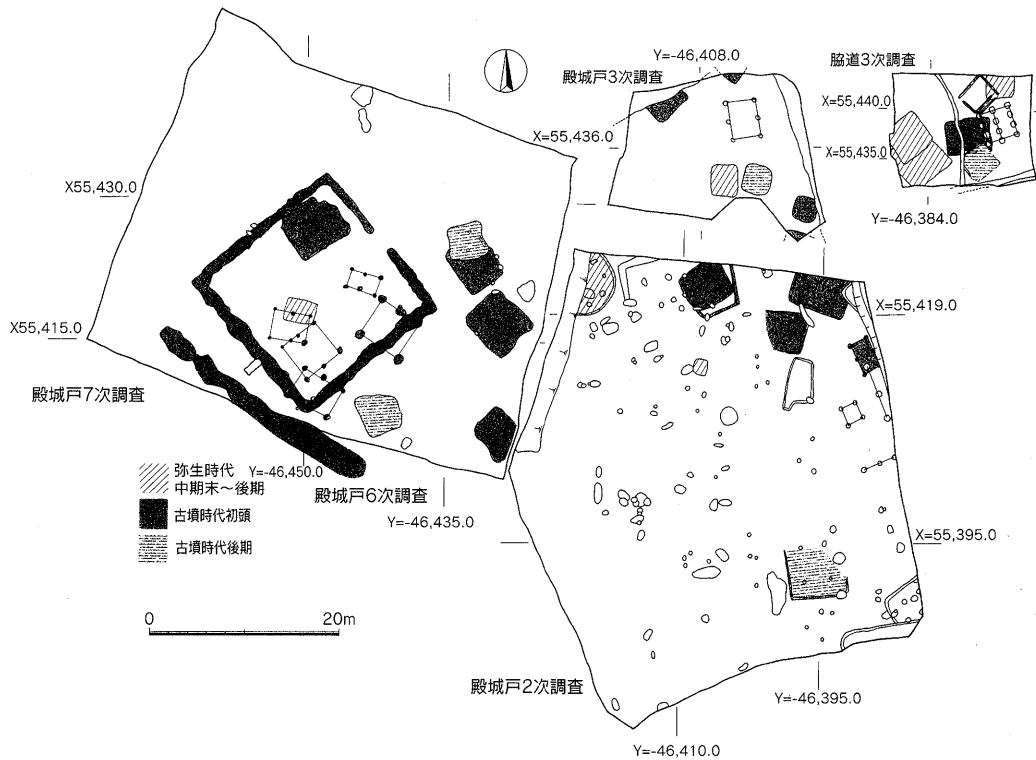


Fig50 殿城戸7次及び周辺調査状況 (S=1/800)

中世 (13世紀後半以降)

現在の水利を主体とした土地利用の基盤ができた時期である。掘立柱建物と井戸、溝群で構成されるが、7SB095と溝群 (7SD005、080、152、161、162、299) との新旧関係は不明瞭である。しかし現代の土地利用の在り方から掘立柱建物が廃絶した後、溝が構築され水田化していった可能性が考えられる。

殿城戸遺跡7次調査区は、弥生時代中期末から人が生活し始めるようになるが、この時期は丘陵頂部に集落主体が展開するが、南側の丘陵地 (殿城戸6次調査区) は削平を受けているため中心となる部分に分からなかった。当該期の遺構の希薄さから殿城戸7次は集落の中核部でなかったことは認識できる。7SI175、235から出土する遺物中には赤色顔料が塗布されたものがみられることや出土遺物の量の少なさ、住居の規模 (特に7SI235) から判断すると、この2基の住居は日常的に使用されたとは考えがたい。弥生時代終末から古墳時代初頭頃になると掘立柱建物群が構築される。周辺の地域では (尾崎、脇道遺跡)、この時期の集落は主に竪穴式住居で構成されており、周囲の状況とはやや様相が異なる。方形区画溝7SD100はこの掘立柱建物群を壊して築かれる。7SD100と同時期の土坑群 (7SK045、075、403、404、7SI160) から出土する土器は布留式系のものを中心としている。高坏や小型丸底壺などの多くは赤色を呈し、精製土が使用されている。また、在地的要素と布留式系の要素の二つを加味した土器もみられ、新しい情報を持った人々に次第に凌駕されていった状況が窺える。次にやや時間的空白において、古墳時代後期には3基の住居が出現し、周辺調査とあわせると小規模な集落を形成されていたことが推測される。平安時代には、墓が造られ本調査区は墓域として利用され、中世以後は耕地化していく。

2 方形区画溝7SD100について

古墳時代初頭の集落は、区画溝7SD100を中心として展開していると考えられる。尾崎遺跡、脇道遺跡など過去の周辺調査の所見と照らし合わせると、区画溝7SD100は古墳時代初頭の集落の最奥部に立

地している。また、各住居の平面プラン、方向は7SD100と類似している。本調査区での住居の配置は7SD100の東辺溝のラインに揃えたような状況で構築されている。これらのことから住居と7SD100との間に有機的関係が存するものと思われる。

7SD100の内部空間には南東隅に掘立柱建物が確認される。古式土師器の坏（布留式併行段階）が出土していること、主軸の傾きなどから7SD100に付随する可能性がある。規模は2間×1間で各柱間は南北2.4m・2.1m、東西4.4mを測る。小規模であることから居住空間とは考えにくい。また、掘立柱建物の西側は遺構密度が少なく広場として利用されていたと考えられる。

7SD100の周辺には杭痕、柵列など外部と隔絶するような明確な施設は無く、北側の陸橋部にも遮蔽するような施設は存在しない。このことから、7SD100内部と外部（集落）を区別するものは溝だけであり、陸橋部を通じて自由に往来ができ、外部からは容易に内部の様子が窺える。

7SD100から出土する土器は殆どが布留式系、山陰系の影響を受けた古式土師器片ばかりである。小型丸底壺、高坏、小型特殊器台、坏など祭祀的要素を含むものが多く、甕、壺の雑器類は少量である。個別に見れば、東辺溝では精製器種が、西辺溝からは雑器類が多く出土する傾向にある。南辺溝中央付近からは布留式系甕、高坏、在地の大型二重口縁壺（山陰系）がまとまって、一括性の強い状態で出土している。この部分の埋土にのみ炭化物を含んでおり火を用いた祭祀の様相が認められる。大分県日田市の小迫辻原遺跡で確認された1号方形環濠では、溝廃絶時に祭祀が行われたと報告されている。本遺構とは遺物の出土量や遺構の規模に差があるため直ちに共通の要素を求めることはできないが、7SD100でも南辺溝で土器が一括して出土していることや東辺溝のコーナー付近に高坏や小型丸底壺などの精製器種が廃棄されている状況から祭祀が行われた可能性は考えられる。（土器の大部分は、溝が埋没する過程で廃棄されたものであることを留記しておく。）

以上のことから7SD100の性格を考えると、溝から出土する遺物の量が少ないこと、精製器種を中心にして遺物が構成されていることなどから日常的に使用されていたとは考えにくい。また、溝内部の建物の規模が小さいこと、柵や杭列など周囲の住居群と断絶性を図る施設が認められないことから居館の可能性は低いと思われる。立地状況、住居群との関連、区画施設の開放的形態、居住空間としての希薄性から、7SD100は古墳時代初頭の集落部分とオープンスペース（公共的な広場）との境界を目的として築かれたと考えられる。

参考文献

『小迫辻原遺跡I』 A・B・C・D区編 大分県教育委員会（1999）

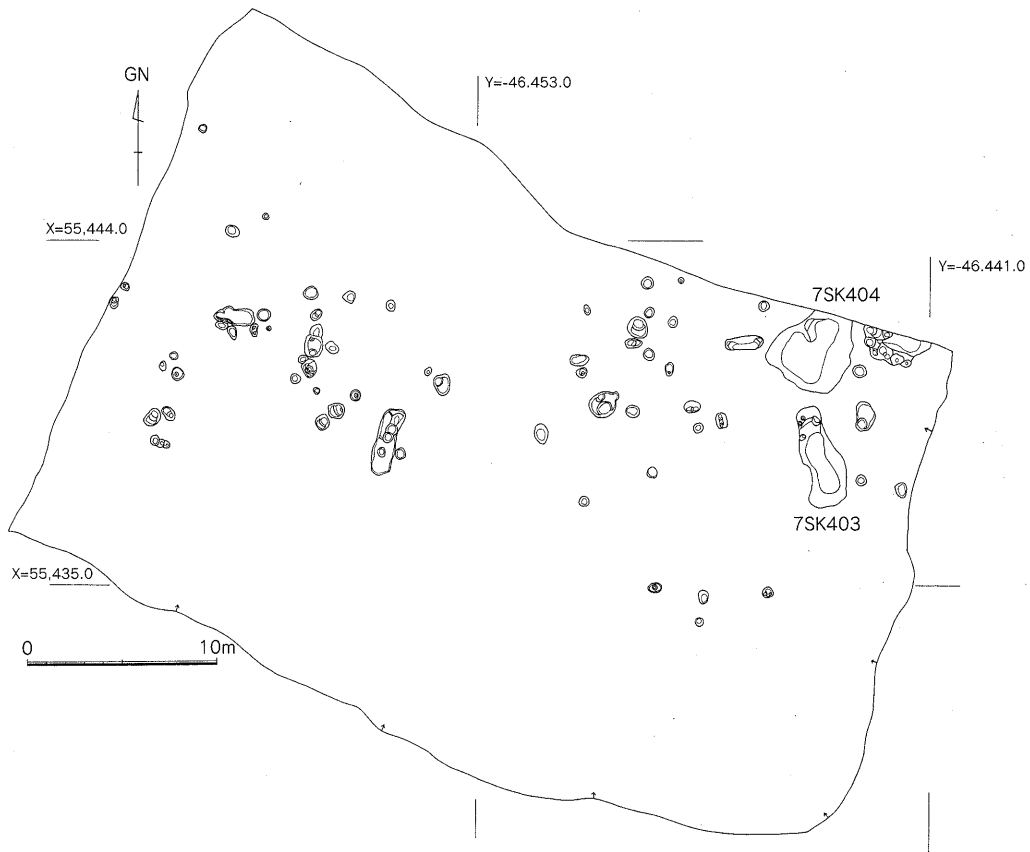


Fig51 暗灰茶色土下層遺構全体図 (S=1/200)

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (1)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
1	7SK001	土坑	茶色ブロック土		13c後半～	E15
2	7SD002	溝	淡灰色土		近世～	I14
3	7SD003	溝	灰色砂→淡灰色土		近世～	J14
4		溝×溜まり状遺構			弥生～	L14
5	7SD005	溝	黒灰色土→黒灰色砂状土→灰色土→灰色砂→灰褐色土	100・524→5→528	13c～	H17
6		小穴			近代	G16
7	7SK007	土坑			中世	K15
8		小穴				F16
9		小穴				K14
10	7SE010	井戸	灰褐色粘質土→明灰色粘土→灰黒色粘質土→暗灰茶色粘質土→暗灰青色粘質土→黄灰色ブロック土→黄色ブロック土→暗灰色砂質土→灰色砂質土→灰褐色砂質土→灰色砂→黒灰色粘質土 (=暗灰青色粘質土)	10→110→2	13c後半～	J16
11		小穴				L15
12		小穴				K14
13	7SX013	小穴	淡灰色土		近世～	I15
14		小穴				I15
15		溜まり状遺構	暗灰色土→暗灰褐色土→黄色土	15→16	奈良～	K14
16		溜まり状遺構	黄色土			K14
17		溝	淡褐色土→灰色ブロック土		近代～	M14
18		溝	灰褐色砂質土		近代～	M15
19		小穴				I15
20	7SK020	小穴	褐色土		?	L15
21		小穴				L15
22		小穴	暗灰色土	S-15と同一遺構か		J14
23		小穴			古墳初頭	L15
24		小穴			古墳初頭	L14
25		溜まり状遺構	灰褐色土→暗灰色土	25→15		K14
26		小穴				L16
27		小穴		27→5		H15
28		溝か	灰黄色ブロック土	31→28		H15
29		小穴				K14
30		溜まり状遺構	暗灰色土	30→15		K14
31		土坑×溜まり	黄色土	31→28		H15
32		溝状遺構×溜まり	黄灰色ブロック土			J15
33	7SB095f	小穴				H14
34		小穴	淡茶色土	105→34	古墳初頭	E14
35		溜まり状遺構				K14
36		小穴				F14
37		小穴		37→5		G14
38		小穴				F15
39		小穴				E13
40	7SK075	土坑			古墳初頭	F15
41		小穴	茶褐色土→茶褐色土(柱痕)→淡茶灰色土	100→41		F13
42		小穴	褐色土			H15
43		小穴	褐色土	43→42		H15
44	7SK044	小穴	褐色土→淡灰茶色粘質土	100→44	古墳初～	G14
45	7SK045	土坑	黄灰色土→暗茶灰色土	45→75	古墳初頭	F15
46		小穴				H13
47		小穴				G15
48		小穴		48→5		G14
49		小穴				D12
50	7SK050	土坑	茶色土	105→50		E14
51		小穴				E12
52		小穴				D12
53		小穴				D12
54		小穴		95→54		J13
55	7SD100		黒灰色土→茶色土	土器集中	古墳初頭	G14
56		小穴	暗褐色土			F12
57		小穴	暗褐色土			F12
58		小穴	暗褐色土			F12
59		土坑×小穴				不明

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (2)

S. 番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
60	7SK060	焼土坑	炭層→灰茶色土→暗灰茶色土		弥生～	E13
61		土坑	暗褐色粘質土			G13
62		小穴		95・98→62		H12
63		小穴		95→167→63		H12
64		小穴				G12
65	7SD100		褐灰色土		古墳初頭	G14
66		小穴				G12
67		小穴				G12
68		小穴				E13
69		小穴	淡褐灰色粘質土			G13
70	7SK070	土坑	淡黄灰色土			I12
71		小穴	褐灰色土	95 k		I13
72		小穴				F12
73		小穴				H13
74		溝×溜まり	暗灰茶色土	100→74		I13
75	7SK075	土坑	淡茶灰色土→暗茶灰色土→淡灰褐色砂質土	45→75	古墳初頭	F15
76		小穴				E13
77	7SB095c	小穴		77→3	13c 後半～	I12
78		小穴				H12
79		溜まり	灰色ブロック土	100→79		D11
80	7SD080	溝	淡灰色土→暗灰色土→褐色土	80→17.80→168.80→3 暗灰茶色土→80	中世後期～	J13
81		小穴				D11
82	7SD082	溝	灰褐色土	135→82→109		F11
83		土坑	灰色ブロック土			C11
84		小穴				D11
85	7SK085	土坑	赤茶色土→灰色土			E11
86		小穴	茶色土	86→81		D11
87		溜まり	明灰色砂	3→87		I11
88		小穴				I11
89		溝	灰色砂	194・208→89		H11
90		小穴	暗灰茶色土	140→90		J11
91		小穴	暗灰色土			I11
92		小穴		140→92		K11
93	7SB095a	小穴	黒灰色土		13c 後半～	J11
94		小穴				G11
95	7SB095	掘立柱建物	暗灰茶色ブロック土→柱痕→黒灰色土	140→95.205→95	13c 後半～	J12
96		溜まり	褐色土	103→96		G11
97		小穴		271→214→97		G11
98		溜まり	淡褐灰色土	62→98		H12
99		小穴	暗灰茶色土	135→99		G11
100	7SD100	方形区画溝	(東溝) 明茶色土→茶色土、(北溝) 淡茶色土→茶色土、(北溝) 灰茶色土→茶色土、(西溝) 茶色土→暗灰茶色土、(南溝) 黒灰色土→炭層→茶色土		古墳初頭	D11～
101		溜まり	灰色砂質土			I12
102		小穴				I11
103		土坑	赤茶色土	135→103	近世～	G11
104	7SB095b	小穴				I11
105	7SD105	溝		105→45.75	弥生～	C11～
106		小穴		284→106		I11
107		溜まり×溝		135→107		E11
108		溜まり×溝		100→108		D11
109		小穴		135→109		F11
110	7SK110	土坑	青灰色ブロック土→暗灰色砂質土→暗褐灰色土	10→110→2	奈良?	J16
111		小穴				H11
112		小穴		284→112		I10
113		土坑×溜まり	淡灰茶色土	284→113		J10
114		小穴				I10
115		掘立柱建物	暗灰茶色土		近世～	M13
116		小穴		116→103		G11
117		溜まり	灰褐色砂質土			H10
118		小穴				H10
119		小穴				H10
120	7SK120	焼土坑	暗灰色土			L9

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (3)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
121		小穴	淡茶色粘質土			H10
122		溜まり	褐色土	284 → 122		J10
123		小穴				H10
124		溝状遺構	褐色土→褐灰色土	259 → 124		F10 ~
125	7SK125	焼土坑	茶灰色土→暗灰色土		中世?	K8
126		小穴		126 → 124		F10
127		溝	明灰色砂			J10
128	7SK128	土坑	黒灰色土			H9
129		小穴	暗灰色土			H9
130	7SK130	焼土坑	暗茶灰色土→淡黒灰色土→黒灰色土→暗褐灰色土→褐灰色土			L9
131		小穴				H9
132		小穴	暗灰色土			I9
133		小穴				H10
134		小穴	灰褐色土		12c 中~	H10
135		溝	灰白色土	100 → 135		D11 ~
136		小穴				I5
137		小穴	淡茶色粘質土			K14
138		小穴				K14
139		溜まり状遺構		17 → 139		M13
140	7SX140	遺物包含層	褐色土	284 → 140	13c 後~	J11 ~
141		小穴		7 → 141		K15
142		小穴		7 → 142		K15
143		溜まり	褐色土			L13
144		溜まり	灰色砂質土	暗灰茶色土→144	近代	N13
145	7SK145	土坑	茶灰色土(茶褐色土+灰黒色土)→茶褐色土+灰黒色土→暗灰茶色ブロック土(灰黒色土)→灰黒色土		中世	K4
146	7SB115e	小穴		115e		N13
147		包含層	暗灰茶色土			N12
148		小穴				F15
149	7SD149	溝	淡茶色粘質土→暗灰茶色シルト質土→暗灰茶色土	暗灰茶色土→149→151・161	中世~	P14
150	7SK150	土坑	淡茶色土→茶色土→灰褐色土		古墳初頭	B7
151	7SD151	溝	灰茶色土	149 → 151	中世後期~	P13
152	7SD152	溝	暗灰茶色土	152 と 80 は同一遺構か	中世後期~	M13
153		溜まり	暗灰茶色土	159 → 153		N12
154		溜まり				N14
155	7SI155	竪穴住居	暗茶色土→淡茶色ブロック土→茶灰色ブロック土→茶褐色土	548 → 155 → 309・316	古墳後期	D8
156		小穴群	暗灰茶色土	暗灰茶色土→156		N12
157		小穴	暗茶色土	暗灰茶色土→157		N13
158		小穴	暗灰茶色土	暗灰茶色土→158	12c 中~	M13
159		小穴	暗灰茶色土	159 → 153		M13
160	7SI160	竪穴住居	茶褐色土→黒灰色土→淡茶褐色土→淡茶色土→褐色土	160 → 364・317	古墳初頭埋没	C4
161	7SD161	溝	茶灰色粘質土→暗灰茶色土	301・178・174・202・181 → 161 → 164・166	古墳後期	M11
162	7SD162	溝	淡茶色粘質土→茶色粘質土→茶灰色粘質土→暗灰茶色土	暗茶灰色土→169→162→168	古墳後期	O10
163		小穴群		162 → 163		O12
164		小穴		161 → 164		O13
165	7SX165	埋竈遺構	灰褐色土 (= 褐色土)		弥生後期	C6
166		溜まり	褐色土	161 → 166		O15
167		不明				
168		溝		162 → 168		O11
169		小穴	暗灰茶色土	169 → 161		O12
170	7SI170	竪穴住居		170 → 337・392	古墳後期	K1
171		小穴		暗茶灰色土→173→171		N12
172		小穴		暗茶灰色土→173→172		N13
173	7SK173	土坑	灰茶色土→暗灰茶色土	173 → 171・172	中世後期	N12
174		小穴		暗灰茶色土→174→161		O12
175	7SI175	竪穴住居	黄白色土→黒灰色土→黄灰色ブロック土→暗灰色土→茶灰色土→茶色土 (= 暗灰色土)	421 → 175 → 297・306・328・412・392	弥生中期末~後期初頭	K3
176		溜まり×溝	暗灰茶色土	暗灰茶色土→176		N14

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (4)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考(先後関係など)	時期	地区
177		小穴	暗灰茶色土	暗灰茶色土→177		M12
178		小穴		暗灰茶色土→178→161		O13
179		小穴	暗灰茶色ブロック土			O11
180	7SI180	竪穴住居	茶灰色土→赤茶色土	185→180	古墳後期	J5
181		小穴	暗灰茶色土	181→161		O11
182		小穴×土坑	黒灰色土	182→3		I12
183		小穴	淡茶色土	183→173		N12
184		溝	黄色ブロック土		近代～	N9
185	7SI185	竪穴住居	茶灰色土→黒灰色土	185→180・331・338・344・348・352・378・381	古墳初頭	H4
186		小穴	灰色土	184→186		N9
187		小穴	暗灰茶色土			N9
188		小穴		189→188		H10
189		小穴		189→188		H10
190	7SI190	竪穴住居	黒灰色土→暗茶色土→灰褐色土	190→299・318・349・371	古墳初頭	E3
191		小穴	灰色砂	191→204→3		I11
192		小穴		192→3		I11
193		小穴	淡茶色土	193→3		I11
194		小穴	暗灰茶色土	194→89		H12
195	7SI195	竪穴住居	淡茶褐色土→黒灰色土	419→195→293・294・306・418	古墳後期	N5
196		小穴	暗灰茶色ブロック土	140→196		J11
197		小穴	黒灰色土(暗灰茶色土)	284→197		K10
198		小穴	暗灰茶色土	80→198		M12
199		小穴		80→199		N11
200	7ST200	土壙	暗茶褐色土	100→200	平安	E12
201		小穴	暗灰茶色土	201→161		O13
202	7SX202	小穴	暗灰茶色土	202→161	13c中～	O11
203		小穴	暗灰茶色土	257→203→184		N10
204		小穴		191→204→3		I11
205	7SI205	竪穴住居	茶灰色土	100・554→205	古墳初頭	J11
206		小穴	暗灰茶色土	206→140		J11
207		小穴				I10
208		小穴	茶色土→暗灰茶色土	208→89		H11
209		小穴		135→209		G11
210	7SB210	掘立柱建物	黄茶褐色土	235→210→452	古墳初頭	E11
211		小穴				G10
212		小穴		140→212		J11
213		小穴		135→213		G11
214		小穴		271→214→97		G11
215	7SB215	掘立柱建物		235→215	弥生?	F11
216		小穴		100→216		H14
217		小穴	暗灰茶色土			J13
218		小穴	暗灰茶色土	218→80		L12
219	7SK219	土坑	暗灰色土→暗灰色砂→黒灰色土		8c～	H8
220	欠番					
221		小穴群	黒灰色土			H8
222		小穴群	黒灰色土	289→222		G8
223		小穴		223→135		G10
224		小穴群				J7
225	7SB225	掘立柱建物		225→442	弥生後期～	H8
226		小穴			12c～	G9
227		小穴群				I8
228		小穴				I8
229		小穴				J8
230	7SE230	井戸	灰色粘質土→暗灰色土		中世後期～	L18
231		小穴群				K7
232		土坑				L9
233		小穴×土坑	暗灰色土			L8
234		小穴		205→234		J10
235	7SI235	竪穴住居	黄褐色土→淡黄褐色土	235→215・431・463	弥生中期末～後期初頭	G11
236		小穴				I9
237		小穴		205→237		J9

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (5)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
238	7SK238	焼土坑	黒灰色土→暗茶灰色土→灰茶色土→淡灰茶色土			L8
239		土坑		241 → 239		M8
240	7SB240	掘立柱建物		240 → 100	古墳初頭	G8
241		土坑		242 → 241 → 239		M8
242		土坑		242 → 241 → 239		L7
243		小穴		256 → 243		L6
244		小穴群				L7
245	7SI245	掘立柱建物		245 → 100	古墳初頭	D10 ~
246		小穴				M7
247		小穴群				M7
248		小穴群		249 → 248		M6
249		小穴群		249 → 248		M6
欠番						C4
251		小穴		276 → 251		N7
252		小穴				N7
253		土坑		暗茶灰色土 → 253		N8
254		溜まり		284 → 254 → 140	近世~	I9 ~
255	欠番					
256	7SK256	焼土坑	淡灰色砂質土	256 → 243	8c 後~	L6
257		溜まり	黄色土	暗茶灰色土 → 257 → 203 → 184		M9
258		小穴				E10
259	7SX259	土坑	淡灰色土(灰茶色土)→褐灰色土→黒灰色土(=黒色土)	259 → 124	13c 後~	G10
欠番						
261		溝	暗灰茶色土	暗茶灰色土 → 261		M11
262		小穴	暗灰茶色土	273 → 262		N9
263		小穴	暗灰茶色土			N10
264		小穴				N15
欠番						
266		小穴				N7
267		小穴				G10
268		小穴				I10
269		小穴×土坑			9c 中~?	H10
欠番						
271		小穴		271 → 214 → 97		G11
272		小穴				K9
273		遺物包含層	褐色ブロック土	273 → 274		M8 ~
274	7SK274	土坑	灰色ブロック土	162 → 274	近世~	N7
欠番						
276		溜まり×小穴	淡茶色土	278 → 276 → 251		N7
277		小穴		277 → 276		N7
278		小穴		278 → 276		N7
279		小穴				N7
欠番						
281		小穴				N6
282		小穴				G10
283		小穴				K9
284		溝×溜まり状遺構	暗茶色土	284 → 106.112.113.122.140.197.287.254	古墳初頭	I10 ~
欠番						
286		小穴		286 → 140	平安前期~	J11
287		小穴群		284 → 287		I10
288		小穴群		100 → 288		I8
289	7Sb240f	小穴		289 → 222	古墳初頭	G8
欠番						
291		小穴群	黒褐色土			K5
292		小穴	黒褐色土			K5
293		溝	黒灰色土	195 → 293		M4
294		小穴群	黒灰色土	195 → 294		M5
欠番						
296		小穴		296 → 293		M4
297		溜まり状遺構	淡茶色土	175 → 297 → 306		L3
298		溝		298 → 311		C5
299	7SD299	溝	黒灰色土→黄褐色土	190・361 → 299 → 314・321	中世	E4

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (6)

S. 番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
欠番						
301		小穴				I4
302		小穴群		175 → 302		J3
303		土坑	淡茶色土	175 → 303		J4
304		小穴		175 → 304	7c 中～	J4
欠番						
306		溜まり		175 → 306 → 297		L4
307	7SX307	溜まり状遺構	灰色砂質土	317 → 307	近代	B3
308		溜まり	茶色土	355 → 308		C7～
309		溝	褐灰色ブロック土	100 → 309		D8
欠番						
311	7SD311	溝	灰白色土→茶灰色土 (淡褐灰色土) → 灰褐色土→暗灰茶色土	298 → 311	8c 中～	D6
312		溝	灰色ブロック土		近代?	B5
313		小穴群				D9
314		土坑×溜まり状遺構	黄色土	299 → 314	7c 中～	D5
欠番						
316	7SK316	焼土坑	黒灰色土			E5
317		溝	黄色土	160 → 317	近世?	C4～
318		小穴群		190 → 318		F5
319		小穴				F4
欠番						
321		小穴		299 → 321		F4
322		小穴群				E3
323		小穴				E3
324		小穴				E3
欠番						
326		土坑		353 → 326	近代	F2
327		溝	灰色土	175・180 → 327	近代	I4
328		土坑×溜まり状遺構	茶灰色シルト質土→暗灰色土→灰色土	175 → 328	8c 後半～	K3
329		小穴				D3
欠番						
331		溜まり		185 → 331		H5
332		小穴	灰褐色土			H5
333		小穴		180 → 333	平安	I5
334		小穴群		180 → 334		I5
欠番						
336		小穴群		175 → 336		J2
337	7SD337	溝	灰色土→黒色土	170 → 342 → 337	8c	K1
338		小穴		185 → 338		I4
339		小穴群		175 → 339 → 327		I3
欠番						
341		小穴群				C6
342		溝	茶褐色土	170 → 342		J2～
343		小穴群		175 → 343		I3
344		小穴		185 → 344		I4
欠番						
346		小穴群		185 → 346		H4
347		小穴				H4
348		小穴		185 → 348		H4
349		土坑		190 → 349		H4
欠番						
351		小穴		180 → 351	13c 後～	I4
352		小穴		185 → 352		I4
353		溝	灰色砂→暗茶色土	307、337と同じか?	近代	E3
354		小穴		190 → 369 → 354		F4
欠番						
356	7SB240b	土坑		356 → 362		E7
357		小穴群				C6
358		小穴			奈良	C6
359		小穴×土坑		298 → 359		D6
361		小穴群		361 → 299		E4
362		小穴群		356 → 362		E7
欠番						
363		小穴				J6

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (7)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
364		小穴		160 → 364		C4
欠番						
366		小穴		×		C7
367	7SK367	土坑	灰色砂→淡茶色土	367 → 346	古墳初頭	H3
368		小穴群			弥生後期	F5
369		小穴群		190 → 369 → 354		F4
欠番						
371		小穴		190 → 371		F4
372		小穴群				G3
373		小穴				J2
374		小穴				H6
欠番						
376		小穴				H4
377		小穴		185 → 377		H4
378		小穴群		185 → 378		H5
379		小穴		175 → 379 → 327		I3
欠番						
381		小穴		180 → 381		I4
382		小穴		175 → 382		J4
383		土坑	暗灰色土	175 → 383 → 328		K3
384		小穴群				D4
欠番						
386		小穴				D3
387		小穴群		387 → 暗灰茶色土		N14
388		小穴群		388 → 暗灰茶色土		N13
389		小穴		389 → 暗灰茶色土		O13
欠番						
391		小穴		391 → 暗灰茶色土		N12
392		小穴群		392 → 暗灰茶色土		N12
393		溜まり状遺構	黄灰色粘土	393 → 暗灰茶色土		N12
394		小穴		394 → 暗灰茶色土	6c 後半	N13
欠番						
396		小穴		396 → 暗灰茶色土		N13
397		小穴		397 → 暗灰茶色土		M11
398		小穴		398 → 暗灰茶色土		M11
399		小穴		399 → 暗灰茶色土		M11
欠番						
401		小穴群		401 → 暗灰茶色土	弥生後期	O10
402		小穴		402 → 暗灰茶色土		N10
403	7SK403	土坑	黒褐色土	403 → 暗灰茶色土	古墳初頭	N9
404	7SK404	土坑	黒褐色土	404 → 暗灰茶色土	古墳初頭	O9
欠番						
406	7SX406	小穴	茶色土		弥生	O9
407		小穴				L9
408		小穴			弥生後期	J4
409	7SI175d	小穴		175 → 409 → 328	弥生後期	K3
欠番						
411		小穴群		411 → 暗灰茶色土		N8
412		小穴				J4
413		小穴				I3
414		小穴			弥生	K2
欠番						
416		小穴				K3
417		小穴			弥生	J4
418		小穴		195 → 418	8c 中～	M4
419		溜まり状遺構		419 → 195		M3
欠番						
421	7SK421	土坑	淡茶色土→黒灰色土→暗灰茶色土	175 と関連か?	弥生	J3
422		小穴				J3
423		小穴群		7SB225a を含む		H8
424		小穴群				G7
欠番						
426		小穴		×	古墳初頭	J10
427		小穴		×		J10
428		小穴群			8c 後半	I11
429		小穴群				F9

* ×は原位置不明

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (8)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
欠番						
431		溜まり		235 → 431	古墳初頭	G10
432		小穴群		×		
433		小穴		×		G10
434		小穴			弥生後期	H10
欠番						
436		小穴		×		H10
437		小穴群				H10
438		小穴群				H9
439	7SB225d	小穴			弥生	H9
欠番						
441		小穴			弥生後期	H9
442		土坑		225 → 442	古墳初頭	H8
443		小穴			弥生後期	I8
444		小穴				I8
欠番						
446		小穴		×		G8
447		小穴			弥生後期	G8
448	7SB215f	小穴		235 → 215		G11
449		小穴		×		F11
欠番						
451		小穴群				F11
452		土坑	茶色土	100.210 → 452	古墳初頭	D10
453		小穴群				E11
454	7SB245b	土坑				C10
欠番						
456		土坑×溜まり状遺構		454 → 456		C10
457		小穴				D10
458		小穴群				D10
459		小穴				C9
欠番						
461		小穴		461 → 100	弥生後期	D9
462		小穴		×		E9
463		溜まり状遺構	淡茶色土	235 → 463 → 553		G11
464		溜まり状遺構	灰褐色土		7c 中～	G12
欠番						
466		小穴		×		F13
467		小穴群				H12
468		小穴群		×		J8
469		小穴				H6
欠番						
471		小穴				G6
472		小穴				F6
473	7SB245f	小穴				E10
474		小穴				E10
欠番						
476		小穴		×		K10
477		小穴				K10
478	7SB240e	小穴	淡茶灰色ブロック土→淡茶灰色土→淡茶色土→淡茶砂質土		古墳初頭	F9
479		土坑		100 → 479		H7
欠番						
481		小穴				G8
482		小穴		235 → 482	弥生後期	G11
483		小穴群		235 → 483		G11
484		小穴		463 → 484		H10
欠番						
486		溜まり状遺構	灰白色土			I12
487		小穴				G9
488		溜まり状遺構		100 → 488		J14
489		土坑×溜まり状遺構	暗灰茶色土		近世	R17
欠番						
491		溝状遺構			奈良	Q18 ~ R18
492		溝状遺構			近世	Q18 ~ R18

*×は原位置不明

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (9)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
493		小穴群				Q16
494		溝状遺構				Q15
欠番						
496	7SX496	小穴				R15
497		小穴				P19
498		小穴			近世	O19
499		溝状遺構				O16
欠番						
501		小穴				N16
502		小穴群				M16
503		溜まり状遺構				M17
504		溝状遺構	暗灰色土	504 → 539		K19
欠番						
506	7SX506	溝状遺構	暗灰色土	541 → 506		K19
507		小穴群				L16
508		小穴				M17
509		小穴				L16
欠番						
511		小穴				K17
512		溝状遺構				K18
513	7SX513	小穴				K18
514		小穴				K18
欠番						
516		小穴				J17
517		小穴				K18
518		小穴				K19
519		小穴				L18
欠番						
521		小穴		504.506 → 521	近世	K19
522		小穴				K19
523		小穴				I18
524		溜まり状遺構		524 → 5		I18
欠番						
526		溜まり状遺構			近世	I20
527		溜まり状遺構				I20
528		溝状遺構	灰褐色砂→暗灰色土	5 → 528	近代	F19
529		小穴				L16
欠番						
531		小穴				I8
532		小穴		532 → 479		H7
533		小穴				H7
534	7SB240g	小穴		536 → 534		G7
欠番						
536		小穴		536 → 534		G7
537		小穴				E9
538		小穴群				L10
539		溜まり状遺構		504 → 539 → 528	近世	J19
欠番						
541		溜まり状遺構		541 → 506.539 → 528		J19
542		土坑×溜まり状遺構		542 → 504 → 539		K20
543		溜まり状遺構				Q17
544	7SB245d	小穴		544 → 100		D11
欠番						
546		土坑	黒灰色土	×		不明
547		小穴			弥生～	J19
548		小穴	暗茶灰色土→淡灰茶色土→茶灰色土	548 → 155	弥生～	C7
549		小穴群		×		H4
欠番						
551	7SX551	溝状遺構		551 → 205	弥生後期	J11
552		小穴		×		G10
553		小穴		463 → 553	弥生後期	G11
554		小穴	暗灰茶色土	120 → 556		O14
欠番						
556		小穴		120 → 556		L9

*×は原位置不明

殿城戸遺跡第7次調査 遺物一覧表

S-1 暗茶色粘質土

須 惠 器	破片
土 師 器	小皿 a × b (糸)
弥 生 土 器	破片

S-1 茶色ブロック土

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-1 茶色土

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-2 淡灰色土

須 惠 器	坏 IV、蓋 3
石 製 品	ob-F、and-F
弥 生 土 器	破片

S-3 淡灰色土

須 惠 器	甕、蓋 1、蓋 3
土 師 器	破片
龍泉窯系青磁	IIA?
石 製 品	and-AP、and-F
瓦 質 土 器	播鉢
肥前系陶磁器	染付端反碗
国産陶器	椀×鉢(瀬戸焼?)、黒釉陶器
国産磁器	白磁椀
弥 生 土 器	壺?、破片

S-3 灰色砂

弥 生 土 器	甕(中期)
---------	-------

S-4

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-5

須 惠 器	坏 c3、坏?
土 師 器	甕
磁 器	龍泉窯系青磁椀 I 類、白磁片
土 師 質 土 器	播鉢
染付(輸入)	明染付椀?

S-5 灰褐色土

須 惠 器	甕、蓋 3
-------	-------

S-5 灰色砂

須 惠 器	坏 a、蓋 (小田 III 期)
土 師 器	甕

S-5 灰色土

須 惠 器	甕
土 師 器	甕?

S-5 黒灰色砂状土

土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-5 黒灰色土

須 惠 器	蓋 3
土 師 器	坏?
石 製 品	and-F

S-6

須 惠 器	破片
国産陶器	褐釉壺?
弥 生 土 器	破片

S-7

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-8

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-9

須 惠 器	坏 IV?
石 製 品	珪化木片

S-10 黒灰色粘質土 (= 暗灰青色粘質土)

石 製 品	ob-F
-------	------

S-10 灰色砂

須 惠 器	坏 3、蓋 1?、破片
土 師 器	破片
石 製 品	and-RF
弥 生 土 器	甕(後期)、破片

S-10 灰褐色砂質土

須 惠 器	坏?
土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-10 灰色砂質土

須 惠 器	甕破片、坏 4?
土 師 器	破片
石 製 品	天草産の石材?、ob-F
弥 生 土 器	破片

S-10 暗灰色砂質土

須 惠 器	坏 2?、甕破片
土 師 器	古式土師器 高坏脚、大甕破片、二重口縁壺
弥 生 土 器	甕口縁部(西新式)、破片
土 製 品	加工土器片

S-10 黄色ブロック土

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-10 黄灰色ブロック土

須 惠 器	坏?
土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-10 暗灰青色粘質土

須 惠 器	蓋 3、破片
土 師 器	小皿 a (糸)、坏?、古式土師器 小型丸底壺?
弥 生 土 器	鉢 4、破片

S-10 暗灰茶色粘質土

須 惠 器	破片?
土 師 器	坏 a、破片

S-10 灰黒色砂質土

土 師 器	甕破片
瓦 質 土 器	播鉢破片、火鉢破片
弥 生 土 器	器台脚片
木 製 品	漆器椀破片

S-10 灰黒色粘質土 (12a)

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-10 明灰色粘土

須 惠 器	甕破片
土 師 器	坏 a (糸)
木 製 品	漆器椀破片
その他	花崗岩

S-10 灰褐色粘質土③

土 師 器	小皿 a (糸)
-------	----------

S-10 灰褐色粘質土④

土 師 器	小皿 a (糸)
-------	----------

S-11

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-12

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-13

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-13 淡灰色土

白 磁 碗	
国産陶器	碗×皿
弥 生 土 器	破片
石 製 品	and-AP

S-14

土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-15 黄色土

弥生土器	破片
------	----

S-15 暗灰褐色土

須恵器	破片
弥生土器	破片

S-15 暗灰色土

須恵器	甕、坏、蓋4
土師器	古式土師器 庄内式系壺? (朝顔)、坏 a (糸)
弥生土器	甕口縁部 (中期)、器台脚、破片

S-16 黄色土

土師器	坏破片、古式土師器 布留式系甕
弥生土器	甕底部、破片

S-17 灰色ブロック土

土師器	古式土師器 庄内式系壺?
弥生土器	甕破片 (後期?)
国産陶器	皿×碗

S-17 淡褐灰色土

弥生土器	底4?
------	-----

S-18 灰褐色砂質土

土師器	古式土師器 高坏坏部?
瓦質土器	破片
弥生土器	破片

S-19

須恵器	甕破片
国産陶器	碗?

S-20

土師器	破片
弥生土器	破片

S-20 褐灰色土

土師器	皿 a
土師質土器	摺鉢
瓦質土器	摺鉢 (15c ~)
弥生土器	破片

S-21

弥生土器	破片
------	----

S-22 暗灰色土

須恵器	甕破片?
弥生土器	破片

S-23

土師器	古式土師器 小型特殊器台破片
-----	----------------

S-24

土師器	古式土師器 高坏脚?
-----	------------

S-25 暗灰色土

須恵器	蓋 IV?、破片
弥生土器	破片

S-25 灰褐色土

石製品	石庖丁?
-----	------

S-26

弥生土器	破片
------	----

S-28

土師器	破片
-----	----

S-29

土師器	古式土師器 高坏脚?
-----	------------

S-30 暗灰色土

土師器	坏 a?、破片
-----	---------

S-31 黄色土

土師器	古式土師器 布留式系甕、破片
弥生土器	破片

S-32 黄灰色ブロック土

石製品	and-F、and-F
弥生土器	破片

S-33 (=S-95f)

須恵器	坏 2?
弥生土器	破片

S-34 淡茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕口縁部?
弥生土器	甕口縁部 (後期?)

S-36

弥生土器	破片
------	----

S-37

弥生土器	破片
------	----

S-38

弥生土器	破片
------	----

S-39

土師器	古式土師器 大甕破片 (山陰系?)
弥生土器	破片

S-41 淡茶灰色土

弥生土器	破片 (赤色顔料塗布あり)
------	---------------

S-41 茶褐色土 (柱痕)

弥生土器	破片
------	----

S-41 茶褐色土

弥生土器	破片
------	----

S-42 褐色土

土師器	破片
弥生土器	甕口縁部 (後期?)、破片

S-43

土師器	破片
-----	----

S-44 淡灰茶色粘質土

弥生土器	破片
------	----

S-44 褐灰色土

土師器	古式土師器 布留式系甕口縁部、庄内式系壺?
縄文土器	破片

S-45 暗茶灰色土

土師器	古式土師器、高坏脚 (在地系あり)、小型丸底壺、 小型特殊器台脚、布留式系甕、高坏脚、山陰系大型壺破片、 大甕 (在地?)、庄内式系甕、庄内式系二重口縁壺
石製品	石英塊
弥生土器	壺 C2、甕 (西新式)
金属製品	鉄鏝

S-45 暗茶灰色土 1

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-45 暗茶灰色土 2

土師器	古式土師器 坏?
-----	----------

S-45 暗茶灰色土 3

土師器	古式土師器 小型特殊器台×高坏脚
-----	------------------

S-45 暗茶灰色土 4

土師器	古式土師器 小型特殊器台脚
-----	---------------

S-45 暗茶灰色土 5

土師器	古式土師器 庄内式系壺?
-----	--------------

S-45 暗茶灰色土 6

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-45 暗茶灰色土 7

土師器	古式土師器、布留式系甕、高坏脚、小型丸底壺、庄内式系甕、 二重口縁壺、大甕 (山陰系?)
-----	---

S-45 暗茶灰色土 8

土師器	古式土師器、庄内式系壺、庄内式系甕、 大甕片 (山陰系?)
弥生土器	破片

S-45 暗茶灰色土 9

土師器	古式土師器 高坏脚
-----	-----------

S-45 暗茶灰色土 10
土 師 器 古式土師器 高坏坏部破片

S-45 暗茶灰色土 11
土 師 器 古式土師器 大甕 (山陰系?)、庄内式系甕、高坏脚
木 製 品 破片
石 製 品 破片

S-45 暗茶灰色土 12
土 師 器 古式土師器 高坏脚

S-45 暗茶灰色土 13
土 師 器 古式土師器 高坏脚

S-45 暗茶灰色土 14
土 師 器 古式土師器 大甕 (山陰系?)、坏、小型特殊器台脚、
庄内式系甕?、布留式系甕、高坏脚、小型丸底壺
弥 生 土 器 甕口 2

S-45 暗茶灰色土 15
土 師 器 高坏脚

S-45 暗茶灰色土 16
土 師 器 古式土師器 小型丸底壺

S-45 暗茶灰色土 17
土 師 器 古式土師器 小型特殊器台脚

S-45 暗茶灰色土 18
土 師 器 古式土師器 壺? (山陰系?)

S-45 暗茶灰色土 19
土 師 器 古式土師器 高坏坏 (坏碗形)

S-45 暗茶灰色土 20
土 師 器 古式土師器 小型丸底壺

S-45 暗茶灰色土 21
土 師 器 古式土師器 高坏脚

S-45 暗茶灰色土 22
土 師 器 古式土師器 高坏×小型特殊器台脚

S-45 黄灰色土
土 師 器 破片

S-46
須 惠 器 坏 2
弥 生 土 器 破片

S-47
弥 生 土 器 破片

S-48
土 師 器 古式土師器 二重口縁壺 (庄内式系?)

S-49
弥 生 土 器 破片

S-51
弥 生 土 器 破片

S-52
土 師 器 破片

S-53
弥 生 土 器 破片

S-54
弥 生 土 器 破片

S-56
弥 生 土 器 破片

S-56 暗茶灰色土
弥 生 土 器 底 1

S-57 暗茶灰色土
須 惠 器 甕破片、蓋?
弥 生 土 器 破片

S-58 暗茶灰色土
弥 生 土 器 底 1?、破片

S-60 暗茶灰色土
弥 生 土 器 破片

S-60 灰茶色土
土 師 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-60 灰茶色土 2a
弥 生 土 器 破片

S-60 炭層
須 惠 器 破片
土 師 器 破片

S-61 暗褐色粘質土
土 師 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-62
土 師 器 破片

S-63
土 師 器 破片
弥 生 土 器 破片
須 惠 器 破片

S-64
土 師 器 破片
磁 器 龍泉窯系青磁碗 I 類

S-66
弥 生 土 器 破片

S-67
弥 生 土 器 破片

S-68
須 惠 器 坏 a? (糸)
土 師 器 古式土師器 小型丸底壺、破片

S-69 淡褐色粘質土
弥 生 土 器 破片

S-70 淡黄灰色土
弥 生 土 器 破片

S-72
土 師 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-73
弥 生 土 器 破片

S-74 暗茶灰色土
土 師 器 坏 a×b (糸)
弥 生 土 器 破片

S-75 淡灰褐色砂質土
土 師 器 古式土師器 高坏坏、高坏脚、布留式系甕、庄内式系甕、
小型丸底壺、丸底壺、庄内式系二重口縁壺
石 製 品 砥石 (黒色対馬)、緑色片岩
弥 生 土 器 壺 D (V 様式系)、甕 (中期)、甕底 1×2、底 6 (V 様式系)
金 属 製 品 板状製品

S-75 暗茶灰色土
土 師 器 古式土師器 高坏、二重口縁壺?、小型丸底壺?、布留式系、
丸底壺、大甕 (山陰系?)、山陰系二重口縁壺、V 様式系甕
石 製 品 長石石英塊、天草砥石?
弥 生 土 器 壺 a1?、支脚

S-75 暗茶灰色土 1
土 師 器 古式土師器 布留式系甕

S-75 暗茶灰色土 2
土 師 器 古式土師器 高坏脚

S-75 暗茶灰色土 3

土師器	古式土師器 布留式系甕口、山陰系甕×壺
弥生土器	甕口(中期)、高坏脚、底6

S-75 淡茶灰土

土師器	布留式系甕
-----	-------

S-75 暗茶灰色土

土師器	古式土師器 布留式系甕
弥生土器	破片

S-76

弥生土器	破片
------	----

S-77

須惠器	甕破片
-----	-----

S-78

須惠器	甕破片
弥生土器	破片

S-79 灰色ブロック土

弥生土器	破片
------	----

S-80 褐色土

須惠器	破片
土師器	破片
弥生土器	破片

S-80 暗灰色土

須惠器	甕破片、蓋 IVA?
土師器	甕把手、古式土師器 高坏脚?、坏
石製品	花崗岩、砥石(天草産?)
弥生土器	破片
磁器	龍泉窯系青磁碗 I×IV、上田 D-II

S-80 淡灰色土

須惠器	蓋 IV?
土師器	古式土師器 甕破片?
弥生土器	破片

S-81

弥生土器	破片
------	----

S-82 灰褐色土

須惠器	破片
土師器	破片
石製品	ob-F
弥生土器	破片

S-83 灰色ブロック土

須惠器	破片
弥生土器	破片

S-84

弥生土器	破片
土製品	焼土塊

S-85

須惠器	破片
弥生土器	破片

S-85 灰色土

須惠器	破片
土師器	破片

S-85 赤茶色土

土師器	破片
弥生土器	破片

S-86 茶色土

須惠器	甕破片、坏破片?
肥前系陶磁器	唐津系壺×瓶破片、皿破片
弥生土器	破片

S-87 明灰色砂

土師器	破片
-----	----

S-88

須惠器	破片
弥生土器	破片

S-89 灰色砂

須惠器	蓋 3
土師器	破片
弥生土器	破片

S-90

須惠器	甕破片?
土師器	破片
弥生土器	破片

S-90 暗灰茶色土

弥生土器	破片
------	----

S-90 暗灰茶色土 1

土師器	坏 a (糸)
-----	---------

S-91 暗灰色土

須惠器	甕破片(内面ナデ消し)、坏?
弥生土器	破片

S-92

弥生土器	破片
------	----

S-94

弥生土器	破片
------	----

S-95 a 黒灰色土

須惠器	甕口(小田 II~III期 A?)
弥生土器	底 I (後期)

S-95 g 柱痕

弥生土器	破片
------	----

S-95 g 暗灰茶色ブロック土

弥生土器	破片
------	----

S-95 h

弥生土器	破片
------	----

S-95 k

須惠器	破片
土師器	破片
弥生土器	破片

S-96 褐色土

白磁	V類?
弥生土器	破片

S-97

須惠器	蓋 3
-----	-----

S-98 淡褐色土

土師器	古式土師器 大甕破片
-----	------------

S-99

土師器	破片
弥生土器	破片

S-99 暗灰茶色土

弥生土器	破片
------	----

S-100

土師器	古式土師器 布留式系甕?
-----	--------------

S-100 茶白色土

弥生土器	破片
------	----

S-100 D10 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕、小型丸底壺、高坏脚、小型特殊器台、庄内式系甕?
石製品	砥石(天草産?)
弥生土器	壺 c2、壺 E?、甕口(後期)、高坏×坏、器台?、底 1、底 3

S-100 D10 茶色土 8

土師器	古式土師器 小型丸底壺、高坏脚、坏?
-----	--------------------

S-100 D10 茶色土 9

土師器	古式土師器 甕、高坏×坏
弥生土器	破片

S-100 D11 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕、小型丸底壺?、高坏脚×坏
弥生土器	壺×甕、甕口1、器台脚?、底1

S-100 E7 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕口、小型丸底壺?
弥生土器	壺c1、甕(西新式、タタキ)、甕口、高坏破片、器台

S-100 E7 茶色土 7

土師器	古式土師器 布留式系甕、小型丸底壺(精製)
-----	-----------------------

S-100 E8 茶色土

弥生土器	壺×甕
その他	焼土塊

S-100 E8 淡茶色土

土師器	古式土師器 高坏破片
-----	------------

S-100 E9 茶色土

土師器	布留式系甕、小型丸底壺(精製)
-----	-----------------

S-100 E12 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕口、高坏(精製品)、 山陰系壺×庄内式系壺、器台?、高坏脚、広口壺?
石製品	op-f
弥生土器	壺?(赤色顔料付)、底1

S-100 F8 茶色土

土師器	古式土師器 破片、小型丸底壺、器台破片?、庄内式系甕?、坏、 小型特殊器台脚
石製品	砥石
弥生土器	壺D、壺E1?、甕(後期)、甕口1、高坏?2

S-100 F8 茶色土 3

土師器	古式土師器 小型丸底壺
-----	-------------

S-100 F8 茶色土 4・5

土師器	壺×甕(山陰系?)
-----	-----------

S-100 F13 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕破片、小型丸底壺、高坏破片、高坏脚、 坏、小型特殊器台破片、庄内式系有段高坏
弥生土器	甕口1、底1、破片

S-100 G7

土師器	古式土師器 布留式系甕口、二重口縁壺?、小型特殊器台脚、 坏×高坏坏
弥生土器	壺?、甕口1、器台脚部?、破片
その他	焼土塊、火山岩

S-100 G8 明茶色土 1・2

土師器	古式土師器 高坏
-----	----------

S-100 G6 茶色土

土師器	古式土師器 庄内式系甕、小型丸底壺?、布留式系甕、高坏×坏
弥生土器	器台?、破片

S-100 G7 茶色土 2

土師器	古式土師器 布留式系甕破片
-----	---------------

S-100 G14 茶色土 10

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-100 G14 茶色土 11

土師器	古式土師器 高坏
-----	----------

S-100 G14 茶色土

土師器	古式土師器 高坏破片、大型壺(山陰系)、布留式系甕、高坏脚
弥生土器	器台?

S-100 G14 淡茶色土

土師器	古式土師器 高坏坏(放射状ミガキ、赤褐色)、 布留式系甕(白色1点)、山陰系大型壺
弥生土器	高坏?、破片

S-100 H7 茶色土

須恵器	甕?
土師器	古式土師器 布留式系甕、高坏坏、小型丸底壺、庄内式系甕?、高坏脚
弥生土器	壺c1(赤色顔料付)、壺c2、壺E1?、壺E2、甕(西新式)、 甕口1?、甕×壺、鉢2、底4?

S-100 H7 茶色土 6

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-100 H14 茶色土

土師器	古式土師器 高坏脚、破片
弥生土器	壺(後期)、壺c1×2、甕(後期)、高坏坏×坏、高坏脚

S-100 IH7 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕、小型丸底壺
弥生土器	高坏坏破片

S-100 I8 茶色土

土師器	古式土師器 小型丸底壺
弥生土器	破片

S-100 I13 茶色土 25

土師器	古式土師器 布留式系甕破片
-----	---------------

S-100 I13 茶色土 26

土師器	古式土師器 小型丸底壺?
-----	--------------

S-100 I14 暗灰茶色土

土師器	古式土師器 二重口縁壺(山陰系?)
石製品	AP-op
弥生土器	甕破片

S-100 J8 入口?(杭痕)

弥生土器	甕×壺
------	-----

S-100 J8 茶色土

弥生土器	甕×壺、高坏
------	--------

S-100 J9 茶色土

土師器	古式土師器 破片
弥生土器	破片

S-100 J9 茶色土 27

土師器	古式土師器 小型特殊器台受部
-----	----------------

S-100 J9 灰茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕(薄手)、破片
弥生土器	壺×甕、高坏脚、破片

S-100 J9 炭層

土師器	古式土師器 破片
-----	----------

S-100 J11 茶色土 12

土師器	古式土師器 布留式系甕破片
-----	---------------

S-100 J12 茶色土

土師器	古式土師器 小型丸底壺、布留式系甕
弥生土器	壺(後期)?、甕口1?、底1

S-100 K10 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕、小型丸底壺?、坏×高坏、 小型特殊器台、高坏脚(在地系)
弥生土器	甕、高坏脚?、高坏脚3、高坏脚2×3

S-100 K10 茶色土 21

弥生土器	甕?
------	----

S-100 K10 茶色土 22

土師器	古式土師器 破片
弥生土器	壺×甕破片

S-100 K11 茶色土

土師器	古式土師器 布留式系甕?、高坏×坏、
弥生土器	甕口?、高坏脚3×4、甕(後期)
その他	火山岩

S-100 K11 茶色土 11

弥生土器	壺×甕破片
------	-------

S-100 K11 茶色土 13

土師器	古式土師器 布留式系甕?
弥生土器	壺底1、甕口1

S-100 K11 茶色土 14

土師器	古式土師器 壺×甕、坏
-----	-------------

S-100 K11 茶色土 15

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-100 K11 茶色土 16
土 師 器 古式土師器 布留式系甕?
弥 生 土 器 破片

S-100 K11 茶色土 17
土 師 器 古式土師器 布留式系破片
弥 生 土 器 破片

S-100 K11 茶色土 18
土 師 器 古式土師器 高坏脚

S-100 K11 茶色土 19
土 師 器 古式土師器 小型丸底壺

S-100 K11 茶色土 20
土 師 器 古式土師器 高坏破片
弥 生 土 器 高坏破片

S-100 K11 茶色土 23
弥 生 土 器 高坏口縁 (中期)

S-100 K11 茶色土 24
土 師 器 古式土師器 高坏破片

S-100 K11 灰茶色土
土 師 器 古式土師器 高坏?
弥 生 土 器 破片、甕口?

S-100 K10~11 茶色土
土 師 器 古式土師器 布留式系甕
石 製 品 AP
弥 生 土 器 甕口1、高坏坏、高坏脚4?

S-100 JK9 茶色土
須 惠 器 甕 (内ナテ消し)
石 製 品 砥石
弥 生 土 器 甕×甕

S-100 G14 炭層
土 師 器 古式土師器 破片
弥 生 土 器 破片

S-100 G14 黒灰色土
土 師 器 古式土師器 布留式系甕
石 製 品 礫

S100 G14 黒灰色土 1
土 師 器 古式土師器 布留式系甕
弥 生 土 器 甕破片、高坏脚?

S-100 G14 黒灰色土 2
土 師 器 古式土師器 布留式系甕 (波状紋あり)

S-100 G14 黒灰色土 3
土 師 器 古式土師器 高坏

S-100 G14 黒灰色土 4
土 師 器 古式土師器 大型二重口縁壺 (山陰系?)
石 製 品 石英、凝灰岩?
弥 生 土 器 破片、壺 A3b

S-100 G14 黒灰色土 5
土 師 器 古式土師器 二重口縁壺 (山陰系?)

S-100 G14 黒灰色土 6
土 師 器 古式土師器 布留式系甕、高坏×坏
弥 生 土 器 破片、器台

S-101 灰色砂質土
弥 生 土 器 破片

S-102
瓦 質 土 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-103 赤茶色土
国 産 陶 器 黒釉陶器壺? 破片

S-104
須 惠 器 甕 (内面スリ消し)

S-106
弥 生 土 器 破片

S-107
須 惠 器 蓋 3
土 師 器 古式土師器 壺 (布留式系?)

S-108
弥 生 土 器 破片

S-109
土 師 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-110 暗褐色土
須 惠 器 坏 c?
土 師 器 坏?
弥 生 土 器 破片

S-110 暗灰色砂質土
弥 生 土 器 破片

S-110 青灰色ブロック土
弥 生 土 器 破片

S-111
弥 生 土 器 甕 (中期)

S-112
国 産 陶 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-113 淡灰茶色土
黒色 土 器 A 碗?
弥 生 土 器 高坏?

S-114
須 惠 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-115 c
弥 生 土 器 破片

S-115 d
弥 生 土 器 破片

S-115 d 暗灰茶色土
須 惠 器 甕 (内面スリ消し)
弥 生 土 器 破片

S-115 g
須 惠 器 坏 IV?
土 師 器 破片

S-115 h
須 惠 器 坏破片
弥 生 土 器 破片

S-116
土 師 器 破片
弥 生 土 器 破片

S-117 灰褐色砂質土
土 師 器 破片

S-118
弥 生 土 器 破片

S-119
須 惠 器 破片
弥 生 土 器 破片
そ の 他 礫 (被熱痕あり)

S-120
弥 生 土 器 破片

S-121 淡茶色粘質土
土 師 器 碗 c
弥 生 土 器 破片

S-122 褐色土
弥 生 土 器 破片

S-123

弥生土器 甕×壺

S-124

弥生土器 甕破片(後期)、高坏(後期)

S-124 褐色土

弥生土器 甕(中期)

S-124 褐灰色土

須惠器 壺?

弥生土器 破片

S-125 暗灰色土

須惠器 甕(内面ナテ消し)

土師器 破片

弥生土器 破片

その他 炭片

S-125 茶灰色土

土師器 小皿 a

S-126

須惠器 破片

S-127 明灰色砂

国産陶器 褐釉土瓶

弥生土器 破片

S-128 黒灰色土

須惠器 坏

弥生土器 破片

S-129 暗灰色土

須惠器 坏破片

弥生土器 破片

S-130 褐色土

須惠器 甕(内面スリ消し)

弥生土器 破片

S-130 暗褐色土

須惠器 甕(内面スリ消し)

S-130 黒灰色土

須惠器 甕?

弥生土器 破片

S-130 黒灰色土 1

須惠器 甕

S-130 黒灰色土 2

須惠器 甕?(内タタキ)

S-130 淡黒灰色土

須惠器 坏II×III

土師器 破片

S-130 暗茶灰色土

須惠器 甕(内面スリ消し)

S-131

弥生土器 破片

S-132

土師器 破片

S-132 暗灰色土

土師器 破片

S-133

土師器 破片

S-134

土師器 古式土師器 高坏脚?、破片

S-134 灰褐色土

須惠器 破片

土師器 坏 a(糸)、破片

S-135 灰白色土

須惠器 坏破片、破片

土師器 破片

弥生土器 甕(後期)、底1、破片

S-136

弥生土器 破片

S-137 淡茶色粘質土

土師器 破片

石製品 ob-F

S-138

土師器 破片

S-139

土師器 破片

弥生土器 破片

S-140

須惠器 破片(内ナテ消し)

土師器 古式土師器 布留式系甕?、破片

弥生土器 破片

S-140 褐色土

須惠器 甕?(内ナテ消し)

土師器 坏 a?(糸)、甕把手、古式土師器 庄内系甕?、高坏脚?

石製品 石英破片、石庖丁(立岩)

弥生土器 甕(後期)、破片

S-141

土師器 破片

S-142

土師器 破片

金属製品 鉄鏝

S-144 灰色砂質土

須惠器 甕?(内ナテ消し)、破片

土師器 破片

国産陶器 白釉陶器壺?

弥生土器 破片

S-145

金属製品 鋳滓?

S-145 灰黒色土

土師器 小皿 a

弥生土器 破片

その他 火山岩

S-145 暗灰茶色ブロック土(=灰黒色土)

須惠器 甕破片(内ナテ消し1点あり)、小皿 a1、坏破片?

石製品 長石英破片、花崗岩破片

弥生土器 甕破片(後期)

その他 炭破片、火山岩

S-145 茶褐色土+灰黒色土

土師器 破片、坏 a?

S-145 茶灰色土(=茶褐色土+灰黒色土)

土師器 破片

S-146(=115e)

土師器 破片

S-147 暗灰茶色土

土師器 手づくね坏

S-148

土師器 破片

S-149 暗灰茶色土

土師器 破片

石製品 ob-F

弥生土器 甕(後期)?、破片

S-149 暗灰茶色シルト質土

須惠器 甕?(内ナテ消し)

土師器 破片

弥生土器 破片

S-149 淡茶色粘質土	土 師 器 古式土師器 山陰系大甕破片?
--------------	----------------------

S-150	弥生土器 短頸甕? (赤色顔料付、須玖II式系)、鉢1
-------	-----------------------------

S-150 灰褐色土	土 師 器 破片
------------	----------

S-150 茶色土	土 師 器 破片
	弥生土器 破片

S-150 茶色土 1	土 師 器 古式土師器 庄内式系甕?
-------------	--------------------

S-150 茶色土 2	弥生土器 高坏脚
-------------	----------

S-150 淡茶色土 1	土 師 器 古式土師器 庄内式系甕?
--------------	--------------------

S-150 淡茶色土 2	弥生土器 高坏脚
--------------	----------

S-150 淡茶色土 3	土 師 器 古式土師器 庄内式系甕?
--------------	--------------------

S-150 淡茶色土 4	土 師 器 古式土師器 庄内式系甕?
--------------	--------------------

S-150 淡茶色土 5	土 師 器 古式土師器 庄内式系甕
--------------	-------------------

S-150 淡茶色土 6	土 師 器 古式土師器 庄内式系甕
--------------	-------------------

S-150 淡茶色土 7	弥生土器 破片
--------------	---------

S-151 灰茶色土	須 惠 器 坏?
	土 師 器 高坏脚破片?、破片
	弥生土器 甕(後期?)

S-152 暗灰茶色土	須 惠 器 甕?、坏?
	土 師 器 破片
	弥生土器 破片

S-153	土 師 器 破片
-------	----------

S-154	弥生土器 底1?
-------	----------

S-155 茶褐色土	須 惠 器 蓋IV?
	土 師 器 古式土師器 布留式系甕、広口壺、破片
	弥生土器 甕?(後期)、高坏脚4?

S-155 茶褐色土 1	須 惠 器 破片
	土 師 器 坏(手持ちヘラケズリ)

S-155 茶褐色土 2	土 師 器 小型丸底壺
--------------	-------------

S-155 茶褐色土 3	土 師 器 甕
--------------	---------

S-155 茶褐色土 4	土 師 器 甕
--------------	---------

S-155 茶褐色土 5	土 師 器 甕
--------------	---------

S-155 茶灰色ブロック土	土 師 器 坏、破片
	弥生土器 甕(中期)、底1

S-155 淡茶色ブロック土	土 師 器 破片
	弥生土器 甕口1?

S-155 暗茶色土	土 師 器 破片
	弥生土器 甕(後期)、底1
	そ の 他 焼土塊

S-155 暗茶色土 1	弥生土器 底1
--------------	---------

S-155 赤褐色土 1	土 師 器 広口壺
--------------	-----------

S-155 赤褐色土 2	土 師 器 甕
--------------	---------

S-155 赤褐色土 3	土 師 器 坏
	弥生土器 壺底4
	そ の 他 焼土塊

S-155 a	土 師 器 破片
---------	----------

S-155 b	土 師 器 破片
---------	----------

S-155 c	土 師 器 破片
	弥生土器 破片

S-155 金床石? 掘方	そ の 他 焼土塊
---------------	-----------

S-156	土 師 器 破片
-------	----------

S-157	土 師 器 古式土師器 布留式系甕?、高坏脚?、手づくね坏?
	弥生土器 底1

S-158 暗灰茶色土	須 惠 器 破片
	土 師 器 坏a(糸)
	弥生土器 破片

S-159 暗灰茶色土	須 惠 器 破片
	土 師 器 破片

S-160	土 師 器 古式土師器 高坏脚
	弥生土器 壺D?

S-160 褐色土	土 師 器 破片
-----------	----------

S-160 淡茶色土	土 師 器 古式土師器 山陰系壺、布留式系甕、庄内式系甕、高坏脚、高坏脚(在地)
	弥生土器 甕(後期)、高坏脚1(後期)、鉢4
	そ の 他 木炭、焼土塊

S-160 淡茶褐色土	須 惠 器 蓋
	土 師 器 古式土師器 布留式系甕、高坏脚、高坏坏、小型丸底壺、庄内式系壺?、小型特殊器台受部、坏×高坏、二重口縁壺(山陰系?)、小型特殊器台脚?
	石 製 品 ob-F
	弥生土器 甕(後期)、鉢1、鉢3、高坏脚1×2、器台(後期)、底1?、底3
	そ の 他 木炭

S-160 黒灰色土

土師器	古式土師器 脚付鉢、高坏脚、布留式系甕、丸底壺、高坏坏破片、小型特殊器台破片?、小型特殊器台受部?、手づくね坏、山陰系二重口縁壺、庄内式系破片
石製品	ob-UF
弥生土器	後期壺? (赤色顔料付)、壺D×甕、甕 (後期?)、甕 (西新式)、鉢4、鉢破片、底1、器台破片
土製品	埴埴?、加工土器破片
その他	火山岩、焼土塊、炭

S-160 茶褐色土

土師器	古式土師器 高坏坏、高坏脚
-----	---------------

S-160 a (主柱)

土師器	破片、古式土師器 高坏脚
-----	--------------

S-160 1

土師器	古式土師器 丸底壺 (薄手)
-----	----------------

S-160 2

土師器	古式土師器 小型丸底壺
-----	-------------

S-160 3

土師器	古式土師器 高坏坏
-----	-----------

S-160 4

弥生土器	高坏脚 1×2
------	---------

S-160 5

土師器	古式土師器 高坏脚
-----	-----------

S-160 6

土師器	古式土師器 高坏坏
-----	-----------

S-160 7

土師器	古式土師器 高坏脚
-----	-----------

S-160 8

土師器	古式土師器 坏
-----	---------

S-160 9

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-160 10

土師器	古式土師器 高坏坏破片
-----	-------------

S-160 11

土師器	古式土師器 甕破片 (布留式系?、二重口縁の可能性あり)
-----	------------------------------

S-160 12

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-160 13

土師器	古式土師器 坏?
-----	----------

S-160 14

土師器	古式土師器 布留式系甕、破片
-----	----------------

S-160 15

土師器	古式土師器 布留式系甕
-----	-------------

S-160 16

土師器	破片
弥生土器	破片

S-160 17

弥生土器	器台1?
------	------

S-160 18

土師器	古式土師器 二重口縁壺 (山陰系)
-----	-------------------

S-160 19

土師器	古式土師器 坏?
-----	----------

S-160 20

弥生土器	底4
------	----

S-160 21

土師器	古式土師器 坏 (やや厚い、赤褐色、深い)
-----	-----------------------

S-160 22

土師器	古式土師器 大甕破片
-----	------------

S-160 23

土師器	高坏脚破片
-----	-------

S-160 24

土師器	古式土師器 高坏脚、高坏脚 (中実、在地系)
-----	------------------------

S-160 25

土師器	古式土師器 壺?
-----	----------

S-160 26

土師器	破片
-----	----

S-160 27

土師器	破片
-----	----

S-160 28

土師器	古式土師器 壺×甕 (肩部)
-----	----------------

S-160 29

土師器	古式土師器 高坏坏破片
-----	-------------

S-160 30

土師器	古式土師器 高坏坏?
-----	------------

S-160 31

土師器	破片
-----	----

S-160 32

その他	花崗岩
-----	-----

S-160 33

土師器	破片
-----	----

S-161 暗灰茶色土

須恵器	甕? (内ナデ消し)、坏IV、坏c、坏破片、蓋1、蓋IV×IV
土師器	大甕破片、高坏坏破片、高坏脚?、小皿a? (糸?)、甕破片
石製品	石英、ob-F (2)
弥生土器	壺D、甕 (後期)、平底 (中期?)
その他	焼土塊

S-161 茶灰色粘質土

土師器	破片
-----	----

S-162

土師器	破片
弥生土器	高坏脚、破片

S-162 暗灰茶色土

須恵器	甕 (内ナデ消し)、坏2、蓋IV?
土師器	小皿a?、手づくね坏?、古式土師器 布留式系甕、二重口縁壺、高坏坏破片、庄内式系甕
石製品	不明石製品 泥岩×砂岩
白磁	菊皿 (森田E群)
弥生土器	甕 (後期)、鉢4、器台破片 (後期)、底2

S-162 茶灰色粘質土

土師器	古式土師器 二重口縁壺?
-----	--------------

S-162 茶色粘質土

土師器	庄内系甕×、破片
-----	----------

S-162 淡茶色粘質土

土師器	破片
-----	----

S-163

土師器	破片
-----	----

S-164

土師器	破片
-----	----

S-165

弥生土器	甕 (後期)?、底1
------	------------

S-165 灰褐色土

弥生土器	甕破片
------	-----

S-165 褐色土 (= 灰褐色土)

弥生土器	破片
------	----

S-166

須恵器	甕 (内ナデ消し)
土師器	破片
弥生土器	壺 (後期) 破片、破片

S-168

須恵器	甕破片、坏c
石製品	不明石製品 砂岩×泥岩

S-169 暗灰茶色土

土師器	破片
弥生土器	破片

S-170

土師器	破片
弥生土器	甕 (後期) 破片

S-170 1

須恵器	蓋 (小田II×III)
土師器	破片

S-170 2

金属製品	刀子
------	----

S-171

須恵器	坏?
-----	----

S-172

須恵器	破片
土師器	破片

S-173

須恵器	甕破片 (内ナデ消し)
弥生土器	破片

S-173 暗灰茶色土

須恵器	甕破片?
土師器	破片

S-173 灰茶色土

須恵器	坏IV?
-----	------

S-174

土師器	破片
-----	----

S-175 茶色土 (=暗灰茶色土)

須恵器	坏?
土師器	甕口、坏、破片
弥生土器	破片 (線刻)
金属製品	鉾滓

S-175 茶色土 1 (=暗灰茶色土)

土師器	破片
弥生土器	甕 (後期)

S-175 暗灰茶色土

須恵器	蓋 (小田III?)
土師器	古式土師器 布留式系甕、庄内系破片、坏、底2、鉢?、坏?、破片
石製品	ob-UF、and-F、管玉
弥生土器	壺c1、甕 (後期) 破片、甕口1、器台破片、底1 (後期?)

S-175 暗灰茶色土 1

弥生土器	底1
------	----

S-175 暗灰茶色土 2

土師器	坏 (手持ちヘラケズリ)、破片
弥生土器	底1×2

S-175 暗灰茶色土 3

弥生土器	甕口1
------	-----

S-175 暗灰茶色土 4

弥生土器	底1
------	----

S-175 暗灰茶色土 5

土師器	甕
-----	---

S-175 暗灰茶色土 6

土師器	坏破片? (手持ちヘラケズリ)
弥生土器	破片

S-175 茶灰色土 1

土師器	破片
-----	----

S-175 黄灰色ブロック土

須恵器	坏?
弥生土器	甕 (後期)

S-175 黄灰色ブロック土 1

土師器	破片
弥生土器	高坏坏? (中期)

S-175 黄灰色ブロック土 2

弥生土器	無頸壺?
------	------

S-175 黄灰色ブロック土 3

弥生土器	甕口1 (後期)
------	----------

S-175 黒灰色土

土師器	破片
弥生土器	破片

S-175 黄白色土

弥生土器	底1、破片
------	-------

S-175 d

弥生土器	底1
------	----

S-176 暗灰茶色土

土師器	古式土師器 高坏脚、破片
-----	--------------

S-177 暗灰茶色土

土師器	破片
-----	----

S-178

須恵器	破片
-----	----

S-179 暗灰茶色ブロック土

須恵器	甕破片
-----	-----

S-180 茶灰色土

須恵器	破片
土師器	鉢×、坏、破片
弥生土器	甕 (後期)、鉢4、器台破片、底4
その他	石英塊

S-180 茶灰色土 1

土師器	甕底 (内ケズリ、厚手)
-----	--------------

S-180 茶灰色土 2

土師器	古式土師器 高坏脚
-----	-----------

S-180 茶灰色土 3

弥生土器	甕 (後期)
------	--------

S-180 b

土師器	破片
-----	----

S-180 茶灰色土c

弥生土器	底1
------	----

S-180 赤茶色土

金属製品	鉄塊?
------	-----

S-181 暗灰茶色土

土師器	破片
-----	----

S-182 黒灰色土

須恵器	甕 (外面波状紋あり)
-----	-------------

S-183 淡茶色土

須恵器	甕破片? (内ナデ消し)
-----	--------------

S-184

土師器	坏a?
-----	-----

S-184 黄色ブロック土

須恵器	甕破片 (内ナデ消し)、坏?
土師器	蓋3×4、破片、古式土師器 鉢1

S-185	土師器 破片
弥生土器 高坏脚?	
S-185 茶灰色土	
土師器 古式土師器 二重口縁壺、高坏破片、布留式系甕?、小型丸底壺?	
石製品 ob-F	
弥生土器 壺(後期)?、壺c、甕(後期)、高坏坏(中期)、器台?、破片	
土製品 加工土器破片	
S-185 c 黒灰色土	
土師器 破片	
S-185 d	
土師器 破片	
S-185 e	
土師器 破片	
弥生土器 甕(後期)	
S-185 f	
土師器 破片	
S-185 h	
土師器 古式土師器 小型丸底壺	
S-186 灰色土	
土師器 破片	
S-187 暗灰茶色土	
土師器 手づくね坏?、破片	
S-188	
弥生土器 壺(赤色顔料付)、甕?	
S-189	
弥生土器 破片	
S-190 灰褐色土	
須恵器 破片	
土師器 古式土師器 小型特殊器台脚、高坏坏破片、高坏脚、山陰系壺?	
布留式系甕、小型丸底壺	
弥生土器 壺(後期)?、甕口(後期)、甕口1、高坏坏破片(須玖II式系)、高坏脚、底1	
石製品 and-AP	
S-190 暗茶色土	
土師器 古式土師器 高坏坏破片、小型丸底壺	
弥生土器 壺(後期)、破片	
S-190 黒灰色土	
土師器 古式土師器 布留式系甕?、小型丸底壺×坏	
弥生土器 甕(西新式?)、底1?	
S-190 d	
弥生土器 壺A?、破片	
S-190 f	
弥生土器 破片	
S-190 1	
土師器 古式土師器 大甕破片、坏	
石製品 花崗岩破片	
S-190 2	
土師器 古式土師器 大甕破片、坏	
弥生土器 甕口(前期?)、底1	
S-190 3	
土師器 古式土師器 小型特殊器台、高坏脚、小型丸底壺、二重口縁壺(山陰系)、大甕破片	
S-191	
土師器 破片	
S-191 灰色砂	
土師器 破片	
S-192	
弥生土器 破片	

S-193 淡茶色土	
土師器 破片	
S-194 暗灰茶色土	
土師器 破片	
S-195 黒灰色土	
須恵器 甕破片?、坏?、蓋(小田II×III)、小蓋c1?	
土師器 古式土師器 布留式系甕、坏破片、甕口1、手づくね坏、坏a、破片	
弥生土器 壺c1、壺c2?、甕(西新式)、鉢1?、底1、器台破片	
S-195 黒灰色土 1	
土師器 坏	
S-195 黒灰色土 2	
土師器 手づくね坏	
S-195 淡茶褐色土	
弥生土器 底1?	
その他 木炭	
S-196 暗灰茶色ブロック土	
須恵器 甕破片?(内ナデ消し)	
土師器 破片	
S-197	
須恵器 蓋1	
土師器 破片	
S-197 黒灰色土	
須恵器 坏1?、破片	
土師器 破片	
S-197 暗灰茶色土(=黒灰色土)	
須恵器 破片	
土師器 破片	
S-198	
土師器 小皿a?、破片	
国産陶器 陶器破片	
S-199	
土師器 破片	
S-200	
金属製品 刀子、鉄鏃、鉄釘	
S-200 暗茶褐色土	
土師器 古式土師器 布留式系甕、破片	
金属製品 鉄釘	
S-201	
須恵器 破片	
土師器 破片	
S-202	
龍泉窯系青磁 碗I類(スタンプ文「金玉満堂」)	
S-202 暗灰茶色土	
須恵器 甕破片?(内ナデ消し)	
土師器 破片	
S-203	
須恵器 蓋?	
土師器 坏d、破片	
S-203 暗灰茶色土	
土師器 破片	
S-204	
土師器 破片	
弥生土器 壺A1×鉢(赤色顔料付)	
S-205 茶灰色土	
土師器 古式土師器 高坏×小型特殊器台脚?、坏破片、大甕破片	
弥生土器 壺c3、甕(後期)、底1、底4	
その他 埴塼?	

S-205 茶灰色土 1

土師器	古式土師器 坏?、大甕破片
弥生土器	甕(後期)、底1a、底1

S-205 茶灰色土 3

土師器	古式土師器 大甕破片(山陰系?)
-----	------------------

S-205 茶灰色土 4

土師器	壺(V様式系)
-----	---------

S-205c(貯蔵穴)

土師器	破片
-----	----

S-207

土師器	破片
-----	----

S-208 茶色土

土師器	破片?
-----	-----

S-208 暗灰茶色土

弥生土器	破片
------	----

S-209

弥生土器	器台?、破片
------	--------

S-210 a 黄茶褐色土

土師器	破片
-----	----

S-210 b

土師器	破片
-----	----

S-210 c

土師器	坏3、破片
-----	-------

S-210 f

土師器	破片
-----	----

S-211

土師器	破片
-----	----

S-212

須惠器	蓋破片
土師器	破片

S-213

土師器	破片
-----	----

S-214

土師器	破片
-----	----

S-215 a

土師器	破片
-----	----

S-216

土師器	破片?
-----	-----

S-217 暗灰茶色土

土師器	破片
-----	----

S-218 暗灰茶色土

土師器	破片
-----	----

S-219

須惠器	坏?
土師器	坏c3

S-221

須惠器	坏a2
土師器	破片?

S-222

土師器	破片
その他	焼土塊

S-223

土師器	破片
-----	----

S-224

須惠器	破片
土師器	破片

S-226

土師器	皿a(糸)、破片
-----	----------

S-227

土師器	破片
-----	----

S-228

須惠器	破片
弥生土器	破片

S-229

土師器	破片
-----	----

S-230

須惠器	破片
土師器	破片
瓦類	破片(格子目)

S-230 暗灰色土

須惠器	坏2
土師器	破片
石製品	半円形の石製品(泥岩)
国産陶器	皿×碗(鉄絵)

S-230 灰色粘質土

須惠器	甕破片、高坏破片、蓋(小田III?)
土師器	破片
龍泉窯系青磁	上田D類
木製品	下駄
弥生土器	壺(後期)、壺c2、器台脚破片

S-231

土師器	破片
-----	----

S-232

須惠器	甕破片(内面ナデ消し)
土師器	破片

S-233 暗灰色土

土師器	破片
-----	----

S-234

土師器	古式土師器 大甕破片?、破片
-----	----------------

S-235 淡黄褐色土

石製品	石鉄(緑色片岩)
弥生土器	壺c1(須玖II式)、壺c2、甕口1、鉢1?、底1

S-235 黄褐色土 1

弥生土器	壺口c(須玖II式)
------	------------

S-235 黄褐色土 2

弥生土器	底1
------	----

S-235 黄褐色土 3

弥生土器	器台脚1?
------	-------

S-235 b

弥生土器	甕口?、高坏坏(須久II式)、底1
------	-------------------

S-236

須惠器	破片
-----	----

S-237

土師器	破片
-----	----

S-238 淡灰茶色土

須惠器	坏?
土師器	坏?
その他	焼土塊、炭化物

S-238 灰茶色土

須惠器	蓋(小田III?)
弥生土器	壺c2
その他	焼土塊

S-238 暗茶灰色土

土師器	破片
-----	----

S-238 黒灰色土

須 惠 器	坏?
土 師 器	破片

S-239

須 惠 器	甕破片、蓋 (小田 II × III)
土 師 器	古式土師器 布留式系甕、破片

S-241

土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-242

土 師 器	破片
弥 生 土 器	壺 c1 × 2

S-243

須 惠 器	破片
-------	----

S-244

土 師 器	破片
-------	----

S-246

須 惠 器	破片
-------	----

S-247

土 師 器	破片
弥 生 土 器	鉢 1?

S-248

土 師 器	破片?
-------	-----

S-249

土 師 器	破片
-------	----

S-251

土 師 器	破片
弥 生 土 器	底 2

S-252

土 師 器	破片
そ の 他	花崗岩

S-253

土 師 器	破片
-------	----

S-254

須 惠 器	甕 (内面ナテ消し)
土 師 器	甕把手、古式土師器 高坏脚 (白色)、高坏脚、破片
肥前系陶磁器	染付端反碗? 破片
弥 生 土 器	甕 (後期)、器台、底 1、底 4

S-256 淡灰色砂質土

須 惠 器	蓋 4
弥 生 土 器	甕破片 (西新式?)

S-257 黄色土

須 惠 器	坏?、破片
土 師 器	破片、古式土師器 小型特殊器台脚破片

S-258

土 師 器	破片
-------	----

S-259 淡灰色土 (= 灰茶色土)

土 師 器	破片
弥 生 土 器	鉢

S-259 黒灰色土

土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-259 黒灰色土 1

土 師 器	坏 a (糸→板状圧痕)、破片
弥 生 土 器	鉢 1 × 2

S-259 黒色土 (= 黒灰色土)

土 師 器	破片
弥 生 土 器	壺 c2?

S-259 褐灰色土

土 師 器	破片
-------	----

S-261 暗灰茶色土

土 師 器	破片
弥 生 土 器	底 2
そ の 他	火山岩

S-262 暗灰茶色土

土 師 器	破片
弥 生 土 器	壺? (赤色顔料付)

S-263 暗灰茶色土

土 師 器	破片、古式土師器 大甕破片?
-------	----------------

S-264

土 師 器	破片
弥 生 土 器	甕 (後期)

S-266

土 師 器	破片
-------	----

S-267

土 師 器	壺?、坏?、破片
-------	----------

S-268

土 師 器	破片
-------	----

S-269

須 惠 器	破片
土 師 器	坏×甕口、破片
黒色土器 B	碗?

S-271

土 師 器	破片
-------	----

S-272

土 師 器	破片
-------	----

S-273 褐色ブロック土

須 惠 器	坏?
土 師 器	古式土師器 高坏脚、布留式系甕?、小型特殊器台×高坏脚、高坏脚破片、破片
石 製 品	ob-F
弥 生 土 器	底 2

S-274 灰色ブロック土

須 惠 器	坏 c?、破片
土 師 器	高坏脚?、破片
国産陶器	無袖摺鉢、陶器破片
弥 生 土 器	破片

S-276

土 師 器	高坏脚?、破片
-------	---------

S-276 淡茶色土

須 惠 器	甕破片? (内ナテ消し)、蓋
土 師 器	破片

S-277

土 師 器	破片
-------	----

S-278

土 師 器	破片
-------	----

S-279

土 師 器	破片
-------	----

S-281

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-282

弥 生 土 器	甕破片?
---------	------

S-283

須 惠 器	甕×壺
-------	-----

S-284 暗茶色土

須 惠 器	破片
土 師 器	古式土師器 布留式系甕、高坏脚、大甕、破片
弥 生 土 器	器台脚破片?、破片

S-286

土 師 器	小皿 a?
-------	-------

S-287

須 惠 器	蓋 a2?
土 師 器	甌把手
弥 生 土 器	破片

S-288

土 師 器	古式土師器 破片
弥 生 土 器	甕口 1

S-289 (=240f)

土 師 器	古式土師器 大甕破片、布留式系甕、二重口縁壺 (山陰系?)、破片
弥 生 土 器	底 1×2

S-291

弥 生 土 器	甕 (後期) ?、破片
---------	-------------

S-292

須 惠 器	破片
土 師 器	古式土師器 破片

S-293

土 師 器	壺?、坏、古式土師器 破片
弥 生 土 器	甕 (後期)、甕口 1

S-294

土 師 器	古式土師器 甕破片?、高坏脚?
弥 生 土 器	甕 (後期)、破片

S-296

弥 生 土 器	破片
---------	----

S-297

土 師 器	破片
弥 生 土 器	器台脚

S-298

土 師 器	破片
-------	----

S-299

須 惠 器	甕×壺、坏×破片、蓋 4、蓋 IV、
土 師 器	蓋 2?、坏、古式土師器 破片、高坏脚?、高坏坏?
弥 生 土 器	壺 (後期?)、赤色顔料付)、甕 (中期)、器台脚、破片
そ の 他	火山岩

S-299 黄褐色土

須 惠 器	破片
土 師 器	高坏?、小皿 b? (へソ皿?)、破片
弥 生 土 器	甕 (中期)
金 属 製 品	鉈滓?

S-299 黒灰色土

須 惠 器	坏?、蓋 2×3、蓋 (小田 II × IIIA)
土 師 器	破片
弥 生 土 器	甕口 1

S-301

須 惠 器	坏?
弥 生 土 器	高坏? (須玖 II 式?)

S-302

土 師 器	破片
-------	----

S-303 淡茶色土

土 師 器	破片
-------	----

S-304

須 惠 器	坏 1?
土 師 器	破片

S-306

須 惠 器	甕破片
石 製 品	ob-F

S-307

須 惠 器	甕破片、坏 1、蓋 2×3
土 師 器	小皿 a?、破片
瓦 類	破片 (近代~)
石 製 品	円形石製品?
国 産 陶 器	褐釉陶器壺?
国 産 磁 器	白磁皿?
金 属 製 品	銅破片、鉄釘 (6)、不明製品 (1)

S-307 灰色砂質土

須 惠 器	壺 2、破片
土 師 器	破片
瓦 類	破片 (近代?)
石 製 品	and-AP
国 産 陶 器	皿? (内野山窯?)、褐釉陶器破片
国 産 磁 器	皿? (印判手)
金 属 製 品	棒状製品

S-308 茶色土

須 惠 器	甕×壺、坏?、蓋 3
土 師 器	古式土師器 高坏坏破片、高坏×小型特殊器台脚、甌把手、坏?
	破片
肥前系陶磁器	小皿、碗?
国 産 陶 器	陶器破片
弥 生 土 器	壺 c2、甕 (西新式) ?、甕口 1、器台破片?、底 3、破片

S-309

須 惠 器	蓋?
土 師 器	破片

S-309 褐灰色ブロック

土 師 器	破片
-------	----

S-311

土 師 器	大甕破片?、鉢?
-------	----------

S-311 暗灰茶色土 (褐色土の可能性あり)

須 惠 器	甕破片
土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-311 灰褐色土

須 惠 器	蓋 3
土 師 器	坏 a?、破片

S-311 茶灰色土 (=淡褐灰色土)

須 惠 器	壺蓋 a?、坏×蓋
土 師 器	蓋 3、坏

S-311 灰白色土

土 師 器	坏 d?、破片
弥 生 土 器	底 1

S-312 灰色ブロック土

土 師 器	破片
-------	----

S-313

土 師 器	破片
-------	----

S-314

須 惠 器	蓋 1
瓦 類	破片?
弥 生 土 器	甕底×器台、破片

S-316

土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-316 黒灰色土

土 師 器	破片
弥 生 土 器	壺?

S-317 黄色土

土 師 器	古式土師器 小型丸底壺?、坏?、壺?、破片
石 製 品	and-F
弥 生 土 器	壺×甕、甕 (後期)、器台×高坏脚

S-318

土 師 器	破片
弥 生 土 器	破片

S-319

須 惠 器	壺?
土 師 器	破片

S-321

須 惠 器	坏?
土 師 器	破片

S-322	土師器	破片
弥生土器	破片	

S-323	須惠器	甕破片
-------	-----	-----

S-324	土師器	坏c、破片
弥生土器	底1	

S-326	土師器	破片
-------	-----	----

S-327	須惠器	破片
国産陶器	黒釉陶器破片	
弥生土器	破片	

S-328	須惠器	坏2?、蓋4?
土師器	古式土師器 布留式系甕?、高坏×坏、破片	
石製品	石英塊	
弥生土器	壺c2、底1	

S-328 灰色土	須惠器	破片
土師器	破片	
弥生土器	破片	
磁器	龍泉窯系青磁碗 III、小碗×碗 III	

S-328 茶灰色シルト質土	土師器	破片
----------------	-----	----

S-328 暗灰色土	土師器	古式土師器 高坏破片、破片
弥生土器	壺c1	

S-329	土師器	破片
-------	-----	----

S-331	須惠器	甕破片?
土師器	破片	

S-332	須惠器	坏?
弥生土器	破片	

S-332 灰褐色土	土師器	甕把手破片
------------	-----	-------

S-333	土師器	小皿a、破片
-------	-----	--------

S-334	土師器	破片
-------	-----	----

S-336	土師器	破片
-------	-----	----

S-337 (S-170 の遺物の可能性あり)	須惠器	破片、坏?
黒色土器A	破片?	
弥生土器	破片	

S-337 黒色土	須惠器	甕、坏1×2、破片
土師器	古式土師器 高坏脚、布留式系甕?、坏c?、破片	

S-337 灰色土	須惠器	高坏破片
土師器	甕、坏?	
弥生土器	鉢4	
その他	ガラス小玉	

S-338	土師器	破片
弥生土器	底1、破片	

S-339	土師器	破片
-------	-----	----

S-341	土師器	破片
-------	-----	----

S-342	須惠器	蓋破片
土師器	甕破片、高坏坏×坏	
弥生土器	甕口1	
金属製品	鋳滓?	

S-343	土師器	破片
-------	-----	----

S-344	須惠器	破片
土師器	破片	

S-346	土師器	破片
-------	-----	----

S-347	須惠器	破片
-------	-----	----

S-348	土師器	破片
弥生土器	破片	

S-349	土師器	破片
弥生土器	甕(後期)、底1	

S-351	土師器	小皿a×b、坏a
-------	-----	----------

S-352	土師器	破片
-------	-----	----

S-353 暗茶色土	須惠器	甕破片、坏IV?
土師器	破片	
瓦質土器	播鉢(15c)、播鉢(近代)	
弥生土器	底2、破片?	
金属製品	鋳滓(1)	

S-353 灰色砂	土師器	破片
-----------	-----	----

S-354	土師器	大甕破片
-------	-----	------

S-356 (=240b)	土師器	破片
弥生土器	壺破片(カキ目)、底1×2	

S-357	土師器	破片
弥生土器	甕破片?	

S-358	須惠器	坏2
土師器	破片	

S-359	土師器	古式土師器 庄内式系甕、破片
-------	-----	----------------

S-361	土師器	古式土師器 高坏脚、破片
弥生土器	破片	

S-362	土師器	破片
-------	-----	----

S-363	土師器	破片
土製品	加工土器破片	

S-364	土師器	破片
弥生土器	破片	

S-366	土師器	破片
-------	-----	----

S-367 淡茶色土	
土師器	古式土師器 高坏脚?、破片
弥生土器	壺c1、甕(西新式)

S-367 淡茶色土 1	
土師器	古式土師器 庄内式系壺

S-367 淡茶色土 2	
弥生土器	壺c1

S-367 淡茶色土 3	
須恵器	蓋3、破片

S-367 灰色砂	
弥生土器	甕(西新式?)、破片

S-368	
弥生土器	底2?、破片

S-369	
土師器	破片

S-371	
土師器	破片
弥生土器	甕口1

S-372	
土師器	破片

S-373	
その他	焼土塊

S-374	
土師器	破片

S-376	
弥生土器	破片

S-377	
土師器	破片
石製品	op-F

S-378	
土師器	破片

S-379	
弥生土器	鉢?、破片

S-381	
土師器	破片

S-383 暗灰色土	
弥生土器	壺c(赤色顔料付)、破片

S-384	
土師器	破片
弥生土器	破片

S-386	
土師器	破片
弥生土器	底1

S-387	
弥生土器	破片

S-388	
土師器	破片

S-389	
その他	焼土塊、炭片

S-391	
土師器	破片
弥生土器	底2

S-392	
土師器	破片

S-393	
土師器	破片

S-394	
須恵器	坏IV(ヘラ記号)

S-396	
須恵器	破片
弥生土器	底3

S-397	
土師器	鉢×甕、古式土師器 布留式系甕?、破片

S-398	
須恵器	甕破片(内ナデ消し)

S-399	
土師器	二重口縁壺、破片

S-401	
弥生土器	甕(後期)、破片

S-402	
その他	焼土塊

S-403	
土師器	古式土師器 小型丸底壺(屈曲口縁)、高坏坏?、高坏脚、布留式系甕、山陰系壺?
弥生土器	壺A3×1、甕(西新式)、鉢4、高坏脚1

S-403 黒褐色土	
土師器	古式土師器 高坏脚、布留式系甕?、高坏坏×坏、広口 壺、小型特殊器台脚?、大甕破片(山陰系?)、小型特殊器台受部、二重口縁壺、台付椀×高坏
弥生土器	壺D(大型)、壺(後期)、甕(波状紋)、高坏脚4、高坏脚2×3、器台
土製品	加工土器破片?

S-404	
土師器	古式土師器 小型丸底壺、庄内式系甕、高坏坏、高坏脚、高坏×坏、布留式系甕、坏破片
弥生土器	壺A2、甕(西新式)、甕口1、高坏×器台脚?、器台1×2、底1

S-404 黒褐色土	
土師器	古式土師器 庄内式系甕、高坏×坏、小型丸底壺、布留式系甕、坏、小型屈曲口縁壺、小型特殊器台、広口 壺、高坏脚、二重口縁壺?、高坏坏、大型壺(山陰系?)、台付鉢?
国産陶器	皿?
弥生土器	壺(後期)、壺E?、甕(西新式)、鉢2×3、鉢4?、器台2?、底1底1×2、底3×4、底4

S-406	
石製品	ob-UF
弥生土器	器台

S-407	
須恵器	甕×壺(内ナデ消し)
弥生土器	破片

S-408	
弥生土器	甕口1、破片

S-409(=S-175d)	
弥生土器	底1、破片

S-411	
土師器	鉢?
弥生土器	壺破片、甕口?、底4

S-412	
土師器	破片

S-413	
弥生土器	破片

S-414	
弥生土器	器台、破片

S-416	
土師器	古式土師器 坏?
弥生土器	壺c1×2、破片

S-417	
弥生土器	壺(赤色顔料付)、破片

S-418	須惠器 坏 c3
土師器 坏 a、手づくね坏、丸椀	
弥生土器 底 2	
S-419	土師器 甕破片、破片
S-421 暗灰茶色土	土師器 破片
S-422	弥生土器 破片
S-423	土師器 古式土師器 高坏坏?、破片
弥生土器 破片	
S-424	弥生土器 甕破片
S-426	土師器 古式土師器 高坏脚 (低平)
S-427	須惠器 甕 a
土師器 破片	
弥生土器 破片	
S-428	須惠器 蓋 4
弥生土器 甕×壺破片、甕破片	
S-429	土師器 古式土師器 高坏脚×坏、破片
弥生土器 甕破片	
S-431	土師器 古式土師器 小型特殊器台脚
弥生土器 器台 1×2	
その他 火山岩?	
S-432	弥生土器 甕破片
S-433	土師器 古式土師器 甕破片
弥生土器 器台 3	
S-434	弥生土器 壺破片、鉢 1、底 1×2
S-436	弥生土器 甕口 1
S-437	土師器 古式土師器 甕?、高坏坏?
S-438	土師器 破片
S-439 (=S-225d)	弥生土器 高坏脚、破片
S-441	弥生土器 壺 (後期、赤色顔料付)
S-442	土師器 古式土師器 二重口縁壺 (山陰系?)
弥生土器 甕×壺、甕口 (中期)	
S-443	弥生土器 底 1×支脚
S-444	石製品 and-UF
S-446	弥生土器 甕破片

S-447	弥生土器 底 1×支脚
S-448 (=S-215f)	土師器 破片
S-451	弥生土器 破片
S-452	土師器 古式土師器 布留式系甕、破片
弥生土器 甕破片	
S-453	土師器 古式土師器 高坏坏
弥生土器 破片	
S-454 (=S-245b)	弥生土器 破片
S-456	土師器 古式土師器 破片
弥生土器 器台	
S-457	弥生土器 破片
S-458	弥生土器 破片
S-459	弥生土器 甕口×壺口、破片
S-461	弥生土器 鉢 1×2、破片
S-462	須惠器 蓋 (小田 II ~ IIIA)
弥生土器 壺×甕口	
S-463	弥生土器 壺? (赤色顔料付)、壺 c1?、甕口 (中期、赤色顔料付)、器台脚、底 1
S-464	須惠器 小蓋 a1
土師器 破片	
弥生土器 破片	
S-466	弥生土器 破片
S-467	弥生土器 破片
S-468	土師器 甕?、破片
S-469	弥生土器 壺×甕破片
S-471	土師器 破片
S-472	弥生土器 破片
S-473 (=S-245f)	土師器 古式土師器 大甕破片 (肩部)、甕破片?
S-474	弥生土器 破片
S-476	土師器 古式土師器 高坏坏?
S-477	弥生土器 底 2?、破片
S-478 (=S-240e)	土師器 古式土師器 高坏×壺口、高坏坏
弥生土器 甕口、高坏脚 3×4	

S-478 淡茶灰色フロック土 (=S-240c)

土 師 器 古式土師器 二重口縁壺、甕×壺、坏?

S-479

弥 生 土 器 壺? (赤色顔料付)、甕口1?、甕破片?、高坏脚?

S-481

弥 生 土 器 破片

S-482

弥 生 土 器 甕口1、破片

S-483

土 師 器 破片

弥 生 土 器 器台

S-484

弥 生 土 器 甕口(中期)、破片

S-486

弥 生 土 器 破片

S-487

土 師 器 古式土師器 小型丸底壺、甕?、破片

S-488

土 師 器 古式土師器 高坏破片

弥 生 土 器 破片

S-489 暗灰茶色土

須 惠 器 壺×甕

土 師 器 大甕破片、破片

肥前系陶磁器 猪口×盃

S-491

須 惠 器 蓋2×3、破片

弥 生 土 器 甕破片

S-492

国産陶器 黒釉陶器壺?

弥 生 土 器 破片

S-493

土 師 器 高坏?

弥 生 土 器 底1×2

S-494

土 師 器 大甕破片、破片

S-496

弥 生 土 器 破片

石 製 品 and-AP

S-497

石 製 品 and-F

S-498

須 惠 器 破片

土 師 器 破片

肥前系陶磁器 唐津碗

S-501

須 惠 器 甕(内ナテ消し)

弥 生 土 器 破片

S-502

弥 生 土 器 破片

S-503

須 惠 器 坏破片

弥 生 土 器 破片

S-504 暗灰色土

須 惠 器 坏破片

弥 生 土 器 甕口(後期)、底1、破片

S-506

石 製 品 ob-AP

S-506 暗灰色土

須 惠 器 坏c2×3

弥 生 土 器 底1×2、破片

S-507

弥 生 土 器 高坏?、破片

S-508

須 惠 器 皿?

S-509

そ の 他 火山岩

S-511

弥 生 土 器 破片

S-512

弥 生 土 器 壺×甕

S-513

石 製 品 チャートRF×AP

弥 生 土 器 破片

S-514

弥 生 土 器 破片

S-516

弥 生 土 器 破片

S-517

弥 生 土 器 破片?

S-518

弥 生 土 器 甕破片

S-519

土 師 器 破片、古式土師器 高坏×坏

弥 生 土 器 破片

S-521

弥 生 土 器 破片

S-522

弥 生 土 器 破片

そ の 他 火山岩

S-523

須 惠 器 高坏坏?

瓦 類 破片?

S-524

須 惠 器 壺×甕、坏?、蓋1(荒尾産?)

土 師 器 坏(6c~?)

石 製 品 and-F

国産陶器 備前甕×壺(焼締陶器)

弥 生 土 器 壺(後期)、甕×鉢、器台、底1

S-526

須 惠 器 甕×壺破片、坏

肥前系陶磁器 染付碗?(タコ唐草紋か)

弥 生 土 器 底1、破片

S-527

土 師 器 破片

弥 生 土 器 鉢?、破片

S-528

瓦 類 平瓦(近世~)

国産陶器 破片

S-528 暗灰色土

須 惠 器 坏

瓦 質 土 器 碗?

弥 生 土 器 甕口(後期)、破片

S-528 灰褐色砂

須 惠 器 壺×甕、破片

石 製 品 ob-F(針尾島産?)

国産陶器 鉢×火鉢(赤色系の色調)

S-529	弥生土器	甕破片
S-532	土師器	古式土師器 壺×甕
S-533	土師器	破片
S-534 (=S-240g)	須恵器	坏 c3
	土師器	古式土師器 壺×甕
	弥生土器	壺、甕 (後期)、底 1
S-536	須恵器	破片
	土師器	甕破片
	弥生土器	甕?、破片
	その他	火山岩 (煤付着)
S-537	土師器	古式土師器 破片
S-538	石製品	石英塊
	弥生土器	甕破片
S-539	須恵器	壺×甕
	土師器	古式土師器 小型丸底壺、破片
	国産陶器	擂鉢?
S-541	弥生土器	甕口 (前期)、高坏?、器台脚、破片
S-542	土師器	坏 (6c ~)、坏 a? (糸)
	瓦類	瓦玉?
	弥生土器	甕破片
S-543	弥生土器	甕×壺
S-546	須恵器	壺×甕
	弥生土器	破片
S-547	弥生土器	高坏破片?、破片
S-548	弥生土器	高坏脚?、破片
S-548 柱痕	弥生土器	甕×壺
S-549	土師器	古式土師器 布留式系甕
	弥生土器	高坏脚、破片
S-551	弥生土器	壺 c1 × 2
S-552	弥生土器	高坏脚 1 × 2
S-553	弥生土器	壺×鉢、破片
S-554 暗灰茶色土	土師器	破片
S-556	須恵器	壺×甕
	弥生土器	甕破片

表土	須恵器	壺?、甕 (内ナテ消し)、甕 (内同心円)、坏?、坏 c2、坏 c3、蓋 1、蓋 3、蓋 4
	土師器	古式土師器 高坏×坏、高坏破片、布留式系甕?、小型丸底壺、甕瓶把手、坏 c3?、小皿 a? (糸)
	瓦類	平瓦 (近世~)、軒丸?
	石製品	and-スクレイパー? (1)、砂岩砥石?、不明石製品?、op-F (2)、ob-AP (4)、and-AP (2)、ob-core (1)、and-core (1) 石庖丁 (立岩系) (1)、and-F (1)、円形紡錘車
	須恵質土器	壺×甕
	肥前系陶磁器	染付猪口 (大明年製)、染付碗?、染付碗×皿、染付端反碗?碗?、染付碗×小皿 (中国製?)、盃破片、染付碗
	国産陶器	褐釉陶器壺×甕、擂鉢 (備前)、擂鉢 (唐津系)、紅皿、皿? (唐津系)、京焼?碗、碗破片、碗底?、三彩土瓶、破片
	国産磁器	白磁碗、白磁小皿×碗、白磁瓶?、染付猪口
	白磁	輪花皿
	弥生土器	甕×壺、甕 (後期)、甕 1、高坏 (中期)、高坏 1 × 2、底 1、底 4
	金属製品	不明銅製品 (1)、鋳滓 (3)
	土製品	土錘
	その他	軽石

表土 10ライン	土師器	古式土師器 高坏×坏、破片
	弥生土器	底 1
	金属製品	鋳滓 (1)
	その他	焼土塊

表土 B3	須恵器	坏 (小田 II ~ III)、蓋 c3
	土師器	古式土師器 布留式系甕
	瓦類	破片
	国産陶器	壺×甕
	弥生土器	破片

表土 B4	須恵器	坏 c 破片
	土師器	古式土師器 布留式系甕?、壺×甕
	弥生土器	壺 (後期)、甕 (後期)、高坏坏?、器台破片、器台×支脚、高坏脚?

表土 B6	須恵器	甕 (内ナテ消し)、坏 c3
	土師器	古式土師器 布留式系甕?
	弥生土器	壺×甕 (赤色顔料付)、器台
	その他	木炭

表土 B7	弥生土器	壺×甕
-------	------	-----

表土 C4	須恵器	坏?
	土師器	古式土師器 山陰系大甕破片?、高坏×坏
	肥前系陶磁器	破片
	国産陶器	唐津系? 壺×甕、褐釉陶器鉢×碗?
	弥生土器	壺? (後期、赤色顔料付)、壺 E1?

表土 C5	須恵器	壺×甕、坏 c3、坏破片、蓋 2、蓋 3
	土師器	古式土師器 布留式系甕、破片

表土 C7	須恵器	壺×甕、蓋 2、蓋 3、蓋 3 × 4
	土師器	古式土師器 布留式系甕?、壺×壺 (在地)
	国産陶器	褐釉陶器壺?
	弥生土器	壺 (後期)、壺 A、甕 (後期)、高坏?、鉢 1 × 2、底 1
	その他	火山岩

表土 C8	須恵器	甕×壺、坏 IV?、蓋 IV?
	土師器	古式土師器 高坏×坏、小型丸底壺
	国産磁器	皿×小皿 (型紙摺)
	弥生土器	壺 (後期)、甕口 1、甕口 1 × 2、甕口 (中期)、高坏脚 1 × 2、高坏脚 3、器台
	金属製品	鉄塊 (1)、鉄釘 (1)、板状製品 (1)

表土 C10	須恵器	坏破片?
	土師器	古式土師器 布留式系甕?
	国産磁器	碗? (透明釉)、白磁蓋
	弥生土器	壺 (後期) 壺×甕、高坏脚 2 × 3、器台 2 × 3

表土 D3

須惠器	壺×甕、破片
土師器	鉢?
瓦類	平瓦(近代~)
弥生土器	器台?、破片

表土 D4

須惠器	壺×甕
土師器	高坏?
瓦類	平瓦(外縄目)
弥生土器	壺×甕、壺(後期)

表土 D6

須惠器	壺×甕、蓋1、破片
土師器	古式土師器 甕
弥生土器	鉢1、底1、破片
その他	火山岩

表土 D8

須惠器	甕、坏c2×3、蓋IV?
土師器	古式土師器 壺×甕、高坏脚×壺
石製品	F(泥岩?)
弥生土器	壺×甕、甕口1?、高坏坏、高坏脚4、器台、底1

表土 D10

須惠器	坏c2、坏破片、蓋c(小田II~IIIA)
土師器	古式土師器 小型丸底壺
肥前系陶磁器	染付小皿、小皿(赤絵)、坏、皿×碗
国産陶器	破片
国産磁器	白磁小皿、端反碗(透明釉)
弥生土器	甕1、甕(後期)、底1

表土 D11

須惠器	壺×甕、坏×蓋
土師器	古式土師器 高坏?
瓦類	平瓦破片
肥前系陶磁器	染付折縁皿、染付碗×小皿、碗×皿(唐津系)
土製品	七輪?

表土 D12

須惠器	甕(内ナテ消し)
土師器	古式土師器 布留式系甕?

表土 D13

須惠器	蓋1、破片
土師器	古式土師器 布留式系甕
肥前系陶磁器	染付碗
国産陶器	天目茶碗(瀬戸?)、破片
弥生土器	壺(後期)、壺A、壺E、壺×高坏、甕破片

表土 E3

弥生土器	破片
------	----

表土 E5

須惠器	蓋2×3、坏破片
瓦類	平瓦?(内布目)
弥生土器	壺×高坏(赤色顔料付)

表土 E6

須惠器	坏c3、蓋2
土師器	甕破片
弥生土器	壺(後期)、器台?

表土 E7

弥生土器	壺c3、破片
------	--------

表土 E8

須惠器	甕(内ナテ消し)
土師器	古式土師器 布留式系甕
弥生土器	底4

表土 E9

土師器	古式土師器 壺×甕
弥生土器	壺A?、甕口

表土 E10

弥生土器	高坏脚3?、高坏脚2×3、底1、破片
------	--------------------

表土 E11

須惠器	坏?
国産磁器	染付小皿×碗
弥生土器	甕口2

表土 E14

須惠器	壺×甕、坏c2、蓋4
土師器	古式土師器 壺×甕
金属製品	鉄釘(1)

表土 F4

弥生土器	破片
------	----

表土 F5

須惠器	壺×甕、坏a×c、蓋3、蓋4
土師器	古式土師器 布留式系甕?、高坏脚
弥生土器	壺×甕、甕口1、器台、底5a
金属製品	鋳滓(1)

表土 F6

須惠器	破片
土師器	古式土師器 高坏破片
弥生土器	器台、底1

表土 F7

須惠器	破片
土師器	古式土師器 山陰系壺?、高坏×小型特殊器台
弥生土器	甕口、底1×2

表土 F8

須惠器	破片
土師器	古式土師器 壺×甕
弥生土器	底1、甕口(中期)

表土 F10

土師器	古式土師器 小型丸底壺(厚手)、破片
国産陶器	褐釉陶器

表土 F11

須惠器	甕(内ナテ消し)、坏c
弥生土器	壺(赤色顔料付)、破片

表土 F12

須惠器	坏?
土師器	古式土師器 高坏×壺
弥生土器	壺(後期)

表土 F13

土師器	古式土師器 布留式系甕、高坏
石製品	and-chip
弥生土器	壺(後期)、甕(中期)、器台?、底1

表土 F15

弥生土器	破片
------	----

表土 G2

須惠器	坏?
肥前系陶磁器	染付筒碗、染付碗
弥生土器	破片

表土 G3

須惠器	甕口
土師器	古式土師器 小型丸底壺、高坏坏、布留式系甕?
弥生土器	甕破片
金属製品	板状製品(1)

表土 G6

須惠器	壺×甕、破片
土師器	甕口(5c~)、古式土師器 布留式系甕、庄内式系甕?、高坏?
肥前系陶磁器	皿×碗
弥生土器	底1
金属製品	鋳滓(1)

表土 G8

須惠器	坏c3
弥生土器	壺(後期)、甕口(中期?)、底1×2

表土 G9

須惠器	坏c4、坏破片
土師器	古式土師器 甕破片、坏×高坏
弥生土器	底2×3

表土 G10

須惠器	壺×甕
土師器	古式土師器 甕破片
弥生土器	甕(前期)、高坏×甕(中期)

表土 G11

須惠器	坏 c2
弥生土器	壺(赤色顔料付)、甕1、底1、破片

表土 G12

肥前系陶磁器	染付皿?
弥生土器	壺 c2、甕口1、破片

表土 G13

土師器	古式土師器 布留式系甕、高坏脚
弥生土器	破片

表土 G14

土師器	古式土師器 布留式系甕?、破片
瓦質土器	播鉢

表土 G15

須惠器	甕破片
国産陶器	黒釉陶器破片、褐釉陶器破片、土瓶?
弥生土器	甕破片、底1

表土 G16

弥生土器	破片
------	----

表土 H2

須惠器	甕×壺、蓋1、蓋2
土師器	壺×甕、高坏?
瓦	類 平瓦、平瓦(近代)
石製品	op-AP、チャート-F
肥前系陶磁器	染付碗、碗(刷毛目唐津)
国産陶器	褐釉陶器鉢、黒釉陶器破片
弥生土器	器台3

表土 H3

須惠器	坏、蓋IV?
土師器	古式土師器 甕×壺
弥生土器	甕(後期)、高坏?

表土 H4

国産陶器	白釉陶器破片(瓶?)
弥生土器	甕、底1

表土 H5

弥生土器	甕口1、高坏?
------	---------

表土 H7

須惠器	坏 c?
土師器	飯把手
弥生土器	底4、底1×5、高坏(中期、赤色顔料付)

表土 H9

須惠器	破片
土師器	古式土師器 布留式系甕?
弥生土器	甕口(後期)、底1、器台

表土 H10

須惠器	坏 c3
弥生土器	甕破片、底1

表土 H11

須惠器	破片
弥生土器	破片

表土 H12

須惠器	甕破片?
土師器	破片
肥前系陶磁器	紅皿、染付碗?(蛇/目凹型高台)、染付広東碗
国産陶器	播鉢破片(唐津系?)
弥生土器	器台脚、破片

表土 H15

弥生土器	高坏?、破片
------	--------

表土 I2

須惠器	甕
国産陶器	皿?(唐津系?)
弥生土器	破片

表土 I3

弥生土器	底4?、破片
------	--------

表土 I4

土師器	古式土師器 甕、高坏×坏
弥生土器	壺(後期)

表土 I5

須惠器	高坏?、皿 c?
土師器	坏 c2×3、古式土師器 布留式系甕?、小型丸底壺、高坏×坏
弥生土器	壺 A1、甕(後期)、甕口1、破片

表土 I6

肥前系陶磁器	瓶?(唐津?)
国産陶器	壺?
弥生土器	破片

表土 I8

肥前系陶磁器	染付皿×碗
弥生土器	破片

表土 I9

須惠器	破片
土師器	古式土師器 庄内式系甕?
弥生土器	壺×甕

表土 I10

須惠器	甕(内ナテ消シ)
肥前系陶磁器	染付破片
国産陶器	破片(唐津?)
弥生土器	壺(後期)、甕(西新式?)、底1?

表土 I11

須惠器	甕
土師器	古式土師器 高坏脚?
弥生土器	甕2、鉢×壺、高坏坏、底4

表土 I12

須惠器	甕
瓦質土器	播鉢?
弥生土器	破片

表土 I13

須惠器	破片
肥前系陶磁器	染付碗?
弥生土器	破片

表土 I21

須惠器	壺×甕
弥生土器	壺 A?

表土 J2

須惠器	蓋(小田II×IIIA)
土師器	坏×皿 a(糸)、古式土師器 壺×甕破片
弥生土器	器台

表土 J4

須惠器	破片
土師器	古式土師器 甕、高坏脚
弥生土器	甕、高坏?、器台、底1

表土 J5

須惠器	蓋?
土師器	古式土師器 甕×壺
瓦	類 平瓦
石製品	and-F
弥生土器	壺×甕、甕口2、鉢×高坏、底4

表土 J6

弥生土器	破片
------	----

表土 J9

瓦	類 平瓦(近代~)
弥生土器	破片

表土 J10

須 惠 器	破片
土 師 器	甌把手
国 産 陶 器	猪口破片?
弥 生 土 器	壺、高坏×坏、高坏脚、底4、底1×2

表土 J11

須 惠 器	甌(内ナテ消し)、坏破片
肥前系陶磁器	紅皿
弥 生 土 器	壺×甌破片
金 属 製 品	鉄鉢

表土 J12

須 惠 器	壺、破片
土 師 器	甌?、破片
弥 生 土 器	破片

表土 J13

須 惠 器	甌破片(内ナテ消し)、破片
瓦 質 土 器	播鉢破片
弥 生 土 器	破片

表土 J15

土 師 器	古式土師器 二重口縁壺(山陰系?)
-------	-------------------

表土 J16

弥 生 土 器	破片
---------	----

表土 K2

須 惠 器	甌、坏c3
土 師 器	古式土師器 高坏?
弥 生 土 器	壺c1、壺×甌、甌口(中期)

表土 K4

須 惠 器	蓋4、破片
弥 生 土 器	破片

表土 K5

須 惠 器	蓋1?
弥 生 土 器	底1?、破片

表土 K7

須 惠 器	大甌a?、甌
土 師 器	古式土師器 布留式系甌?
国 産 陶 器	破片
弥 生 土 器	底1

表土 K8

弥 生 土 器	破片
---------	----

表土 K9

須 惠 器	甌(内ナテ消し)、坏?
土 師 器	甌把手、古式土師器 甌
肥前系陶磁器	染付碗、染付皿×碗
国 産 磁 器	白磁皿×碗
弥 生 土 器	鉢×壺、破片

表土 K10

須 惠 器	甌(内ナテ消し)
土 師 器	古式土師器 高坏×坏、高坏?
弥 生 土 器	底1、底2

表土 K11

弥 生 土 器	底1、破片
---------	-------

表土 K13

須 惠 器	破片
弥 生 土 器	破片

表土 L2

須 惠 器	甌?、高坏
土 師 器	古式土師器 高坏脚
瓦 質 土 器	播鉢?
国 産 陶 器	(無釉)碗?
弥 生 土 器	甌1、高坏、器台

表土 L3

弥 生 土 器	甌口1?、破片
---------	---------

表土 L4

須 惠 器	坏c?
弥 生 土 器	壺×甌、高坏坏?、高坏脚4?、鉢?、器台破片、底1

表土 L5

須 惠 器	壺×甌、坏c3×4、蓋4
弥 生 土 器	底1

表土 L6

弥 生 土 器	破片
金 属 製 品	鉄滓?(1)

表土 L7

弥 生 土 器	破片
---------	----

表土 L9

須 惠 器	甌(内ナテ消し)
金 属 製 品	鉄滓?(1)

表土 L10

須 惠 器	甌(内ナテ消し)
弥 生 土 器	甌口1、破片

表土 L11

須 惠 器	甌(内ナテ消し)、蓋?(小田I期)?
弥 生 土 器	破片

表土 L12

須 惠 器	壺a?、蓋×高坏、坏IV
土 師 器	古式土師器 高坏脚、鉢?
瓦 質 類	平瓦?
石 製 品	and-F×AP
弥 生 土 器	破片

表土 L13

須 惠 器	坏IV、蓋×坏
弥 生 土 器	底4、破片

表土 L14

須 惠 器	坏a
弥 生 土 器	甌(後期)、破片

表土 M3

瓦 質 類	平瓦破片(近世?)
弥 生 土 器	甌口1

表土 M4

須 惠 器	甌
弥 生 土 器	器台破片、底4、甌1、壺(後期)、高坏脚4

表土 M5

須 惠 器	蓋(小田II~IIIA)
土 師 器	甌把手、甌破片、古式土師器 高坏破片
弥 生 土 器	破片

表土 M6

須 惠 器	甌(内ナテ消し)
石 製 品	op-F
弥 生 土 器	甌口1

表土 M8

須 惠 器	坏?
土 師 器	古式土師器 高坏坏?
国 産 磁 器	碗(昭和~)
弥 生 土 器	器台?

表土 M9

土 師 器	破片
-------	----

表土 M10

須 惠 器	坏破片、蓋1
弥 生 土 器	破片

表土 M11

須 惠 器	甌(内ナテ消し)、坏IVA?
土 師 器	甌把手
石 製 品	砥石(天草産?)
弥 生 土 器	甌口1、高坏?、破片

表土 M12

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、甕 a?、坏×蓋 (ヘラ記号)、蓋 IV?
国 産 陶 器	破片 (唐津系?)
国 産 磁 器	(染付) 皿×碗
弥 生 土 器	高坏破片、底 1、破片

表土 M13

須 惠 器	坏 IVB?、蓋 IV?
肥前系陶磁器	染付破片
弥 生 土 器	甕口 1

表土 M14

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、坏 (小田 III?) 破片
弥 生 土 器	器台 2×3

表土 M15

弥 生 土 器	破片
---------	----

表土 N6

須 惠 器	坏?
弥 生 土 器	破片
そ の 他	火山岩

表土 N8

須 惠 器	甕破片、坏 (小田 II?)
土 師 器	古式土師器 高坏脚 (低平)
弥 生 土 器	器台?

表土 N9

土 師 器	古式土師器 高坏脚、破片
-------	--------------

表土 N11

須 惠 器	壺×甕、高坏?、坏 IV、蓋 IV?、小蓋 ca2
弥 生 土 器	高坏脚、破片

表土 N12

須 惠 器	甕 (内ナデ消し有り)、坏 IVA?、坏破片、蓋 IV?
国 産 陶 器	唐津? 破片
国 産 磁 器	碗?
弥 生 土 器	甕×壺、高坏坏 3、破片

表土 N13

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、坏 IVA、坏 c2?、蓋 (小田 II ~ IIIA)
土 師 器	古式土師器 高坏脚、高坏破片
肥前系陶磁器	皿 (唐津)
国 産 磁 器	破片
弥 生 土 器	壺 c3、甕 (後期)、底 1

表土 N14

須 惠 器	坏 (小田 II ~ IIIA 類)
弥 生 土 器	破片

表土 N15

須 惠 器	破片
弥 生 土 器	器台破片

表土 O10

須 惠 器	甕×壺、蓋?
土 師 器	古式土師器 布留式系甕、高坏坏、高坏脚、坏?
弥 生 土 器	破片
そ の 他	焼土塊

表土 O11

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、坏 c?、蓋 3
弥 生 土 器	壺 (後期)?、高坏破片?

表土 O14

須 惠 器	小蓋 a2
土 師 器	古式土師器 高坏坏

表土 O14

須 惠 器	小蓋 a2
土 師 器	古式土師器 高坏坏
瓦 類	平瓦破片

表土 P10

須 惠 器	壺×甕、蓋 1
土 師 器	坏 a (糸)
石 製 品	砥石 (天草産?)

表土 P13

須 惠 器	壺、壺×甕、坏?、坏 c、蓋 IV
土 師 器	古式土師器 高坏脚 (低平)、小型特殊器台脚、壺×甕
弥 生 土 器	甕口 1

表土 P14

須 惠 器	破片
弥 生 土 器	破片

表土 Q14

須 惠 器	破片
弥 生 土 器	甕口 1、甕口 2、破片

褐色土

土 師 器	古式土師器 高坏?
石 製 品	小型柱状石斧 (縄文系) AP (緑色片岩)、and-F (1)、ob-F (1)、ob-A (2)、石匙 (and)、石庵丁 (立岩系)

褐色土 14 ライン

弥 生 土 器	破片
---------	----

褐色土 B4

土 師 器	古式土師器 高坏脚?、高坏坏 (内放射状ミガキ)
弥 生 土 器	壺×甕

褐色土 B5

弥 生 土 器	甕×壺
---------	-----

褐色土 C4

土 師 器	古式土師器 壺×甕
弥 生 土 器	甕 (後期)、破片

褐色土 C7

土 師 器	甕破片?
弥 生 土 器	甕口 1

褐色土 D7

須 惠 器	坏?
石 製 品	op-F
弥 生 土 器	甕破片、器台?

褐色土 D10

土 師 器	壺×甕
-------	-----

褐色土 E4

須 惠 器	破片
土 師 器	古式土師器 甕×壺
弥 生 土 器	破片

褐色土 E10

弥 生 土 器	破片
---------	----

褐色土 E12

土 師 器	古式土師器 高坏
弥 生 土 器	壺? (赤色顔料付)

褐色土 E13

土 師 器	古式土師器 甕×壺破片
-------	-------------

褐色土 F3

土 師 器	古式土師器 布留式系甕?
弥 生 土 器	破片

褐色土 F4

弥 生 土 器	甕破片
土 製 品	土錘

褐色土 F5

須 惠 器	坏×蓋
土 師 器	古式土師器 布留式系甕?
弥 生 土 器	破片

褐色土 F6

弥 生 土 器	壺×高坏、器台 2×3
---------	-------------

褐色土 F7

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、坏?
土 師 器	古式土師器 高坏脚?
弥 生 土 器	器台破片

褐色土 F10
弥生土器 高坏×壺

褐色土 G3
土師器 古式土師器 高坏×坏、甕
弥生土器 破片

褐色土 G7
弥生土器 破片

褐色土 G11
須恵器 坏c?
石製品 and-AP
弥生土器 壺×甕、甕口、器台、底1
縄文土器 深鉢
金属製品 板状製品

褐色土 G15 ライン
弥生土器 甕口1?、破片

褐色土 H5
弥生土器 破片

褐色土 H7
土師器 古式土師器 庄内式系甕 (タキ)
弥生土器 甕、高坏破片

褐色土 H8
弥生土器 破片

褐色土 H9
弥生土器 壺 (赤色顔料付)、甕、器台

褐色土 I3
弥生土器 底1×2、鉢1×2

褐色土 I5
須恵器 坏?
弥生土器 壺×甕

褐色土 I7
弥生土器 甕口1?

褐色土 I8
弥生土器 器台

褐色土 I9
弥生土器 鉢1、破片

褐色土 J4
土師器 古式土師器 高坏×坏
弥生土器 甕?

褐色土 J5
土師器 古式土師器 甕?
弥生土器 破片

褐色土 J9
弥生土器 破片

褐色土 J11
弥生土器 破片

褐色土 K5
弥生土器 破片

褐色土 K7
須恵器 甕 (内ナデ消し)
弥生土器 壺? (赤色顔料付)

褐色土 K9
須恵器 甕 (内ナデ消し)
土師器 坏a (糸)、古式土師器 甕?、坏?
肥前系陶磁器 鉢?
国産磁器 碗? (唐津系?)

褐色土 K10
土師器 高坏?

褐色土 K11
土師器 甕口 (5c~)

褐色土 K11 ~ 12
弥生土器 甕破片

褐色土 K12
土師器 小皿a?
弥生土器 器台?、底5a、破片

褐色土 L8
須恵器 甕×壺
弥生土器 破片

褐色土 L9
須恵器 甕 (内ナデ消し)
弥生土器 甕×壺、高坏破片

褐色土 L12
須恵器 坏IV、蓋IV?

褐色土 M3
土師器 甕×壺

褐色土 M9
土師器 古式土師器 壺×高坏
弥生土器 破片

褐色土 N8
弥生土器 破片
その他 玉砂利 (白色)

褐色土 N9
弥生土器 甕破片、高坏破片

褐色土 N12
須恵器 甕 (ナデ消し)、坏IV (2)、坏? (ヘラ記号)
弥生土器 甕、破片

褐色土 N13
石製品 不明石製品

褐色土 N14
弥生土器 破片

褐色土 O9
土師器 古式土師器 高坏、破片

暗灰茶色土
須恵器 大甕a、甕 (内ナデ消し)、坏c2×3、坏IV? (ヘラ記号?)、蓋1?
土師器 甕把手、甕破片、古式土師器 布留式系甕?
弥生土器 壺、壺×高坏、甕口1?、高坏脚4、鉢、支脚?
土製品 土鉢

暗灰茶色土 M4
土師器 古式土師器 破片
弥生土器 甕破片

暗灰茶色土 M5
須恵器 破片
土師器 古式土師器 甕破片、丸底壺?
弥生土器 甕口 (後期)、器台、底4

暗灰茶色土 M11
須恵器 蓋IV、甕 (内ナデ消し)、蓋3、坏×蓋
土師器 古式土師器 高坏×坏
弥生土器 大甕 (西新式?)、高坏脚、高坏脚2×3
土製品 土鉢×紡錘車

暗灰茶色土 M14
弥生土器 器台、底5?

暗灰茶色土 N10
須恵器 甕 (内ナデ消し)、坏IV、坏a×c、蓋 (小田II~IIIa)
弥生土器 器台、破片
その他 火山岩

暗灰茶色土 N11
須恵器 坏IV?
弥生土器 甕破片

暗灰茶色土 N12

須 惠 器	坏 IV?、蓋 IVB、破片
国 産 陶 器	破片 (唐津系?)
弥 生 土 器	壺 (後期)、甕破片、高坏脚 1×2、器台×高坏、底 5a?、底 2×3

暗灰茶色土 N13

須 惠 器	甕 a? (波状紋あり)、坏 IVA?、蓋 IVA、蓋 IVB?
土 師 器	手づくね坏?、蓋 IV? (須惠器の模倣?)
弥 生 土 器	破片

暗灰茶色土 O ライン

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)
弥 生 土 器	壺 A2b

暗灰茶色土 O10

須 惠 器	壺×甕、蓋 (小田皿?)
土 師 器	小皿 a?
弥 生 土 器	壺×鉢、甕 (後期) 破片、高坏破片、器台?

暗灰茶色土 O11

弥 生 土 器	甕破片、高坏脚
---------	---------

暗灰茶色土 O12

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、坏破片
土 師 器	甕把手、甕口 (5c~)、古式土師器 高坏?
石 製 品	op-F
弥 生 土 器	壺 c3?、高坏脚 2×3

暗灰茶色土 O13

須 惠 器	壺×甕、甕 (内ナデ消し)、坏?、坏 IV×B、坏 (小田 II~IIIA)
土 師 器	古式土師器 坏、坏?、底?
弥 生 土 器	甕×鉢、甕破片、甕口 2、高坏破片、高坏脚 3、蓋?

暗灰茶色土 O14

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、甕 a?、坏 c 破片?
土 師 器	甕破片
弥 生 土 器	器台、底 5a

暗灰茶色土 P10

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)
弥 生 土 器	破片

暗灰茶色土 P12

須 惠 器	甕×壺、甕 (内ナデ消し)、坏×蓋、蓋 4
土 師 器	古式土師器 布留式系甕、大甕 (在地?)、壺×甕
弥 生 土 器	壺?、壺 E×高坏、甕 (後期)、高坏破片、器台脚?

暗灰茶色土 P13

須 惠 器	壺×甕、甕 (内ナデ消し)、坏?
弥 生 土 器	甕 (後期)、高坏、器台、底 1、底 2×3、底 4

暗灰茶色土 P14

須 惠 器	坏×蓋 (IV)
土 師 器	甕把手
弥 生 土 器	壺 (後期)、底 1、底 4

暗灰茶色土 P.Q-12.13

須 惠 器	甕 (内ナデ消し)、坏×蓋
土 師 器	古式土師器 高坏脚、壺×甕破片、手づくね坏、高坏脚 (低平) 小型丸底壺
弥 生 土 器	壺 c1、壺 c2 (赤色顔料付)、壺×高坏、高坏坏、高坏脚 1、 高坏脚 4、器台 2×3、底 1、底 8

暗灰茶色土 Q13

弥 生 土 器	破片
---------	----

暗灰茶色土 Q14

須 惠 器	甕破片
土 師 器	手づくね坏?
弥 生 土 器	甕口 (後期)、高坏破片、器台、底 1?、底 4

殿城戸7次遺物観察表凡例

R 番号とは遺物に付与された整理番号で、収蔵後の検索にはこの番号を用いる。
土器以外の法量は口径・高さ・底径を、長さ・幅・厚みに読み変える。
数値後の+は欠損状況での数値、*は復元状況での数値で表記している。

石器観察表について

観察表中の略号は次のとおり。

ob (黒曜石)、and (安山岩)、F (剥片)、RF (二次加工のある剥片)、
UF (微細剥離など使用痕のある剥片)、AP (石鏃)

殿城戸7次石器観察表凡例

石器の設置方向は、剥片の場合は剥離面の打点部分を上とし、リングの広がりの中心部分を下としている。石核の場合は最終剥離面ないし最も明瞭な剥離面を正面としている。

長さの測定はノギスを、重量の測定には0.1桁表示の電子測りを使用した。

+は欠損値、*は復元値、-は測定不能の状況を示している。

石材の内、安山岩には青黒味を帯びる灰色系のものと白味を帯びる灰色系のものがあり、白味のものには備考欄にその旨を記載している。

殿城戸7次遺物観察表(1)

遺構	No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面				内面				備考 (+は欠損、*は復元値)	
									叩き目	なで	はげ	けずり	みがき	なで	はげ	けずり		みがき
7SB095f	(S-95 f)	1 須 坏c	31	25-52	001	-	1.5+	-		○				○				
7SB210c	(S-210 c)	1 古土師 坏×高坏	32	25-52	001	12.2*	3.3+	-		○		○	○	○				○
7SB240 b	(S-240 b)	1 弥生 壺	32	25-53	001	-	-	-		○	○			○	○			
〃	(S-240 b)	2 弥生 底1	32	25-52	002	-	4.3+	-			○			○				
7SB240 e	(S-240 e)	3 弥生 底1	32	-	001	-	2.8+	-										
〃	(S-240 e)	1 古土師 高坏	32	25-52	002	-	1.2+	-										○ 内面 放射状みがき
〃	(S-240 e)	2 古土師 高坏脚	32	25-52	003	-	0.9+	-						○	○			放射状みがき
7SB240 f	(S-289)	1 古土師 甕(布留式系)	32	25-52	001	-	2.6+	-			○				○			
〃	(S-289)	2 古土師 二重口縁壺(山陰系)	32	25-52	002	14.8*	3.5+	-			○				○			
7SI155 茶褐色土	(S-155 茶褐色土③)	1 土師 甕	33	25-54	001	13.0*	5.9+	-		○	○			○			○	
〃	(S-155 茶褐色土②)	2 土師 小型丸底壺	33	25-54	001	8.4*	10.1	3.0*		○		○		○				
〃	(S-155 茶褐色土①)	3 土師 坏	33	25-54	001	14.8*	5.4	6.0*		○		○		○				
〃	(S-155 茶褐色土⑤)	4 土師 甌	33	25-54	001	23.8*	24.7	8.6*		○	○	○			○	○		煤付着
7SI155 赤褐色土	(S-155 カマド赤褐色土①)	1 土師 広口壺	33	25-54	001	11.8*	13.0+	-		○		○		○		○		工具状なで
7SI160	(S-160 ⑨)	3 古土師 甕(布留式系)	33	26-57	011	18.4*	6.9+	-		○	○			○		○		縦はげ後、横はげ
〃	(S-160 ④)	2 古土師 甕(布留式系)	33	25-55	004	18.6*	4.5+	-		○				○		○		
〃	(S-160 ②)	1 古土師 甕(布留式系)	33	25-56	008	15.6*	5.2+	-		○				○		○		
〃	(S-160 ①)	4 古土師 長頸壺(布留式系)	33	26-59	006	13.4	6.3	5.0				○	○		○			薄手

殿城戸7次遺物観察表(2)

遺構	No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面					内面				備考 (+は欠損、*は復原値)		
									叩き目	なで	はげ	けずり	みがき	なで	はげ	けずり	みがき			
7SI160	(S-160 ㉔)	5	古土師	二重口縁壺 (山陰系)	33	26-58	010	-	7.7+	-		○				○	○			大型品 7SD100 黒灰色土出土と同じか
〃	(S-160 ㉕)	6	古土師	高坏	33	26-61	009	21.0	11.2	12.4*		○		○	○					
〃	(S-160 ㉖)	7	古土師	高坏 坏	33	26-61	007	17.8	5.0+	-		○			○	○				
〃	(S-160 24)	8	古土師	高坏 脚	33	27-62	003	-	5.1+	-			○		○					打ちかき痕あり
〃	(S-160 ㉗)	9	弥生	高坏 脚	33	27-62	005	-	9.5+	-					○					打ちかき痕あり
〃	(S-160 ㉘)	10	古土師	小型丸底壺	33	27-63	001	13.4	6.3	5.0				○	○					
〃	(S-160 ㉙)	11	古土師	坏	33	26-60	002	12.4*	3.45	5.2*			○	○	○					
7SI160 黒灰色土	(S-160 黒灰色土)	1	古土師	甕(布留式系)	34	27-64	003	-	3.3+	-		○				○				
〃	(S-160 黒灰色土)	2	古土師	二重口縁壺 (庄内式系)	34	27-64	002	-	3.3+	-		○				○				
〃	(S-160 黒灰色土)	3	古土師	二重口縁壺 (庄内式系)	34	-	009	-	6.1+	-										
〃	(S-160 黒灰色土)	4	古土師	広口壺 V様式系	34	27-64	001	-	4.0+	-					○	○				
〃	(S-160 黒灰色土)	5	古土師	高坏 脚	34		008	-	2.9+	-		○	○			○	○			
〃	(S-160 黒灰色土)	7	古土師	小型丸底壺	34	27-64	007	-	4.5+	-			○			○				
〃	(S-160 黒灰色土)	8	古土師	小型丸底壺	34	27-63	006	9.8	6.5+	-		○	○	○		○		○		
〃	(S-160 黒灰色土)	9	古土師	小型丸底壺	34	27-64	005	-	3.4+	-			○			○	○			工具状なで、黒色を呈す。
〃	(S-160 黒灰色土)	6	古土師	高坏 坏	34	27-64	004	18.4	2.5+	-		○				○				○
〃	(S-160 黒灰色土)	10	古土師	高台付鉢	34	-	010	-	4.4+	6.9*		○				○				工具状なで
7SI170	(S-170 ㉚)	1	須	坏蓋	34	28-65	001	12.4*	4.9	-		○		○		○				小田 IIB ~ IIIA
7SI175 茶色土	(S-175 茶色土)	1	須	坏身	34	-	001	-	3.0+	-		○				○				
〃	(S-175 茶色土)	2	土師	甕	34	-	002	13.7*	2.8+	-		○	○							
7SI175 暗灰色土	(S-175 暗灰色土②)	1	土師	坏	34	28-66	001	15.6*	5.8	5.6*		○		○		○				
7SI175 黄灰色ブロック土	(S-175 黄灰色ブロック土②)	1	弥生	鉢	34	28-67	001	8.0*	6.1	4.0		○				○	○			丹塗り
7SI175d	(S-175 d)	1	弥生	底1	34	28-67	001	-	2.2+	6.2*		○								
7SI180 茶灰色土	(S-180 茶灰色土)	1	須	蓋	34	28-68	001	-	1.75+	-		○				○				
〃	(S-180 茶灰色土)	2	土師	坏	34	28-68	002	-	2.7+	-										
〃	(S-180 茶灰色土①)	3	土師	甕	34	28-68	003	-	6.1+	-		○								○
7SI185 茶灰色土	(S-185 茶灰色土)	1	古土師	甕(布留式系)	34	28-68	002	-	4.3+	-		○				○				
〃	(S-185 茶灰色土)	2	古土師	小型丸底壺×坏	34	28-68	001	-	2.5+	-		○				○	○			
〃	(S-185 茶灰色土)	3	弥生	加工土器片	34	28-68	003	4.4	6.7	1.5										(縦・横・厚さ)
7SI185 h	(S-185 h)	1	古土師	小型丸底壺	34	28-68	001	-	3.8+	-		○	○			○				
7SI190 暗茶色土	(S-190 暗茶色土)	1	古土師	高坏 坏	34	29-72	001	-	3.0+	-			○							○
〃	(S-190 暗茶色土)	2	古土師	小型丸底壺	34	29-72	002	-	3.9+	-		○								
7SI190	(S-190 ③)	1	古土師	二重口縁壺	34	29-72	002	-	3.9+	-		○				○				
〃	(S-190 ③)	2	古土師	高坏 脚	34	29-70	004	-	6.6+	-						○	○	○		打ちかきあり
7SI190	(S-190 ③)	3	古土師	小型丸底壺	34	29-72	003	13.0*	4.7+	-		○				○	○	○		
〃	(S-190 ③)	4	古土師	小型特殊器台	34	29-71	005	10.2*	8.4	5.2*		○				○				
〃	(S-190 ②)	5	古土師	坏	34	28-69	001	13.4*	4.1	5.2*		○				○	○	○		

殿城戸7次遺物観察表(3)

遺構	No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面				内面				備考 (+は欠損、*は復原値)	
									叩き目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり		みがき
7SI195 黒灰色土	(S-195 黒灰色土)	1	須	坏蓋	34	29-73	002	12.8*	3.5+	-								
◇	(S-195 黒灰色土)	4	土師	甕	34	29-73	003	16.8*	7.9+	-		○	○					
◇	(S-195 黒灰色土)	5	土師	坏 a	34	29-73	001	-	3.1+	7.2*				○				底部へら切り
◇	(S-195 黒灰色土①)	2	土師	坏	34	29-74	001	13.2	6.1	5.0			○					手持ちへらけずり
◇	(S-195 黒灰色土②)	3	土師	手づくね坏	34	29-74	001	3.2	3.8	-			○					
7SI205 茶灰色土	(S-205 茶灰色土①)	4	弥生	底 1	35	-	001	-	2.6+	-								風化の為調整不明
◇	(S-205 茶灰色土①)	5	弥生	底 1	35	-	002	-	3.0+	-		○	○					
◇	(S-205 茶灰色土①)	2	弥生	甕口 1	35	-	003	-	2.3+	-								風化の為調整不明
◇	(S-205 茶灰色土①)	3	弥生	甕口 1	35	-	004	-	2.6+	-			○					
◇	(S-205 茶灰色土④)	1	古土師	壺 V 様式系	35	29-75	001	13.2*	28	6.7			○		○	○		
7SI235 黄褐色土	(S-235 黄褐色土①)	1	弥生	短頸甕 (須玖Ⅱ式)	35	30-77	001	13.0*	8.8+	-			○	○				赤色顔料塗布
◇	(S-235 黄褐色土②)	2	弥生	壺底 1	35	30-76	001	-	9.5+	6.2					○			一部赤色顔料が残る。
◇	(S-235 黄褐色土③)	3	弥生	器台脚	35	30-76	001	-	8.8+	12*			○					
7SI235 淡黄褐色土	(S-235 淡黄褐色土)	1	弥生	短頸甕 (須玖Ⅱ式)	35	30-77	001	12.6*	4.8+	-					○	○		口縁部に穿孔、赤色顔料塗布
◇	(S-235 淡黄褐色土)	3	弥生	壺	35	30-77	002	-	5.3+	-			○					赤色顔料付着 003 と同一個体か
◇	(S-235 淡黄褐色土)	2	弥生	袋状口縁甕 (須玖Ⅱ式系)	35	30-77	003	9.8*	2.4+	-					○		○	赤色顔料付着
7SI235 b	(S-235 b)	3	弥生	高坏 坏部	35	-	001	-	3.8+	-			○					
◇	(S-235 b)	2	弥生	壺×甕底 1	35	-	002	-	5.4+	-				○				風化の為調整不明瞭
◇	(S-235 b)	1	弥生	甕口 1	35	-	003	-	2.3+	-					○			
7SE010 暗灰青色粘質土	(S-10 暗灰青色粘質土)	1	土師	小皿 b	36	31-78	001	7.4*	1.7	5.0			○					糸切り
◇	(S-10 暗灰青色粘質土)	2	土師	坏	36	-	002	-	2.15+	-			○					
7SE010 灰黒色砂質土	(S-10 灰黒色砂質土)	1	瓦質	火鉢	36	31-78	001	-	8.3+	-						○		
◇	(S-10 灰黒色砂質土 12a ②)	2	木製品	椀	36	31-79.80	001	-	4.0+	-								外面は黒漆 内面は朱漆
◇	(S-10 灰黒色砂質土 12a ①)	3	木製品	椀	36	31-79.80	001	-	3.5+	-								外面は黒漆 内面は朱漆
◇	(S-10 灰黒色砂質土 12a ①)	4	木製品	椀	36	31-79.80	002	-	1.2+	-								外面は黒漆 内面は朱漆
7SE010 灰褐色粘質土	(S-10 灰褐色粘質土 ④)	1	土師	小皿 b	36	31-78	001	6.8*	1.8	4.7			○					糸切り
◇	(S-10 灰褐色粘質土 ③)	2	土師	小皿 b	36	31-78	001	7.4*	1.7	4.9*			○					糸切り
7SE010 明灰色粘土	(S-10 明灰色粘土)	1	土師	坏 a	36	31-78	001	-	0.8+	-			○					糸切り
7SE230	(S-230)	1	瓦	平瓦	36	-	001	-	3.0+	1.55		○						格子目叩き
7SE230 暗灰色土	(S-230 暗灰色土)	1	国陶	皿	36	31-78	001	-	1.4+	3.4*								鉄絵
7SE230 灰色粘質土	(S-230 灰色粘質土)	1	青磁	碗	36	31-78	001	-	3.2+	-								上田 D 類
◇	(S-230 灰色粘質土)	2	木製品	下駄	36	32-81	002	18.2	8.3	2.3								板目取り (残存数値)
7SD005	(S-5)	1	土師	播鉢	37	32-82	001	-	10.8+	-			○					
7SD100 茶色土	(S-100 茶色土)	1	古土師	甕 (庄内式系)	38	36-89	004	15.0*	10.2+	-		○	○	○				
◇	(S-100 茶色土)	2	古土師	甕 (布留式系)	38	-	033	16.4*	5.9+	-			○					
◇	(S-100 茶色土⑩)	3	古土師	甕 (布留式系)	38	33-83	022	18.6	9.5+	-			○	○				
◇	(S-100 茶色土⑥)	4	古土師	甕 (布留式系)	38	33-83	024	18.2	10.5+	-			○	○				

殿 城 戸 7 次 遺 物 観 察 表 (4)

遺 構		No.	器 種	図版番号	写真番号	R番号	口 径 cm	高 さ cm	底 径 cm	外 面				内 面				備 考 (+は欠損、*は復原値)
										叩き目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり	
7SD100 茶色土	(S-100 茶色土⑤)	5	古土師 甕(布留式系)	38	33-83	032	18.0	11.2+	-		○					○		風化の為調整不明瞭
〃	(S-100 茶色土)	6	古土師 甕(布留式系)	38	-	035	14.8	3.2+	-		○				○	○		
〃	(S-100 茶色土⑤・⑥)	17	古土師 二重口縁壺	38	36-90	025	-	23.9+	-			○			○	○		胴部のみ 沈線あり
〃	(S-100 茶色土)	8	古土師 甕(布留式系)	38	-	028	-	3.2+	-		○				○	○		
〃	(S-100 茶色土)	7	古土師 甕(布留式系)	38	-	027	18.0*	3.3+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土)	9	古土師 甕(布留式系)	38	-	030	-	3.8+	-		○				○	○		
〃	(S-100 茶色土)	10	古土師 甕(布留式系)	38	-	036	-	4.3+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土)	11	古土師 甕(布留式系)	38	-	013	-	3.9+	-		○				○	○		
〃	(S-100 茶色土)	12	古土師 甕(布留式系)	38	-	031	-	2.0+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土)	13	古土師 甕(布留式系)	38	-	018	-	2.2+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土)	14	古土師 甕(布留式系)	38	-	016	-	3.1+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土⑩)	16	古土師 甕(布留式系)	38	-	023	-	6.5+	-		○					○		
〃	(S-100 茶色土)	15	古土師 甕(布留式系)	38	-	019	-	2.6+	-		○					○		波状文あり
〃	(S-100 茶色土)	18	古土師 二重口縁壺 (山陰系)	38	-	029	-	3.8+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土)	21	弥生 甕口 1	38	-	034	-	2.8+	-		○				○			
〃	(S-100 茶色土⑬)	22	弥生 甕底 2	38	-	026	-	1.7+	6.2									風化の為調整不明
〃	(S-100 茶色土)	19	古土師 広口壺	38	36-91	015	19.0*	7.5+	-		○	○			○	○		
〃	(S-100 茶色土)	20	古土師 広口壺	38	-	037	18.4*	5.4+	-		○	○			○			
〃	(S-100 茶色土①)	23	古土師 高坏	39	34-85	002	16.2	7.5	10.3		○		○	○	○	○		坏部碗型
〃	(S-100 茶色土)	24	古土師 高坏 坏	39	34-86	005	20.5	7.4+	-			○		○		○		はけ目はかき目状、みがきは放射状
〃	(S-100 茶色土)	25	古土師 高坏 脚	39	37-98	040	-	7.1+	12.0			○		○	○			
〃	(S-100 茶色土)	26	古土師 高坏 脚	39	37-98	010	-	2.1+	13.5*			○		○	○			
〃	(S-100 茶色土)	27	古土師 高坏 脚 (在地系)	39	37-98	007	-	6.5+	-			○		○	○			打ちかき痕あり
〃	(S-100 茶色土)	28	古土師 高坏(庄内式系)	39	35-88	017	-	2.5+	-		○		○	○	○		○	有段高坏
〃	(S-100 茶色土)	29	古土師 小型丸底壺	39	35-87	011	11.0*	7.6+	-		○	○		○	○			
〃	(S-100 茶色土)	30	古土師 小型丸底壺	39	-	021	12.4*	5.4+	-		○			○	○		○	
〃	(S-100 茶色土)	31	古土師 小型丸底壺	39	-	043	13.4*	4.8+	-			○		○	○	○		
〃	(S-100 茶色土⑦)	32	古土師 小型丸底壺	39	35-88	012	12.0*	5.2+	-		○	○	○	○	○		○	
〃	(S-100 茶色土)	33	古土師 小型丸底壺	39	35-88	042	13.0*	5.1+	-		○			○	○			
〃	(S-100 茶色土 26)	34	古土師 小型丸底壺	39	35-87	041	12.0*	6.8	5.5*		○		○	○	○			
〃	(S-100 茶色土③)	35	古土師 小型丸底壺	39	35-87	001	11.0	5.7	7.0		○		○		○			
〃	(S-100 茶色土⑩)	36	古土師 小型丸底壺	39	35-87	003	16.5*	5.7	9.0		○	○						
〃	(S-100 茶色土 ⑧)	37	古土師 丸底壺	39	35-87	006	17.6	6.9	9.2		○				○	○	○	鉢型
〃	(S-100 茶色土)	38	古土師 小型丸底壺	39	-	020	13.6*	3.3+	-		○			○	○		○	
〃	(S-100 茶色土)	39	古土師 小型丸底壺	39	35-88	009	-	4.3+	-				○	○	○			工具状なで
〃	(S-100 茶色土)	40	古土師 小型特殊器台	39	36-93	038	10.0*	8.7	12.4*		○			○	○	○		
〃	(S-100 茶色土 27)	41	古土師 小型特殊器台	39	37-94	039	9.0	2.1+	-		○				○			

殿城戸7次遺物観察表(5)

遺構	No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面				内面				備考 (+は欠損、*は復原値)	
									叩き目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり		みがき
S-100 茶色土	(S-100 茶色土)	42	古土師	小型特殊器台	39	37-94	014	-	2.2+	-				○	○			
〃	(S-100 茶色土④)	43	古土師	坏	39	37-95	008	13.0	2.8+	-				○				
7SD100 灰茶色土	(S-100 灰茶色土)	1	古土師	甕(布留式系)	39	-	001	-	2.8+	-								風化の為調整不明 白色
〃	(S-100 灰茶色土)	2	古土師	坏	39	-	002	-	2.0+	-				○				
7SD100 暗灰茶色土	(S-100 暗灰茶色土)	1	古土師	二重口縁壺 (庄内式系)	39	35-88	001	-	5.4+	-				○		○		鼓形器台か
7SD100 黒灰色土	(S-100 黒灰色土⑥)	1	古土師	甕(布留式系)	40	33-84	007	19.2*	17.0+	-				○		○		
〃	(S-100 黒灰色土①)	2	古土師	甕(布留式系)	40	33-84	003	14.8*	13.7+	-				○		○		
〃	(S-100 黒灰色土①)	3	古土師	甕(布留式系)	40	-	006	-	3.8+	-				○				
〃	(S-100 黒灰色土②)	4	古土師	甕(布留式系)	40	33-84	005	11.6*	4.8+	-						○		外面に波状文
〃	(S-100 黒灰色土)	5	古土師	二重口縁壺(山陰系)	40	36-92	002	28.4	52.6+	-				○	○			大型品、被熱痕あり
〃	(S-100 黒灰色土③)	6	古土師	高坏	40	34-86.97	001	22.4	14.35	13.3				○	○		○	
〃	(S-100 黒灰色土⑥)	7	古土師	坏	40	37-95	004	12.0*	2.9+	-				○			○	高坏の坏部か
7SD100 明茶色土	(S-100 明茶色土①)	1	古土師	高坏(在地区)	40	34-85.96	001	17.6*	10.9	11.0*				○	○	○	○	内 みがき放射状、肉厚
7SD311 灰白色土	(S-311 灰白色土)	1	土師	坏d	37	-	001	-	10.8+	-				○				へら切り・板痕・内底ナデ
7SK020 褐灰色土	(S-20 褐灰色土)	1	瓦質	擂鉢	41	-	001	-	6.7+	-				○				内面に櫛目あり
7SK045 暗茶灰色土	(S-45 暗茶灰色土)	1	古土師	甕(布留式系)	41	38-99	008	-	5.1+	-				○		○		
〃	(S-45 暗茶灰色土 P7)	2	古土師	甕(布留式系)	41	38-99	006	-	4.1+	-				○		○		
〃	(S-45 暗茶灰色土 P7)	3	古土師	二重口縁壺 (山陰系)	41	38-99	005	-	3.6+	-				○		○		器壁薄い
〃	(S-45 暗茶灰色土 P21)	4	古土師	高坏 脚	41	-	001	-	8.5+	13.7				○	○			打ちかき痕あり
〃	(S-45 暗茶灰色土 P12)	5	古土師	高坏 脚	41	38-99	007	-	7.5+	-				○				打ちかき痕あり 風化の為調整不明瞭
〃	(S-45 暗茶灰色土 P13)	6	古土師	高坏 脚	41	-	004	-	7.5+	-				○	○			打ちかき痕あり
〃	(S-45 暗茶灰色土 P19)	7	古土師	高坏	41	-	003	11.6	5.9+	-				○	○			
〃	(S-45 暗茶灰色土 P7)	8	古土師	高坏 脚	41	-	011	-	1.7+	-				○				風化の為調整不明瞭
〃	(S-45 暗茶灰色土④・⑥)	9	古土師	小型丸底壺	41	38-99	009	12.4	4.4+	-								風化の為調整不明
〃	(S-45 暗茶灰色土④)	10	古土師	小型特殊器台 脚	41	-	010	-	2.6+	10.0*				○		○		外面は風化の為調整不明瞭
〃	(S-45 暗茶灰色土③)	11	古土師	小型特殊器台 脚	41	-	012	-	4.1+	-				○		○		
〃	(S-45 暗茶灰色土 P2)	12	古土師	坏	41	38-99	002	13.4*	3.5+	7.1*				○		○		
7SK075 淡灰褐色砂質土	(S-75 淡灰褐色砂質土)	1	古土師	甕(布留式系)	41	38-100	003	-	4.5+	-				○	○		○	
〃	(S-75 淡灰褐色砂質土)	2	古土師	二重口縁壺 (山陰系)	41	38-100	002	-	5.5+	-				○				
〃	(S-75 淡灰褐色砂質土)	3	古土師	高坏 坏 (布留式系)	41	38-100	004	20.0*	6.7+	-				○		○	○	
〃	(S-75 淡灰褐色砂質土)	4	古土師	小型丸底壺	41	38-100	001	-	5.7+	-				○	○			○
7SK075 暗茶灰色土	(S-75 暗茶灰色土①)	1	古土師	甕(布留式系)	41	39-101	001	16.6*	8.6+	-				○	○		○	
〃	(S-75 暗茶灰色土)	2	古土師	二重口縁壺 (山陰系)	41	38-100	003	-	3.1+	-				○				
〃	(S-75 暗茶灰色土①)	3	古土師	壺底 V 様式系	41	39-102.103	005	-	3.7+	8.9*				○	○		○	○

殿城戸7次遺物観察表(6)

遺構		No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面					内面				備考 (+は欠損、*は復原値)		
										叩き目	なで	はげ	けずり	みがき	なで	はげ	けずり	みがき			
7SK075 暗茶灰色土	(S-75 暗茶灰色土②)	4	古土師 高坏×小型特殊器台	41	38-100	004	-	4.45+	8.1*				○	○							
〃	(S-75 暗茶灰色土)	5	古土師 小型丸底壺	41	38-100	002	-	4.1+	-			○	○			○	○				
7SK150 淡茶色土	(S-150 淡茶色土⑤)	1	古土師 甕(庄内式系)	42	39-105	001	-	11.6+	-			○	○	○							
〃	(S-150 淡茶色土④)	2	古土師 甕(庄内式系)	42	39-105	001	-	12.1+	-			○									
〃	(S-150 淡茶色土②)	3	古土師 高坏×器台 脚	42	39-104	001	-	8.0+	-							○					打ちかきの可能性あり 風化の為調整不明瞭
7SK150 茶色土	(S-150 茶色土②)	1	古土師 高坏 脚	42	39-104	001	-	7.0+	-							○					打ちかきの可能性あり
7SK173 灰茶色土	(S-173 灰茶色土)	1	須 坏	42	-	001	-	2.7+	-			○				○					
7SK367 淡茶色土	(S-367 淡茶色土)	1	古土師 二重口縁壺(庄内系)	42	39-106	001	5.0*	3.5+	-					○	○	○	○	○			
7SK403 黒褐色土	(S-403 黒褐色土)	1	古土師 甕(布留式系)	43	40-107	006	17.8	6.7+	-							○					
〃	(S-403 黒褐色土)	2	古土師 甕(布留式系)	43	-	010	-	3.3+	-												風化の為調整不明
〃	(S-403 黒褐色土)	3	古土師 二重口縁壺(庄内系)	43	-	008	-	4.7+	-			○	○			○					
〃	(S-403 黒褐色土)	4	古土師 壺	43	-	005	-	3.3+	-			○				○					
〃	(S-403 黒褐色土)	5	古土師 二重口縁壺(山陰系)	43	-	004	-	3.6+	-			○				○					
〃	(S-403 黒褐色土)	6	古土師 高坏 坏	43	40-108	007	19.0*	6.3+	-			○									二次焼成を受ける。
〃	(S-403 黒褐色土)	7	古土師 高坏	43	40-109	001	15.0	7.0+	-			○				○					
〃	(S-403 黒褐色土)	8	古土師 高坏 脚	43	40-109	009	-	3.6+	10.4			○		○	○		○				打ちかき痕あり
〃	(S-403 黒褐色土)	9	古土師 高坏(在地系)	43	40-109	002	-	6.3+	-			○									打ちかきの可能性あり 風化の為調整不明瞭
〃	(S-403 黒褐色土)	10	古土師 高坏 脚	43	40-109	003	-	6.9+	-							○					打ちかきの可能性あり 風化の為調整不明瞭
〃	(S-403 黒褐色土)	11	古土師 小型特殊器台	43	40-109	012	-	7.8+	12.2*			○				○	○				
〃	(S-403 黒褐色土)	12	古土師 坏×高坏 坏	43	-	011	-	4.8+	-												風化の為調整不明瞭
7SK403	(S-403)	1	古土師 小型丸底壺	43	-	001	-	4.1+	-			○				○	○				
7SK404 黒褐色土	(S-404 黒褐色土)	1	古土師 甕(布留式系)	43	41-111	003	19.2*	6.9+	-			○	○			○					
〃	(S-404 黒褐色土)	2	古土師 甕(布留式系)	43	41-111	004	-	7.8+	-			○				○					
〃	(S-404 黒褐色土)	3	古土師 甕(布留式系)	43	41-111	014	-	1.9+	-			○				○					
〃	(S-404 黒褐色土)	4	古土師 広口壺	43	41-111	015	18.2*	6.4+	-			○	○			○					
〃	(S-404 黒褐色土)	5	古土師 高坏 脚(在地系)	43	40-110	008	-	4.7+	9.6*			○									風化の為調整不明瞭
〃	(S-404 黒褐色土)	6	古土師 高坏 脚(在地系)	43	40-110	009	-	4.3+	-							○					風化の為調整不明瞭
〃	(S-404 黒褐色土)	7	古土師 高坏 脚	43	-	006	-	1.1+	-			○				○					
〃	(S-404 黒褐色土)	8	古土師 高坏 脚	43	40-110	013	-	3.2+	20.0*							○					
〃	(S-404 黒褐色土)	9	古土師 高坏 坏	43	42-113	010	-	4.3+	-			○				○					
7SK404 黒褐色土	(S-404 黒褐色土)	10	古土師 小型丸底壺	43	41-111	011	14.4*	4.8+	-			○	○			○	○				
〃	(S-404 黒褐色土)	11	古土師 小型屈曲口縁鉢	43	41-112	002	15.0	4.0+	-			○				○					
〃	(S-404 黒褐色土)	12	古土師 小型丸底壺	43	41-112	001	15.0	7.0+	-			○				○					
〃	(S-404 黒褐色土)	13	古土師 小型特殊器台 脚	43	41-112	007	-	6.3+	11.8			○				○					
〃	(S-404 黒褐色土)	14	古土師 坏	43	42-113	012	10.2*	3.3+	-							○	○	○			

殿城戸7次遺物観察表(7)

遺構	No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面				内面				備考 (+は欠損、*は復原値)		
									叩き目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり		みがき	
7SK404 黒褐色土	(S-404 黒褐色土)	15	古土師	壺×甕	43	-	017	-	8.6+	-					○				工具状なで
〃	(S-404 黒褐色土)	16	弥生	鉢	43	-	005	-	8.2+	6.0*					○				内面も叩き調整
〃	(S-404 黒褐色土)	17	弥生	器台 脚	43	-	018	-	6.4+	-	○	○							
〃	(S-404 黒褐色土)	18	弥生	器台 脚	43	-	016	-	5.0+	-		○	○		○	○			
7SK404	(S-404)	1	古土師	高坏 坏	43	42-113	001	18.0	5.7+	-					○		○		○
〃	(S-404)	2	古土師	高坏 坏	43	42-113	002	-	5.8+	-					○		○		○
7SK130 暗茶灰色土	(S-130 暗茶灰色土)	1	須	甕	44	-	001	-	7.0+	-	○				○				格子目叩き
7SK130 黒灰色土	(S-130 黒灰色土①)	1	須	甕	44	-	001	-	4.0+	-	○				○				格子目叩き
〃	(S-131 黒灰色土①)	2	須	甕	44	-	002	-	3.6+	-	○				○				格子目叩き
7SK130 淡黒灰色土	(S-130 淡黒灰色土)	1	須	坏蓋	44	-	001	-	3.1+	-		○			○				
7SK182 黒灰色土	(S-182 黒灰色土)	1	須	長頸壺	44	-	001	-	9.3+	-		○			○		○		
7SK238 灰茶色土	(S-238 灰茶色土)	1	土製品	焼土塊	44	-	001	6.4	3.6	2.4									(縦×横×厚)
〃	(S-238 灰茶色土)	2	土製品	焼土塊	44	-	002	7.0	6.3	2.55									(縦×横×厚)
7SX140 褐色土	(S-140 褐色土)	1	土師	坏 a	44	42-114	001	12.6*	2.85	9.3*		○			○				糸切り 内底なで
7SX165	(S-165)	2	弥生	甕	44	43-115	001	-	18.0+	9.0		○	○		○				器壁が薄い
〃	(S-165)	1	弥生	甕口 1	44	-	002	-	2.7+	-		○			○				
7SX202	(S-202)	1	青磁	椀	44	42-114	001	-	2.1+	5.6*									龍泉窯系青磁椀 I 類
7SX259 黒灰色土	(S-259 黒灰色土①)	1	土師	坏 a	44	43-116	001	12.6	2.7	8.45		○			○				糸切り 板状圧痕 内底なで
7SX542	(S-542)	1	瓦	平瓦	44	-	001	-	2.1+	1.4									平行叩き
7SX551	(S-551)	1	弥生	壺 c1	44	-	001	-	7.7+	-		○	○		○				
暗灰茶色土		1	須	坏 c	44	43-117	003	-	1.45+	-		○			○				
〃		2	須	坏 c	44	43-117	004	-	1.3+	-		○			○				
〃		3	須	坏 c	44	43-117	002	-	1.85+	-		○			○				底部へら切り後なで
〃		4	須	坏 c	44	43-117	001	-	1.5+	8.2*		○			○				
〃		5	瓦	平瓦	44	43-117	007	10.0+	8.6+	1.9									縄目叩き
〃		6	土製品	土錘	44	43-117	005	3.9	3.6	2.7									(縦×横×厚)
〃		7	土製品	紡錘車	44	43-117	006	7.1	7.7	2.8									(縦×横×厚)
褐色土		1	縄文	深鉢	44	43-118	001	-	3.6+	-									外面に施文あり
表土		1	弥生	壺口 A1	44	43-118	004	-	4.8+	-									風化の為調整不明 貫通していない穿孔あり
〃		3	国陶	天目椀	44	43-118	001	-	3.3+	-									産地不明
〃		2	瓦	丸瓦	44	43-118	003	7.1	4.9	1.8		○							縄目叩きか

殿城戸遺跡7次金属製品観察表

遺構		No.	種別	器種	図版番号	写真番号	R番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm	備考 (+は欠損、*は復原値)
7SI160 淡茶褐色土	(S-160 淡茶褐色土)	1	鉄製品	釘	46	45-121	001	2.2+	0.7	0.6	
7SI170	(S-170 ②)	2	鉄製品	刀子	34	45-121	002	13.4	1.5	0.4	(最大値)
7SD003 淡灰色土	(S-3 淡灰色土)	1	鉄製品	用途不明製品	46	45-121	001	2.1	3.7	0.8	
7SK045 暗茶灰色土	(S-45 暗茶灰色土)	13	鉄製品	板状鉄製品	41	45-121	013	2.0+	1.8	0.25	
7ST200	(S-200 (2))	1	鉄製品	釘	45	44-120	001	1.4+	1.6	0.8	
7ST200	(S-200 (3))	2	鉄製品	釘	45	44-120	002	3.6+	0.7	0.7	
7ST200	(S-200 (4))	3	鉄製品	釘	45	44-120	003	2.5+	0.7	0.7	
7ST200	(S-200 (5))	5	鉄製品	釘	45	44-120	004	3.0+	1.2	0.6	
7ST200	(S-200 (6))	4	鉄製品	釘	45	44-120	005	1.5+	0.3	0.2	
7ST200	(S-200 (8))	6	鉄製品	釘	45	44-120	006	1.3+	0.8	0.5	
7ST200	(S-200 (8))	8	鉄製品	釘	45	44-120	007	1.3+	0.8	0.3	
7ST200	(S-200 (9))	9	鉄製品	釘	45	44-120	008	3.4+	0.6	0.5	
7ST200	(S-200 (10))	10	鉄製品	釘	45	44-120	009	2.8+	1.5	0.4	
7ST200	(S-200 (11))	11	鉄製品	釘	45	44-120	010	1.6+	1.8	0.4	
7ST200	(S-200 (12))	12	鉄製品	釘	45	44-120	011	2.2+	1.0	0.4	
7ST200	(S-200 (13))	13	鉄製品	釘	45	44-120	012	1.9+	1.3	0.4	
7ST200	(S-200 (15))	17	鉄製品	釘	45	44-120	013	1.8+	1.1	0.6	
7ST200	(S-200 (20))	20	鉄製品	釘	45	44-120	014	2.5+	1.3	0.6	
7ST200	(S-200 (22))	19	鉄製品	釘	45	44-120	015	4.8+	0.9	0.6	
7ST200	(S-200 (25))	14	鉄製品	釘?	45	44-120	016	3.7+	2.0	1.0	
7ST200	(S-200 (1))	18	鉄製品	釘	45	44-120	017	1.9+	1.2	0.5	
7ST200	(S-200 (11))	16	鉄製品	釘	45	44-120	018	1.8+	0.5	0.4	
7ST200	(S-200 (27))	24	鉄製品	刀子	45	44-119	019	3.7+	1.0	0.4	
7ST200	(S-200 (26))	15	鉄製品	釘	45	44-120	020	3.2+	1.4	0.8	
7ST200	(S-200 (33))	7	鉄製品	釘	45	44-120	021	1.8+	0.5	0.5	
7ST200	(S-200 (17))	22	鉄製品	ハサミ	45	44-119	022	3.1+	0.6	0.25	
7ST200	(S-200 (19))	21	鉄製品	釘	45	44-120	023	4.6+	0.8	0.3	
7ST200	(S-200 (18))	25	鉄製品	刀子	45	44-119	024	24.6+	1.4	1.0	(最大値)
7ST200	(S-200 (28))	23	鉄製品	鉄鏝	45	44-119	025	8.9+	1.1	1.1	
7ST200 暗茶褐色土	(S-200 暗茶褐色土)	1	鉄製品	釘	45	44-120	001	1.5+	1.5	0.5	
7SX142	(S-142)	1	鉄製品	鉄鏝	46	45-121	001	5.2+	1.5	0.4	
7SX307	(S-307)	2	鉄製品	釘	46	45-121	001	2.4+	0.7	0.6	
7SX307	(S-307)	4	鉄製品	釘	46	45-121	002	2.5+	1.8	1.1	
7SX307	(S-307)	5	鉄製品	釘	46	45-121	003	1.6+	0.7	0.6	
7SX307	(S-307)	3	銅製品	釘	46	45-121	004	2.6+	0.5	0.6	
7SX307	(S-307)	7	鉄製品	釘	46	45-121	005	2.0+	0.4	0.4	
7SX307	(S-307)	6	鉄製品	釘	46	45-121	006	1.7+	0.5	0.5	
7SX307	(S-307)	1	鉄製品	釘	46	45-121	007	1.2+	0.6	0.5	
7SX307	(S-307)	8	鉄製品	棒状鉄製品	46	45-121	008	3.1	0.6	0.4	
7SX307 灰色砂質土	(S-307 灰色砂質土)	1	鉄製品	棒状鉄製品	46	45-121	001	3.3+	1.0	0.5	(鉄鏝?)
褐色土	褐色土	1	鉄製品	板状鉄製品	46	45-122	002	2.6	7.2+	0.4	
褐色土	褐色土	2	鉄製品	釘	46	45-122	003	2.5+	0.6	0.5	
表土	表土	5	鉄製品	鉄鏝	46	45-122	005	4.9+	11.5	0.7	
表土	表土	6	銅製品	用途不明製品	46	45-122	006	2.7+	1.5	0.1	匙状
表土	表土	1	鉄製品	釘	46	45-122	007	4.3+	1.0	0.8	
表土	表土	2	鉄製品	釘	46	45-122	008	3.6	0.6	0.6	
表土	表土	4	鉄製品	用途不明製品	46	45-122	009	2.4	2.1	1.0	
表土	表土	3	鉄製品	棒状鉄製品	46	45-122	010	3.7	1.4	0.8	

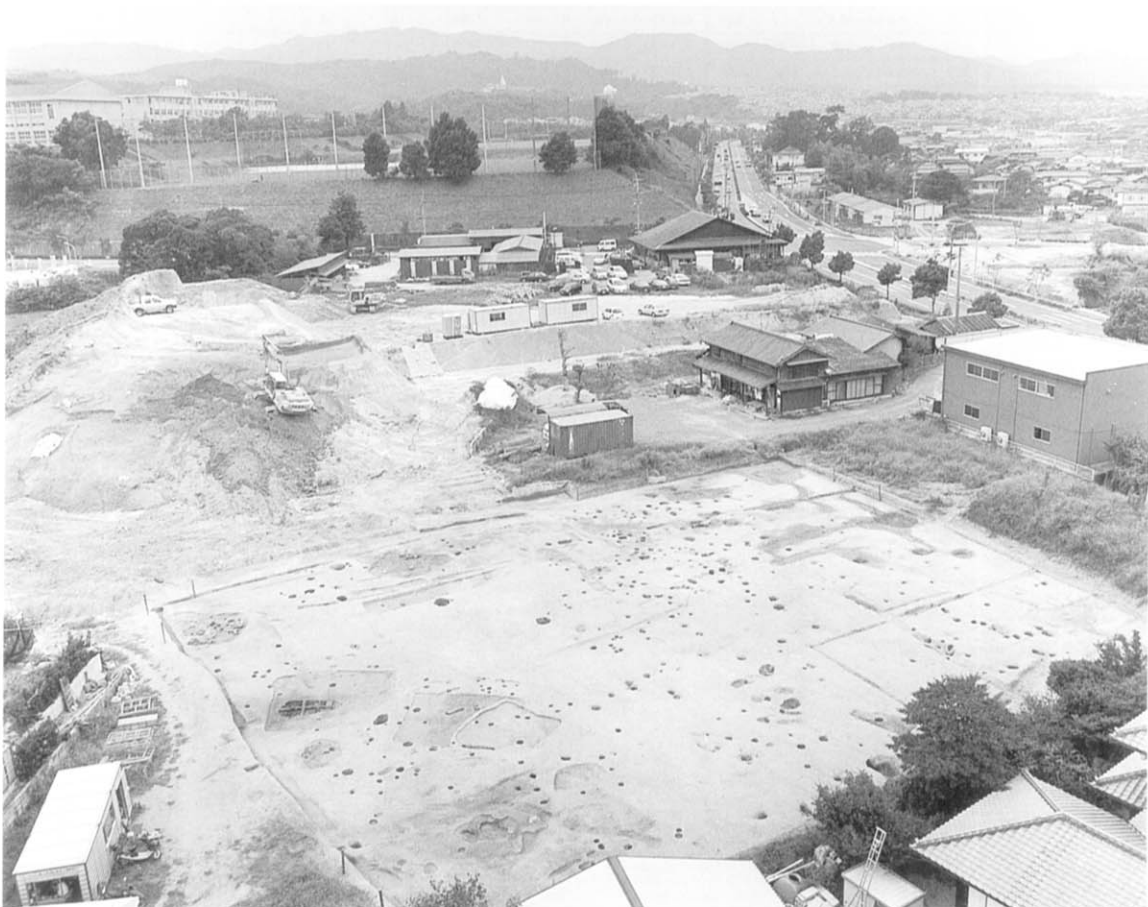
殿城戸7次石器観察表

遺構	No.	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、*は復原値)
7SI155 茶褐色土 (S-155 茶褐色土)	1	泥岩	砥石原石	47	46-124	001	9.8	4.9	2.2	147.8	天草砥石か
7SI175 暗灰色土 (S-175 暗灰色土)	1	緑色片岩	管玉	47	46-124	002	2.3	0.7	0.5	2.0	(長×幅×厚)
7SI190 灰褐色土 (S-190 灰褐色土)	1	and	AP	47	46-123	001	2.15+	1.3	0.35	0.6	
7SI235 淡黄褐色土 (S-235 淡黄褐色土)	1	緑色片岩	打製石鏃	47	46-124	004	5.7+	4.1+	0.6	19.1	
7SE230 暗灰色土 (S-230 暗灰色土)	1	泥岩	不明円形製品	47	46-124	002	3.9+	4.8	0.3	9.3	
7SD100 茶色土 (S-100 茶色土)	2	砂岩	砥石	47	46-124	044	9.0+	5.8	1.2	135.2	
〃 (S-100 茶色土)	1	砂岩	砥石	47	46-124	045	9.8+	7.8+	2.0	157.3	
7SD337 灰色土 (S-337 灰色土)	1	ガラス	小玉	47	46-124	001	0.7	0.8	0.8	0.5	(長×幅×厚)
7SK075 暗茶灰色土 (S-75 暗茶灰色土)	1	泥岩	砥石	47	46-124	006	4.8+	2.5+	0.8	10.3	
7SX013 淡灰色土 (S-13 淡灰色土)	1	and	AP	47	46-123	001	2.85	1.9	0.4	1.9	
7SX140 褐色土 (S-140 褐色土)	1	輝緑凝灰岩	石庖丁	47	47-125	002	5.2	9.15+	0.6	45.1	立岩産
7SX307 灰色砂質土 (S-307 灰色砂質土)	1	and	AP	47	46-123	002	2.45+	1.7	0.45	2.1	黒色
7SX406 (S-406)	1	op	UF	47	46-124	001	2.5	1.1	0.4	0.6	
7SX496 (S-496)	1	and	AP	47	46-123	001	2.7+	1.8	0.4	1.0	白色
7SX506 (S-506)	1	op	AP	47	46-123	001	1.7+	2.0	0.4	0.6	
7SX513 (S-513)	1	チャート	AP	47	46-123	001	3.45	2.2	0.9	6.4	RFの可能性あり
暗灰茶色土 (暗灰茶土)	1	op	AP	48	47-125	008	1.45+	1.0	0.2	0.4	
〃 (暗灰茶土)	2	op	AP	48	47-125	010	2.5+	2.0	0.5	2.3	
〃 (暗灰茶土)	3	輝緑凝灰岩	石庖丁	48	47-125	009	4.6+	7.2+	0.7	42.4	立岩産
褐色土 (褐色土)	1	op	AP	48	47-125	006	1.85+	1.2	0.4	0.6	
〃 (褐色土)	2	and	石匙	48	47-125	007	3.2+	7.8	0.9	18.0	
〃 (褐色土)	5	緑色片岩	板状製品	48	47-125	005	3.05+	1.2+	0.5	4.6	
〃 (褐色土)	4	緑色片岩	扁平両刃石斧	48	47-125	004	6.85	1.8	1.1	28.9	
〃 (褐色土)	3	緑色片岩	石鏃	48	47-125	008	11.9	5.6	1.0	92.7	
表土 (表土)	7	op	AP	48	47-126	011	2.3	1.6	0.2	1.1	
〃 (表土)	6	チャート	AP	48	47-126	012	2.65	2.3	0.5	2.1	
〃 (表土)	4	and	AP	48	47-126	013	2.7+	1.5+	0.4	0.9	
〃 (表土)	8	and	AP	48	47-126	014	3.1+	1.6+	0.4	1.5	白色
〃 (表土)	1	op	AP	48	47-126	015	1.6+	1.3+	0.3	0.4	
〃 (表土)	9	and	スクレイパー	48	47-126	016	3.5	2.4	0.9	8.6	白色
〃 (表土)	16	砂岩	砥石	48	47-126	017	5.7+	5.5+	1.6	79.9	
〃 (表土)	5	op	AP	48	47-126	018	1.5+	1.5+	0.4	0.7	
〃 (表土)	11	and	石核	48	47-126	019	4.7	2.7	1.4	17.4	白色
〃 (表土)	3	op	AP	48	47-126	020	1.6+	1.5	0.35	0.8	
〃 (表土)	15	泥岩	砥石	48	47-126	021	4.2+	1.2+	0.5+	3.2	天草砥石か
〃 (表土)	2	op	AP	48	47-126	025	1.65+	1.2	0.4	0.7	
〃 (表土)	10	op	石核	48	47-126	024	4.4	2.5	1.9	18.0	針尾島産か
〃 (表土)	12	and	UF	48	47-126	023	6.1	3.1+	1.2	24.8	
〃 (表土)	14	輝緑凝灰岩	石庖丁	48	47-126	022	4.1	11.3+	0.7	49.8	立岩産
〃 (表土)	13	滑石	石製紡錘車	48	47-126	026	4.5	0.6		16.8	(径×厚)
〃 (表土)	17	砂岩	砥石	48	47-126	002	8.0	4.9	1.8	71.7	

写真図版



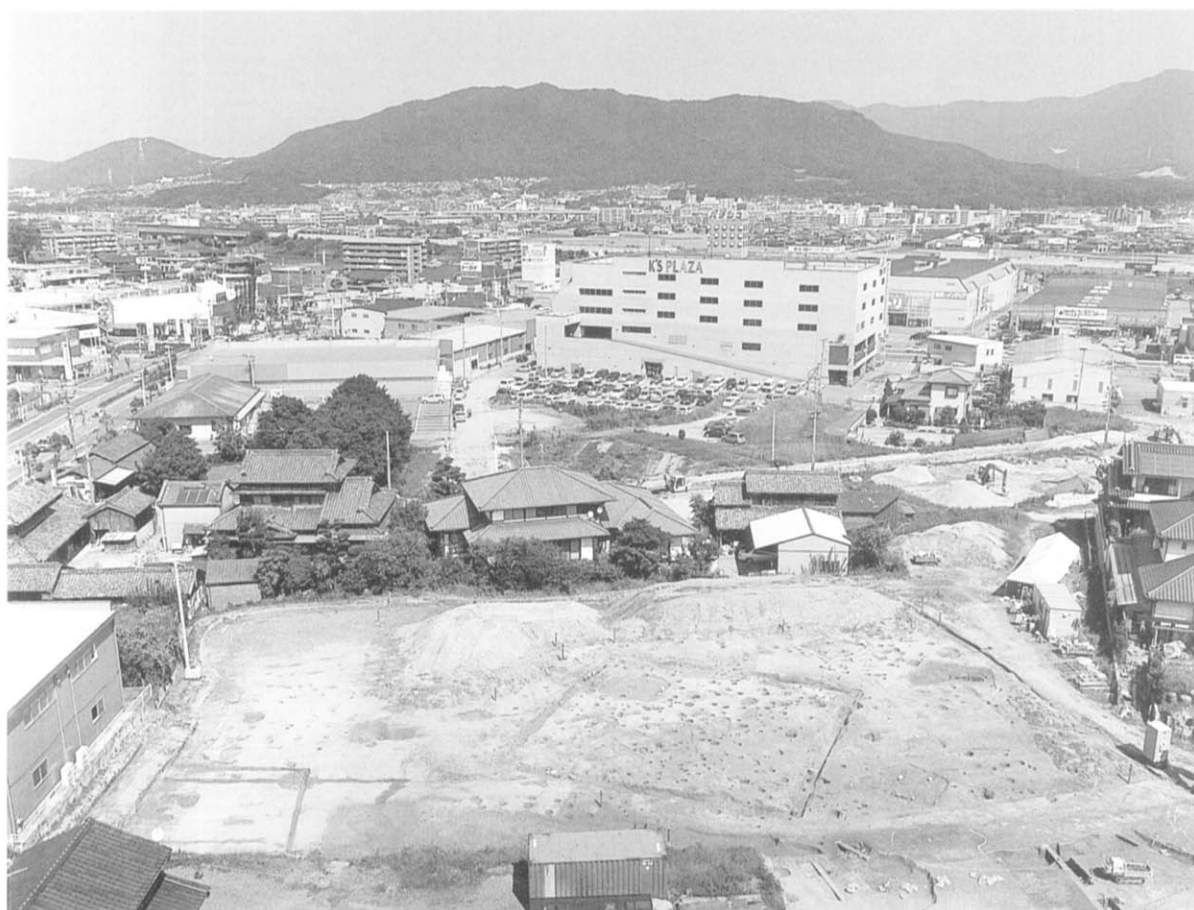
1 1面目全景（合成写真、上が北）



2 1面目遠景（下が北）



3 2面目全景（空中写真、上が北）



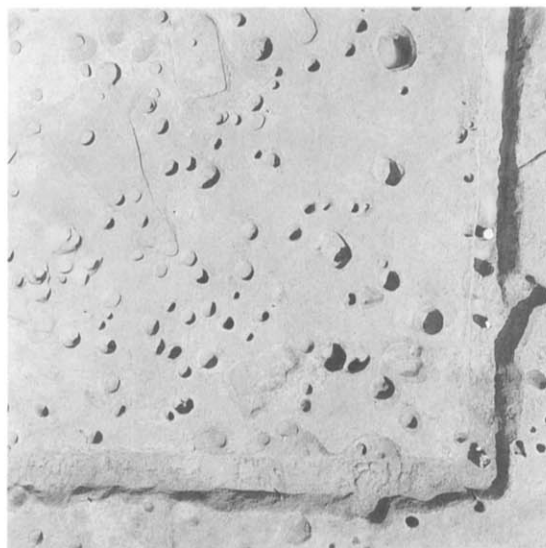
4 2面目遠景（空中写真、上が北）



5 暗灰茶色土下層遺構完掘状況（南より）



6 7SB095完掘状況（南より）



7 7SB210完掘状況（空中写真、上が北）



8 7SI155生活面検出時（東より）



9 7SI155完掘状況（東より）



10 7SI160遺物出土状況（北東より）



11 7SI160完掘状況（北東より）



12 7SI170完掘状況（西より）



13 7SI175完掘状況（北東より）



14 7SI180完掘状況（北東より）



15 7SI185完掘状況（北東より）



16 7SI190完掘状況（南より）



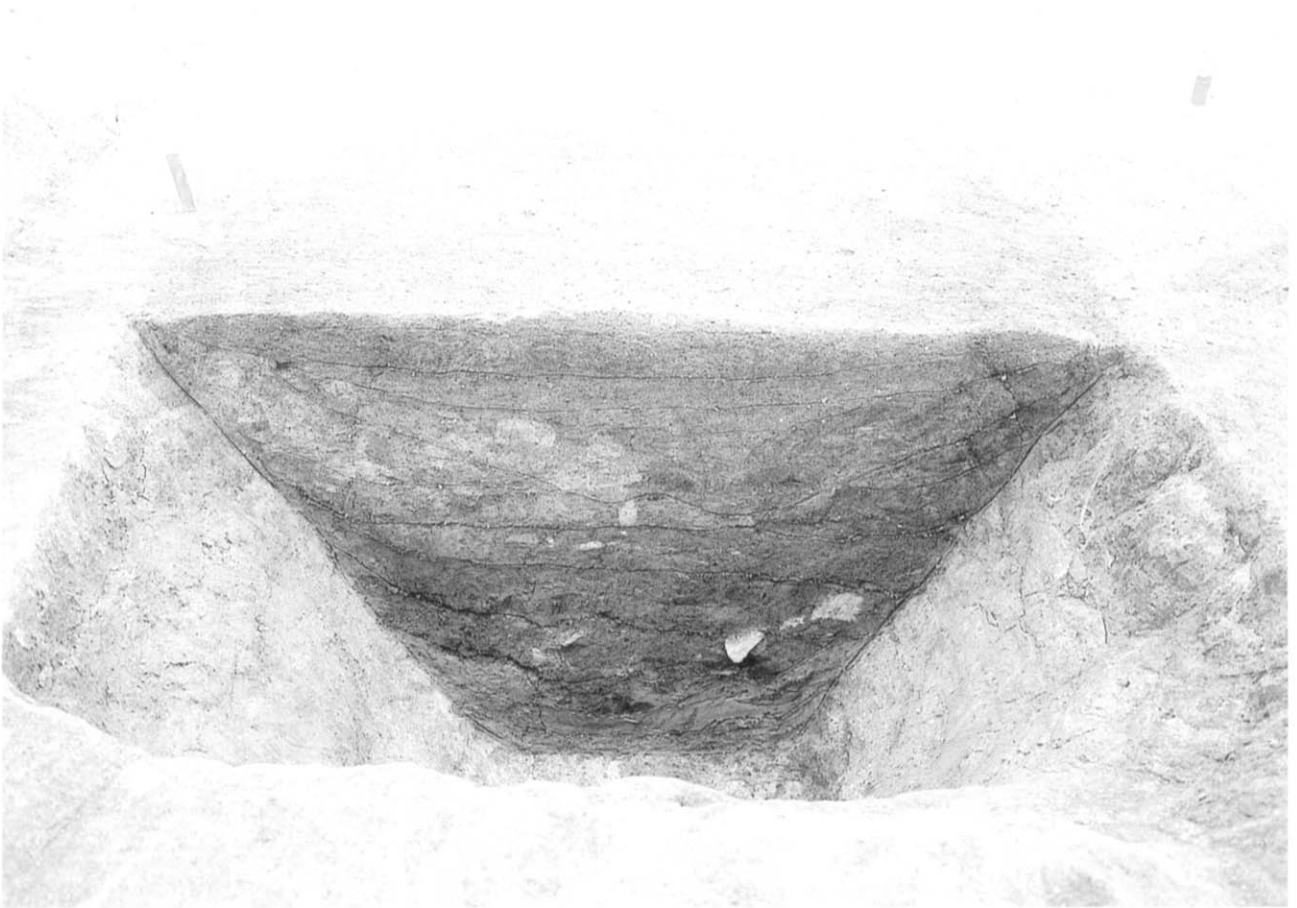
17 7SI195完掘状況（東より）



18 7SI205完掘状況（北より）



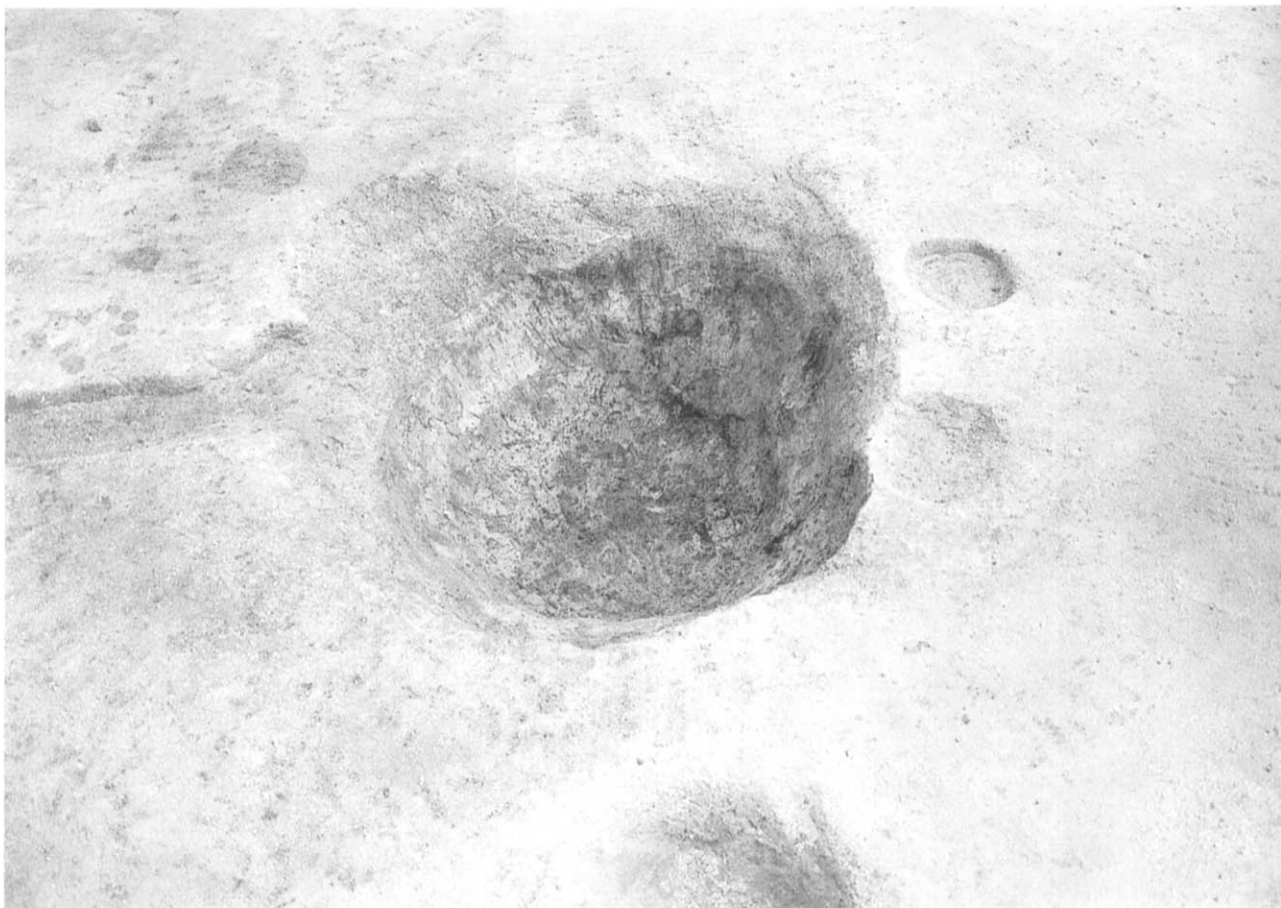
19 7SI235完掘状況（南より）



20 7SE010土層観察時（南より）



21 7SE010完掘状況（南より）



22 7SE230完掘状況（南より）



23 7SD080土層観察時（南東より）



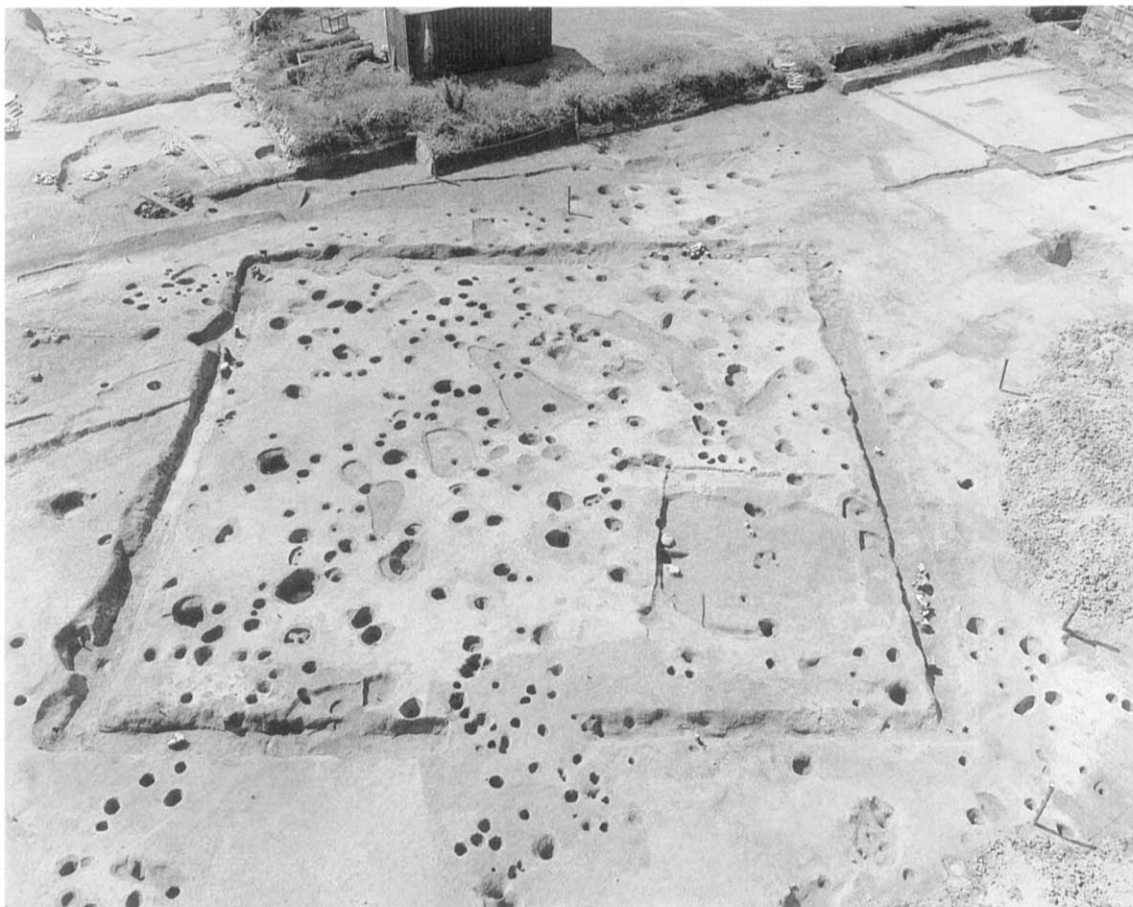
24 7SD161・162合流部土層観察時（西より）



25 7SD162土層観察時（東より）



26 7SD100全景（空中写真、上が北）



27 7SD100全景（空中写真、下が北）



28 7SD100西側北辺溝先端部土層観察時(南より)



29 7SD100南辺溝黒灰色土遺物出土状況(北より)



30 7SD100東辺溝遺物出土状況（北より）



31 7SD100南辺溝遺物出土状況（西より）



32 7SD100南辺溝遺物出土状況詳細（西より）



33 7SK045・075遺物出土状況（南西より）



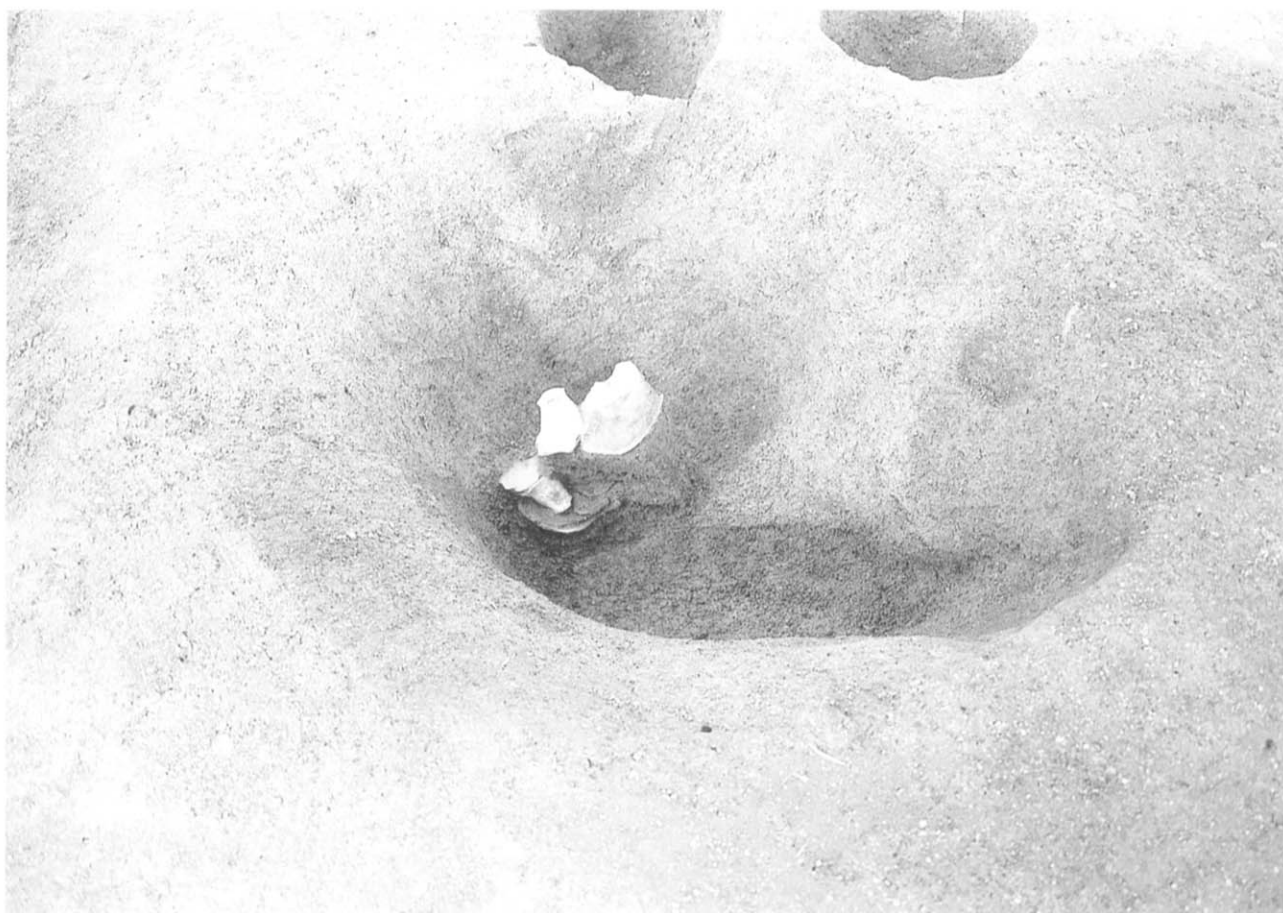
34 7SK045・075完掘状況（北より）



35 7SK145土層観察時（西より）



36 7SK145完掘状況（西より）



37 7SK150遺物出土状況（東より）



38 7SK150完掘状況（東より）



39 7SK403・404遺物出土状況（東より）



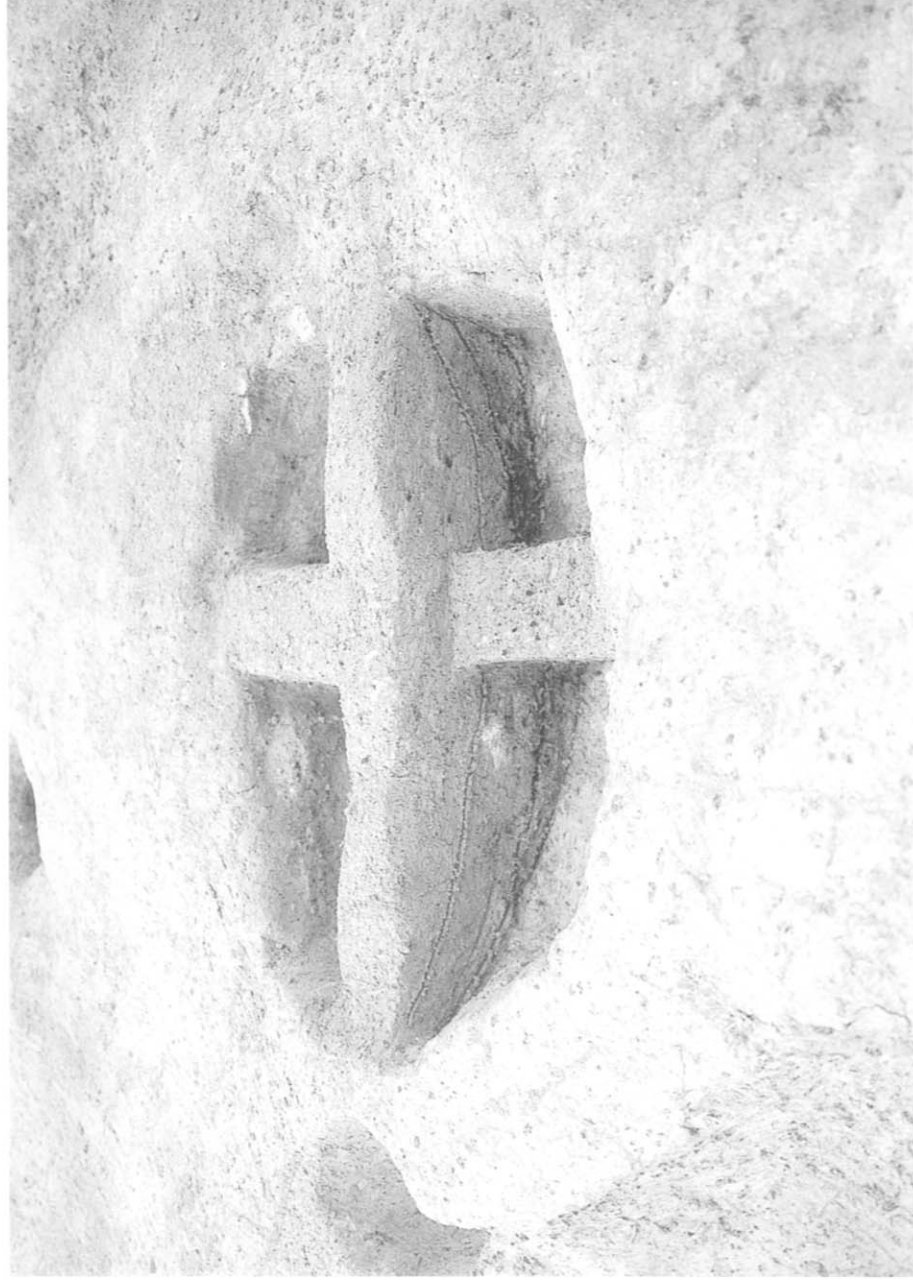
40 7SK403・404完掘状況（東より）



41 7SK130土層観察時（南より）



42 7SK130完掘状況（北より）



43 7SK238土層観察時（北より）



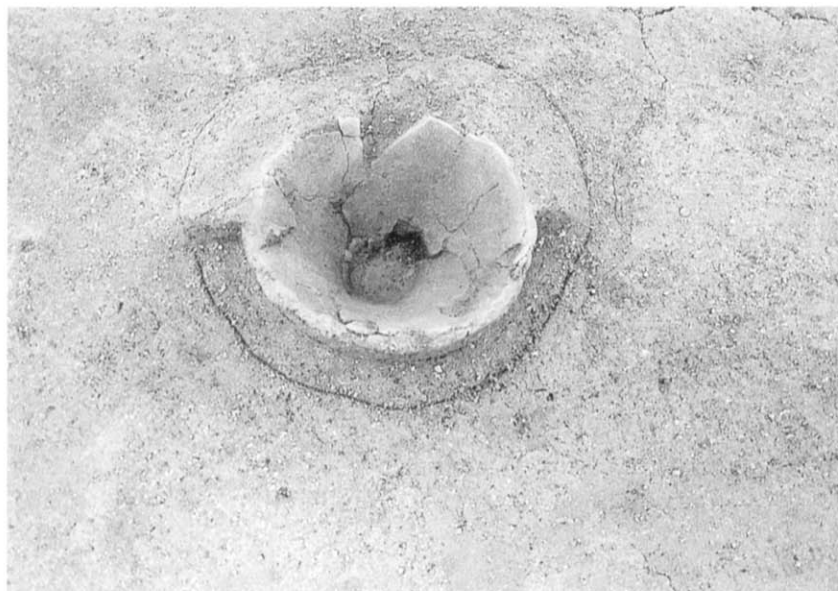
44 7SK238完掘状況（南より）



45 7ST200鉄製品出土状況（西より）



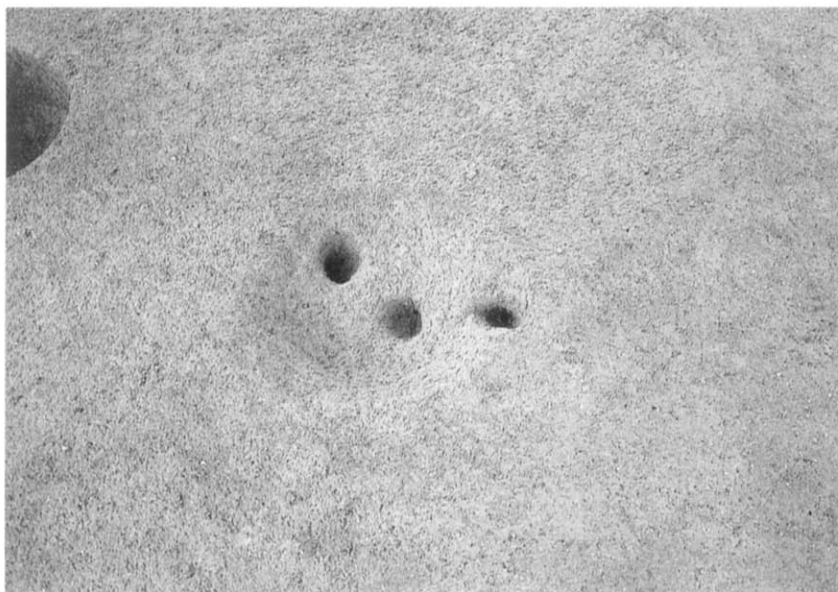
46 7ST200完掘状況（西より）



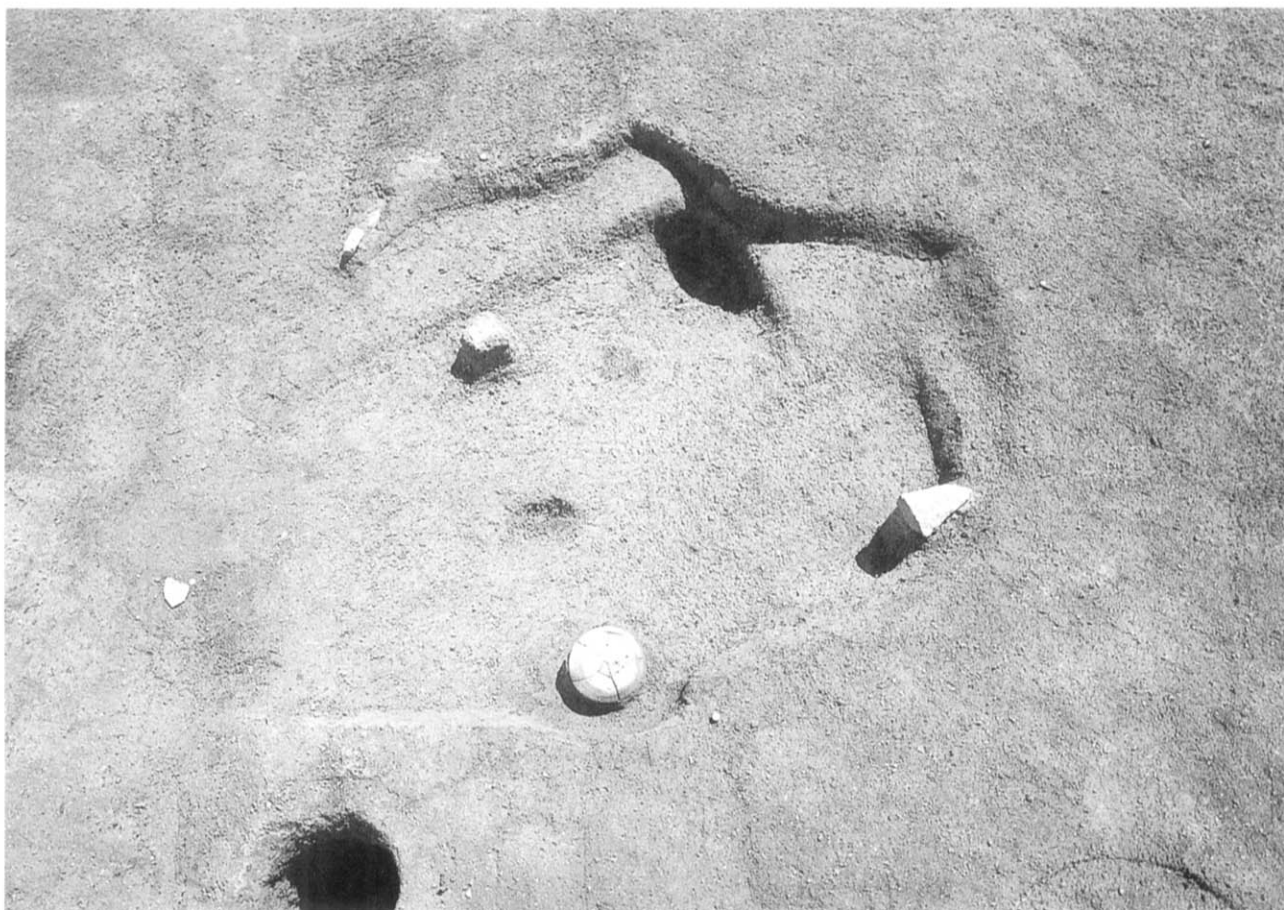
47 7SX165土器内状況（北より）



48 7SX165土層観察時（北より）



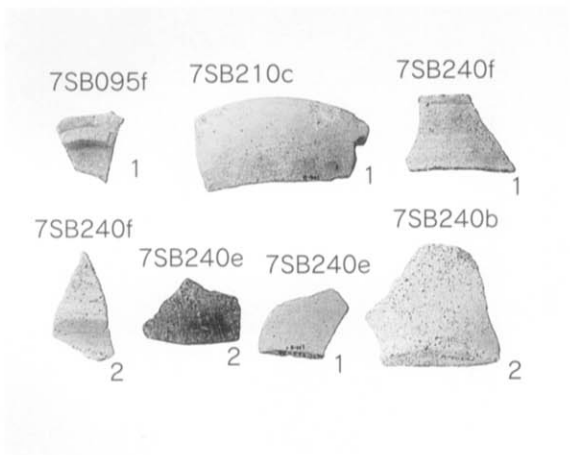
49 7SX165完掘状況（北より）



50 7SX259遺物出土状況（北より）



51 7SX259完掘状況（北より）



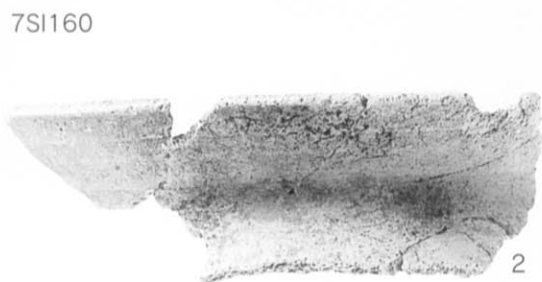
52 掘立柱建物出土土器



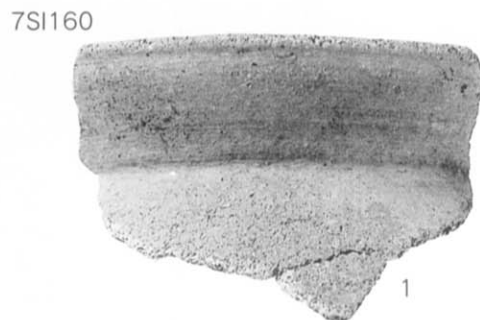
53 7SB240b出土土器



54 7SI155出土土器



55 7SI160出土土器



56 7SI160出土土器

7SI160



3

57 7SI160出土土器

7SI160



5

58 7SI160出土土器

7SI160



4

59 7SI160出土土器

7SI160



11

60 7SI160出土土器

7SI160



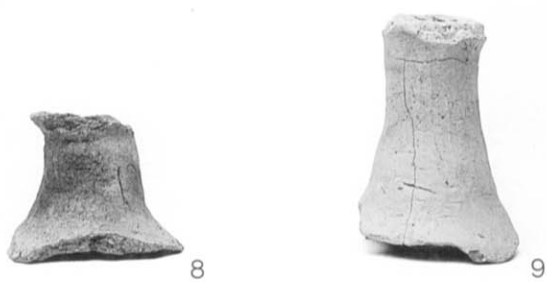
7

61 7SI160出土土器



6

7SI160



62 7SI160出土土器

7SI160

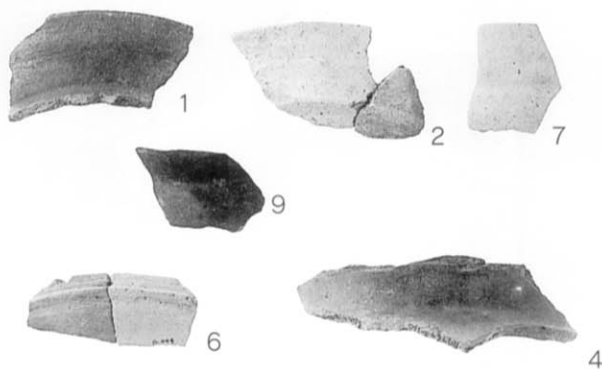


7SI160黑灰色土



63 7SI160出土土器

7SI160黑灰色土



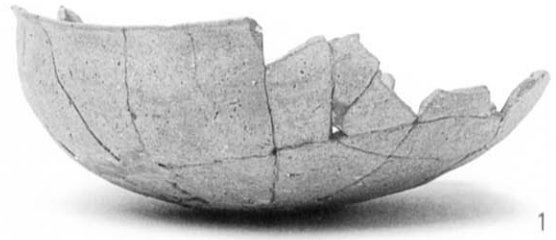
64 7SI160出土土器

7SI170



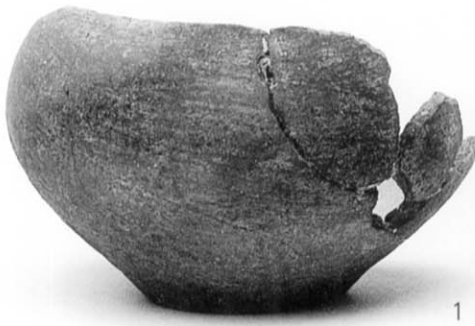
65 7SI170出土土器

7SI175暗灰色土



66 7SI175出土土器

7SI175黄灰色ブロック土

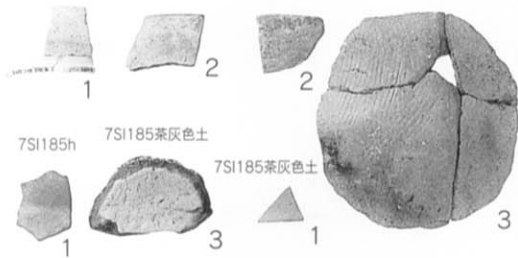


67 7SI175出土土器

7SI175d



7SI185茶灰色土 7SI185茶灰色土 7SI180茶灰色土 7SI180茶灰色土



68 7SI180・185出土土器

7SI190



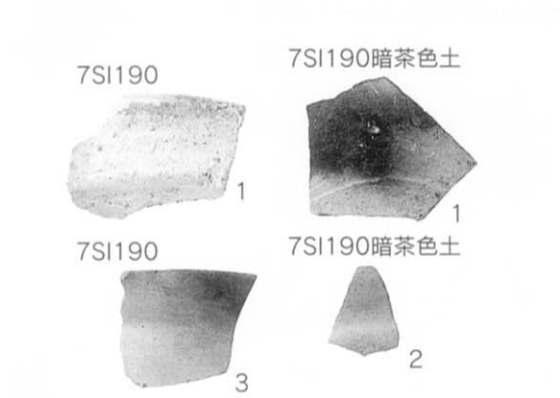
69 7SI190出土土器



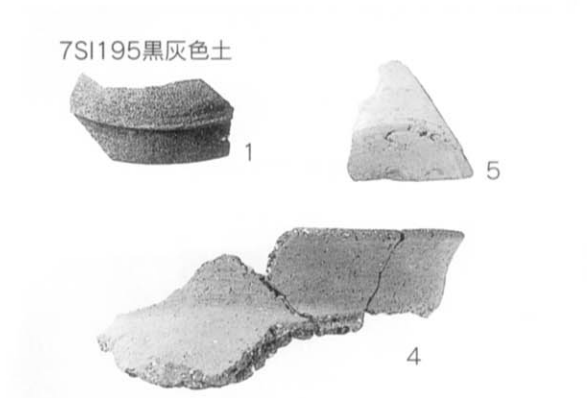
70 7SI190出土土器



71 7SI190出土土器



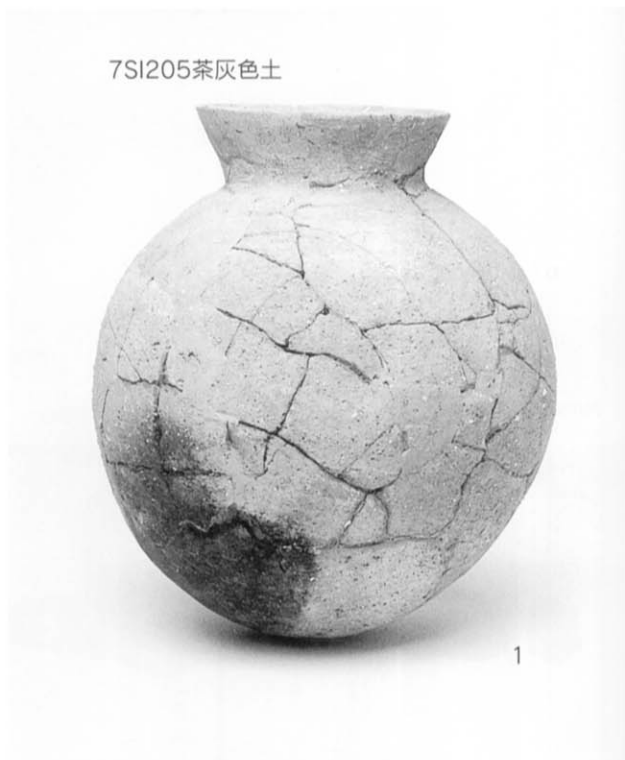
72 7SI190出土土器



73 7SI195出土土器



74 7SI195出土土器



75 7SI205出土土器

7SI235黄褐色土



2



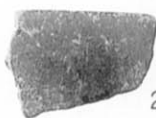
3

76 7SI235出土土器

7SI235淡黄褐色土



1



2

7SI235黄褐色土

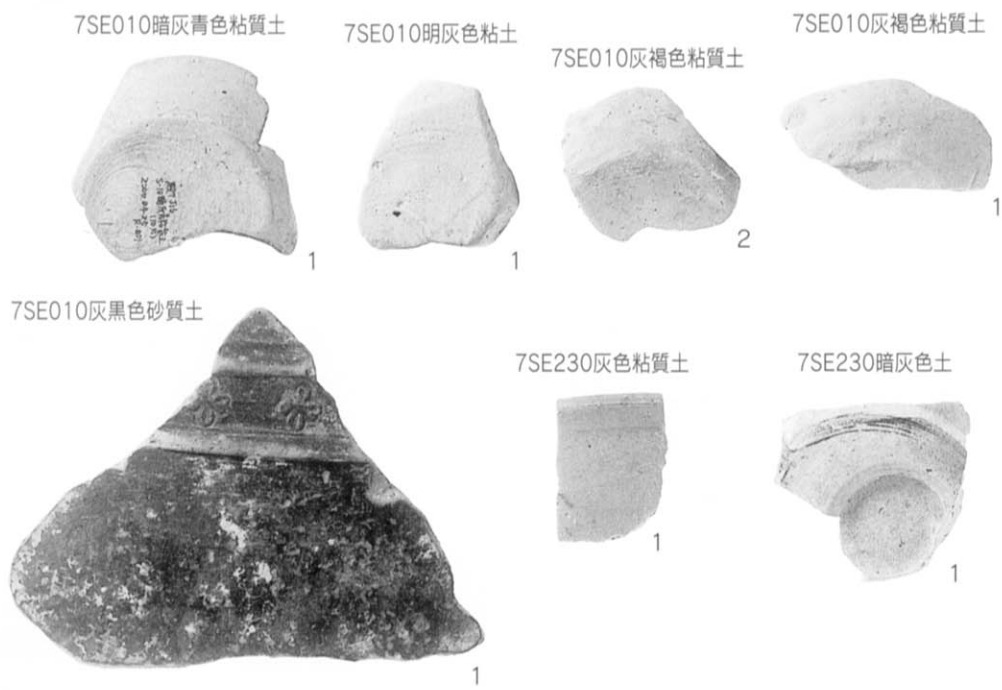


1

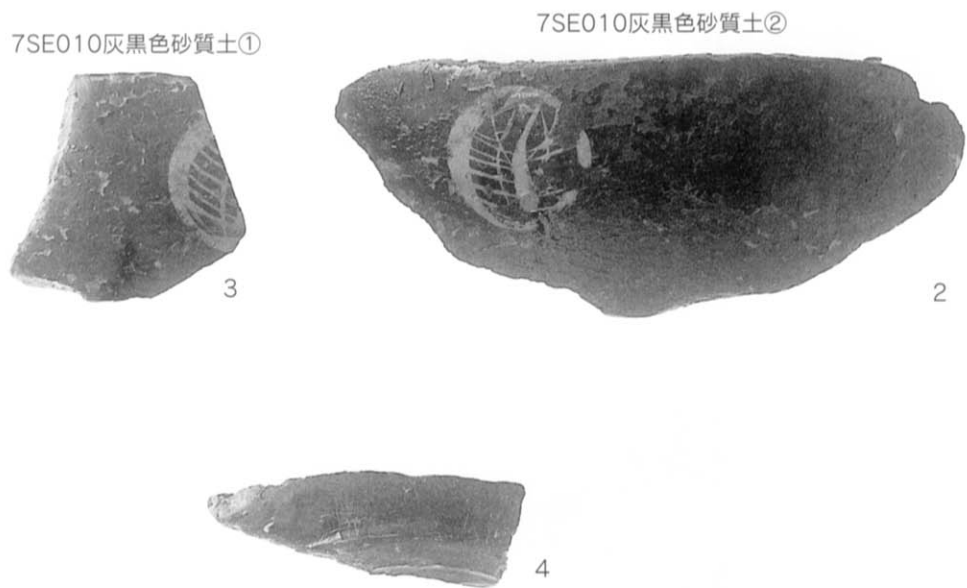


3

77 7SI235出土土器



78 7SE010・230出土土器



79 7SE010出土木製品 (外面)

7SE010灰黑色砂質土



3



2



4

80 7SE010出土木製品 (内面)

7SE230灰色粘質土



2

7SD005



1

82 7SD005出土土器

81 7SE010出土木製品 (内面)

7SD100茶色土



83 7SD100出土土器

7SD100黑灰色土



84 7SD100出土土器

7SD100明茶色土



1

7SD100茶色土



23

85 7SD100出土土器

7SD100茶色土



24

7SD100黑灰色土



6

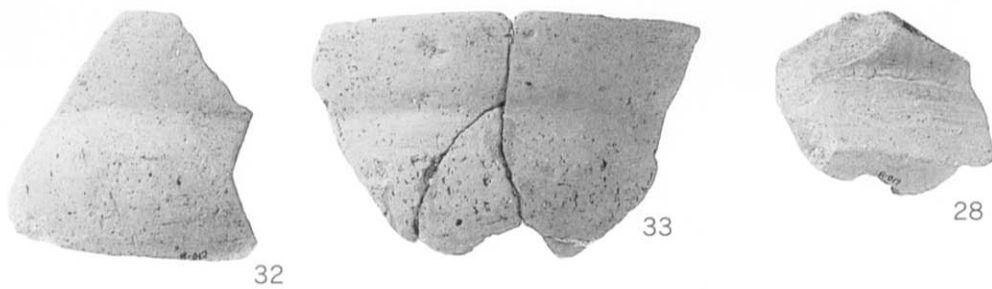
86 7SD100出土土器

7SD100茶色土

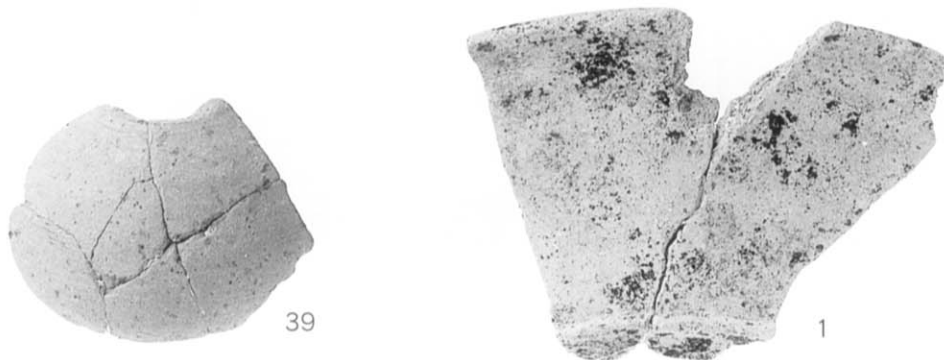


87 7SD100出土土器

7SD100茶色土



7SD100暗灰茶色土



88 7SD100出土土器

7SD100茶色土



1

7SD100茶色土



17

89 7SD100出土土器

90 7SD100出土土器

7SD100茶色土



19

7SD100黑灰色土



5

91 7SD100出土土器

92 7SD100出土土器

7SD100茶色土



40

93 7SD100出土土器

7SD100茶色土



7SD100黒灰色土

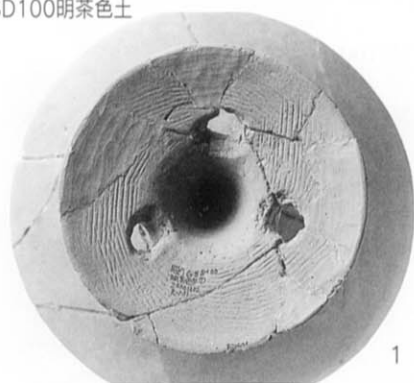


7SD100茶色土



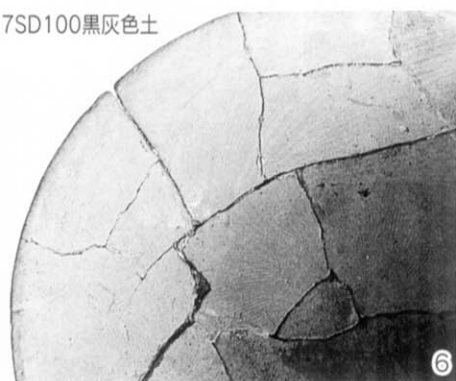
94 7SD100出土土器

7SD100明茶色土



95 7SD100出土土器

7SD100黒灰色土



96 7SD100出土高坏脚部裏面

97 7SD100出土高坏内面ミガキ

7SK045暗茶灰色土



98 7SK045出土土器

7SK045暗茶灰色土



2



3



1



12



9



5

99 7SK045出土土器

7SK075暗茶灰色土



2

7SK075暗茶灰色土



5

7SK075
淡灰褐色砂質土



4

7SK075暗茶灰色土



4

7SK075淡灰褐色砂質土



1

7SK075淡灰褐色砂質土



3

7SK075淡灰褐色砂質土



2

100 7SK075出土土器

7SK075暗茶灰色土



101 7SK075出土土器

7SK075暗茶灰色土



102 7SK075出土土器

7SK150茶色土



7SK150淡茶色土



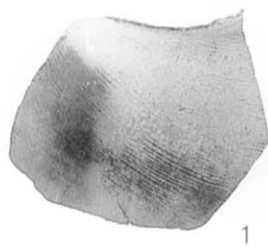
104 7SK150出土土器

7SK075暗茶灰色土



103 7SK075出土土器底部外面

7SK150淡茶色土



105 7SK150出土土器

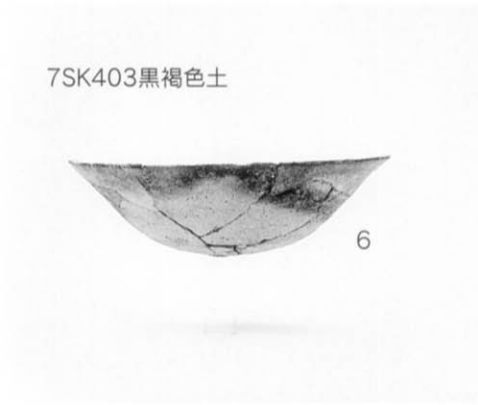
7SK367淡茶色土



106 7SK367出土土器



107 7SK403出土土器



108 7SK403出土土器

7SK403黑褐色土



109 7SK403出土土器



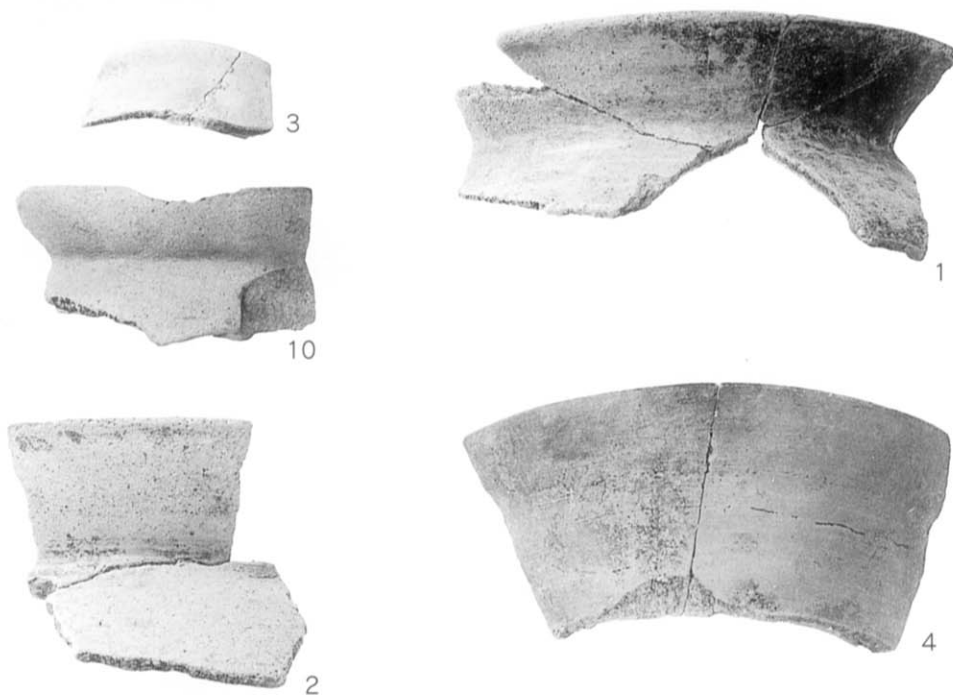
7SK404黑褐色土



110 7SK404出土土器



7SK404黑褐色土



111 7SK404出土土器

7SK404黑褐色土



112 7SK404出土土器

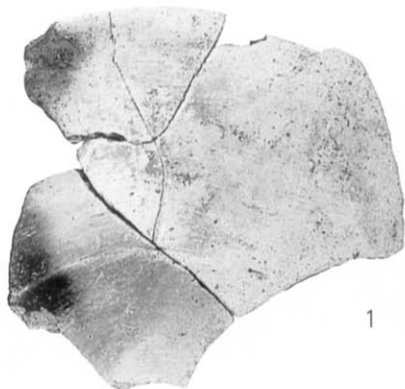
7SK404黑褐色土



7SK404



7SK404

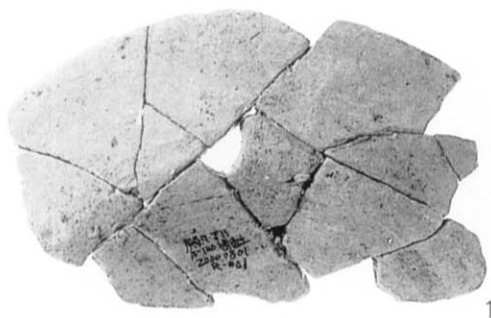


7SK404黑褐色土

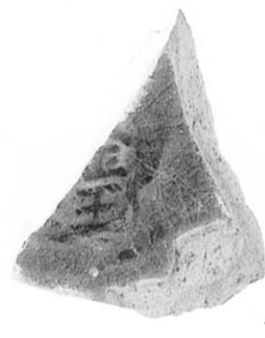


113 7SK404出土土器

7SX140褐色土



7SX202



114 7SX140·202出土土器

7SX165



2

115 7SX165出土土器

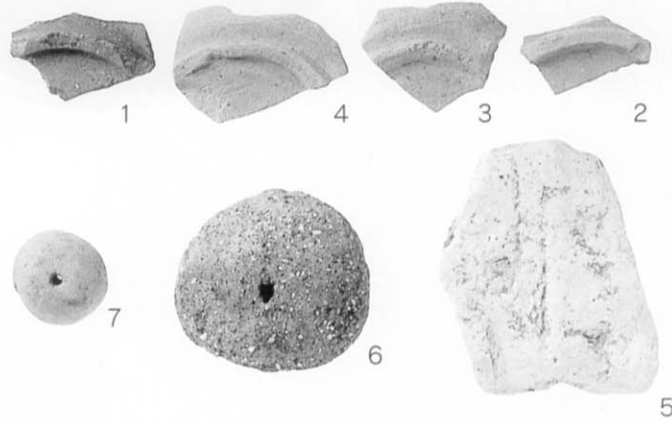
7SX259黑灰色土



1

116 7SX259出土土器

暗灰茶色土

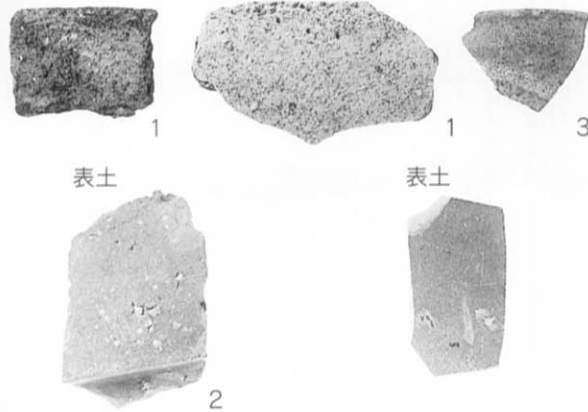


117 暗灰茶色土出土土器

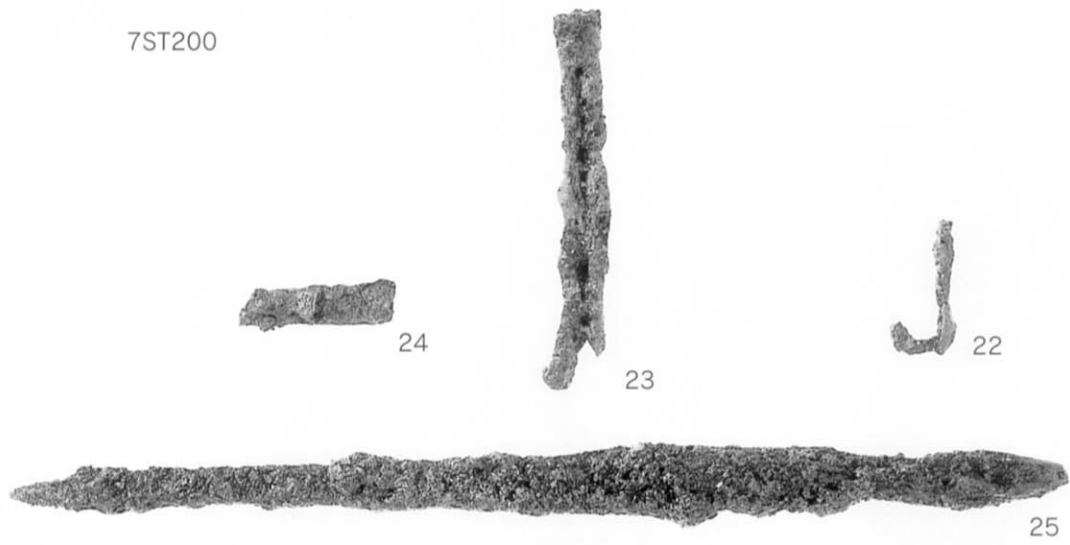
褐色土

表土

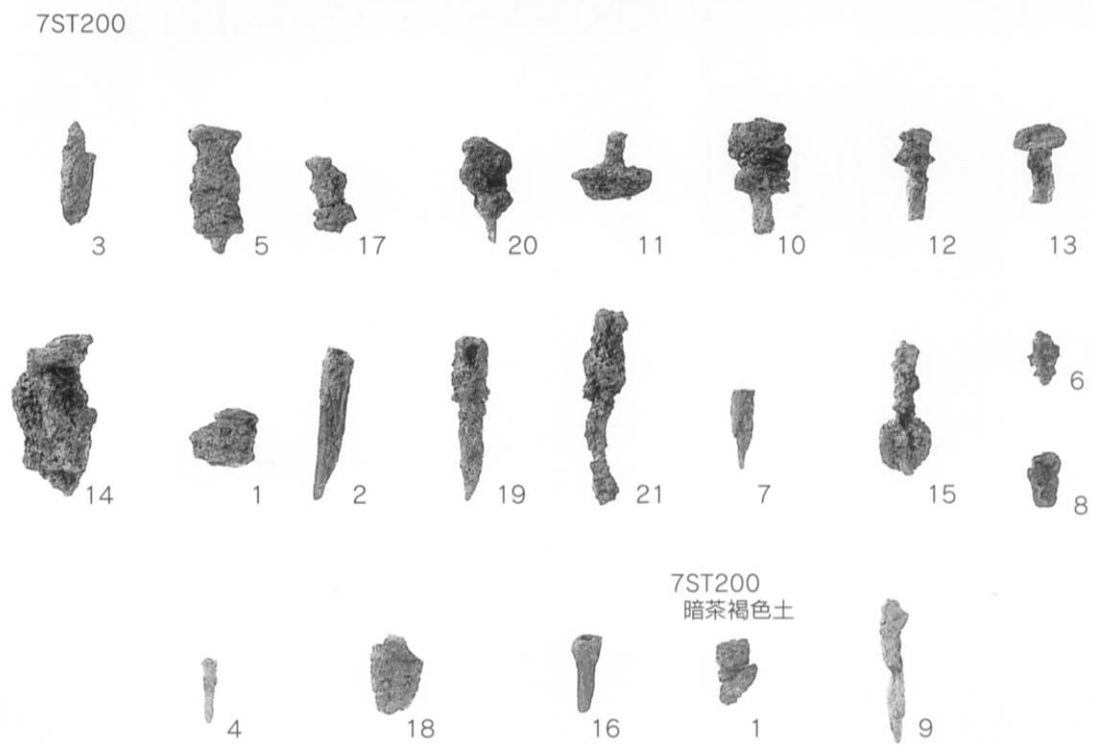
表土



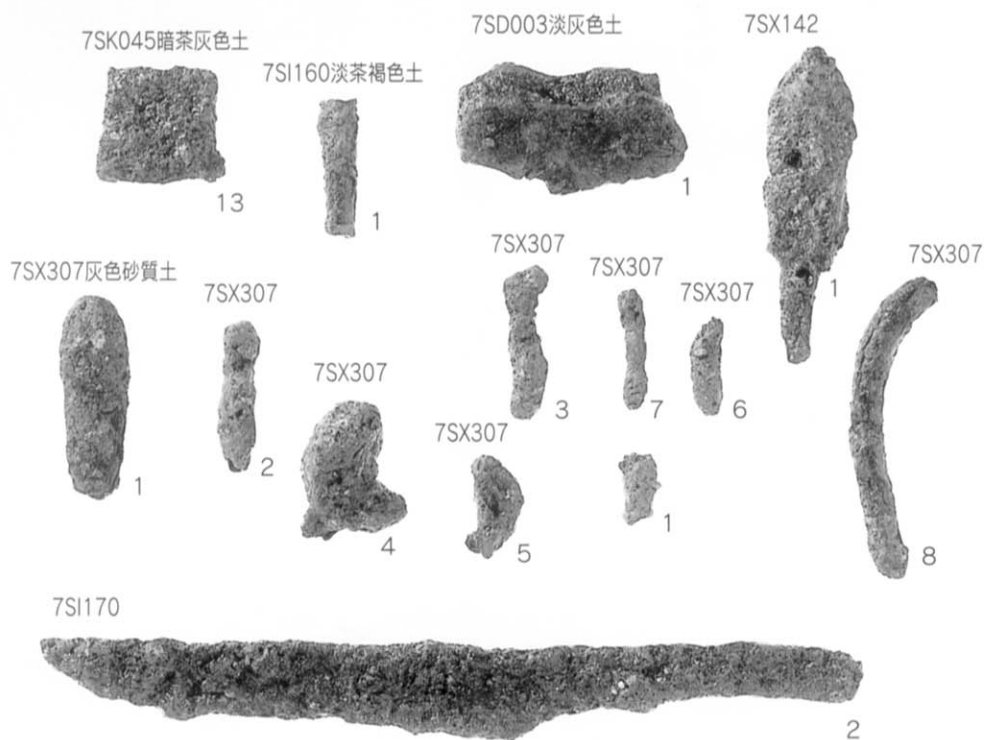
118 褐色土·表土出土土器



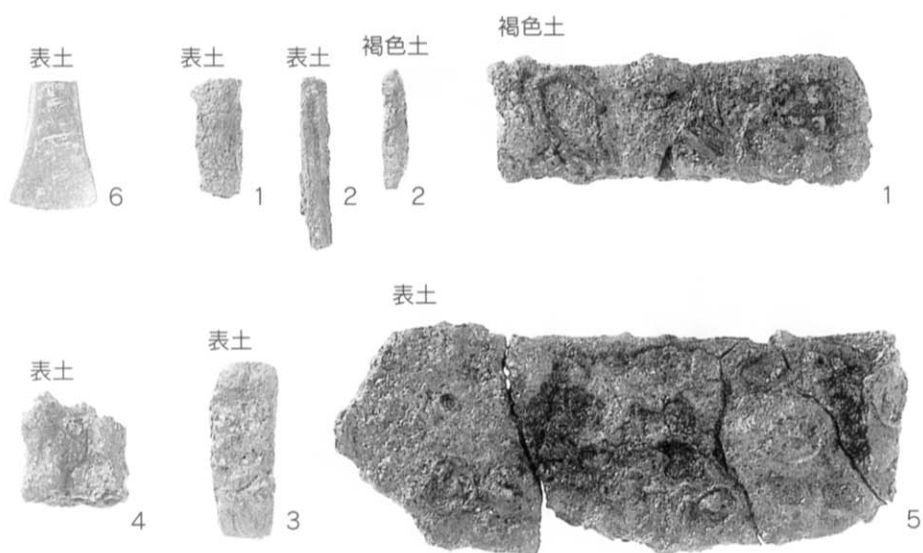
119 7ST200出土鉄製品



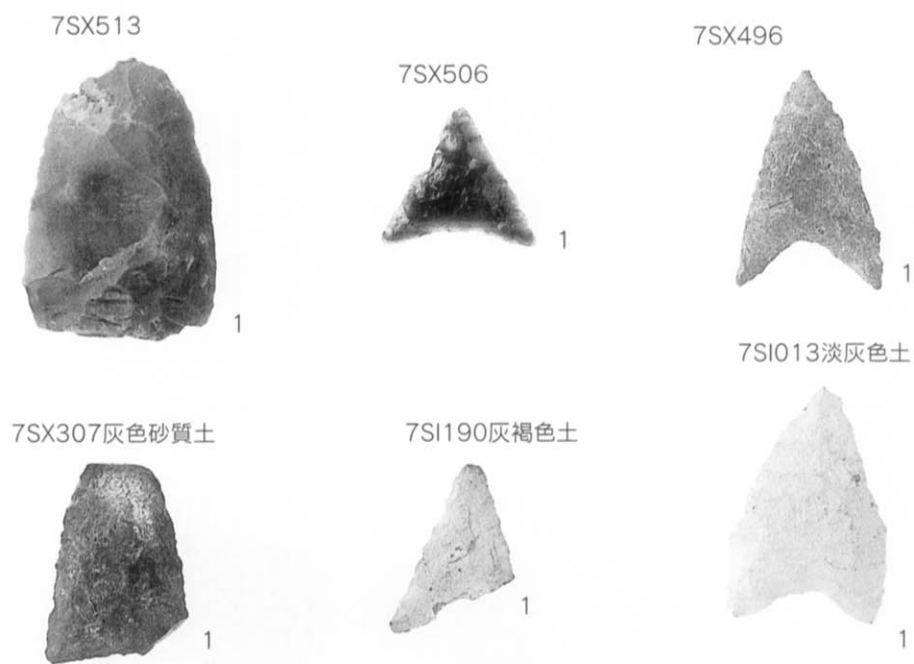
120 7ST200出土鉄製品



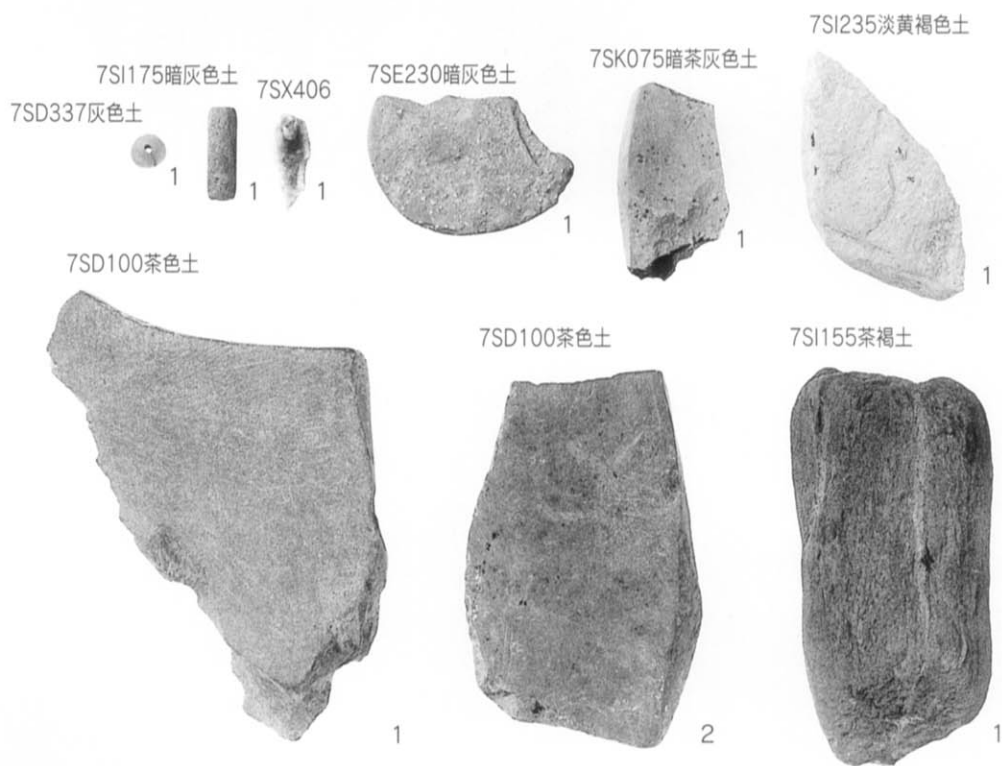
121 7SI160・170・SD003・SK045・SX142・307出土鉄製品



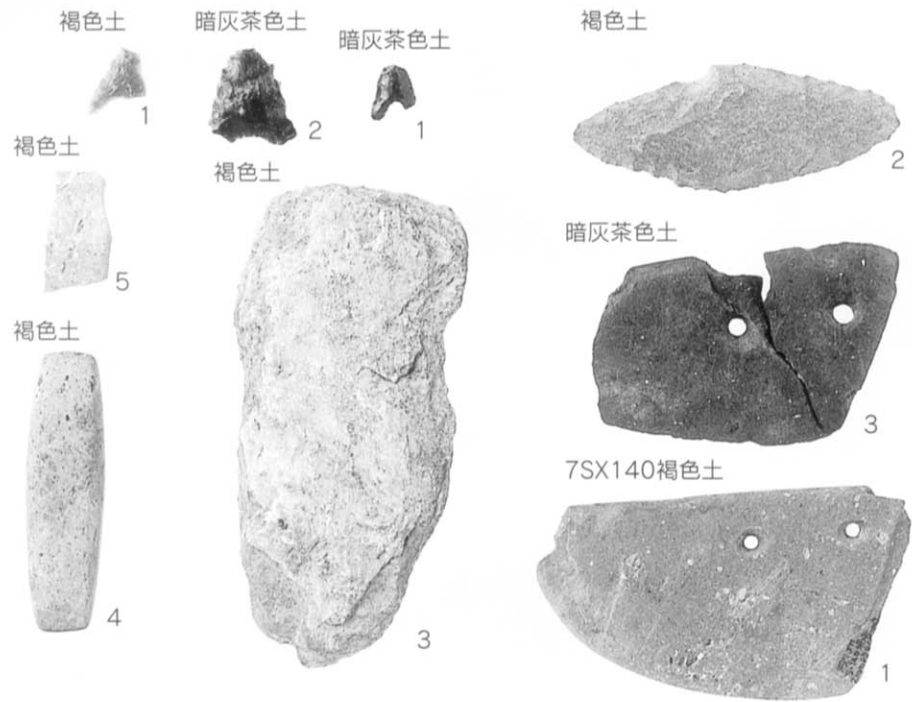
122 褐色土・表土出土鉄製品



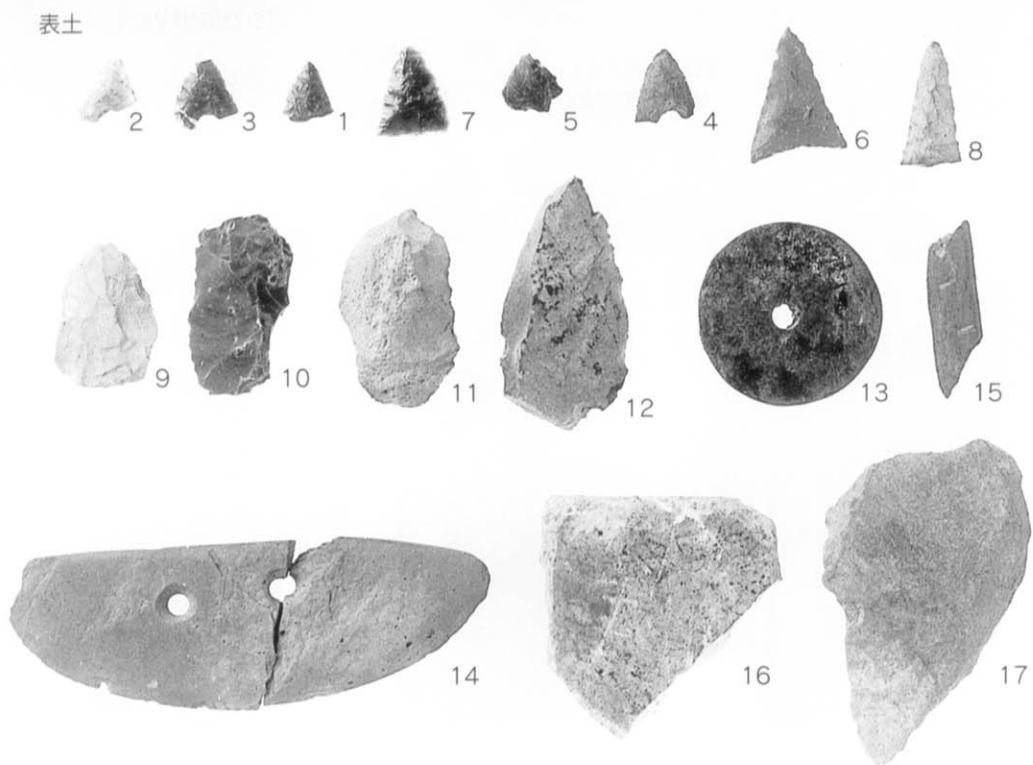
123 7SI190 · SX013 · 307 · 496 · 506 · 513出土石製品



124 7SI155 · 175 · 235 · SE230 · SD100 · 337 · SK075出土石製品



125 SX140·褐色土·暗灰茶色土出土石製品



126 表土出土石製品

報告書抄録

ふりがな	だざいふ・さのちくいせきぐん								
書名	太宰府・佐野地区遺跡群13								
副書名	殿城戸遺跡第7次調査								
シリーズ名	太宰府市の文化財								
シリーズ番号	62集								
編著者	佐藤道文								
編集機関	太宰府市教育委員会								
所在地	福岡県太宰府市観世音寺1丁目1番1号								
発行年月日	2002(平成14)年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		座標		調査期間		調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	X	Y	開始	終了		
とのおいせき 殿城戸遺跡 第7次	太宰府市 大佐野183,184-1	402214		55407.510	-46449.430	20000403	20001023	2052	区画整理事業
所収遺跡名	遺跡種別	時代	主要遺構	主要遺物			特記事項		
殿城戸遺跡 第7次	集落	弥生、古墳、奈良、 中世、近世	掘立柱建物、 竪穴住居 井戸、溝、 方形区画溝	弥生土器 古式土師器 土師器 須恵器 石器					

太宰府市の文化財 第62集

太宰府・佐野地区遺跡群13
殿城戸7次調査

平成14年(2002)年3月

編集 太宰府市教育委員会
発行 〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺1丁目1-1
印刷 株式会社 三光
〒812-0015
福岡市博多区山王1丁目14-4

印刷仕様；
画像スクリーン線数 250線
アルミPS版使用
CD-ROM仕様；
Macintosh/Windowsハイブリット版
画像データ書き込みはAcrobat Reader 4.0を使用